

旭市
高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査
報告書

令和8年5月

旭 市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の種類と対象	1
3.	調査の方法及び実施時期	1
4.	配布・回収の結果	1
5.	報告書の表記及び注意点	1
II	調査結果① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
1.	調査票の記入者やあて名のご本人情報	2
2.	あなたのご家族や生活状況について	5
3.	からだを動かすことについて	7
4.	食えることについて	13
5.	毎日の生活について	19
6.	地域での活動について	27
7.	就労について	32
8.	たすけあいについて	33
9.	健康について	38
10.	認知症にかかる相談窓口の把握について	42
11.	権利擁護について	46
12.	生きがいづくり・介護予防について	47
13.	日常生活の心配ごとや必要な支援について	51
14.	今後の暮らしや将来の介護について	55
15.	リスク分析	59
III	調査結果② 在宅介護実態調査	69
1.	調査票の記入や居住地区について	69
2.	調査対象者本人について	70
3.	主な介護者の方について	87

IV 調査結果③ 介護支援専門員調査	94
1. あなたのことにについて	94
2. 業務について	97
3. 利用サービスについて	110
4. 保険者に対する要望について	113
V 調査結果④ 介護サービス事業者調査（介護人材関係）	115
1. 回答事業者の概要及び介護職員数・採用者数・離職者数	115
2. 介護人材不足の状況	117
3. 人材確保・定着に向けた取組	119
4. カスタマーハラスメント対策	119
5. サービス種別ごとの需給状況	120
6. 行政に望むこと	121
資料編	123
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	123
2. 在宅介護実態調査 調査票	147
3. 介護支援専門員調査 調査票	161
4. 介護サービス事業者調査（介護人材関係） 調査票	181

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和9年度から令和11年度を計画期間とする「旭市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者の日常生活の状況、介護予防に関する意識、在宅介護の実態、介護支援専門員及び介護サービス事業者の課題認識等を把握し、計画策定の基礎資料として活用することを目的として実施した。

2. 調査の種類と対象

調査区分	調査対象
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方
② 在宅介護実態調査	要支援・要介護認定を受け、在宅で生活している方
③ 介護支援専門員調査	市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員
④ 介護サービス事業者調査（介護人材関係）	市内の介護サービス事業者

3. 調査の方法及び実施時期

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査は、郵送による配布・回収により実施した。
- ・介護支援専門員調査及び介護サービス事業者調査は、LoGo フォーム（電子申請フォーム）による電子回答により実施した。
- ・調査期間はいずれも令和7年12月を基本として実施した。

4. 配布・回収の結果

調査区分	配布数	有効回収数	有効回収率
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000 人	1,289 人	64.5%
② 在宅介護実態調査	1,000 人	622 人	62.2%
③ 介護支援専門員調査	54 人	48 人	88.9%
④ 介護サービス事業者調査（介護人材関係）	37 事業者	32 事業所	86.5%

5. 報告書の表記及び注意点

- ・回答割合は、各設問の回答該当者数を基数として算出している。
- ・小数点第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問では、回答割合の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・本文中のコメントでは、原則として割合を基準に傾向を記述している。人数と割合を併記している場合も、人数は回答規模を示す補足情報として記載しており、傾向の比較は割合に基づいている。
- ・グラフ中の「n」は、その設問に回答した人数を示している。
- ・説明文及びグラフでは、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
- ・クロス集計については、属性別・要介護度別等の傾向を把握するため、原則として、集計軸となる項目の「不明・無回答」を除いて集計している。このため、各クロス集計の合計は、単純集計の有効回答数と一致しない場合がある。

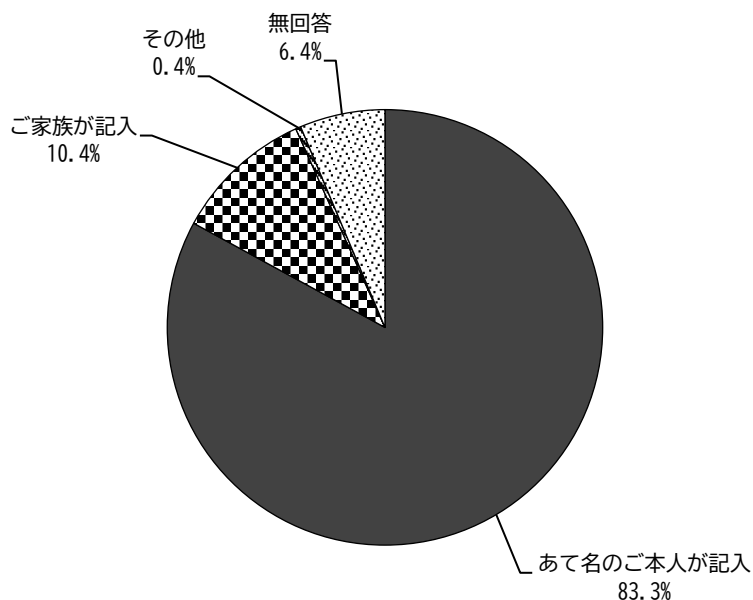
Ⅱ 調査結果① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査票の記入者やあて名のご本人情報

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が 83.3%、「ご家族が記入」が 10.4%となっている。

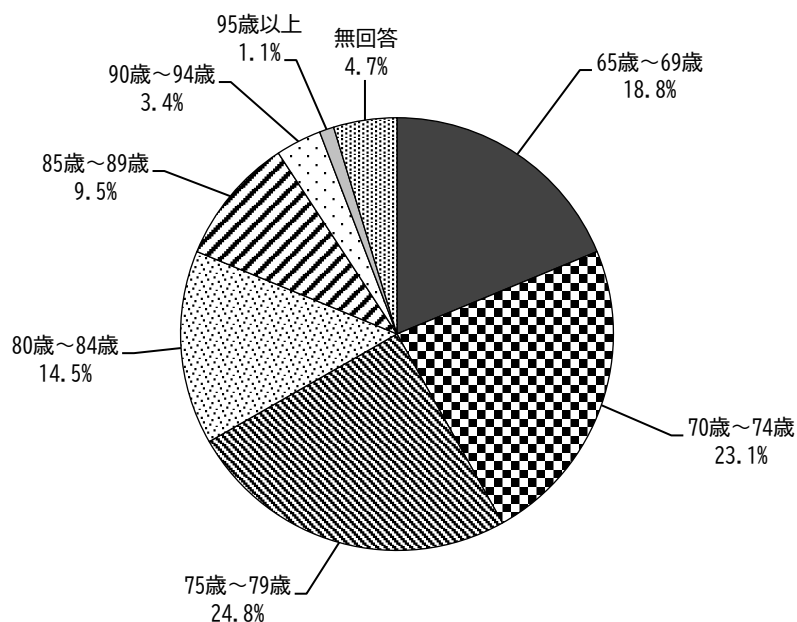
【n = 1,289】



(2) 年齢

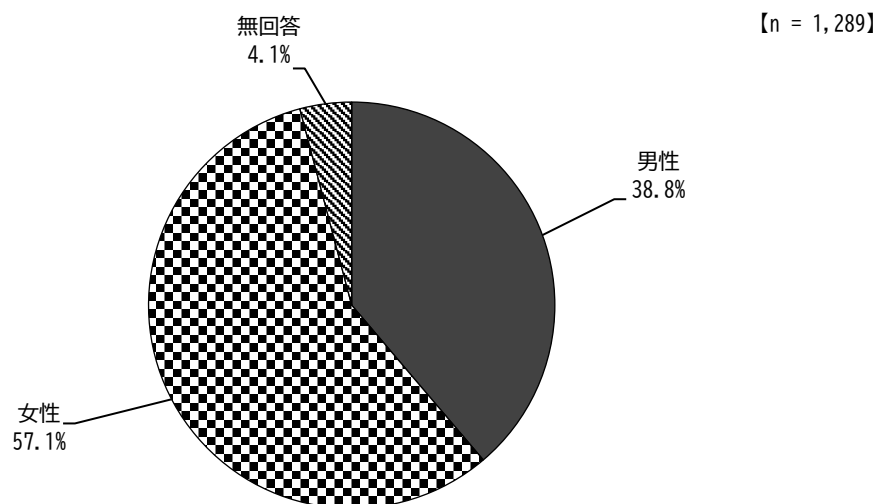
年齢については、「75～79 歳」が 24.8%で最も高く、次いで「70～74 歳」が 23.1%、「65～69 歳」が 18.8%、「80～84 歳」が 14.5%となっている。

【n = 1,289】



(3) 性別

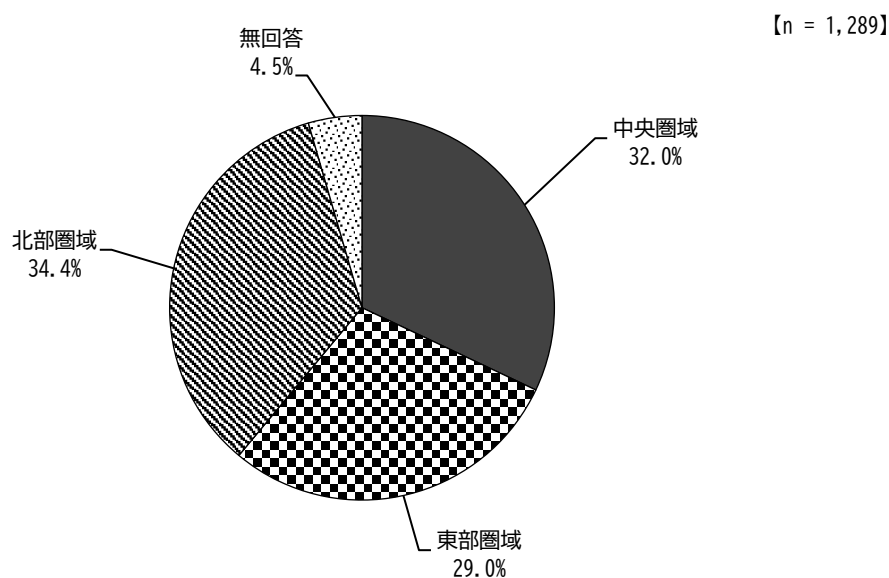
性別については、「女性」が57.1%、「男性」が38.8%となっている。



(4) 居住地区

居住地区については、「中央」が20.4%で最も高く、次いで「飯岡」が8.6%、「干潟」が8.3%、「嚶鳴」が7.7%、「共和」が6.7%となっている。

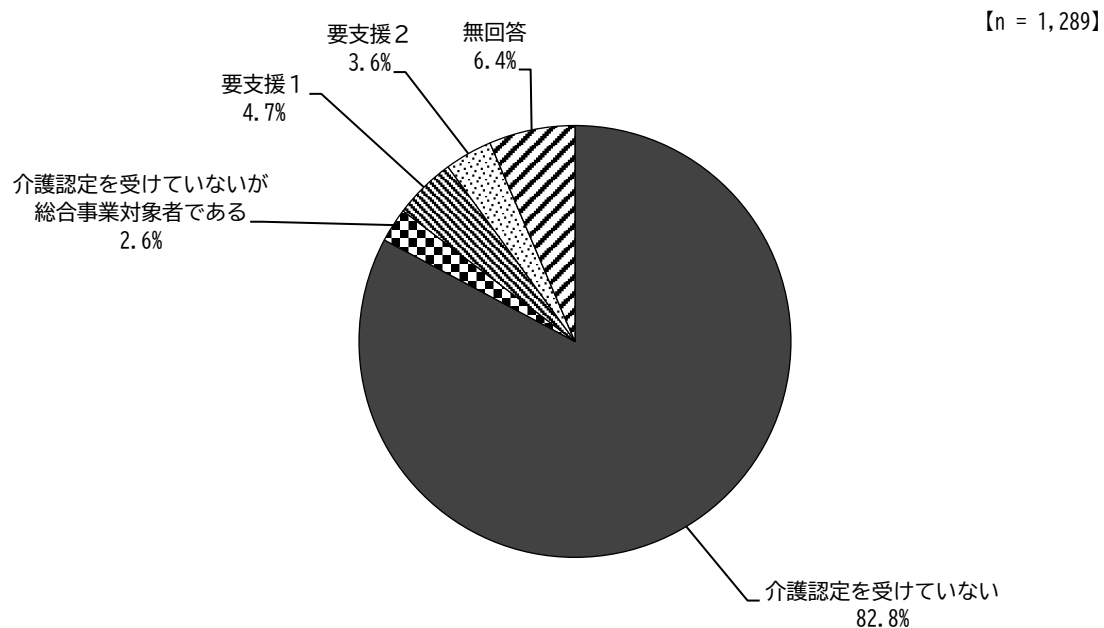
居住地区を圏域別にみると、「北部圏域」が444人（34.4%）で最も高く、次いで「中央圏域」が413人（32.0%）、「東部圏域」が374人（29.0%）となっている。3圏域の構成比はいずれも3割前後であり、回答者は各圏域におおむね分散している。



圏域	居住地区（小学校区）
中央圏域	中央、豊浦、矢指
東部圏域	鶴巻、滝郷、嚶鳴、飯岡、三川
北部圏域	琴田、干潟、共和、豊畑、萬歳、中和、古城

(5) 要介護度（記入日時点）

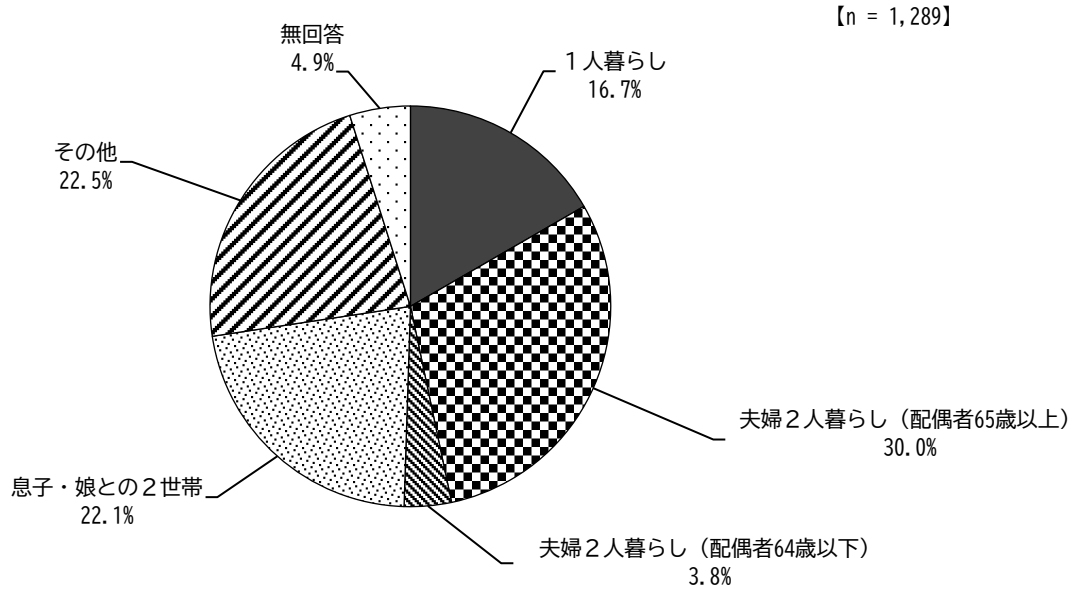
要介護度については、「介護認定を受けていない」が 82.8%で最も高く、次いで「要支援1」が 4.7%、「要支援2」が 3.6%、「介護認定を受けていないが総合事業対象者である」が 2.6%となっている。



2. あなたのご家族や生活状況について

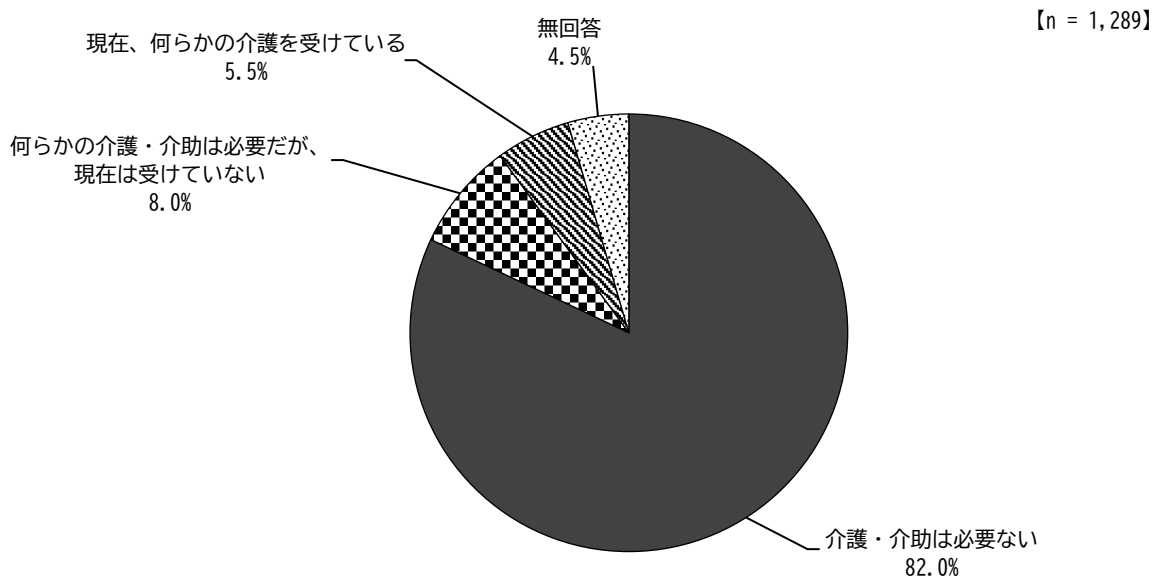
(1) 家族構成を教えてください(○は1つ)

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 30.0%で最も高く、次いで「その他」が 22.5%、「息子・娘との2世帯」が 22.1%、「1人暮らし」が 16.7%となっている。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○は1つ)

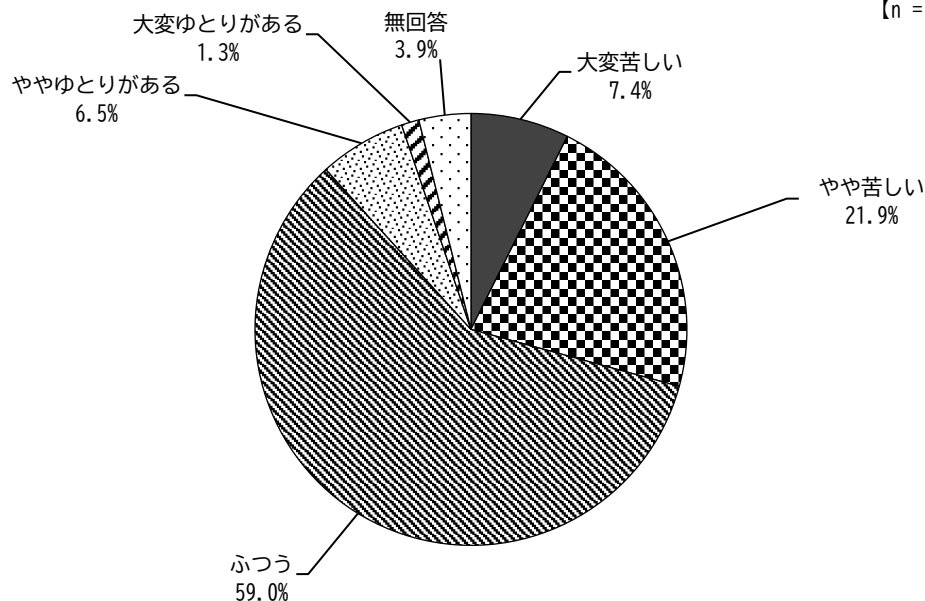
普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですかについては、「介護・介助は必要ない」が 82.0%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 8.0%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 5.5%となっている。



（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は１つ）

現在の暮らしの状況を経済的にみると、「ふつう」が 59.0%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.9%、「大変苦しい」が 7.4%、「ややゆとりがある」が 6.5%となっている。

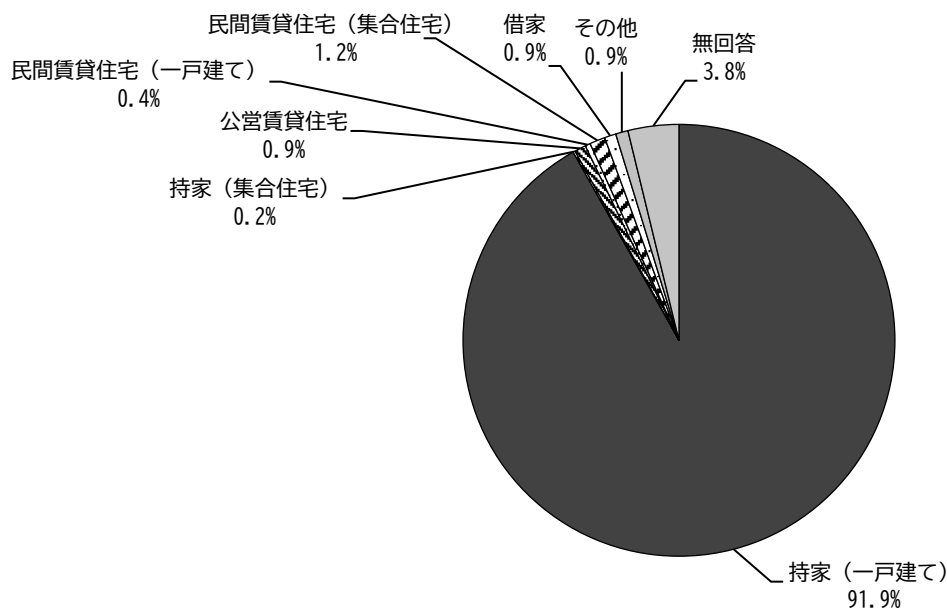
【n = 1,289】



（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は１つ）

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですかについては、「持家（一戸建て）」が 91.9%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.2%、「公営賃貸住宅」が 0.9%となっている。

【n = 1,289】

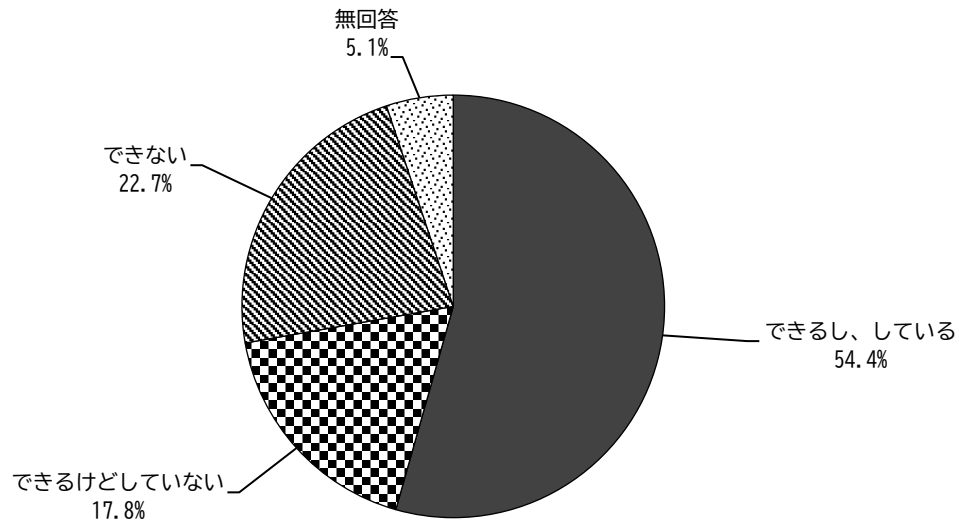


3. からだを動かすことについて

(1) 日常の歩行状況などについてお答えください / 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が54.4%で最も高く、次いで「できない」が22.7%、「できるけどしていない」が17.8%となっている。

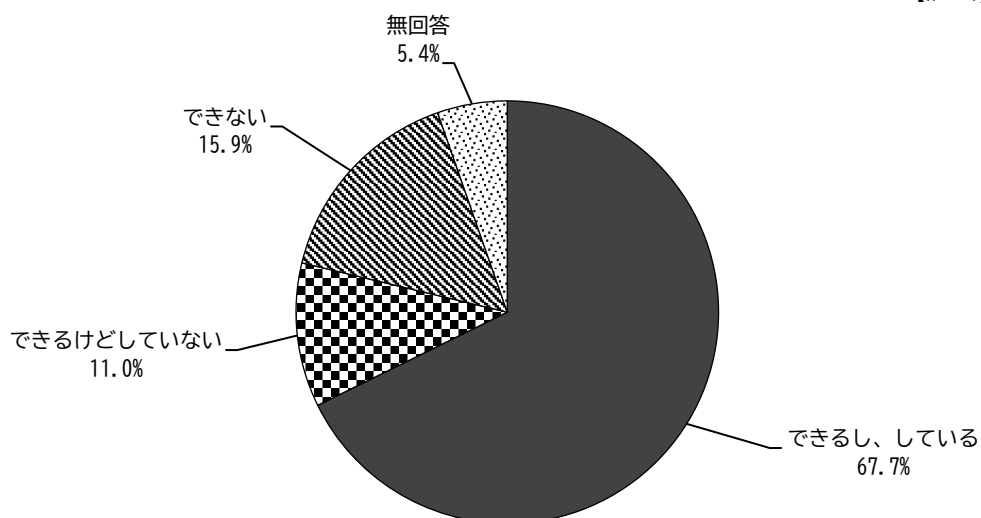
【n = 1,289】



(2) 日常の歩行状況などについてお答えください / 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が67.7%で最も高く、次いで「できない」が15.9%、「できるけどしていない」が11.0%となっている。

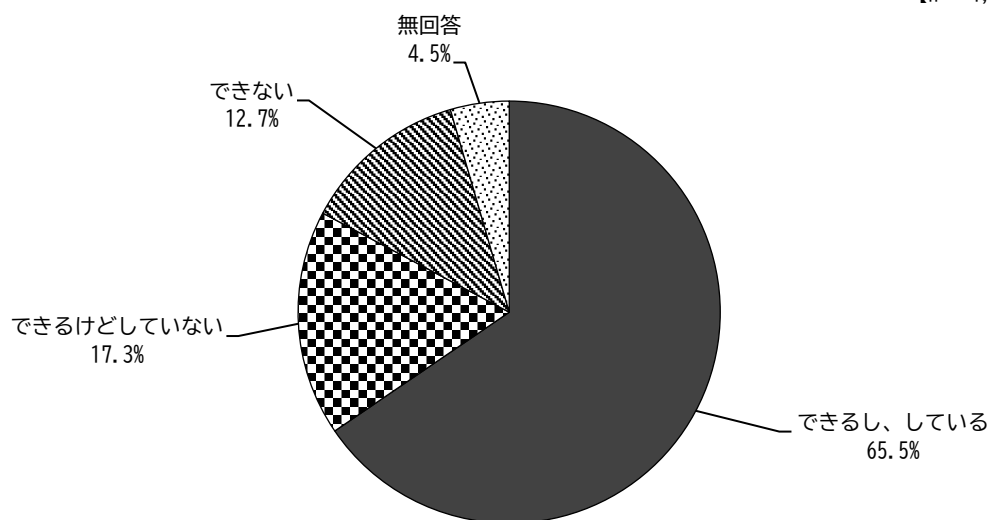
【n = 1,289】



(3) 日常の歩行状況などについてお答えください / 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が65.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.3%、「できない」が12.7%となっている。

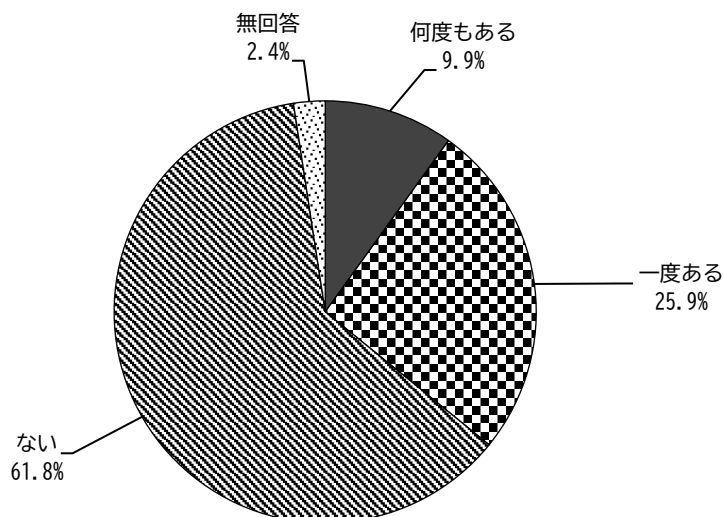
【n = 1,289】



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

過去1年間に転んだ経験については、「ない」が61.8%で最も高く、次いで「一度ある」が25.9%、「何度もある」が9.9%となっている。

【n = 1,289】

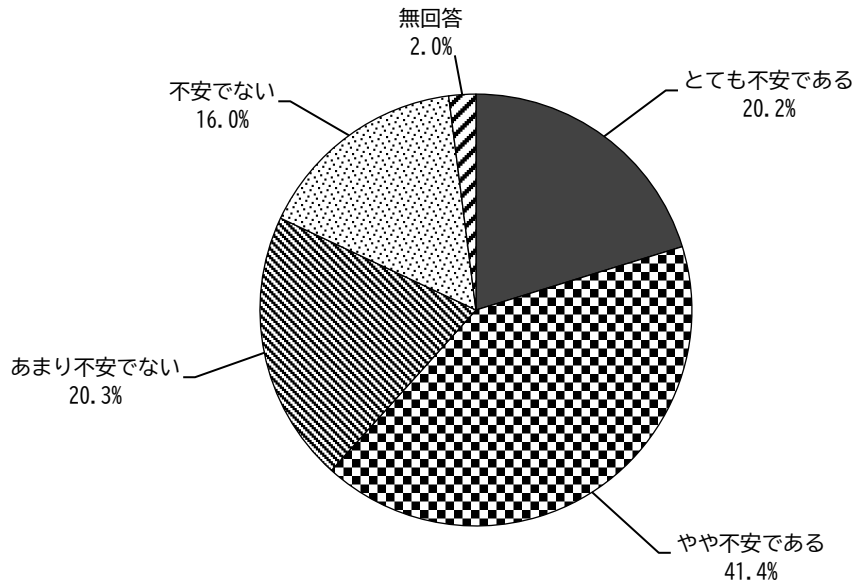


(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

転倒に対する不安については、「やや不安である」が41.4%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が20.3%、「とても不安である」が20.2%、「不安でない」が16.0%となっている。

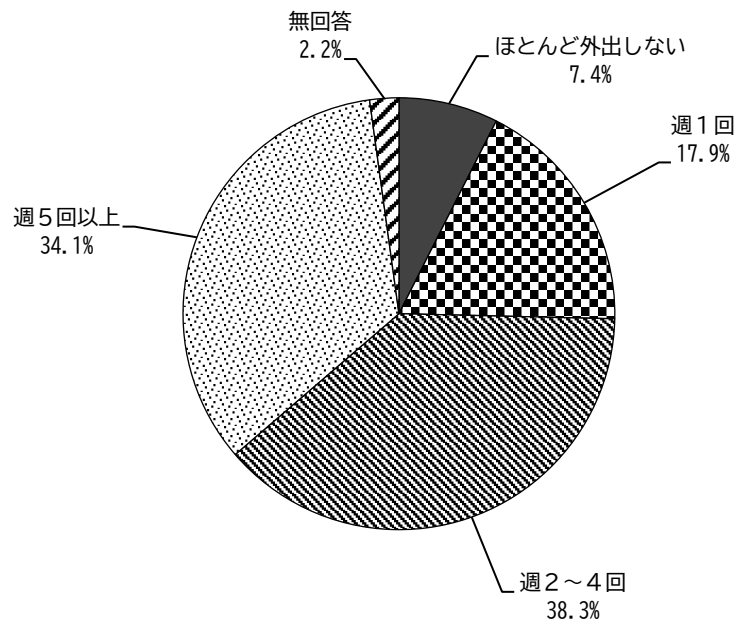
「やや不安である」「とても不安である」を合わせると61.6%となっている。

【n = 1,289】

**(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)**

週に1回以上の外出については、「週2～4回」が38.3%で最も高く、次いで「週5回以上」が34.1%、「週1回」が17.9%、「ほとんど外出しない」が7.4%となっている。

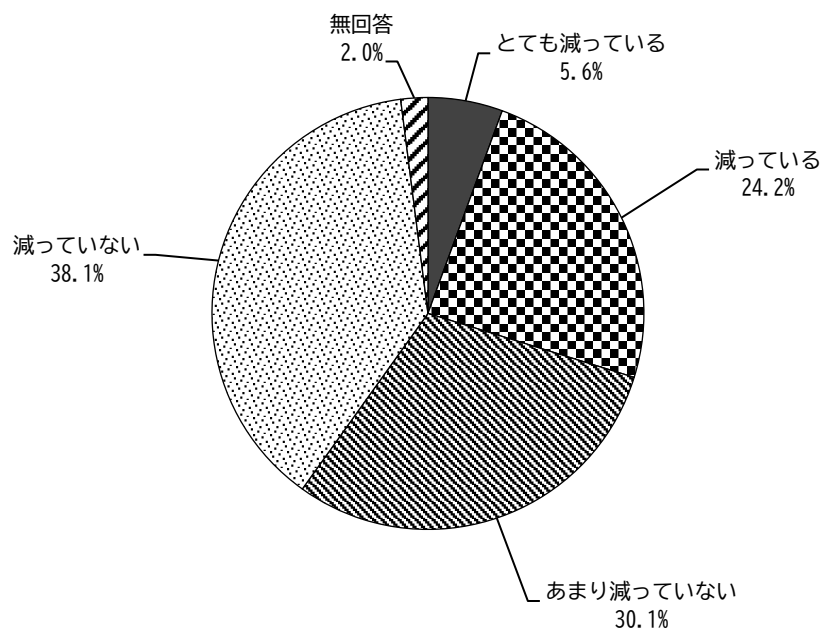
【n = 1,289】



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

昨年と比べて外出回数については、「減っていない」が38.1%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が30.1%、「減っている」が24.2%、「とても減っている」が5.6%となっている。

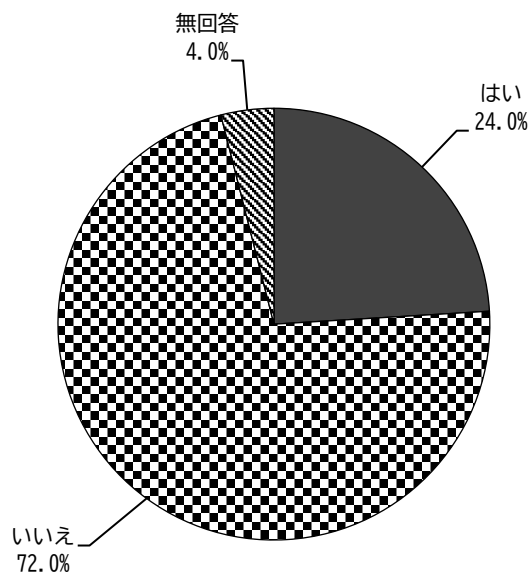
【n = 1,289】



(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

外出を控えているかについては、「いいえ」が72.0%、「はい」が24.0%となっている。

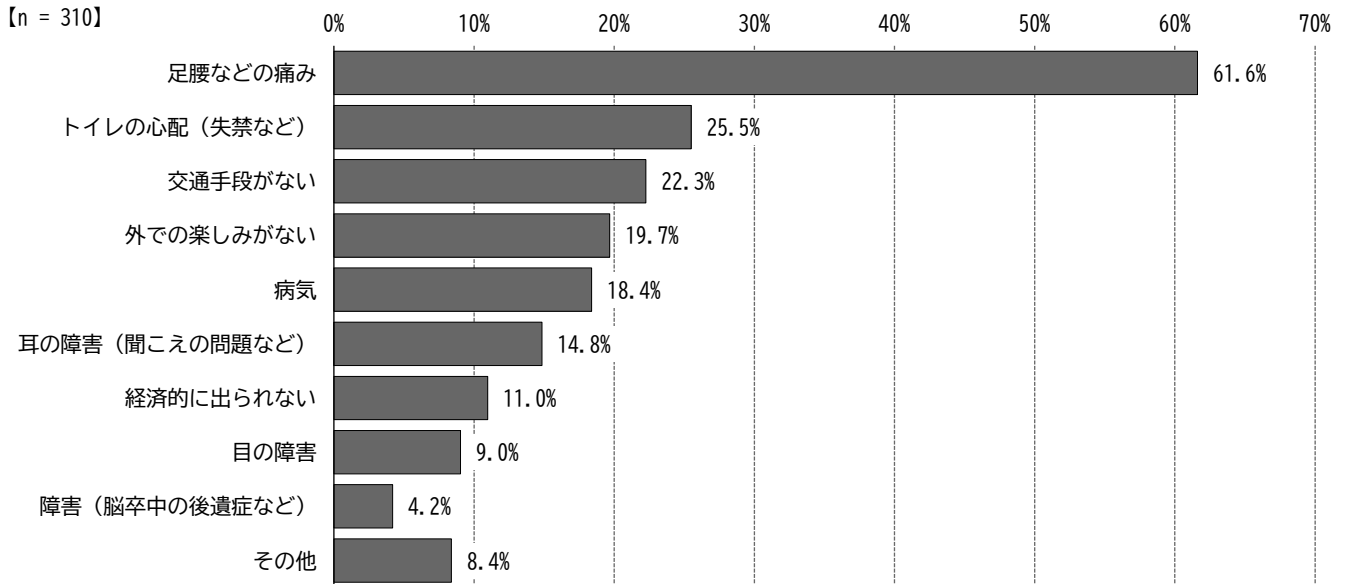
【n = 1,289】



【(8) において「1. はい」の方のみ】

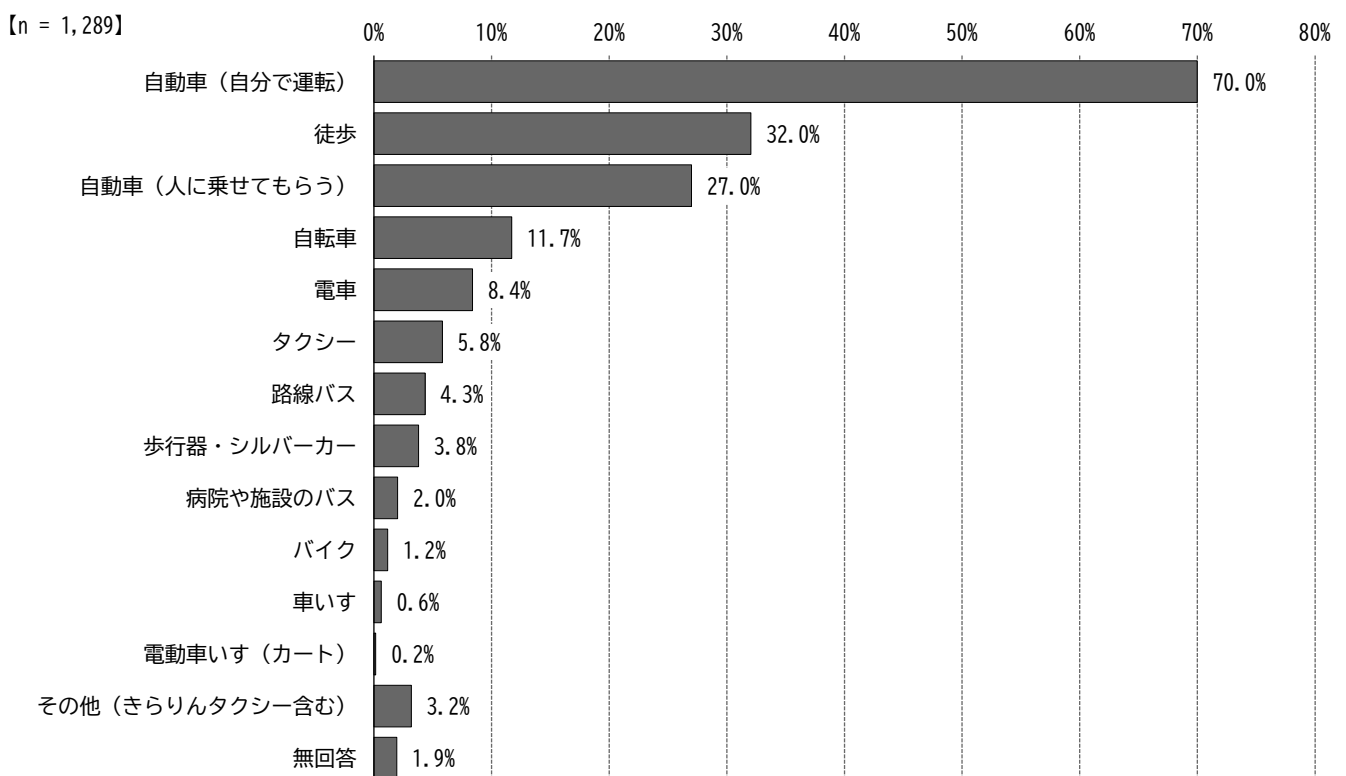
① 外出を控えている理由は、次のどれですか(○はいくつでも)

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が61.6%で最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が25.5%、「交通手段がない」が22.3%、「外での楽しみがない」が19.7%、「病気」が18.4%となっている。



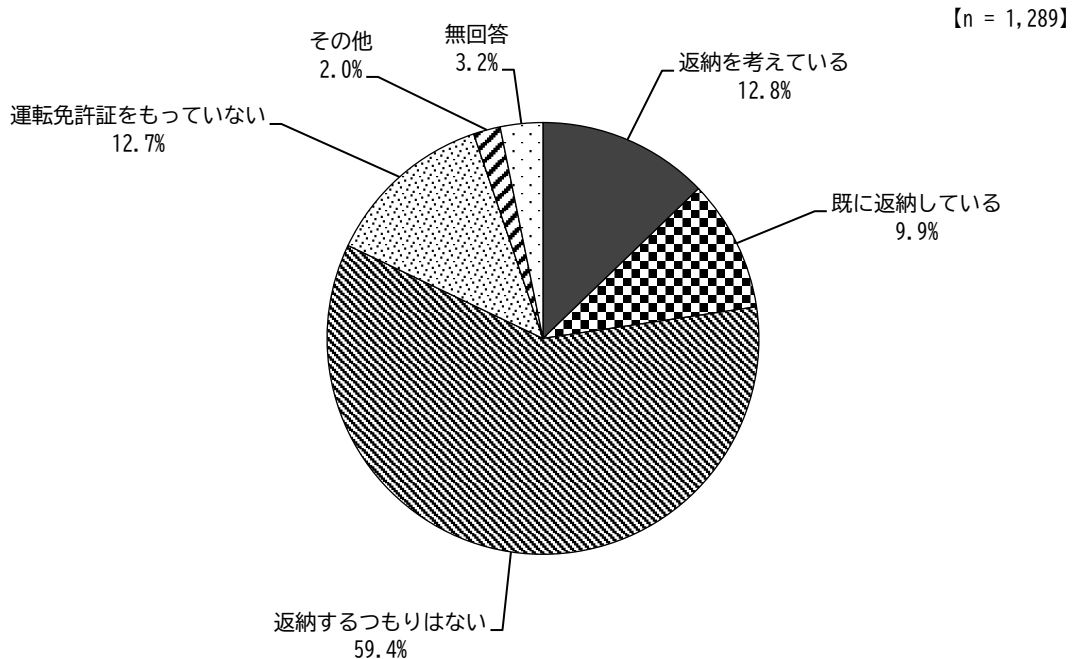
【(9) 外出する際の移動手段は何ですか(○はいくつでも)】

外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が70.0%で最も高く、次いで「徒歩」が32.0%、「自動車(人に乗せてもらう)」が27.0%、「自転車」が11.7%、「電車」が8.4%となっている。



(10) 運転免許証の返納について考えていますか (○は1つ)

運転免許証の返納については、「返納するつもりはない」が 59.4%で最も高く、次いで「返納を考えている」が 12.8%、「運転免許証をもっていない」が 12.7%、「既に返納している」が 9.9%となっている。

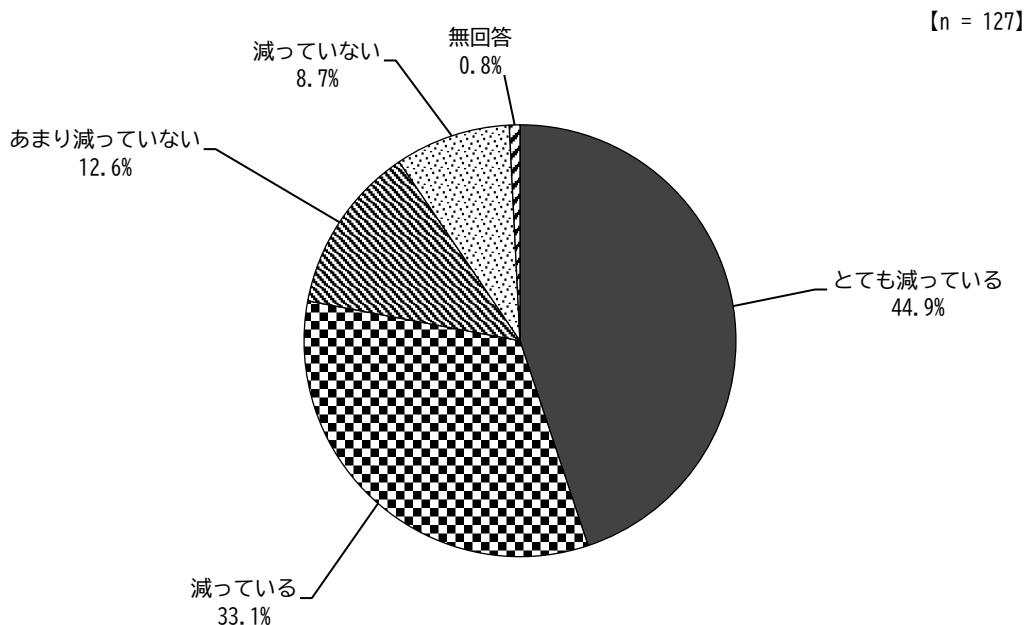


【(10) において「2. 既に返納している」の方のみ】

① 返納前と比べて外出の機会が減っていますか (○は1つ)

既に運転免許証を返納している人の返納後の外出回数については、「とても減っている」が 44.9%で最も高く、次いで「減っている」が 33.1%、「あまり減っていない」が 12.6%、「減っていない」が 8.7%となっている。

「とても減っている」「減っている」を合わせると 78.0%となっている。

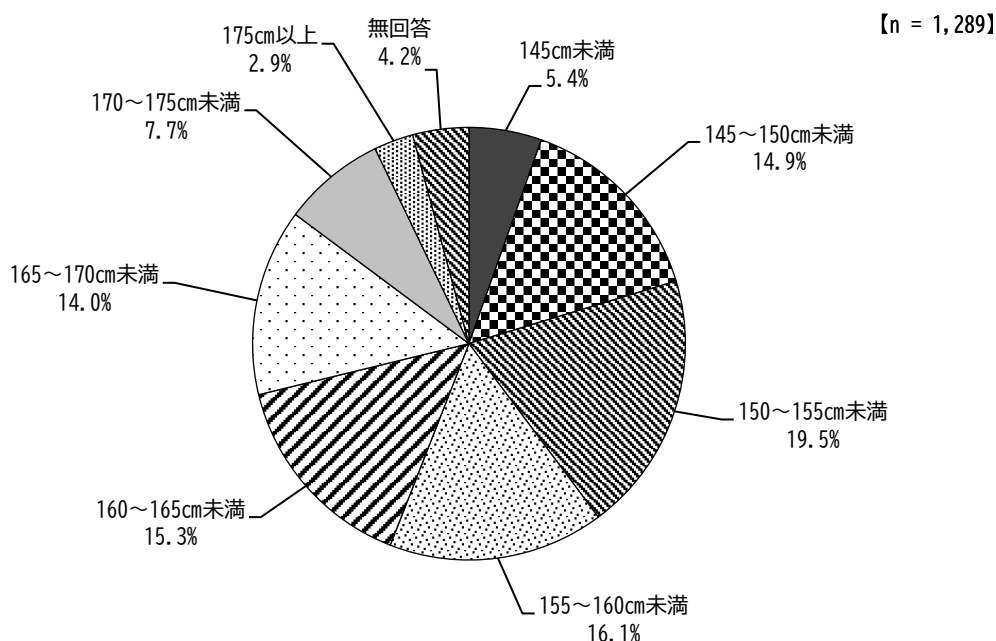


4. 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください（それぞれ数字を記入）

■ 身長

身長については、「150～155 cm未満」が19.5%で最も高く、次いで「155～160 cm未満」が16.1%、「160～165 cm未満」が15.3%となっている。

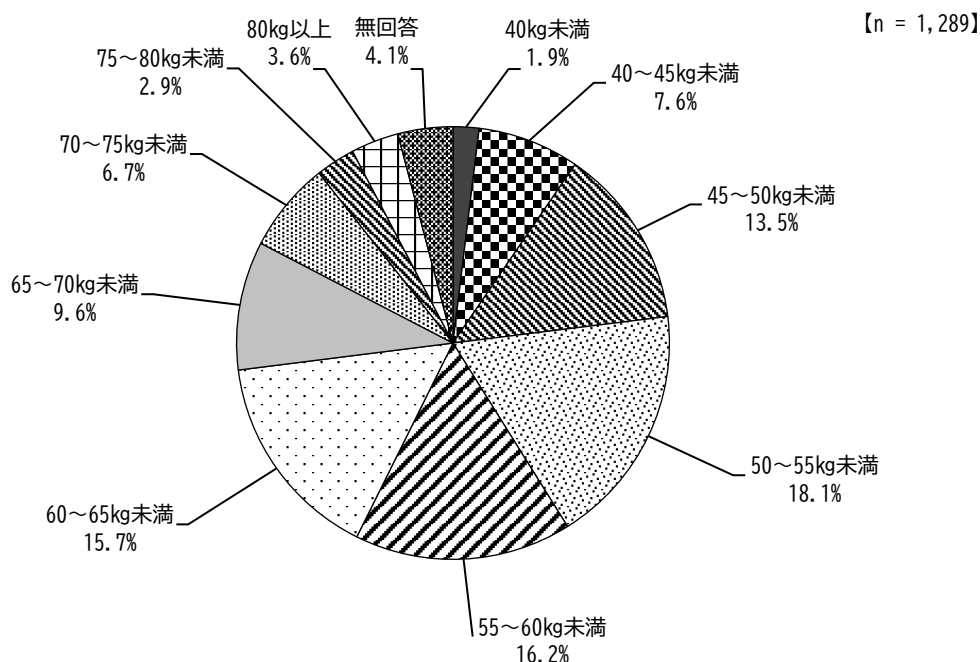


男女別にみると、男性では「165～170 cm未満」が32.2%で最も高く、次いで「160～165 cm未満」が25.2%、「170～175 cm未満」が18.8%となっている。女性では「150～155 cm未満」が31.0%で最も高く、次いで「145～150 cm未満」が25.1%、「155～160 cm未満」が20.4%となっている。

回答者性別	男性	女性	無回答	合計
145 cm未満	0 人 (0.0%)	70 人 (9.5%)	0 人 (0.0%)	70 人 (5.4%)
145～150 cm未満	1 人 (0.2%)	185 人 (25.1%)	6 人 (11.3%)	192 人 (14.9%)
150～155 cm未満	17 人 (3.4%)	228 人 (31.0%)	6 人 (11.3%)	251 人 (19.5%)
155～160 cm未満	51 人 (10.2%)	150 人 (20.4%)	7 人 (13.2%)	208 人 (16.1%)
160～165 cm未満	126 人 (25.2%)	63 人 (8.6%)	8 人 (15.1%)	197 人 (15.3%)
165～170 cm未満	161 人 (32.2%)	6 人 (0.8%)	13 人 (24.5%)	180 人 (14.0%)
170～175 cm未満	94 人 (18.8%)	0 人 (0.0%)	5 人 (9.4%)	99 人 (7.7%)
175 cm以上	38 人 (7.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	38 人 (2.9%)
無回答	12 人 (2.4%)	34 人 (4.6%)	8 人 (15.1%)	54 人 (4.2%)
計	500 人 (100.0%)	736 人 (100.0%)	53 人 (100.0%)	1,289 人 (100.0%)

■ 体重

体重については、「50～55 kg未満」が 18.1%で最も高く、次いで「55～60 kg未満」が 16.2%、「60～65 kg未満」が 15.7%となっている。

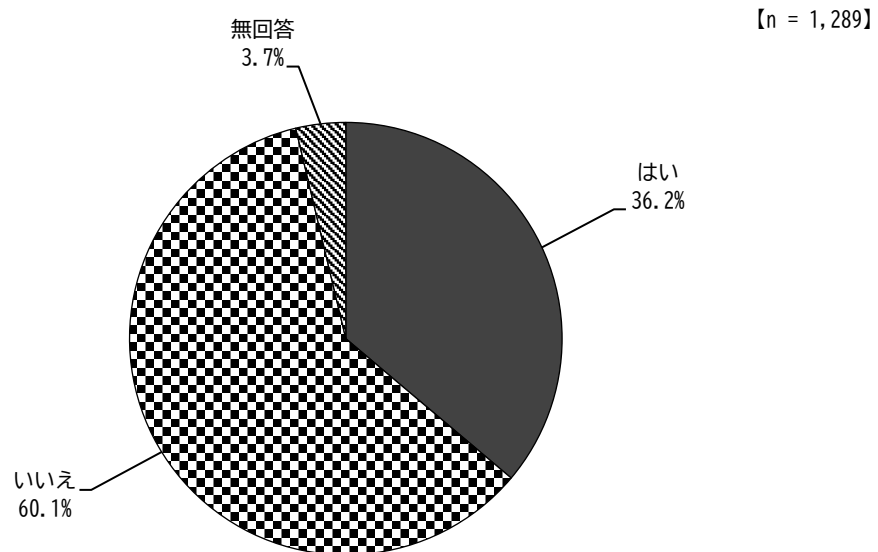


男女別にみると、男性では「60～65 kg未満」が 22.0%で最も高く、次いで「65～70 kg未満」が 17.6%、「55～60 kg未満」が 15.8%となっている。女性では「50～55 kg未満」が 22.8%で最も高く、次いで「45～50 kg未満」が 21.1%、「55～60 kg未満」が 17.0%となっている。

回答者性別	男性	女性	無回答	合計
40 kg未満	0 人 (0.0%)	24 人 (3.3%)	1 人 (1.9%)	25 人 (1.9%)
40～45 kg未満	6 人 (1.2%)	87 人 (11.8%)	5 人 (9.4%)	98 人 (7.6%)
45～50 kg未満	16 人 (3.2%)	155 人 (21.1%)	3 人 (5.7%)	174 人 (13.5%)
50～55 kg未満	55 人 (11.0%)	168 人 (22.8%)	10 人 (18.9%)	233 人 (18.1%)
55～60 kg未満	79 人 (15.8%)	125 人 (17.0%)	5 人 (9.4%)	209 人 (16.2%)
60～65 kg未満	110 人 (22.0%)	81 人 (11.0%)	11 人 (20.8%)	202 人 (15.7%)
65～70 kg未満	88 人 (17.6%)	32 人 (4.3%)	4 人 (7.5%)	124 人 (9.6%)
70～75 kg未満	69 人 (13.8%)	16 人 (2.2%)	2 人 (3.8%)	87 人 (6.7%)
75～80 kg未満	27 人 (5.4%)	6 人 (0.8%)	5 人 (9.4%)	38 人 (2.9%)
80 kg以上	37 人 (7.4%)	7 人 (1.0%)	2 人 (3.8%)	46 人 (3.6%)
無回答	13 人 (2.6%)	35 人 (4.8%)	5 人 (9.4%)	53 人 (4.1%)
計	500 人 (100.0%)	736 人 (100.0%)	53 人 (100.0%)	1,289 人 (100.0%)

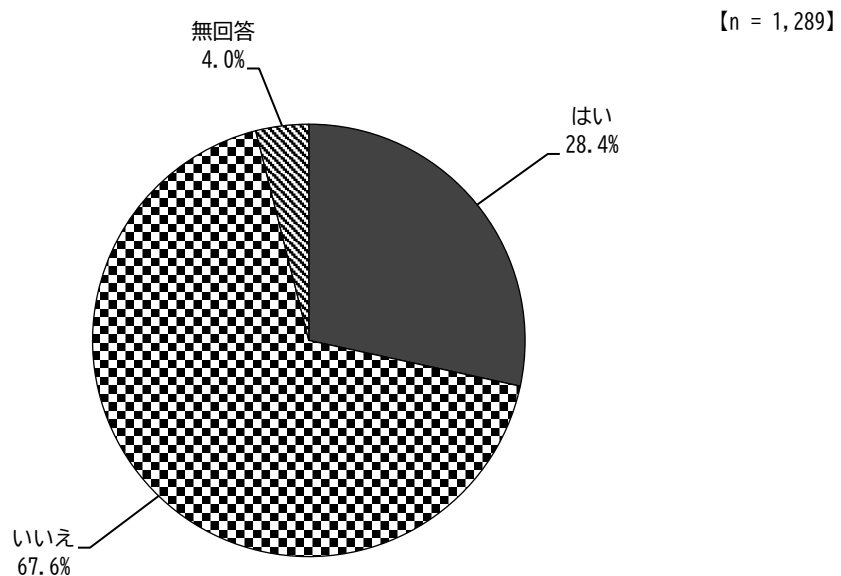
(2) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください / 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が 60.1%、「はい」が 36.2%となっている。



(3) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください / お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

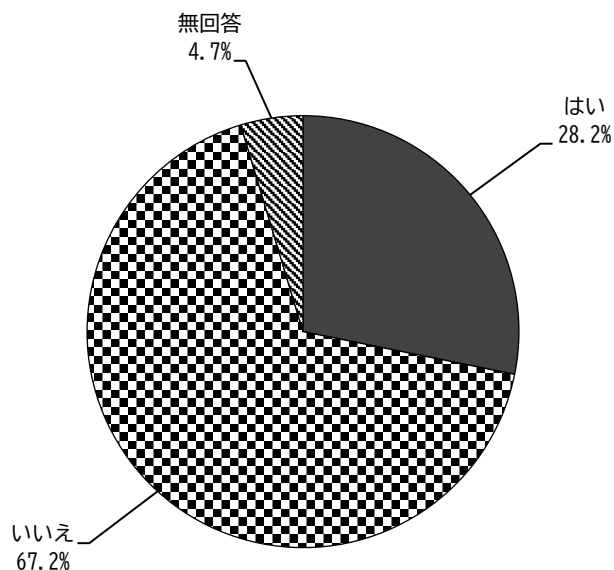
お茶や汁物等でむせることがありますかについては、「いいえ」が 67.6%、「はい」が 28.4%となっている。



(4) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください / 口の渇きが気になりますか
(○は1つ)

口の渇きが気になりますかについては、「いいえ」が67.2%、「はい」が28.2%となっている。

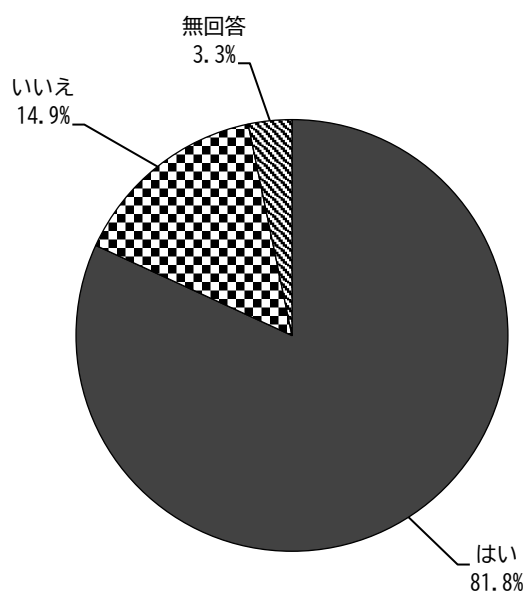
【n = 1,289】



(5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください / 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますかについては、「はい」が81.8%、「いいえ」が14.9%となっている。

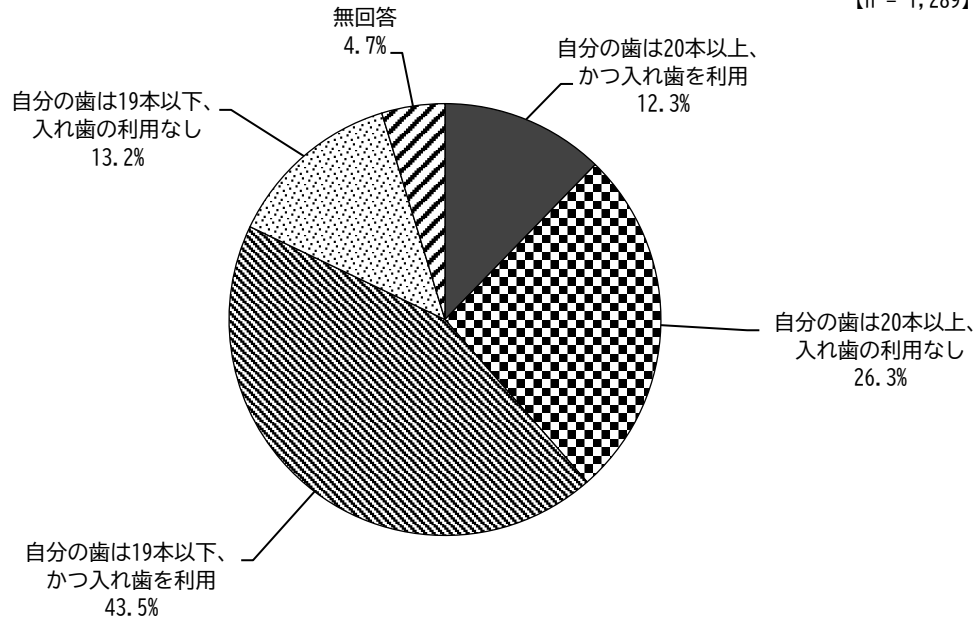
【n = 1,289】



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(○は1つ)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてくださいについては、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が43.5%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が26.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が13.2%となっている。

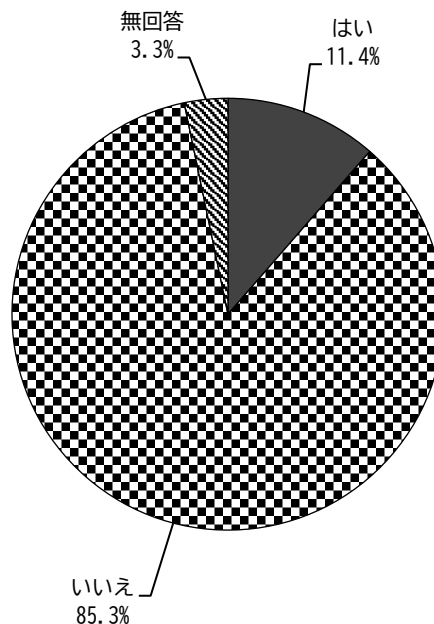
【n = 1,289】



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(○は1つ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたかについては、「いいえ」が85.3%、「はい」が11.4%となっている。

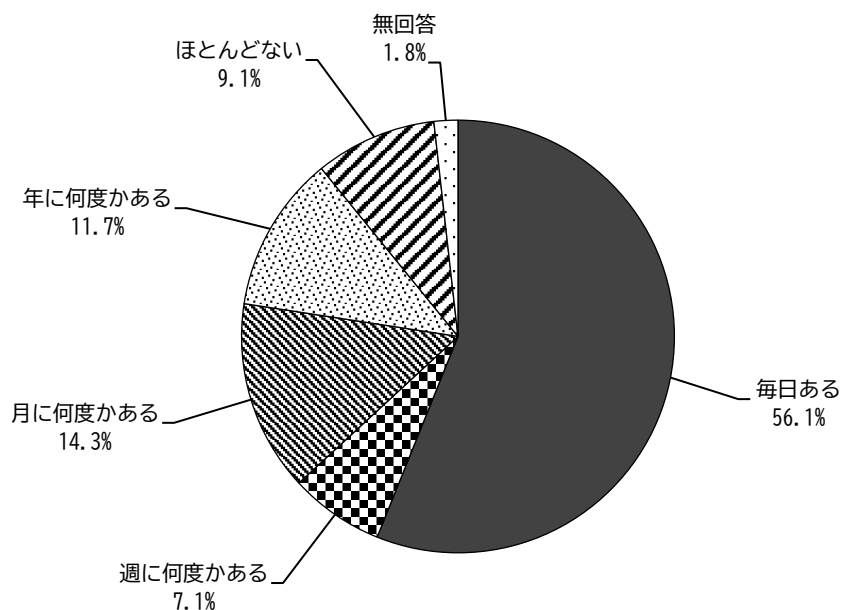
【n = 1,289】



(8) どなたかと食事をともしする機会がありますか (○は1つ)

食事をともしする機会については、「毎日ある」が56.1%で最も高く、次いで「月に何度かある」が14.3%、「年に何度かある」が11.7%、「ほとんどない」が9.1%となっている。

【n = 1,289】

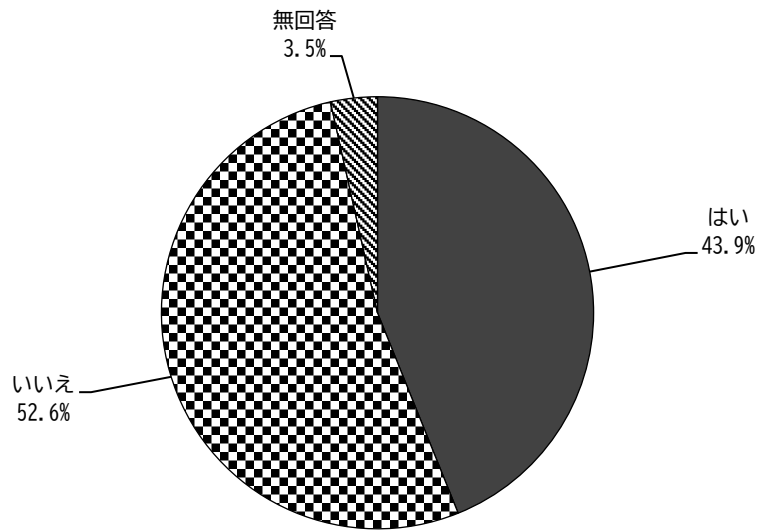


5. 毎日の生活について

(1) 物忘れについて / 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が52.6%、「はい」が43.9%となっている。

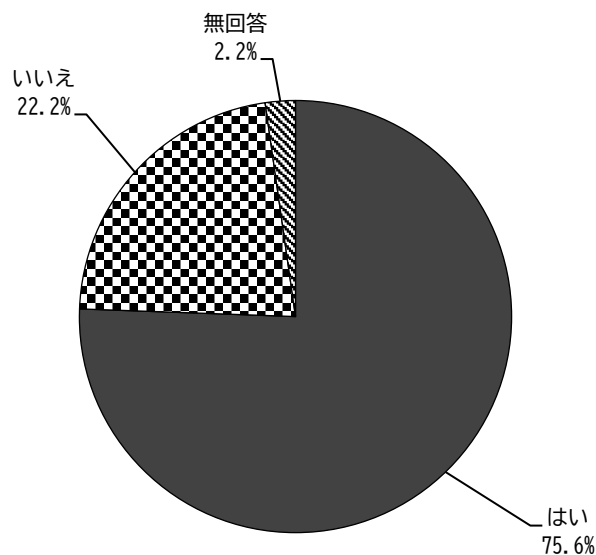
【n = 1,289】



(2) 物忘れについて / 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますかについては、「はい」が75.6%、「いいえ」が22.2%となっている。

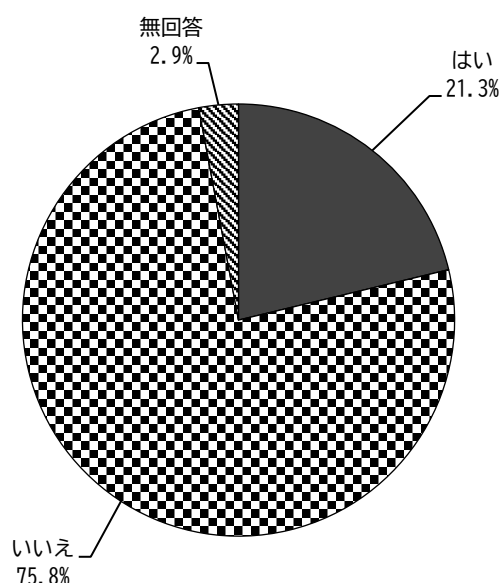
【n = 1,289】



(3) 物忘れについて / 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

今日が何月何日かわからない時がありますかについては、「いいえ」が75.8%、「はい」が21.3%となっている。

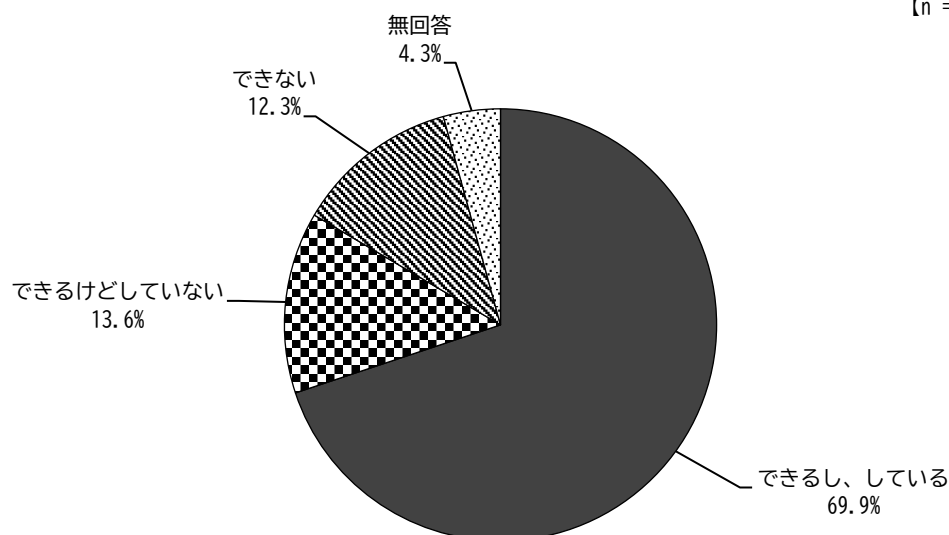
【n = 1,289】



(4) 外出・買物・食事・金銭管理について / バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) については、「できるし、している」が69.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が12.3%となっている。

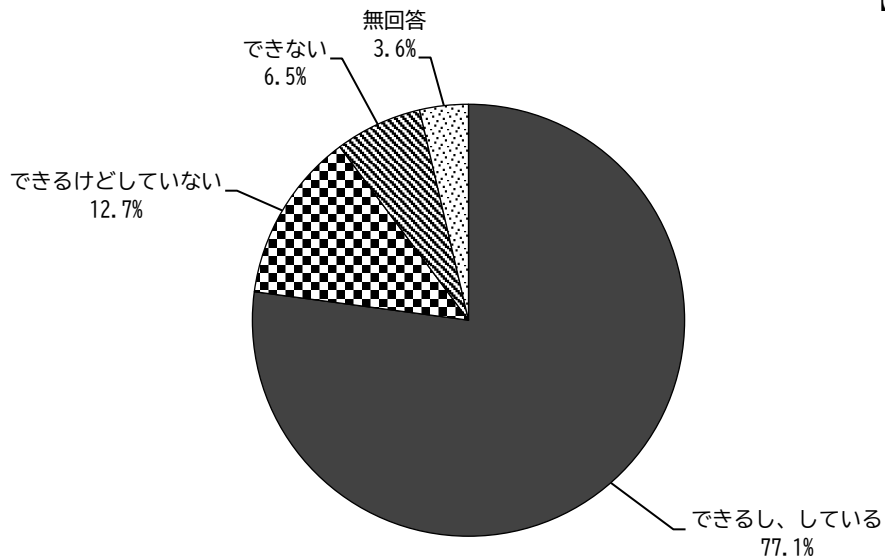
【n = 1,289】



(5) 外出・買物・食事・金銭管理について / 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしていますかについては、「できるし、している」が77.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が6.5%となっている。

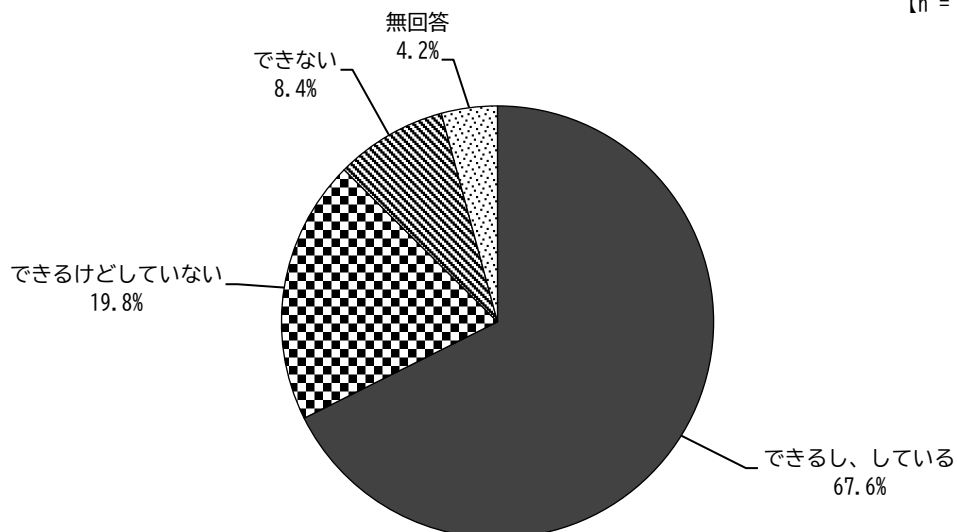
【n = 1,289】



(6) 外出・買物・食事・金銭管理について / 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

自分で食事の用意をしていますかについては、「できるし、している」が67.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.8%、「できない」が8.4%となっている。

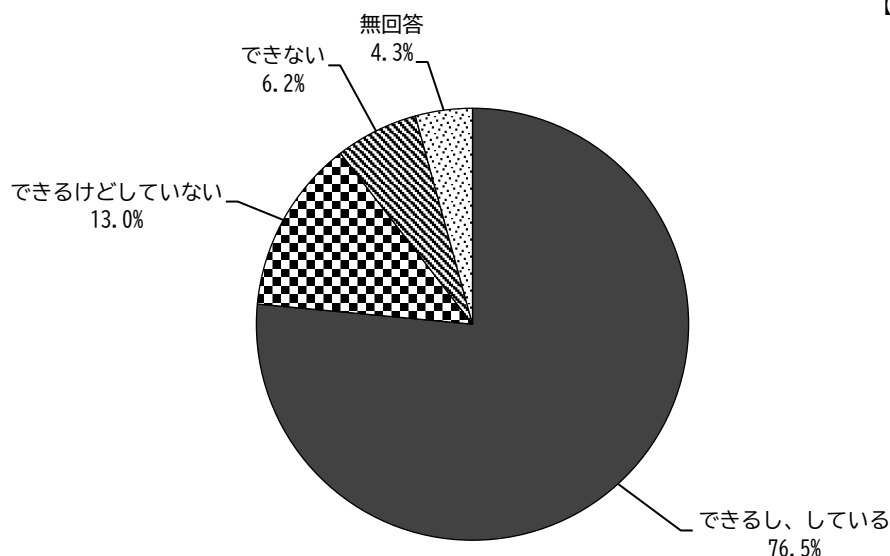
【n = 1,289】



(7) 外出・買物・食事・金銭管理について / 自分で請求書の支払いをしていますか
(○は1つ)

自分で請求書の支払いをしていますかについては、「できるし、している」が76.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が6.2%となっている。

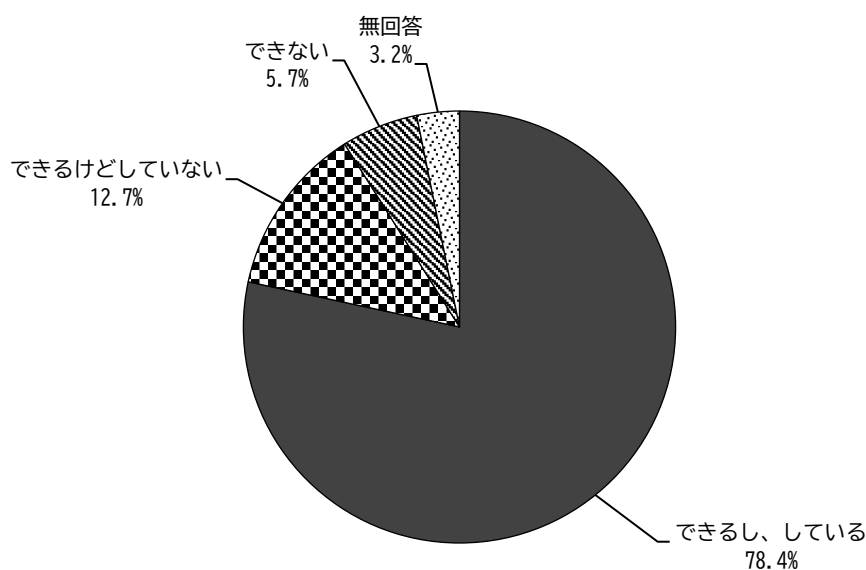
【n = 1,289】



(8) 外出・買物・食事・金銭管理について / 自分で預貯金の出し入れをしていますか
(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをしていますかについては、「できるし、している」が78.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が5.7%となっている。

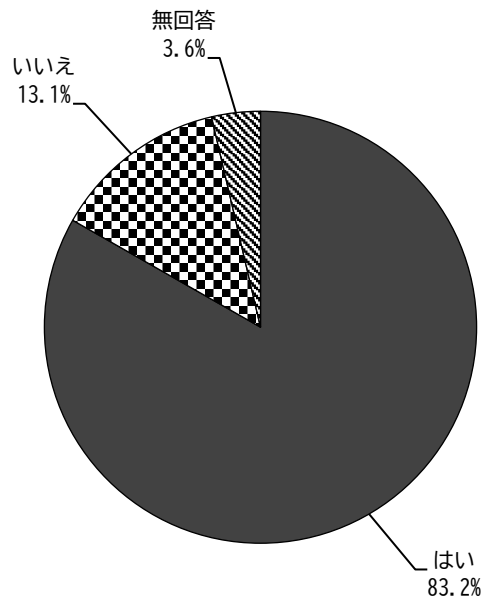
【n = 1,289】



(9) 書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について / 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますかについては、「はい」が83.2%、「いいえ」が13.1%となっている。

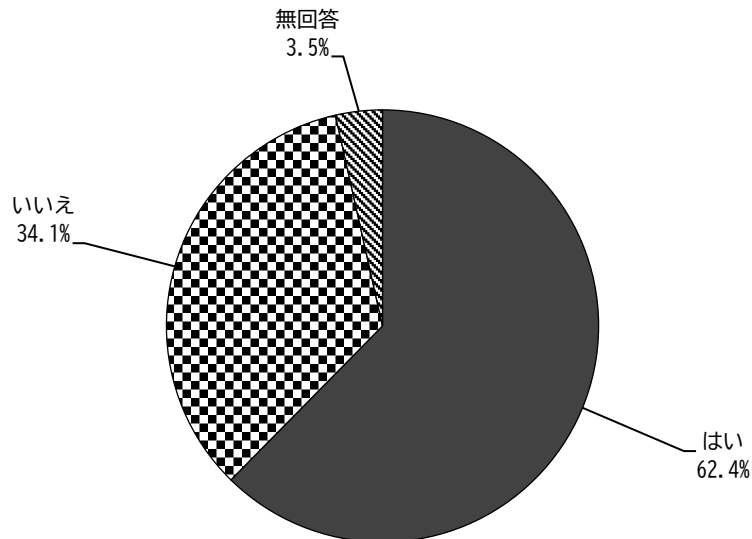
【n = 1,289】



(10) 書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について / 新聞を読んでいますか（○は1つ）

新聞を読んでいますかについては、「はい」が62.4%、「いいえ」が34.1%となっている。

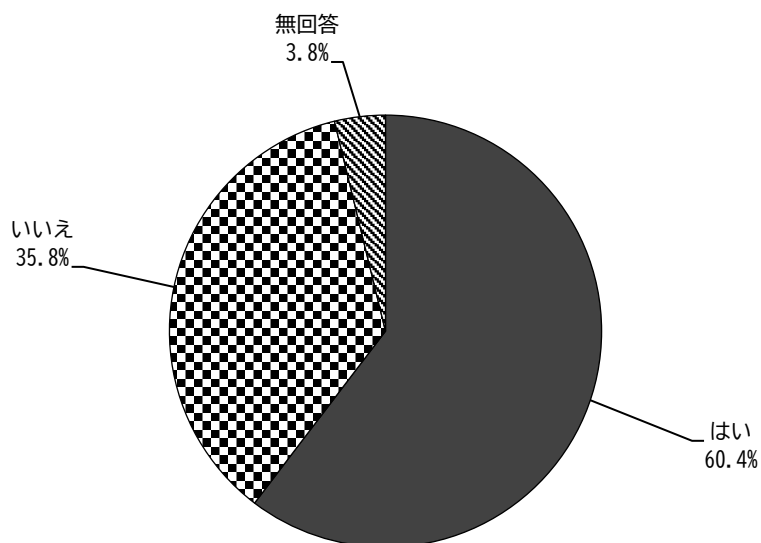
【n = 1,289】



(11) 書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について / 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)

本や雑誌を読んでいますかについては、「はい」が60.4%、「いいえ」が35.8%となっている。

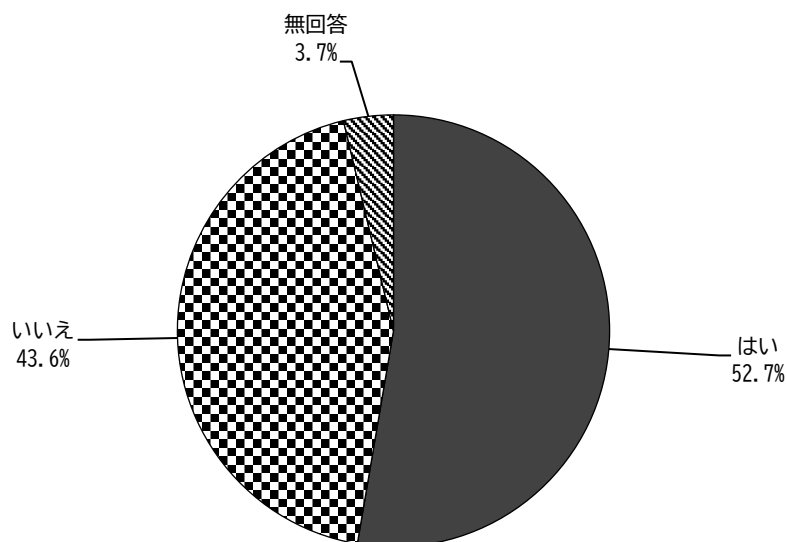
【n = 1,289】



(12) 他者との関わりについて / 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

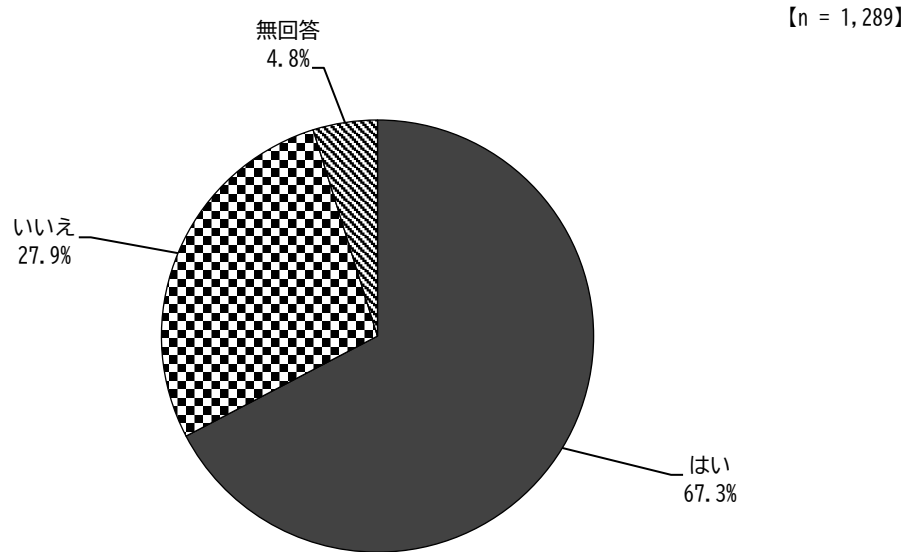
友人の家を訪ねていますかについては、「はい」が52.7%、「いいえ」が43.6%となっている。

【n = 1,289】



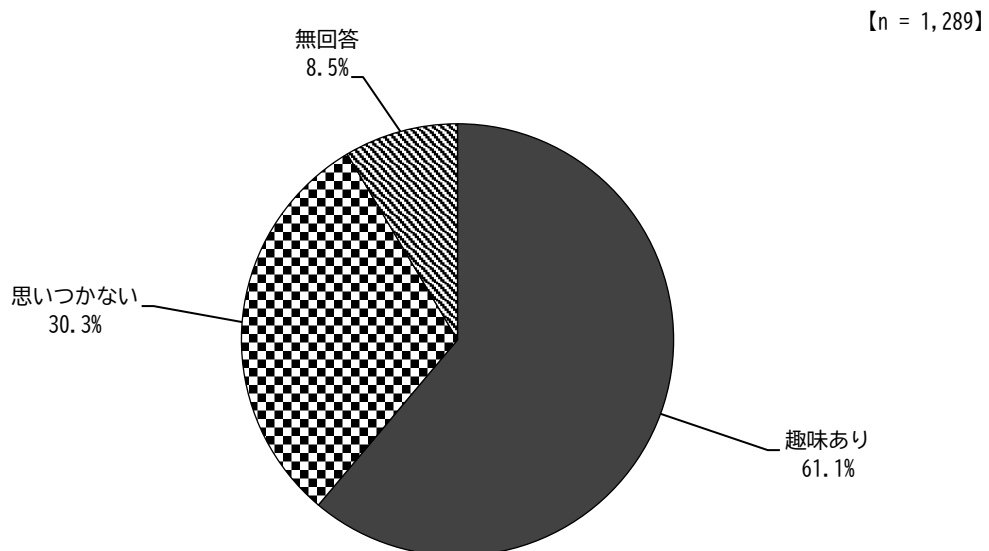
(13) 他者との関わりについて / 家族や友人の相談にのっていますか（○は1つ）

家族や友人の相談にのっていますかについては、「はい」が67.3%、「いいえ」が27.9%となっている。



(14) 趣味はありますか（「1. 趣味あり」の方は（ ）内に趣味を記入ください）

趣味はありますかについては、「趣味あり」が61.1%、「思いつかない」が30.3%となっている。

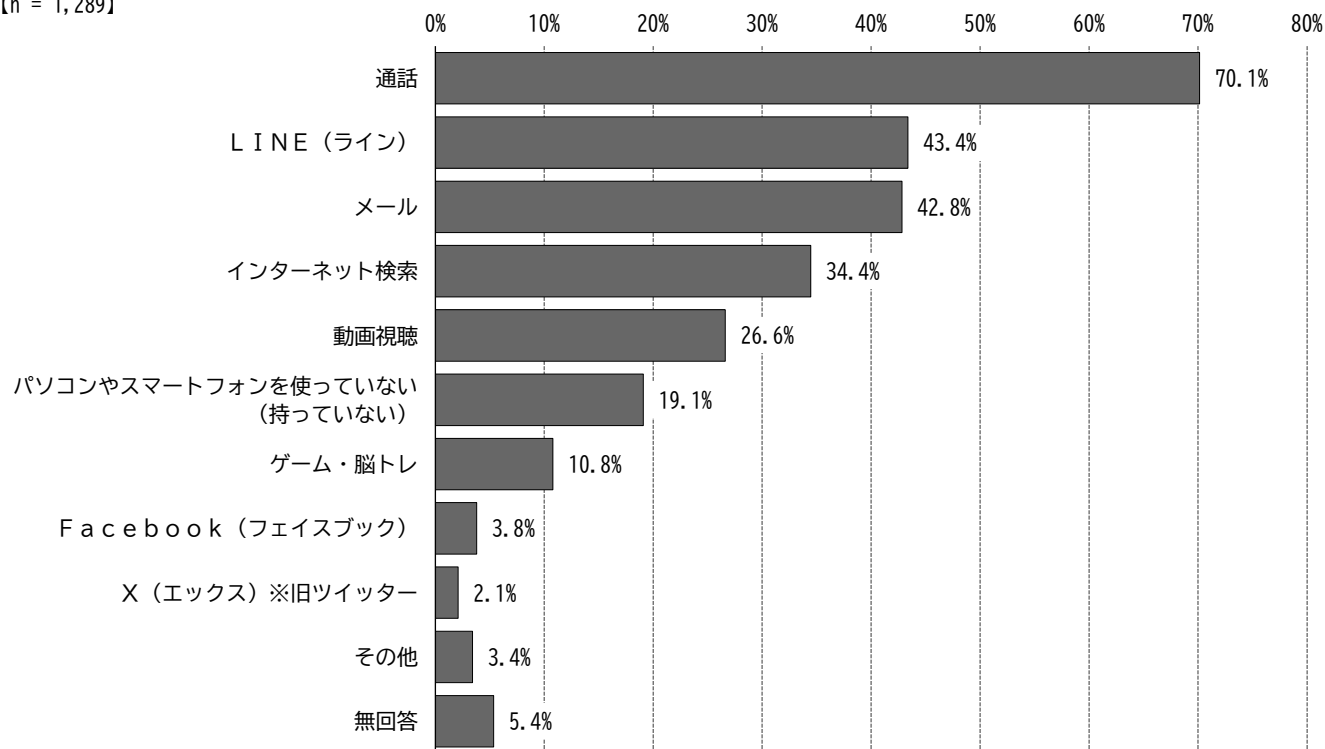


趣味の内容については、園芸・家庭菜園、花づくり、ゴルフ、読書、ウォーキング・散歩、カラオケ、手芸・編み物、旅行、釣り、音楽・映画鑑賞などが多く挙げられている。身近な場所で継続しやすい活動や、健康維持、交流、生きがいにつながる活動が幅広くみられた。

(15) パソコンやスマートフォンで利用している機能・アプリは何ですか（〇はいくつでも）

パソコンやスマートフォンで利用している機能・アプリについては、「通話」が70.1%で最も高く、次いで「LINE」が43.4%、「メール」が42.8%、「インターネット検索」が34.4%、「動画視聴」が26.6%となっている。

【n = 1,289】

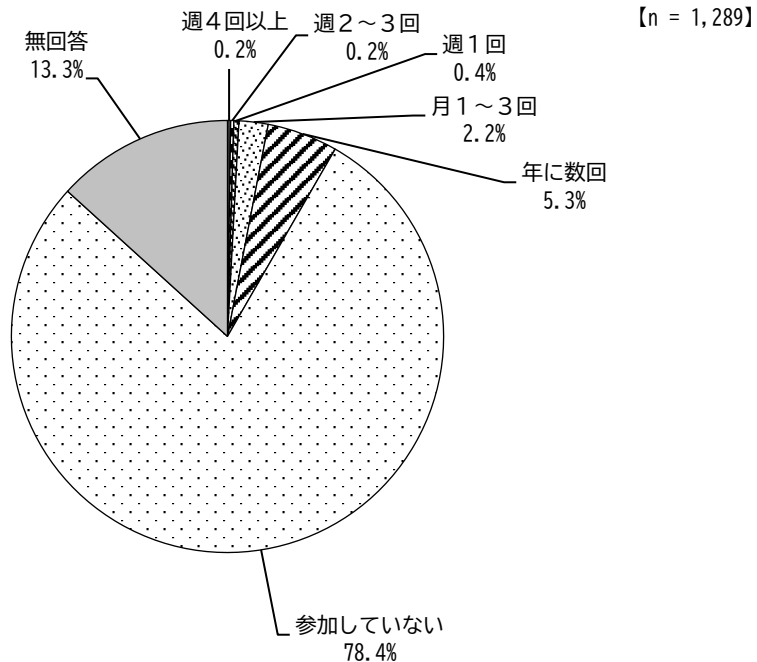


6. 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

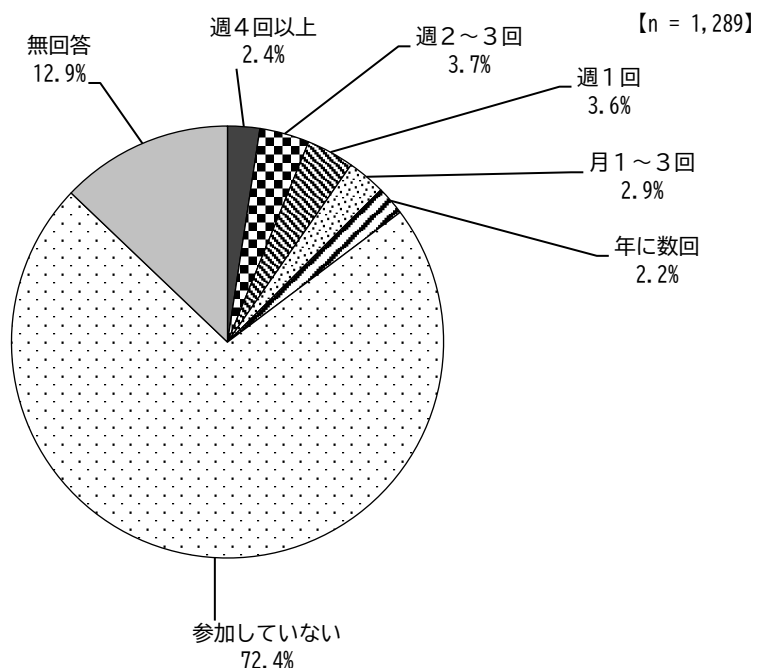
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループについては、「参加していない」が78.4%で最も高く、次いで「年に数回」が5.3%、「月1～3回」が2.2%となっている。



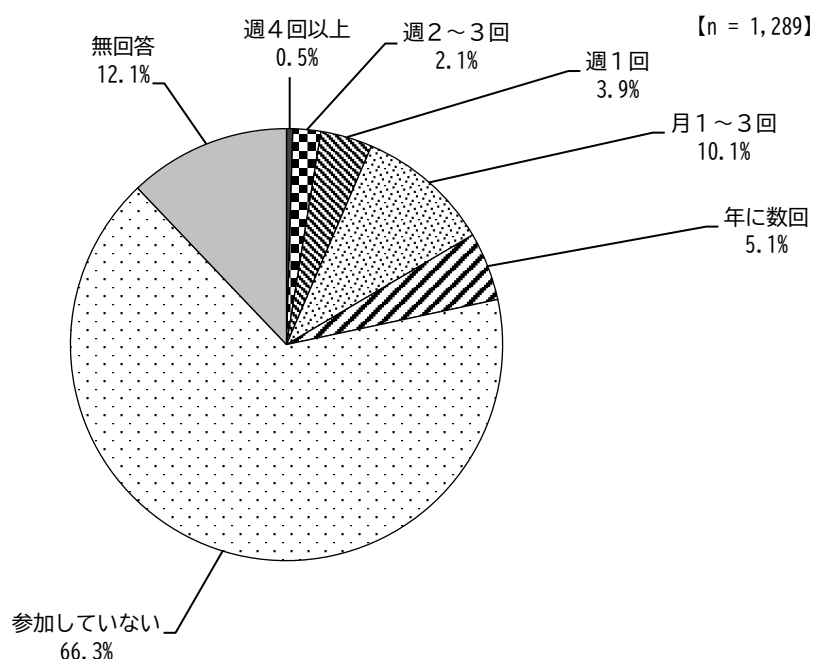
② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブについては、「参加していない」が72.4%で最も高く、次いで「週2～3回」が3.7%、「週1回」が3.6%となっている。



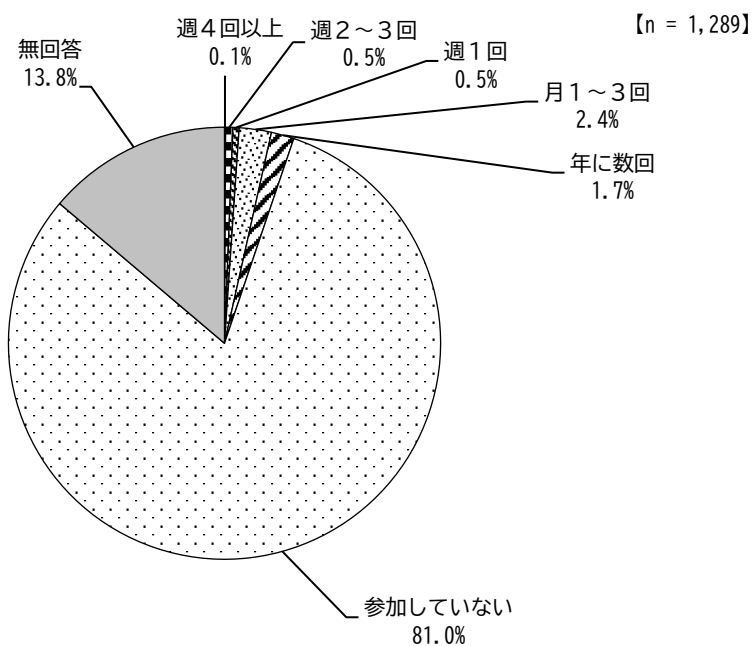
③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループについては、「参加していない」が66.3%で最も高く、次いで「月1～3回」が10.1%、「年に数回」が5.1%となっている。



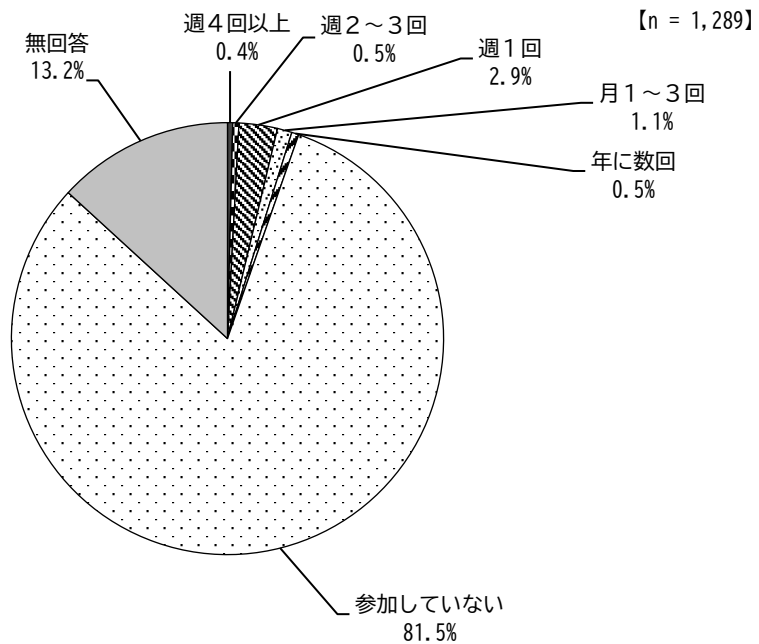
④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルについては、「参加していない」が81.0%で最も高く、次いで「月1～3回」が2.4%、「年に数回」が1.7%となっている。



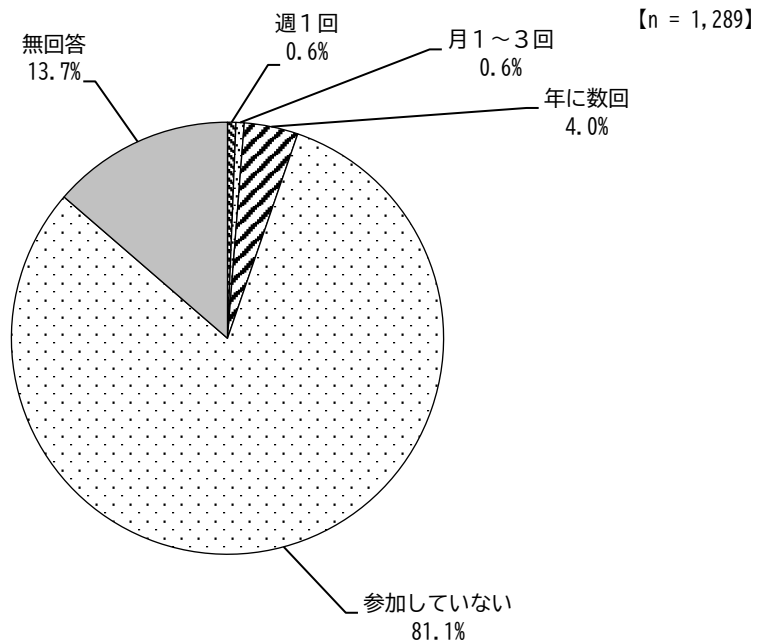
⑤ 通いの場（あさピー☆きらり体操）

通いの場（あさピー☆きらり体操）については、「参加していない」が81.5%で最も高く、次いで「週1回」が2.9%、「月1～3回」が1.1%となっている。



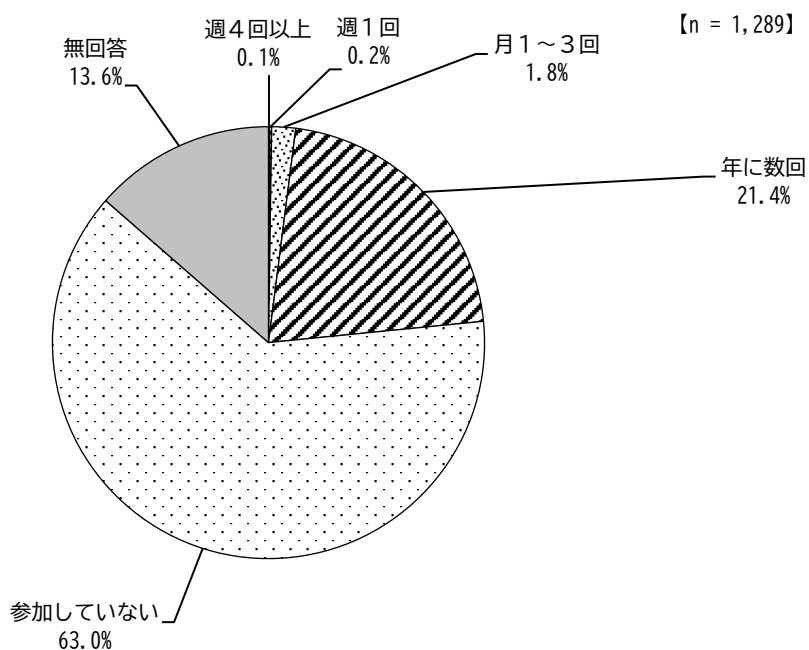
⑥ 老人クラブ

老人クラブについては、「参加していない」が81.1%で最も高く、次いで「年に数回」が4.0%、「週1回」「月1～3回」が0.6%となっている。



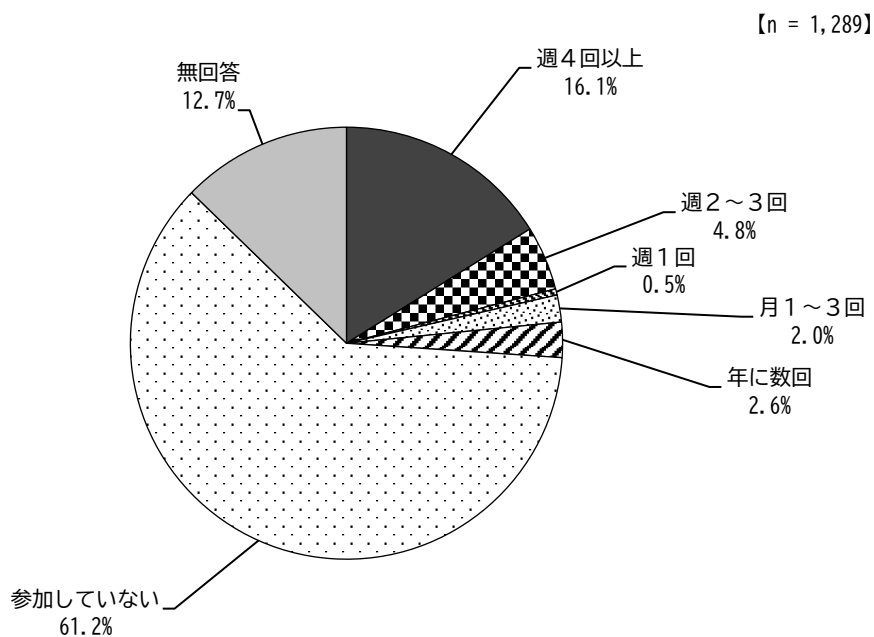
⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会については、「参加していない」が 63.0%で最も高く、次いで「年に数回」が 21.4%、「月1～3回」が 1.8%となっている。



⑧ 収入のある仕事

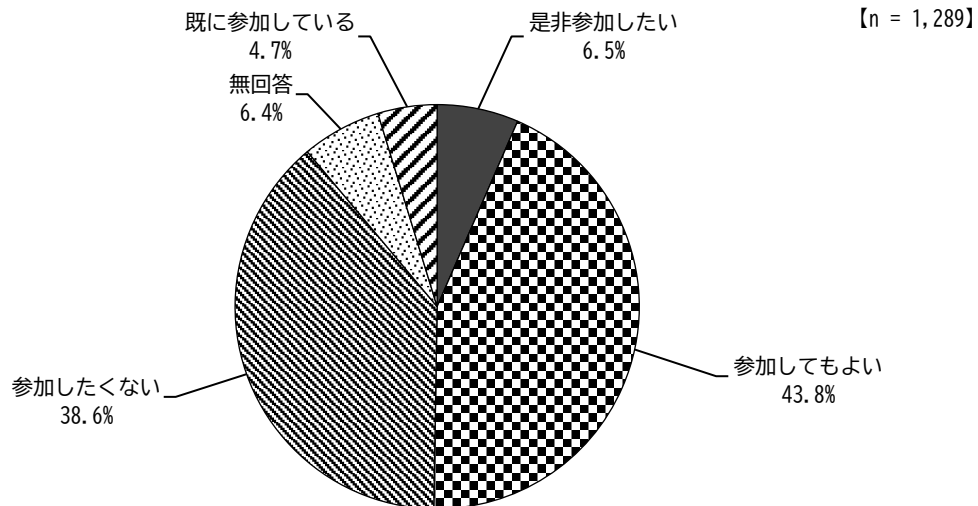
収入のある仕事については、「参加していない」が 61.2%で最も高く、次いで「週4回以上」が 16.1%、「週2～3回」が 4.8%となっている。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

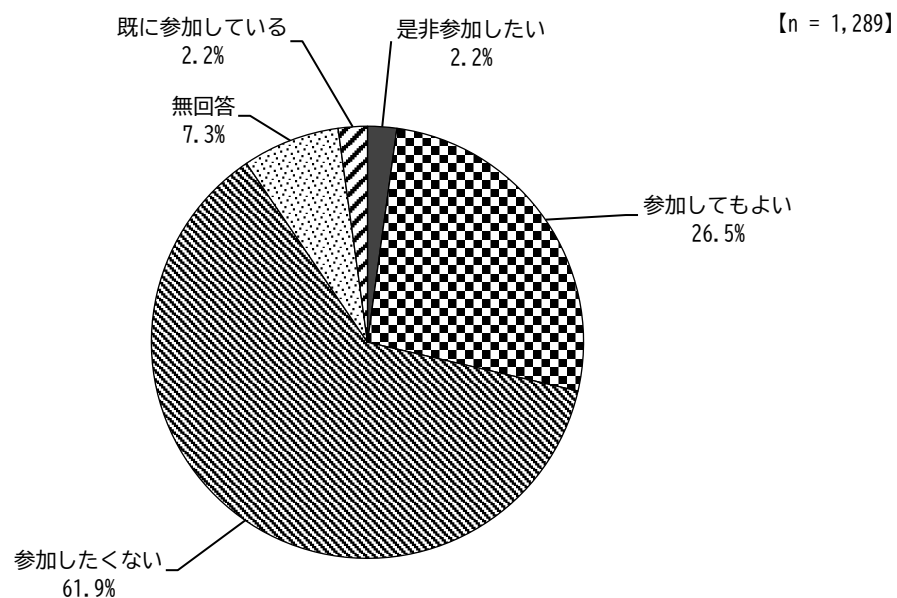
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向については、「参加してもよい」が43.8%で最も高く、次いで「参加したくない」が38.6%、「是非参加したい」が6.5%、「既に参加している」が4.7%となっている。

「参加してもよい」「是非参加したい」を合わせると50.3%となっている。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

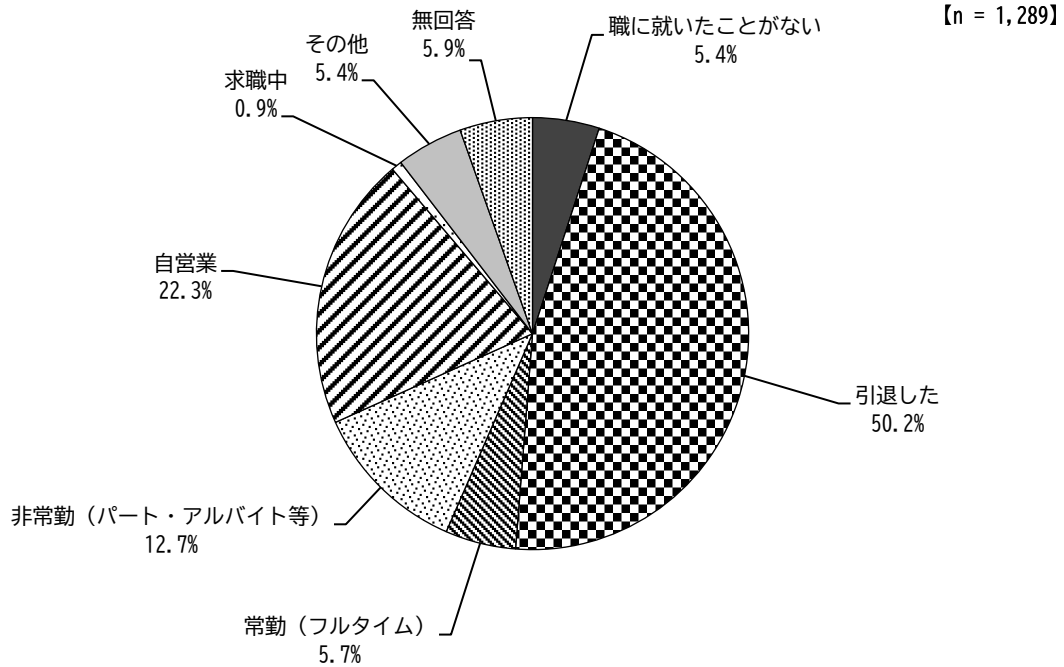
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が61.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が26.5%、「是非参加したい」「既に参加している」がともに2.2%となっている。



7. 就労について

（１）現在のあなたの就労状態はどれですか（○はいくつでも）

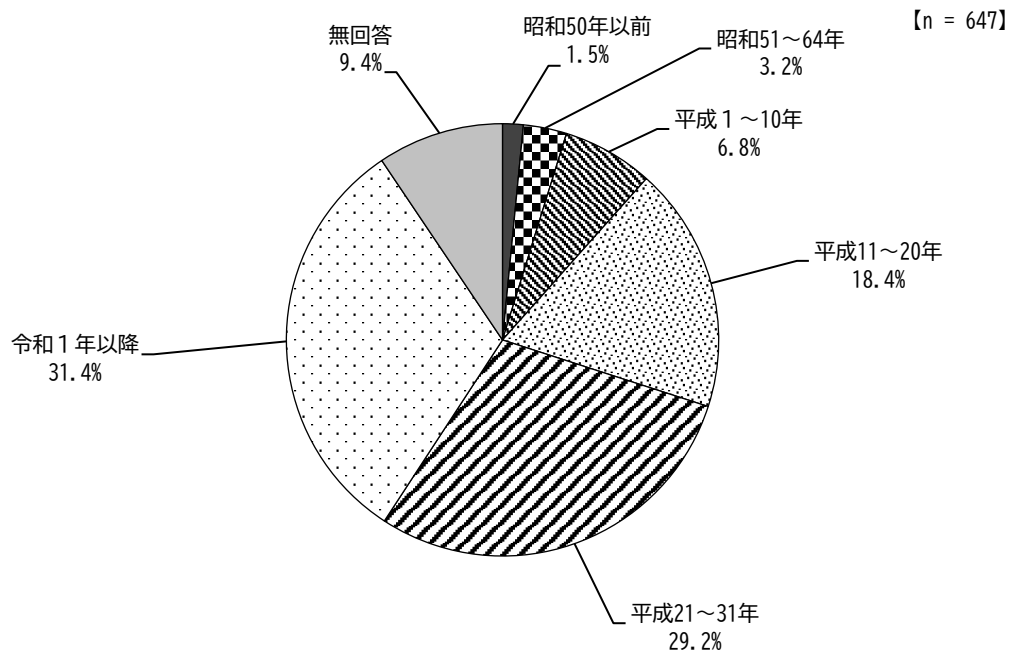
就労状態については、「引退した」が50.2%で最も高く、次いで「自営業」が22.3%、「非常勤」が12.7%、「常勤」が5.7%となっている。



【（１）において「2. 引退した」の方のみ】

① あなたはいつ引退しましたか

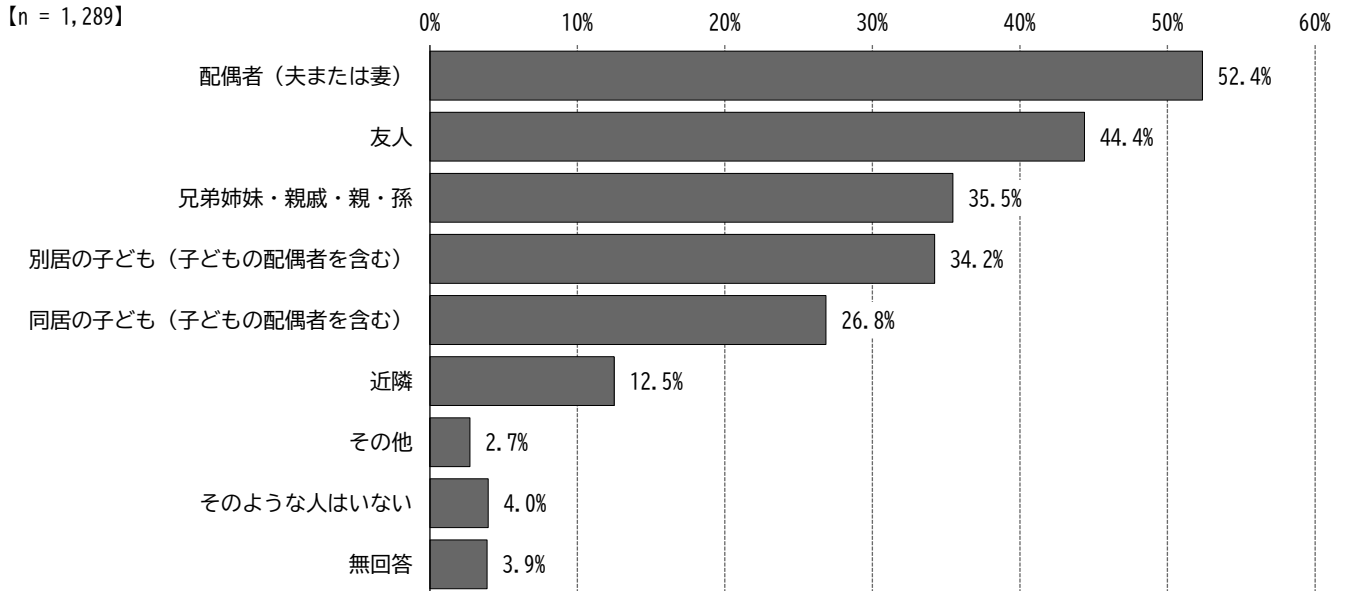
いつ引退しましたかについては、「令和1年以降」が31.4%で最も高く、次いで「平成21～31年」が29.2%、「平成11～20年」が18.4%となっている。



8. たすけあいについて

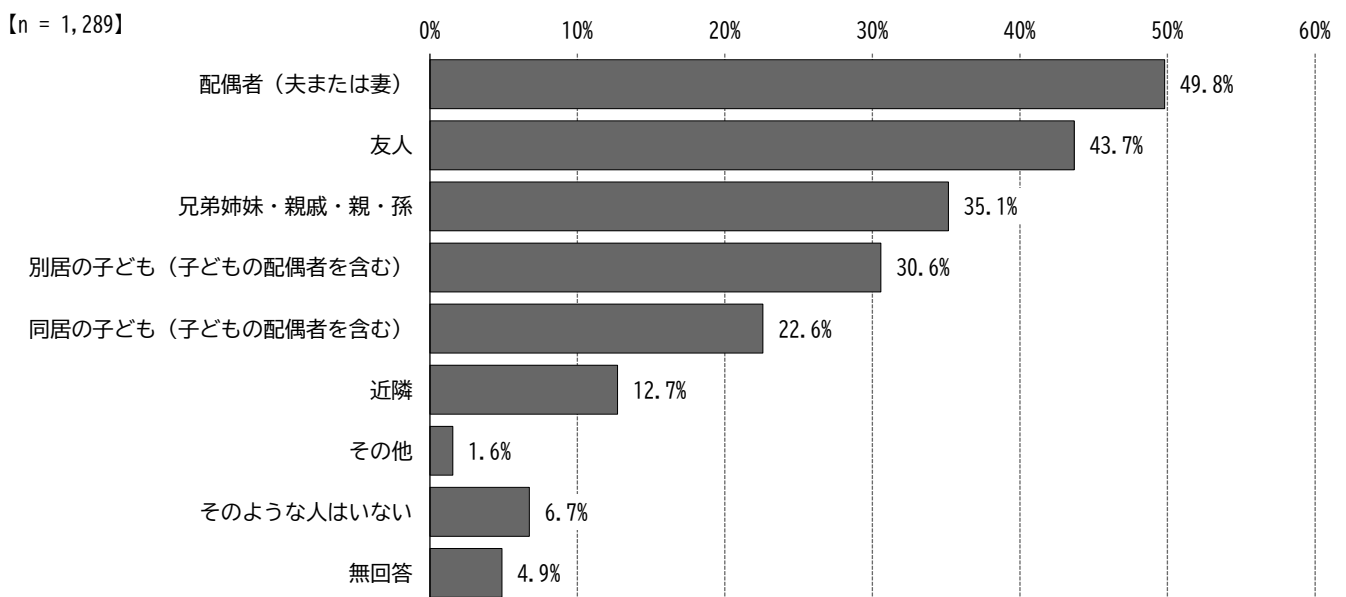
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者（夫または妻）」が52.4%で最も高く、次いで「友人」が44.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.5%、「別居の子ども（子どもの配偶者を含む）」が34.2%、「同居の子ども（子どもの配偶者を含む）」が26.8%となっている。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

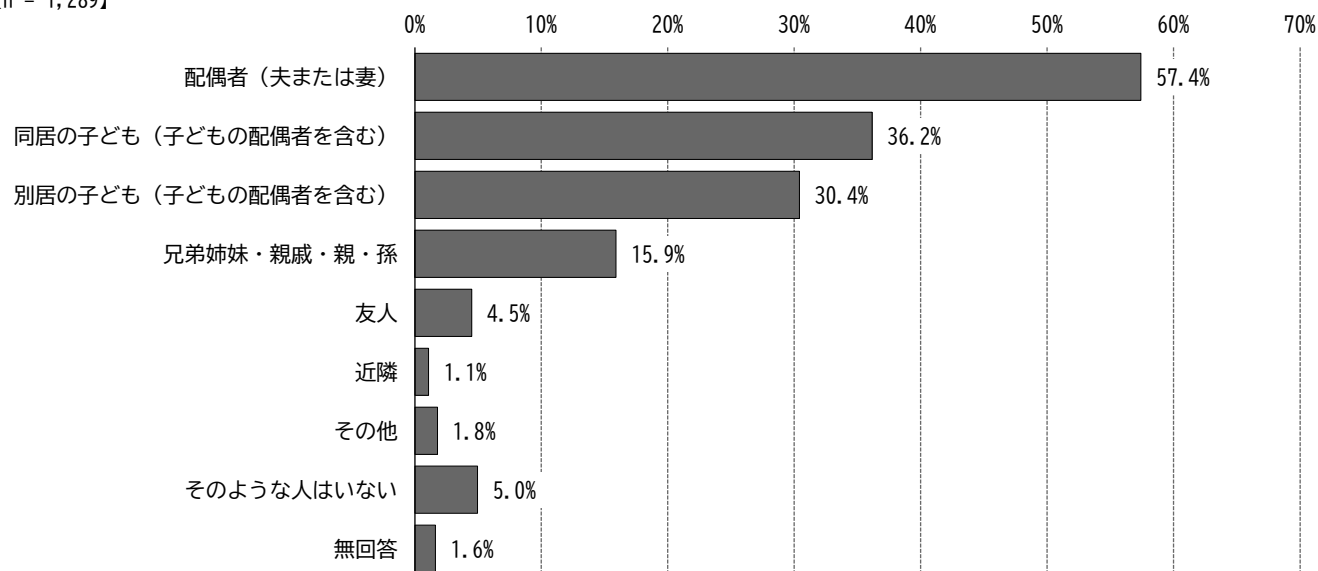
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者（夫または妻）」が49.8%で最も高く、次いで「友人」が43.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.1%、「別居の子ども（子どもの配偶者を含む）」が30.6%、「同居の子ども（子どもの配偶者を含む）」が22.6%となっている。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者 (夫または妻)」が57.4%で最も高く、次いで「同居の子ども (子どもの配偶者を含む)」が36.2%、「別居の子ども (子どもの配偶者を含む)」が30.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が15.9%、「そのような人はいない」が5.0%となっている。

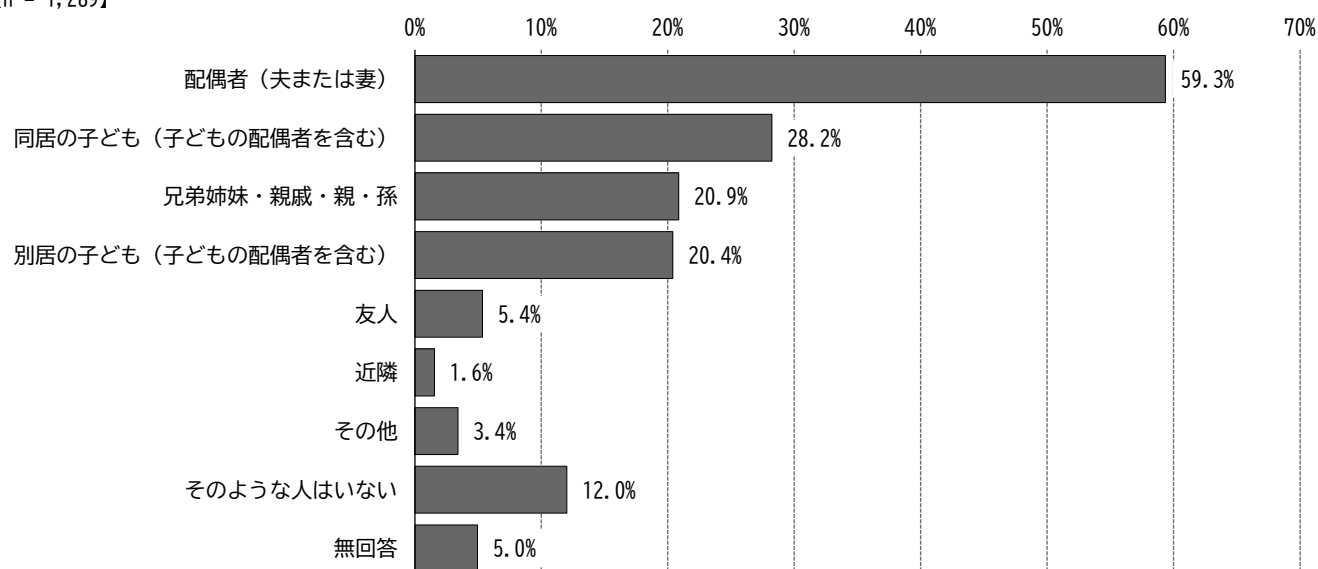
【n = 1,289】



(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (〇はいくつでも)

反対に、看病や世話をしてあげる人については、「配偶者 (夫または妻)」が59.3%で最も高く、次いで「同居の子ども (子どもの配偶者を含む)」が28.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.9%、「別居の子ども (子どもの配偶者を含む)」が20.4%、「そのような人はいない」が12.0%となっている。

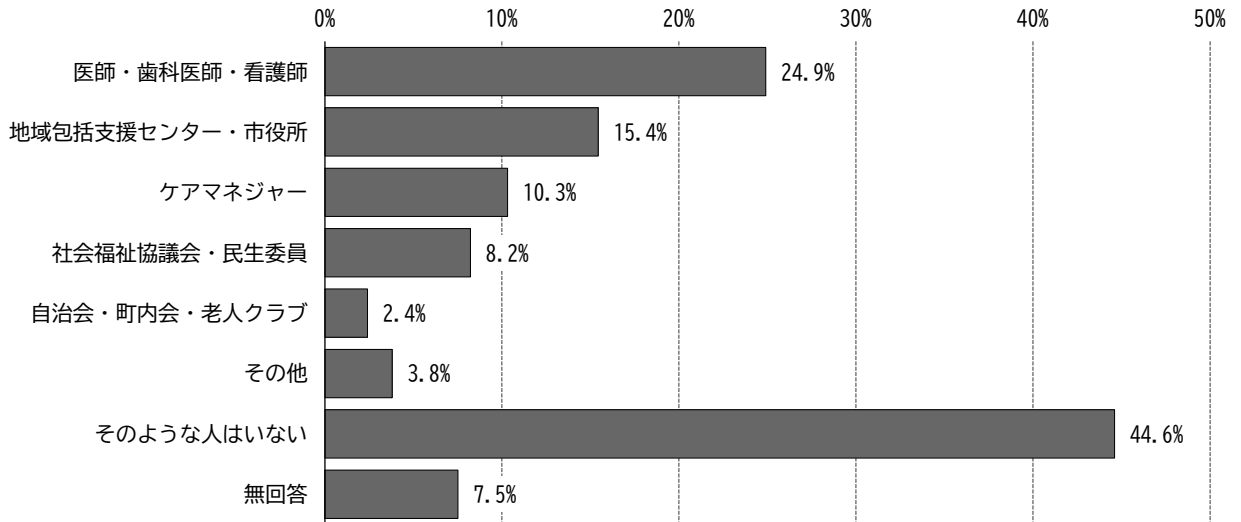
【n = 1,289】



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（〇はいくつでも）

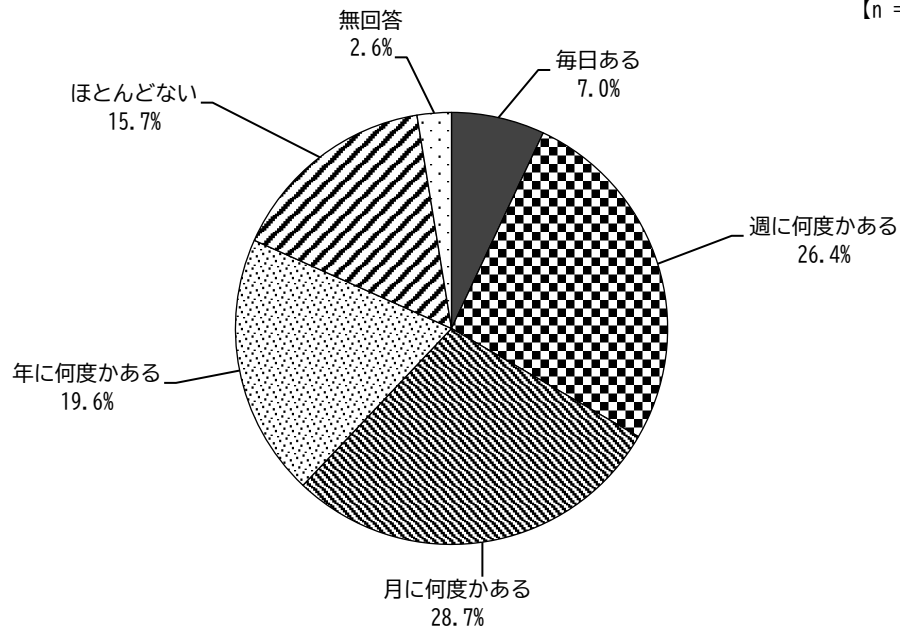
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてくださいについては、「そのような人はいない」が44.6%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が24.9%、「地域包括支援センター・市役所」が15.4%となっている。

【n = 1,289】

**(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（〇は1つ）**

友人・知人と会う頻度はどれくらいですかについては、「月に何度かある」が28.7%で最も高く、次いで「週に何度かある」が26.4%、「年に何度かある」が19.6%となっている。

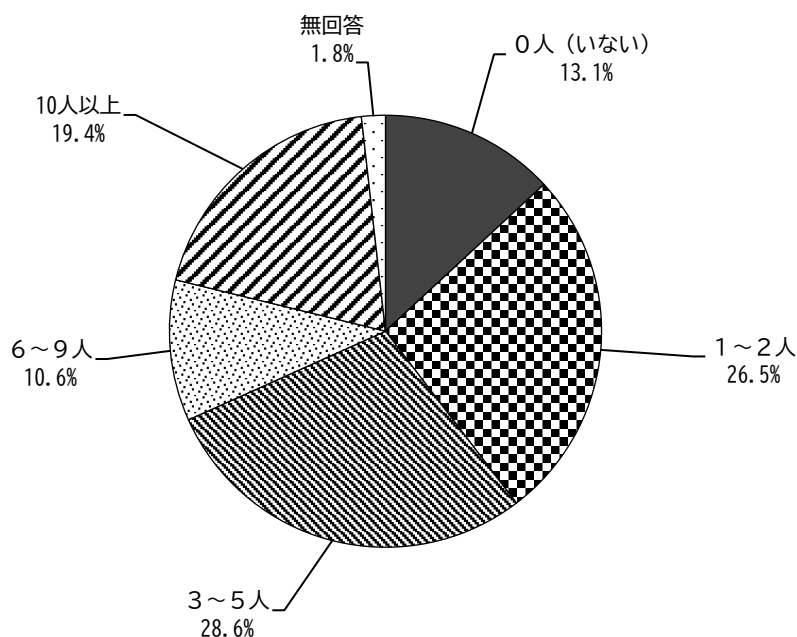
【n = 1,289】



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (〇は1つ)
同じ人には何度あっても1人と数えることとします

この1か月間、何人の友人・知人と会いましたかについては、「3～5人」が28.6%で最も高く、次いで「1～2人」が26.5%、「10人以上」が19.4%となっている。

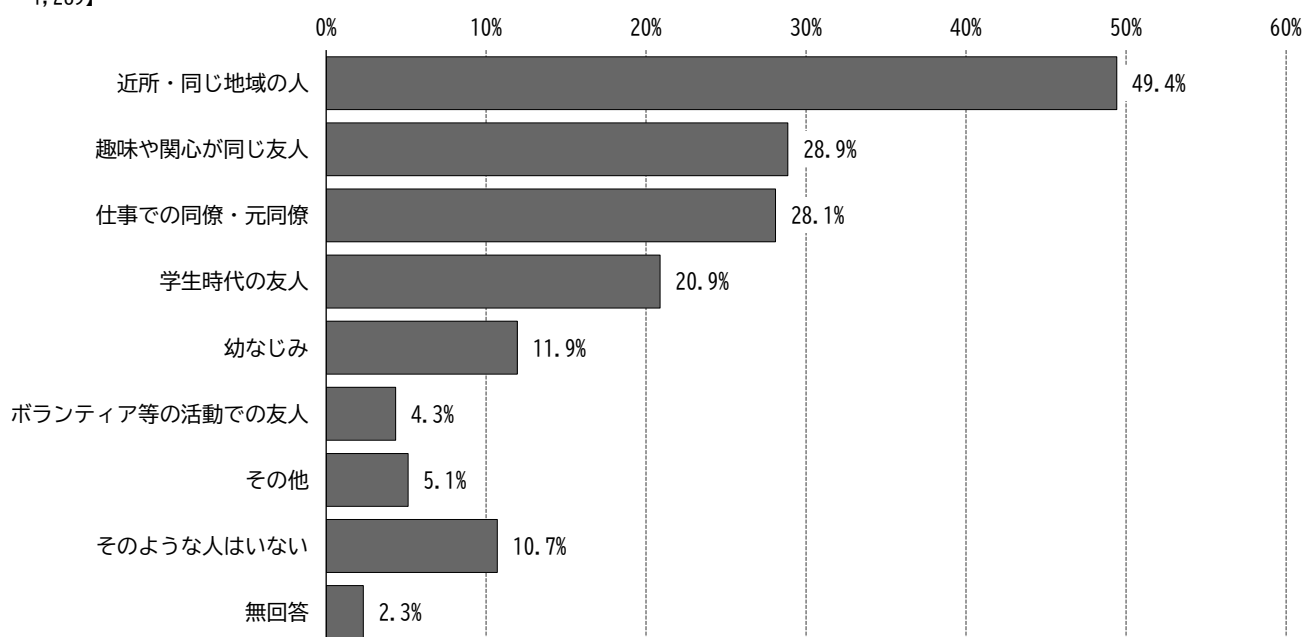
【n = 1,289】



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

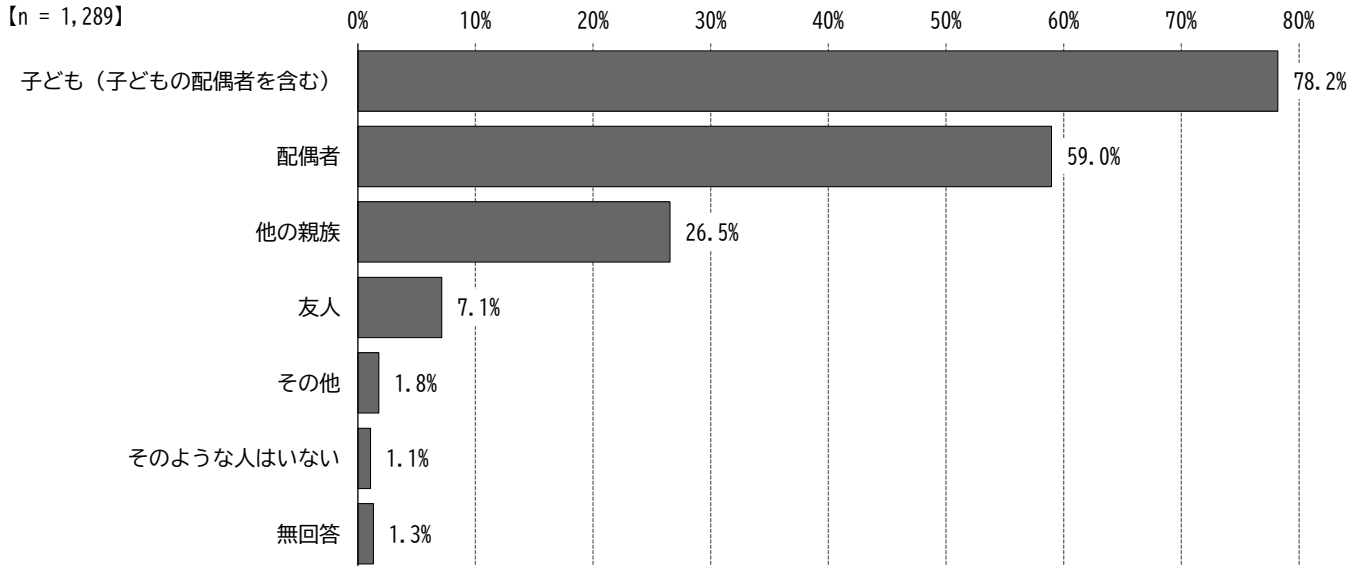
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですかについては、「近所・同じ地域の人」が49.4%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が28.9%、「仕事での同僚・元同僚」が28.1%、「学生時代の友人」が20.9%、「幼なじみ」が11.9%となっている。

【n = 1,289】



**(9) あなたが入院や施設入所などの際、緊急連絡先など頼れる人を教えてください
(〇はいくつでも)**

あなたが入院や施設入所などの際、緊急連絡先など頼れる人を教えてくださいについては、「子ども（子どもの配偶者を含む）」が78.2%で最も高く、次いで「配偶者」が59.0%、「他の親族」が26.5%、「友人」が7.1%、「そのような人はいない」が1.1%となっている。

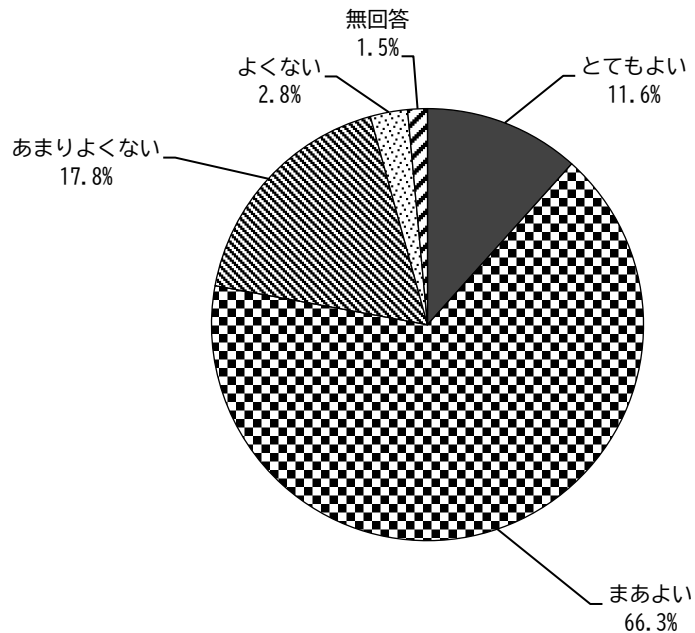


9. 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

現在のあなたの健康状態はいかがですかについては、「まあよい」が 66.3%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 17.8%、「とてもよい」が 11.6%となっている。

【n = 1,289】

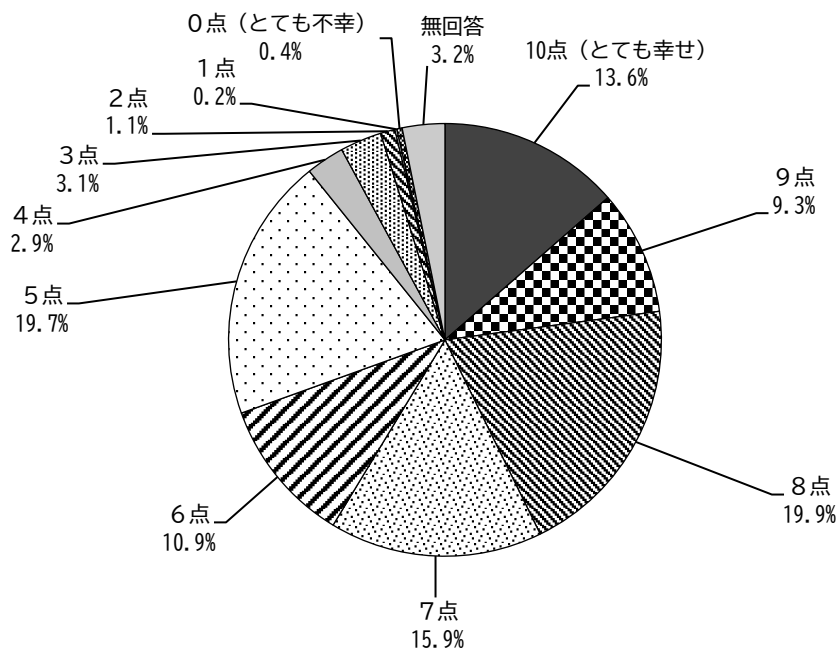


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をつけてください

現在どの程度幸せですかについては、「8点」が 19.9%で最も高く、次いで「5点」が 19.7%、「7点」が 15.9%となっており、平均すると7.0点となっている。

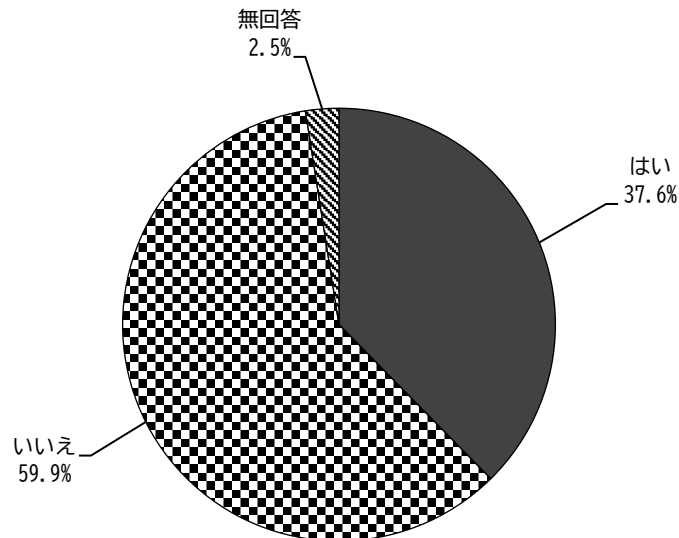
【n = 1,289】



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたかについては、「いいえ」が59.9%、「はい」が37.6%となっている。

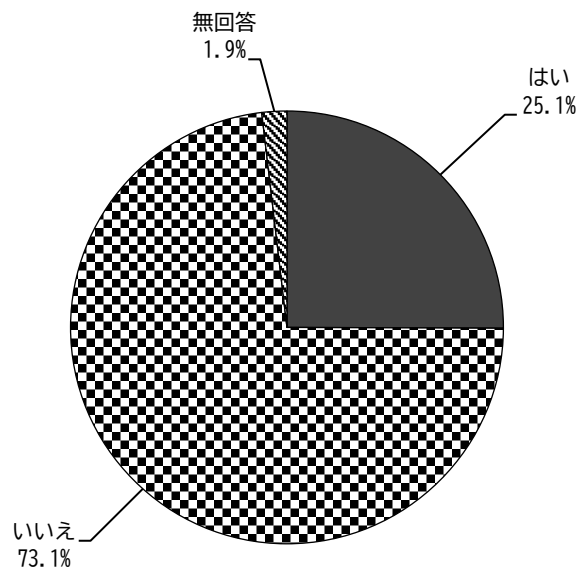
【n = 1,289】



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は1つ)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたかについては、「いいえ」が73.1%、「はい」が25.1%となっている。

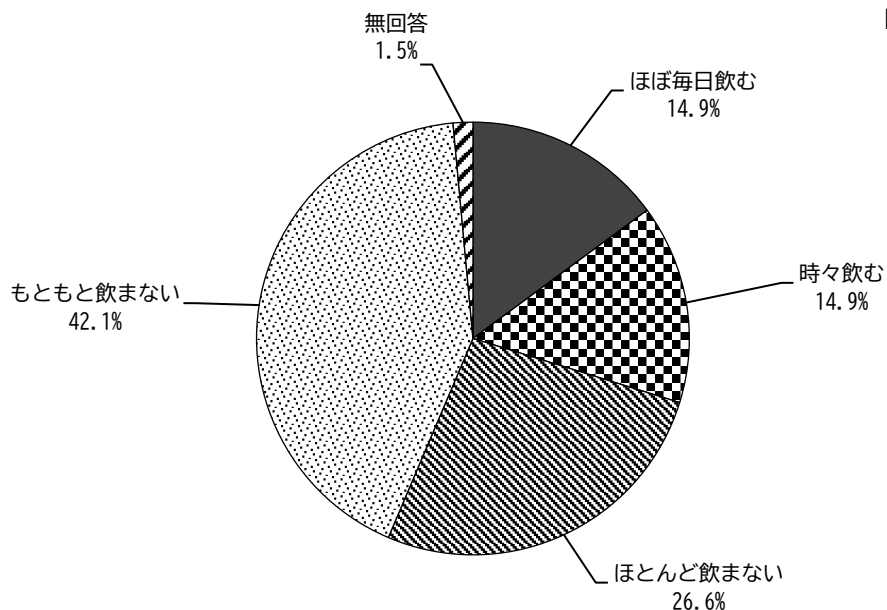
【n = 1,289】



(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

お酒は飲みますかについては、「もともと飲まない」が42.1%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.6%、「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」が14.9%となっている。

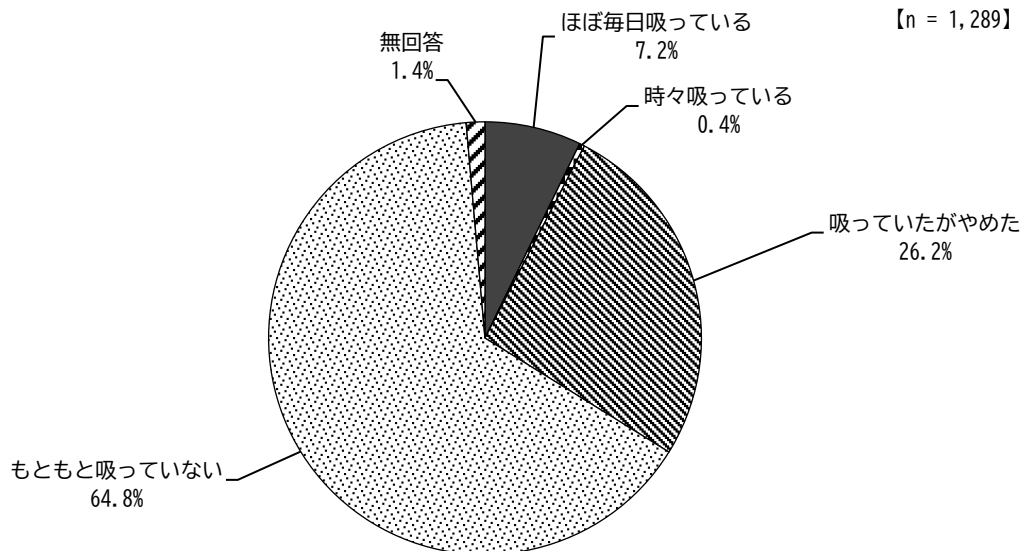
【n = 1,289】



(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

タバコは吸っていますかについては、「もともと吸っていない」が64.8%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が26.2%、「ほぼ毎日吸っている」が7.2%となっている。

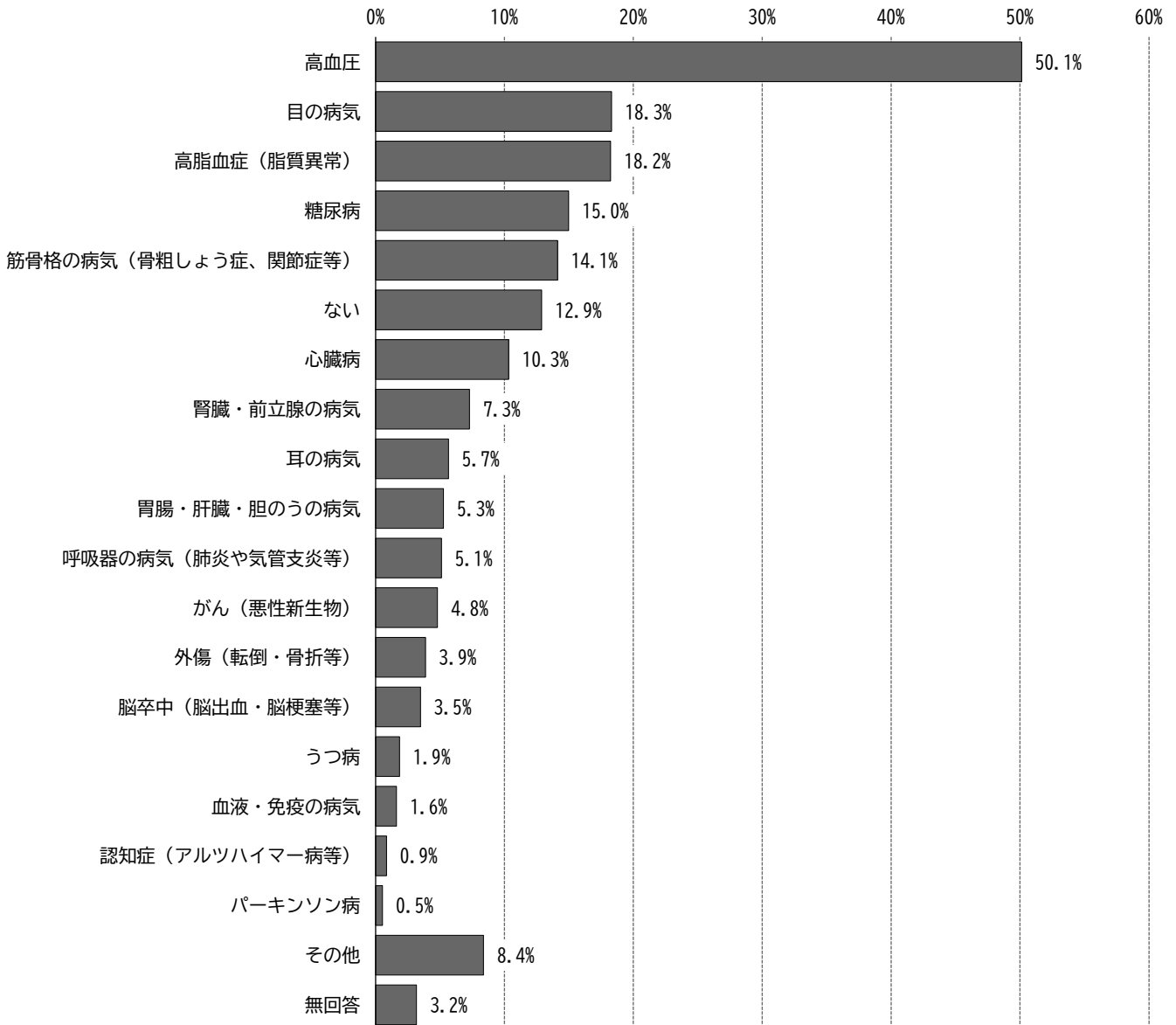
【n = 1,289】



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気はありますかについては、「高血圧」が50.1%で最も高く、次いで「目の病気」が18.3%、「高脂血症（脂質異常）」が18.2%、「糖尿病」が15.0%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が14.1%となっている。

【n = 1,289】

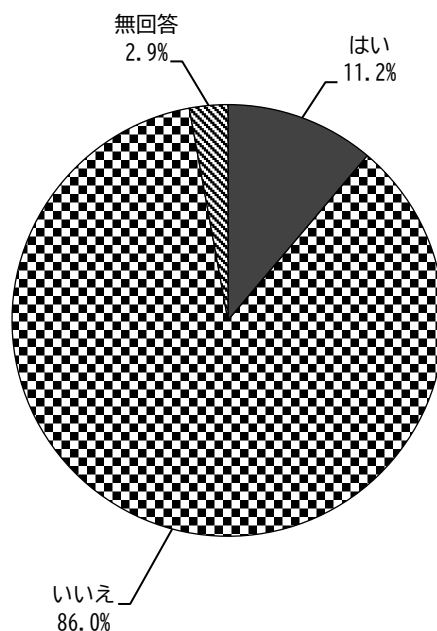


10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますか (○は1つ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますかについては、「いいえ」が86.0%、「はい」が11.2%となっている。

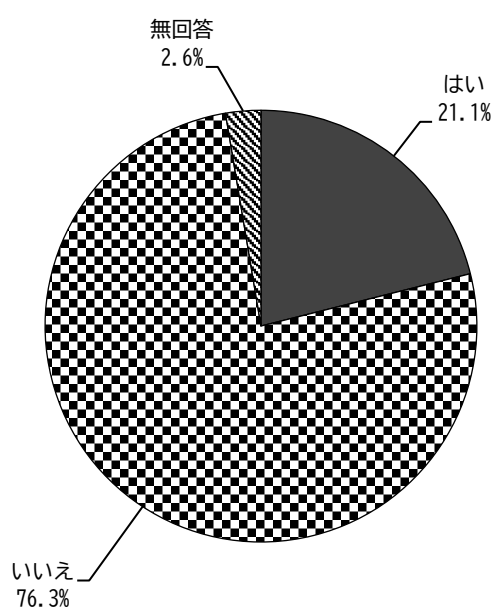
【n = 1,289】



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っていますかについては、「いいえ」が76.3%、「はい」が21.1%となっている。

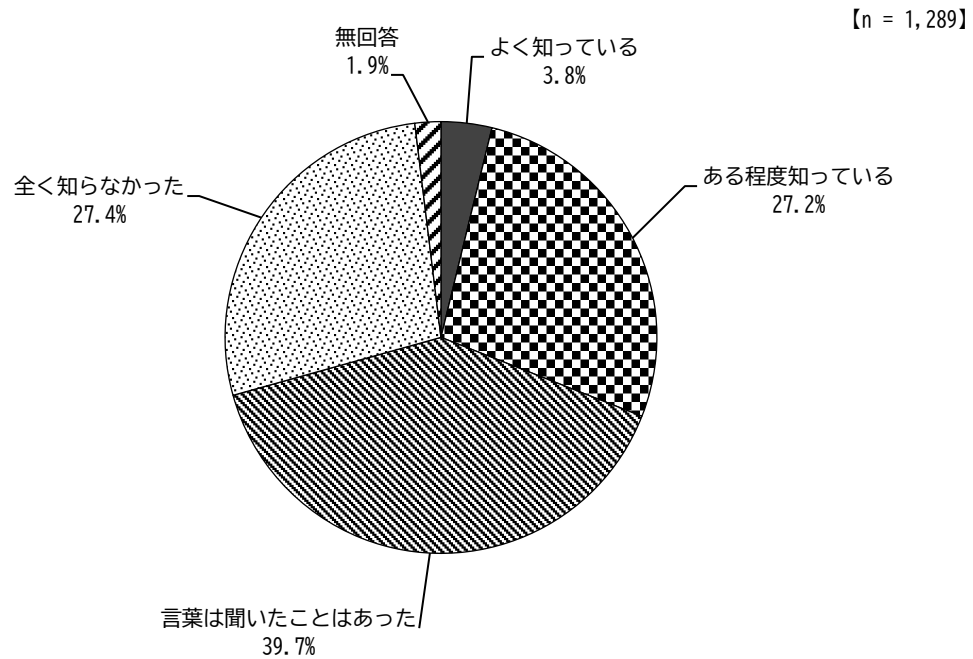
【n = 1,289】



(3) 成年後見制度を知っていますか (〇は1つ)

成年後見制度を知っていますかについては、「言葉は聞いたことはあった」が39.7%で最も高く、次いで「全く知らなかった」が27.4%、「ある程度知っている」が27.2%となっている。

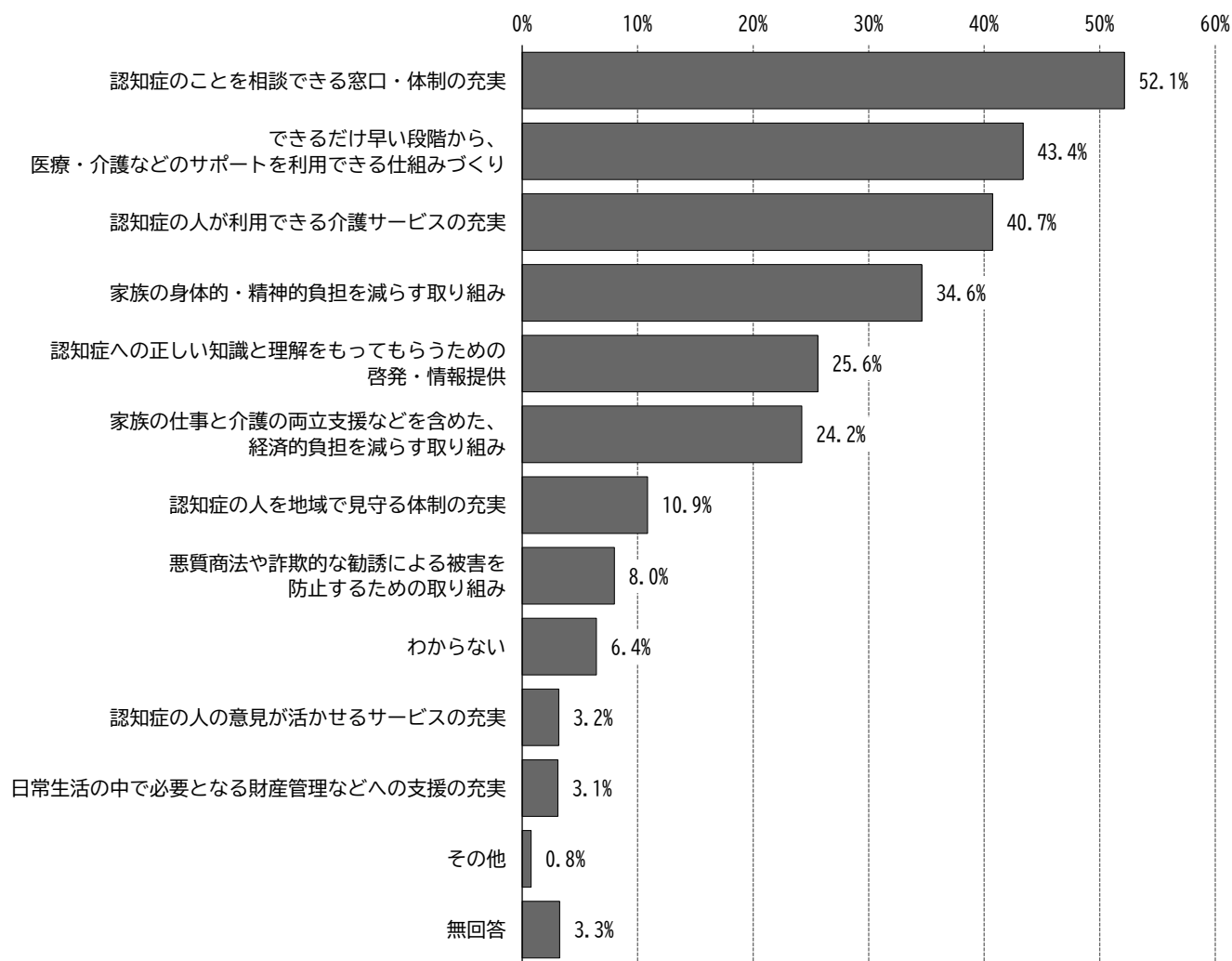
「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせると31.1%となっている。



(4) 2040年には高齢者の約3.3人に1人が認知症（軽度認知障害含む）になると見込まれていますが、今後、増加する認知症への取組として、市が力を入れるべき施策は何だと思いませんか（〇は3つまで）

今後、増加する認知症への取組として、市が力を入れるべき施策については、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が52.1%で最も高く、次いで「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が43.4%、「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」が40.7%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が34.6%、「認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供」が25.6%となっている。

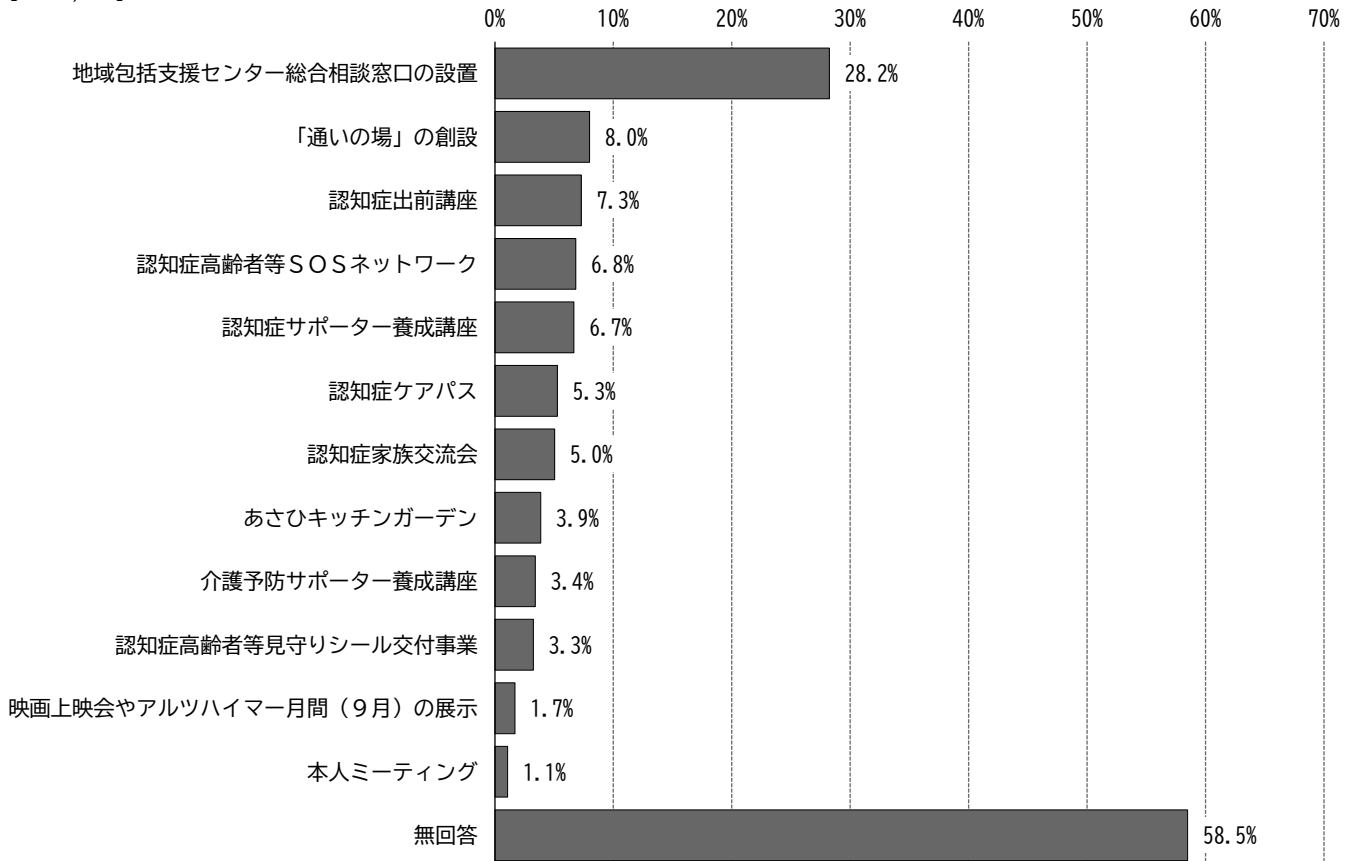
【n = 1,289】



(5) 旭市の認知症施策について知っているものはどれですか（〇はいくつでも）

旭市の認知症施策について知っているものはどれですかについては、「地域包括支援センター総合相談窓口の設置（認知症のことを相談できる窓口）」が28.2%で最も高く、次いで「「通いの場」の創設（運動や交流を行うことで認知症を予防）」が8.0%、「認知症出前講座（認知症の正しい知識や予防についての講座）」が7.3%となっている。

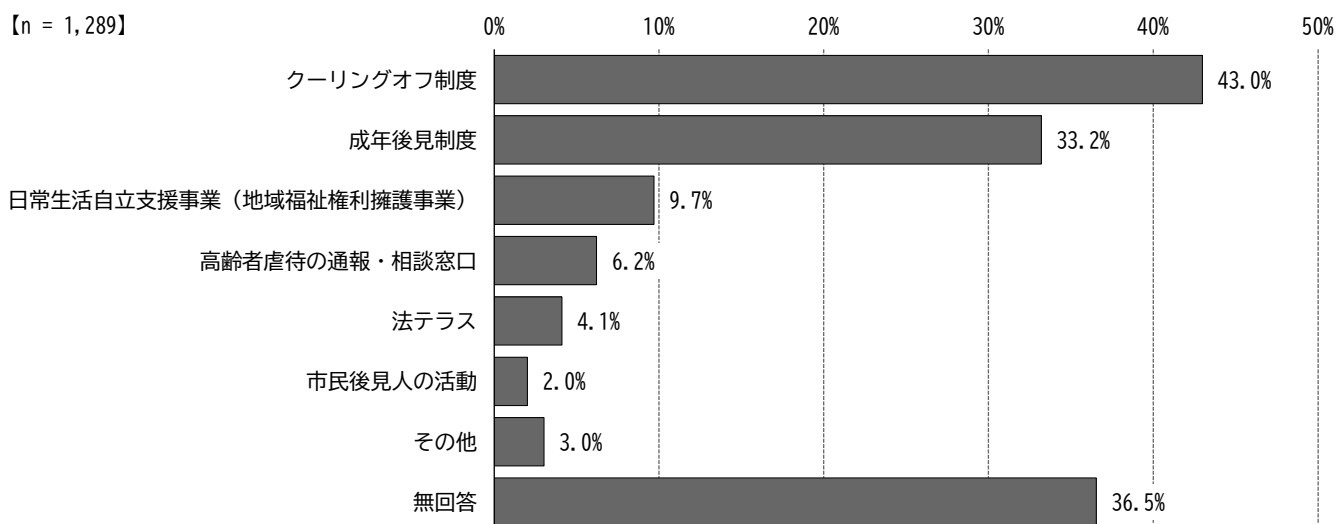
【n = 1,289】



11. 権利擁護について

(1) 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか（〇はいくつでも）

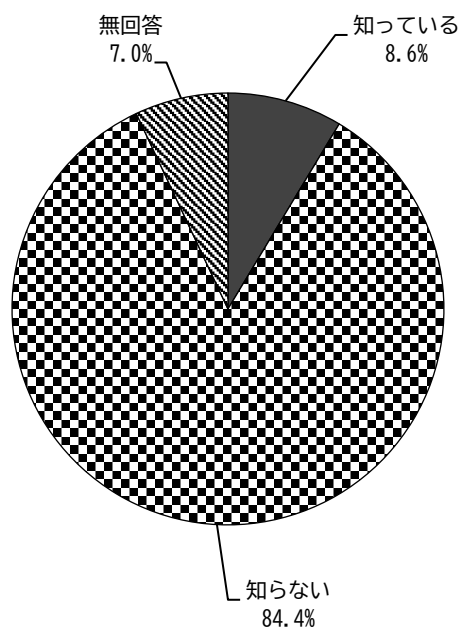
高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですかについては、「クーリングオフ制度」が 43.0%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 33.2%、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」が9.7%となっている。



(2) 高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか（〇は1つ）

高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますかについては、「知らない」が 84.4%、「知っている」が8.6%となっている。

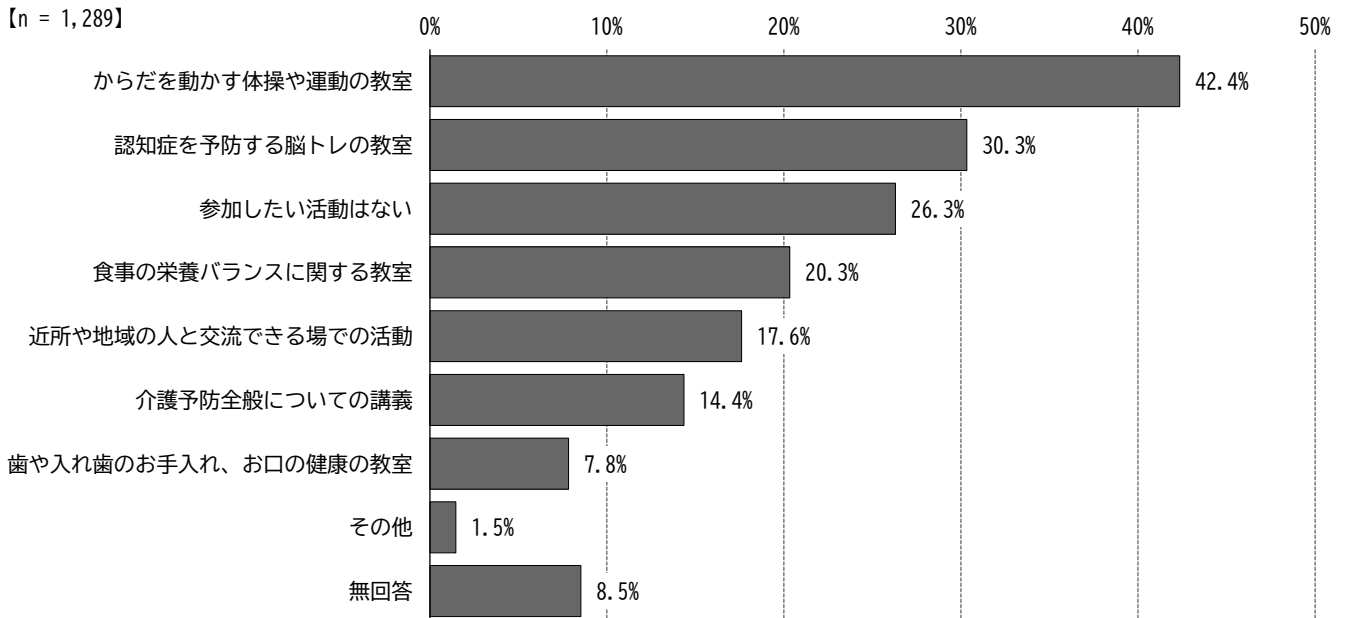
【n = 1,289】



12. 生きがいづくり・介護予防について

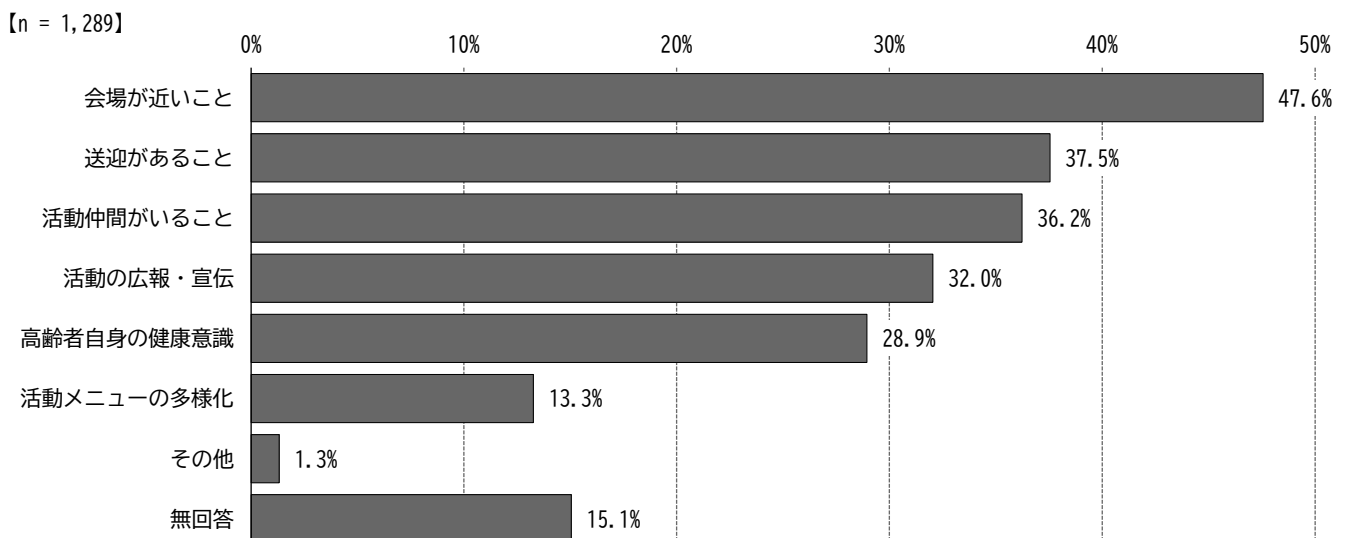
(1) 体力や生活機能の維持・向上のため、あなたが今後、参加したい(続けたい)活動メニューはどれですか(〇はいくつでも)

体力や生活機能の維持・向上のため、あなたが今後、参加したい(続けたい)活動メニューについては、「からだを動かす体操や運動の教室」が42.4%で最も高く、次いで「認知症を予防する脳トレの教室」が30.3%、「参加したい活動はない」が26.3%、「食事の栄養バランスに関する教室」が20.3%、「近所や地域の人と交流できる場での活動」が17.6%となっている。



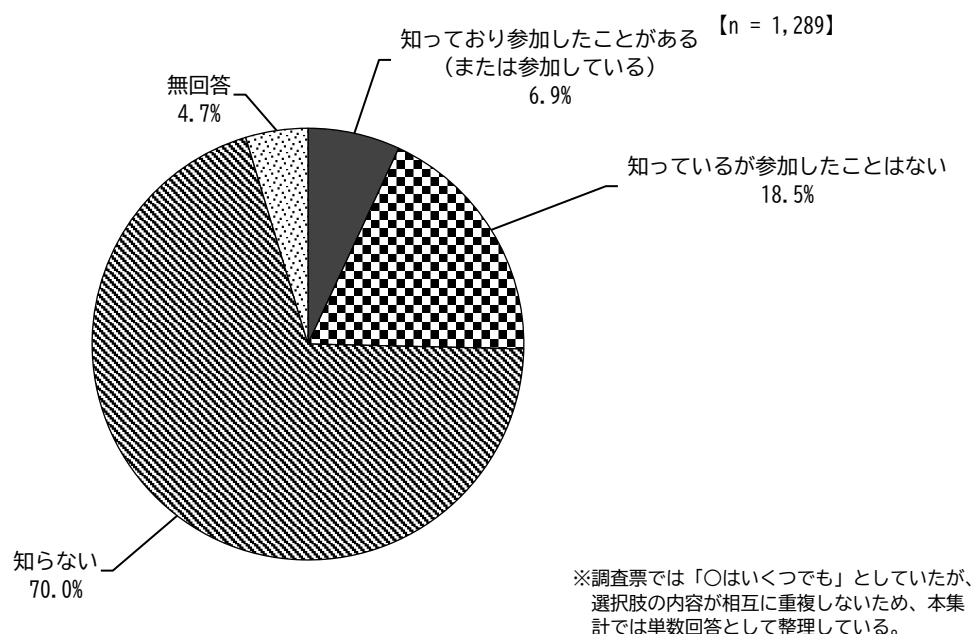
(2) 前問(1)の活動に、より多くの人に参加するために、重要だと思うことは何ですか(〇はいくつでも)

体力や生活機能の維持・向上のための活動に、より多くの人に参加するために、重要だと思うことについては、「会場が近いこと」が47.6%で最も高く、次いで「送迎があること」が37.5%、「活動仲間がいること」が36.2%、「活動の広報・宣伝」が32.0%、「高齢者自身の健康意識」が28.9%となっている。



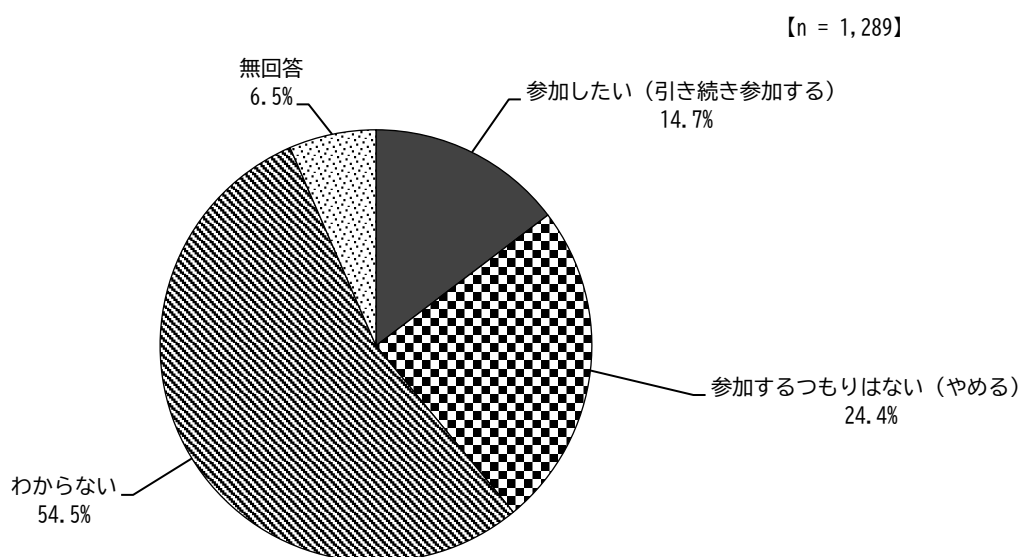
(3) 旭市では、高齢者が地域で声をかけ合い、集会所等で、趣味や運動、「あさピー☆きりり体操」を、自主的に継続して行うことができる「通いの場」を推進していますが、あなたは「通いの場」のことを知っていましたか（〇はいくつでも）

「通いの場」のことを知っていましたかについては、「知らない」が70.0%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が18.5%、「知っており参加したことがある（または参加している）」が6.9%となっている。



① 今後、通いの場に参加したいですか（〇は1つ）

今後、通いの場に参加したいですかについては、「わからない」が54.5%で最も高く、次いで「参加するつもりはない（やめる）」が24.4%、「参加したい（引き続き参加する）」が14.7%となっている。

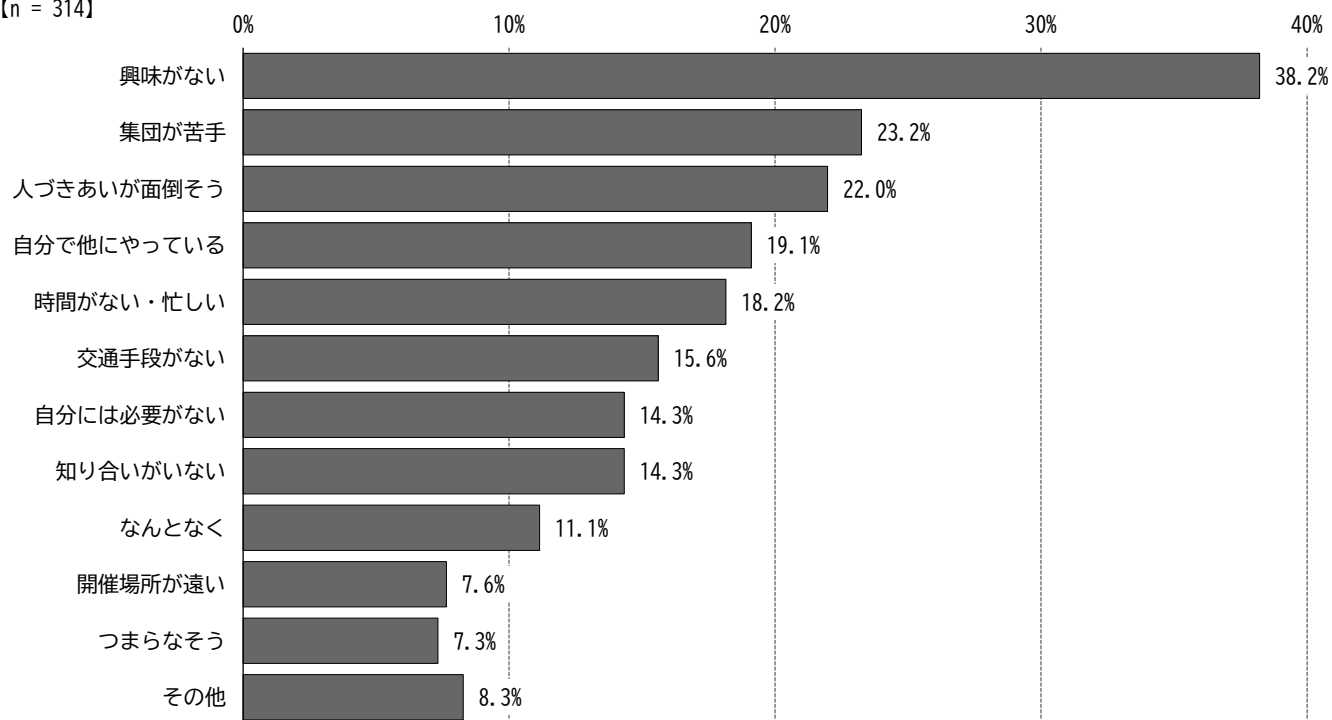


【①において「2. 参加するつもりはない（やめる）」の方のみ】

② 参加しない理由は何ですか（〇はいくつでも）

参加しない理由については、「興味がない」が38.2%で最も高く、次いで「集団が苦手」が23.2%、「人づきあいが面倒そう」が22.0%、「自分で他にやっている」が19.1%、「時間がない・忙しい」が18.2%となっている。

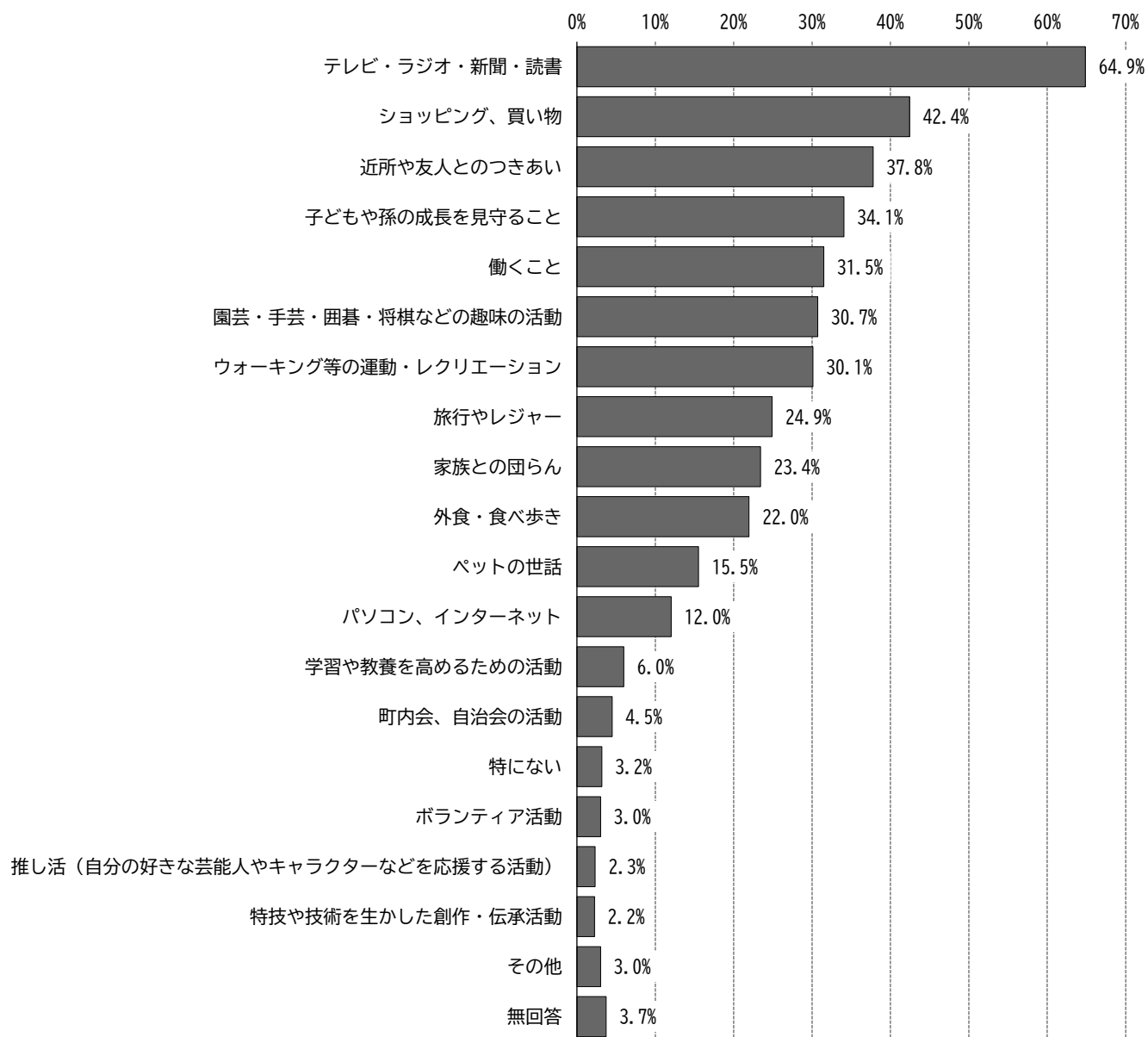
【n = 314】



(4) あなたは元気であるために取り組んでいることはありますか (〇はいくつでも)

あなたは元気であるために取り組んでいることはありますかについては、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が64.9%で最も高く、次いで「ショッピング、買い物」が42.4%、「近所や友人とのつきあい」が37.8%、「子どもや孫の成長を見守ること」が34.1%、「働くこと」が31.5%となっている。

【n = 1,289】

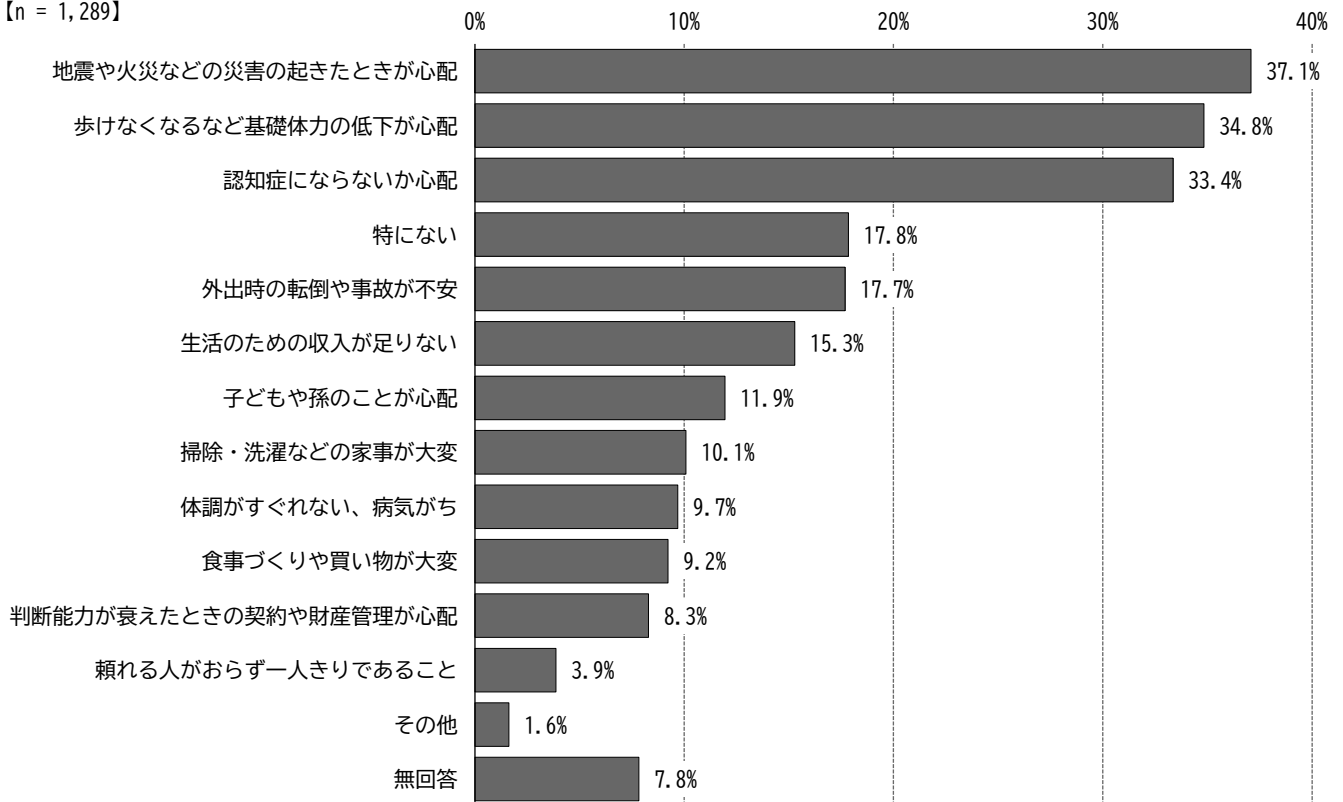


13. 日常生活の心配ごとや必要な支援について

(1) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか（〇はいくつでも）

日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますかについては、「地震や火災などの災害の起きたときが心配」が37.1%で最も高く、次いで「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」が34.8%、「認知症にならないか心配」が33.4%、「特にない」が17.8%、「外出時の転倒や事故が不安」が17.7%となっている。

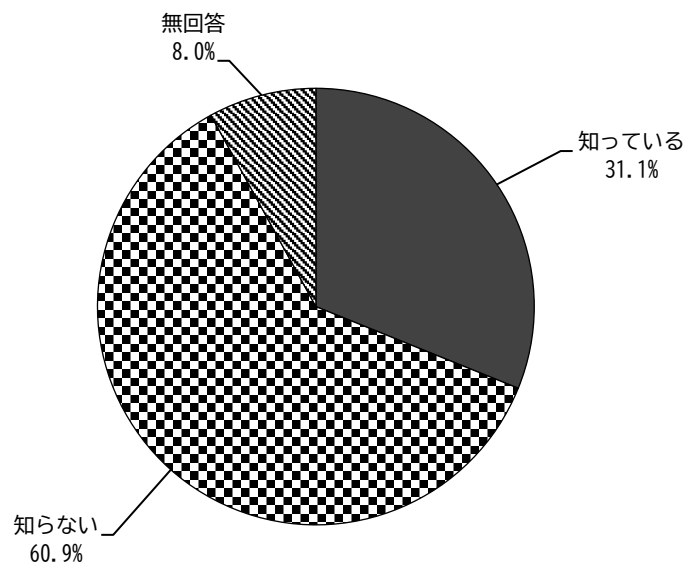
【n = 1,289】



(2) あなたは、お住まいの近くの「地域包括支援センター」を知っていますか（〇は1つ）

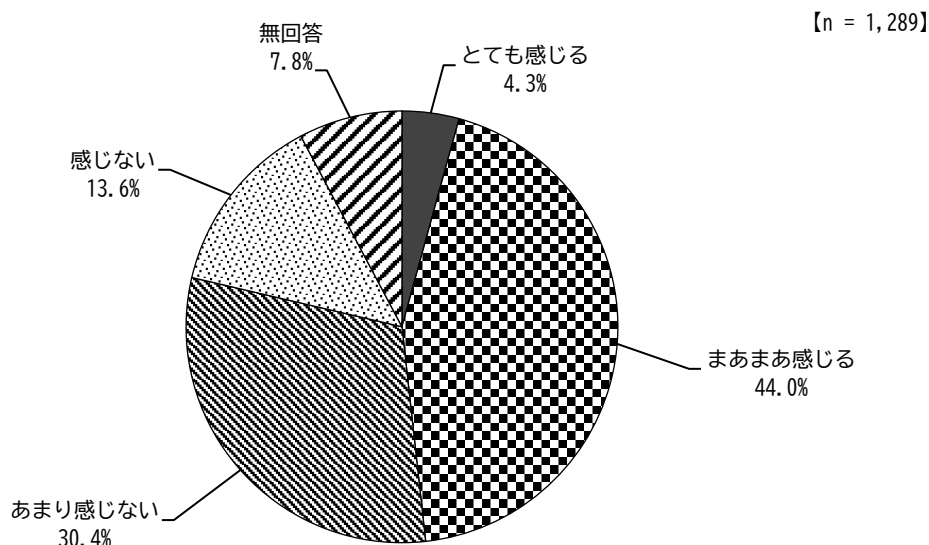
お住まいの近くの「地域包括支援センター」を知っていますかについては、「知らない」が60.9%、「知っている」が31.1%となっている。

【n = 1,289】



（３）あなたが住まいの地域は、近隣のつながりがあると感じますか（○は１つ）

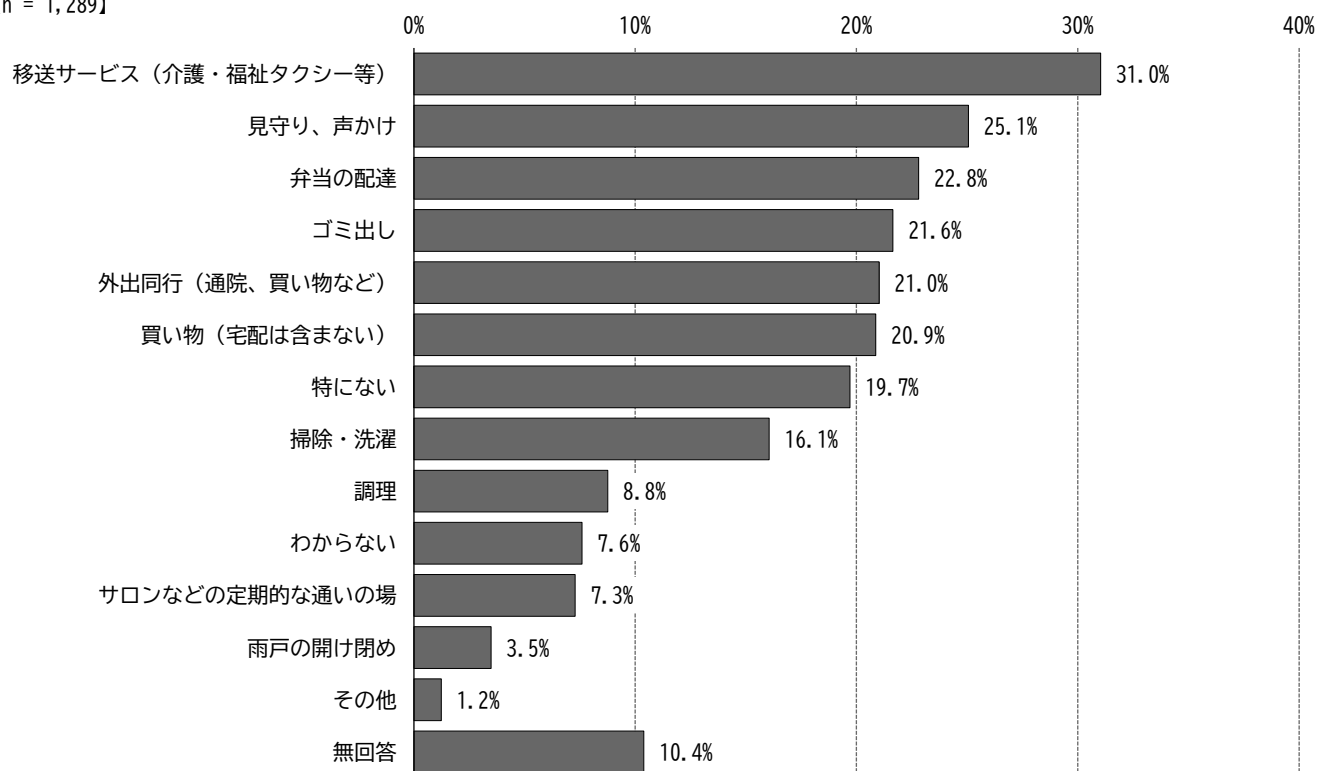
住まいの地域は、近隣のつながりがあると感じますかについては、「まあまあ感じる」が 44.0% で最も高く、次いで「あまり感じない」が 30.4%、「感じない」が 13.6% となっている。



（４）住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を継続していくうえで、必要になると思う支援やサービスは何ですか（○はいくつでも）

住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を継続していくうえで、必要になると思う支援やサービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 31.0% で最も高く、次いで「見守り、声かけ」が 25.1%、「弁当の配達」が 22.8%、「ゴミ出し」が 21.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.0% となっている。

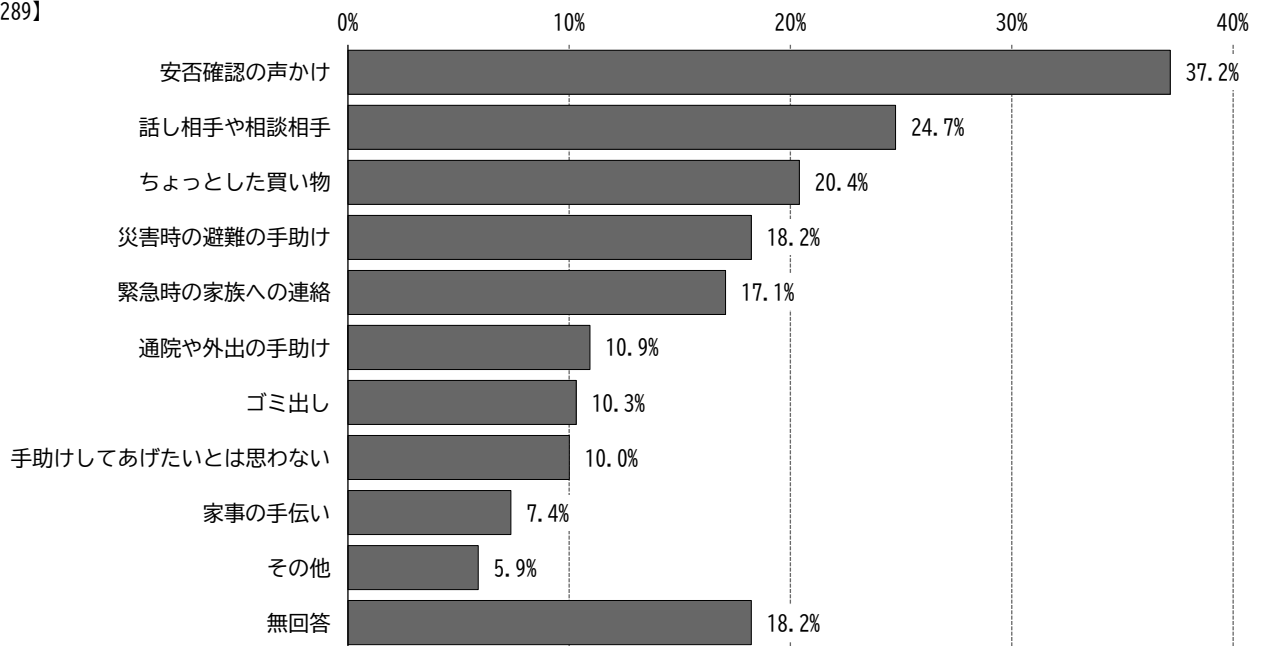
【n = 1,289】



(5) あなたが今後、手助けしてあげたいことは何ですか（○はいくつでも）

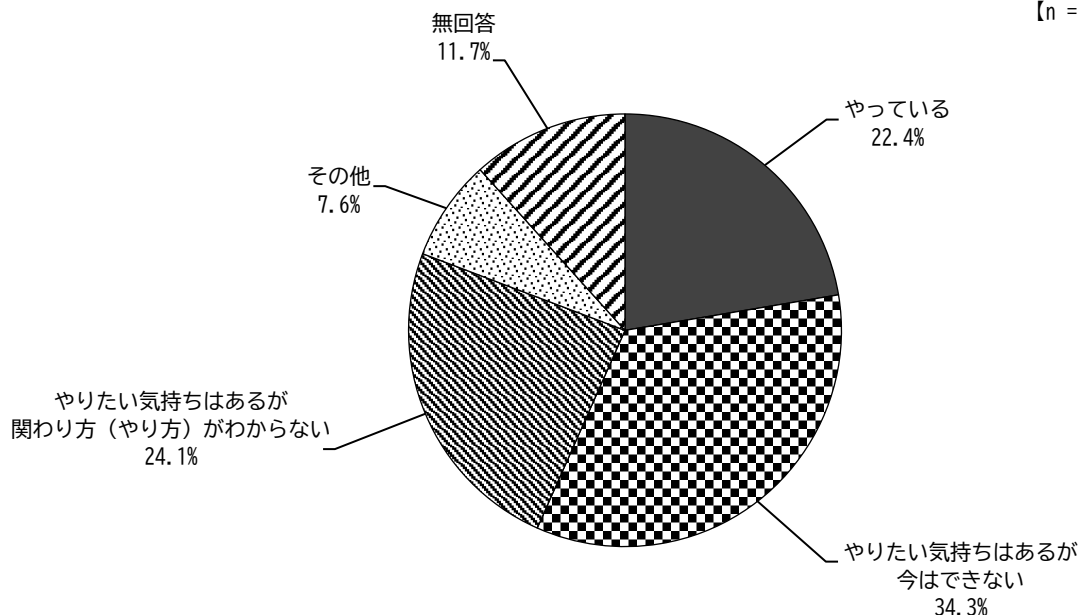
今後、手助けしてあげたいことは何ですかについては、「安否確認の声かけ」が37.2%で最も高く、次いで「話し相手や相談相手」が24.7%、「ちょっとした買い物」が20.4%、「災害時の避難の手助け」が18.2%、「緊急時の家族への連絡」が17.1%となっている。

【n = 1,289】


**(6) 【(5)で「1.」～「9.」に○をした方（具体的な「手助けしてあげたいこと」に○をした方）のみ】
実際に何か実行していますか（○は1つ）**

実際に何か実行していますかについては、「やりたい気持ちはあるが今はできない」が34.3%で最も高く、次いで「やりたい気持ちはあるが関わり方（やり方）がわからない」が24.1%、「やっている」が22.4%となっている。

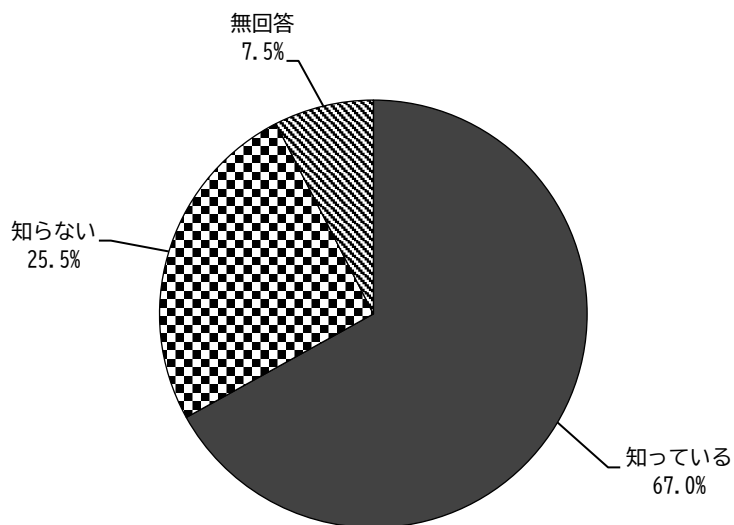
【n = 925】



(7) あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか（○は1つ）

お住まいの地域の避難所を知っていますかについては、「知っている」が 67.0%、「知らない」が 25.5%となっている。

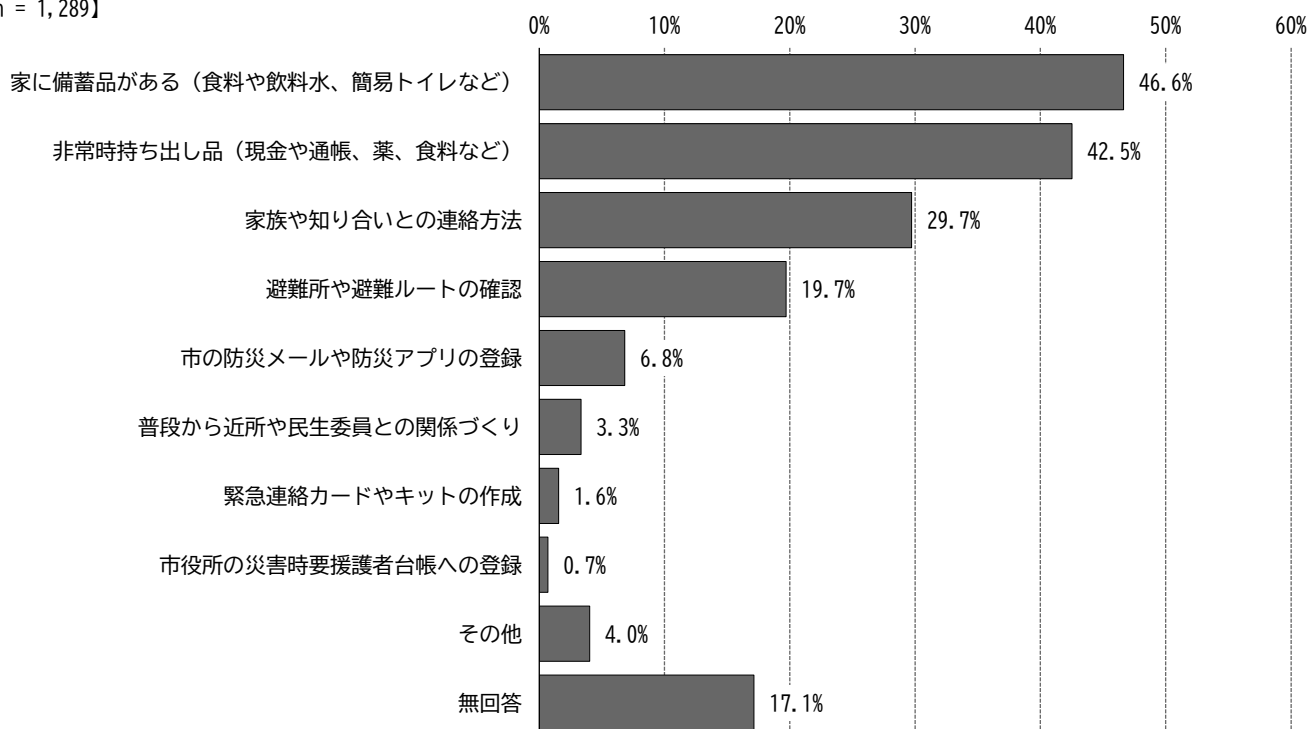
【n = 1,289】



(8) 災害に備えて準備をしていることはありますか（○はいくつでも）

災害に備えて準備をしていることはありますかについては、「家に備蓄品がある（食料や飲料水、簡易トイレなど）」が 46.6%で最も高く、次いで「非常時持ち出し品（現金や通帳、薬、食料など）」が 42.5%、「家族や知り合いとの連絡方法」が 29.7%、「避難所や避難ルートの確認」が 19.7%、「市の防災メールや防災アプリの登録」が 6.8%となっている。

【n = 1,289】

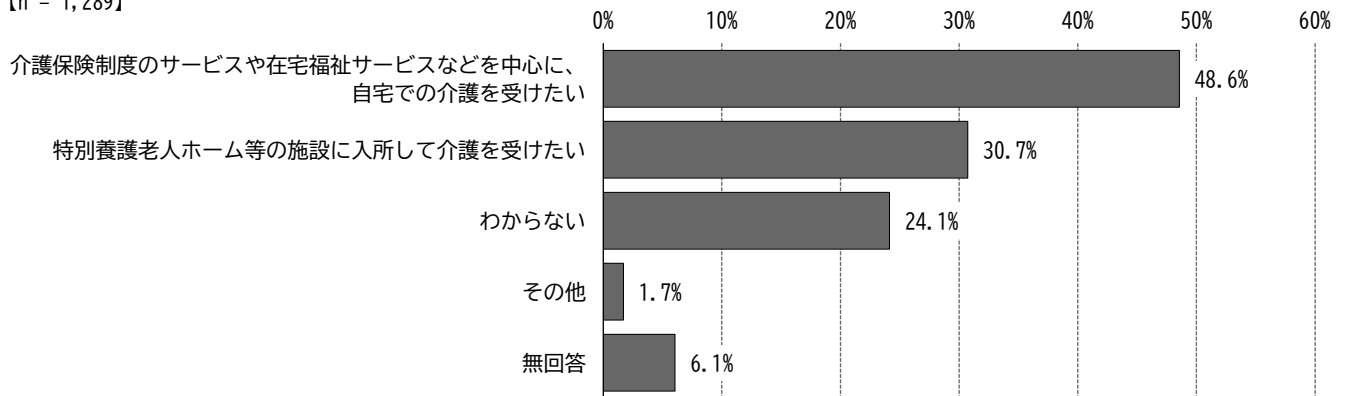


14. 今後の暮らしや将来の介護について

(1) あなたが介護を受けることになった場合、どのような介護を希望しますか（〇はいくつでも）

あなたが介護を受けることになった場合、どのような介護を希望しますかについては、「介護保険制度のサービスや在宅福祉サービスなどを中心に、自宅での介護を受けたい」が48.6%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム等の施設に入所して介護を受けたい」が30.7%、「わからない」が24.1%となっている。

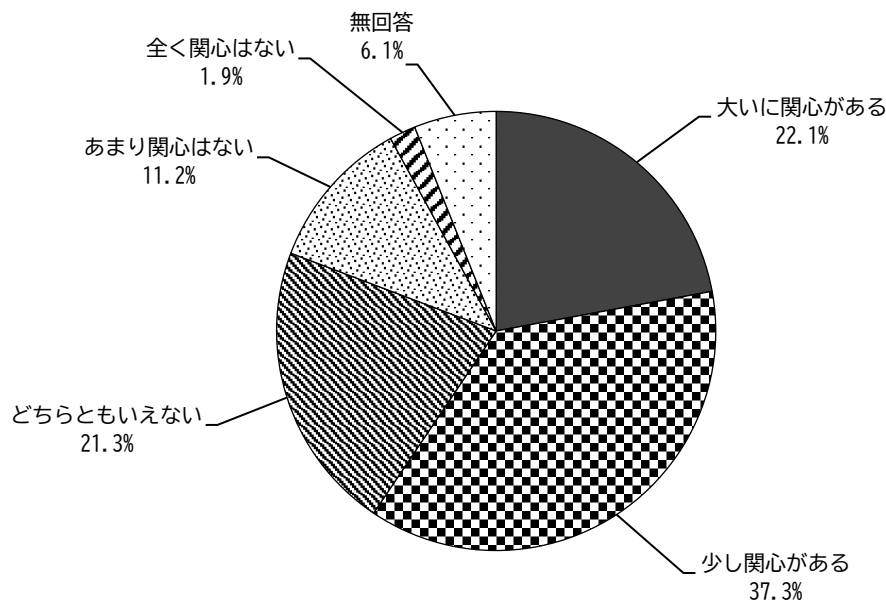
【n = 1,289】



(2) あなたは、在宅での医療、終活（人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備）、自宅での看取りのことなどに関心がありますか（〇は1つ）

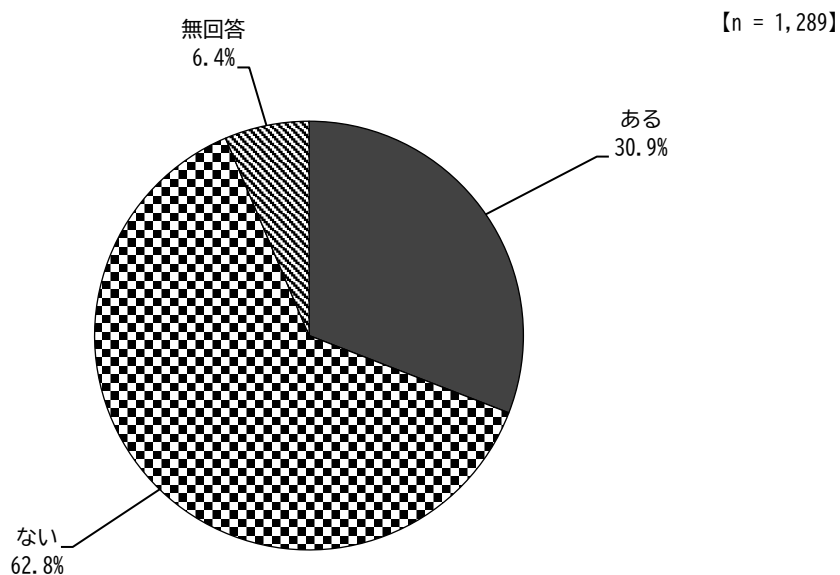
在宅での医療、終活、自宅での看取りのことなどに関心がありますかについては、「少し関心がある」が37.3%で最も高く、次いで「大いに関心がある」が22.1%、「どちらともいえない」が21.3%となっている。

【n = 1,289】



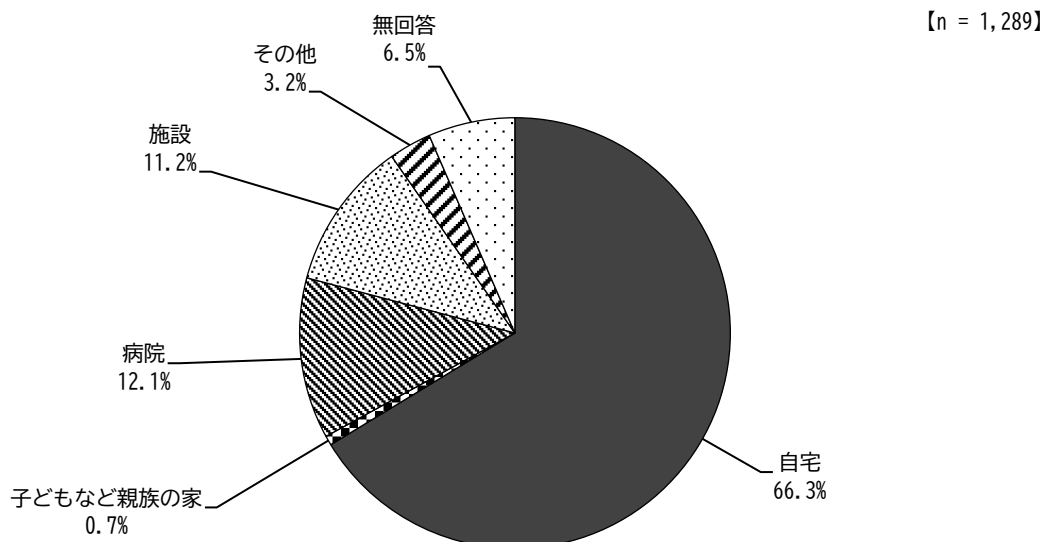
(3) あなたは、終活について家族などと話し合ったり、ご自身で準備したことがありますか (〇は1つ)

終活について家族などと話し合ったり、ご自身で準備したことがありますかについては、「ない」が62.8%、「ある」が30.9%となっている。



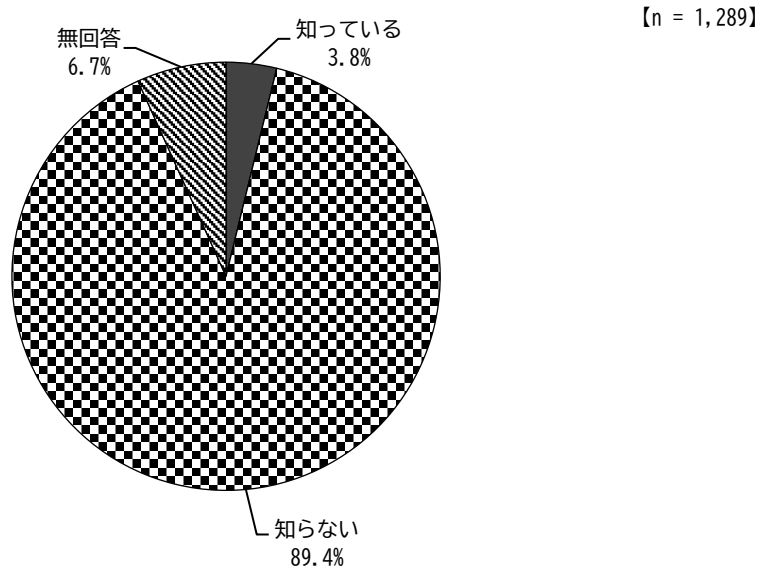
(4) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか (〇は1つ)

人生の最期をどこで過ごしたいと思いますかについては、「自宅」が66.3%で最も高く、次いで「病院」が12.1%、「施設」が11.2%となっている。

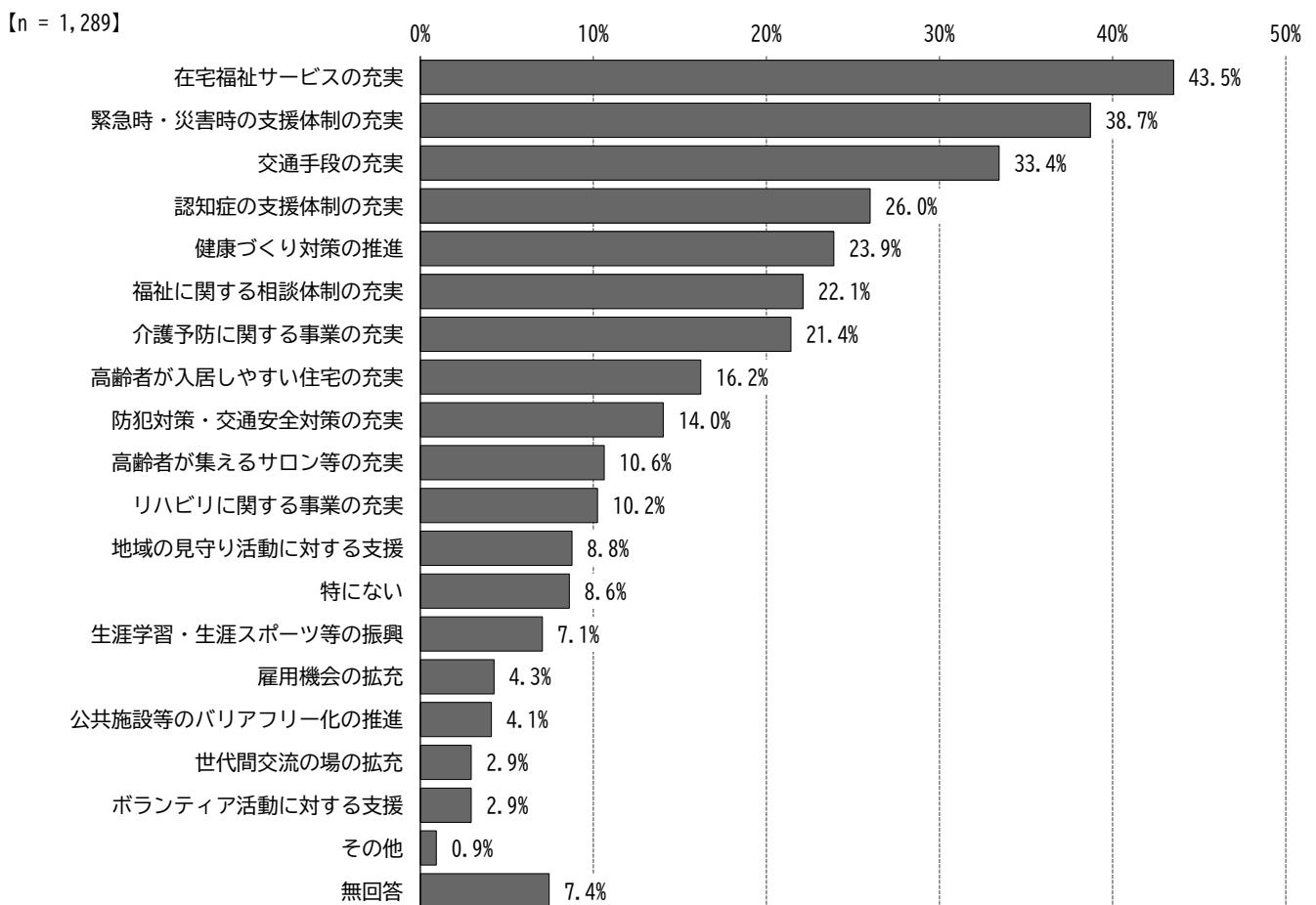


(5) 「私の希望ノート(旭市版エンディングノート)」を知っていますか(○は1つ)

「私の希望ノート(旭市版エンディングノート)」を知っていますかについては、「知らない」が89.4%、「知っている」が3.8%となっている。

**(6) 旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことは何ですか(○は5つまで)**

旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことは何ですかについては、「在宅福祉サービスの充実」が43.5%で最も高く、次いで「緊急時・災害時の支援体制の充実」が38.7%、「交通手段の充実」が33.4%、「認知症の支援体制の充実」が26.0%、「健康づくり対策の推進」が23.9%となっている。



○介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください

自由記述欄には、「なし」「特になし」等を含め、168件の記載があった。

記載内容をみると、移動・交通手段、介護サービス・施設整備、相談体制・情報提供、経済的負担、介護予防・健康づくり、地域活動・交流、見守り・防災・生活環境等に関する意見がみられた。

特に、自動車を運転できなくなった場合の通院・買い物等の移動手段への不安や、バス・タクシー等の利便性向上を求める意見が挙げられている。また、介護施設や在宅介護サービスの充実、介護保険料や利用料の負担軽減、制度・サービスに関する情報提供や相談体制の充実を求める意見もみられた。

そのほか、介護予防や健康づくり、地域での交流機会、独居高齢者の見守り、防災時の支援、生活環境の整備など、高齢期の生活全般に関する幅広い意見が寄せられている。

分類	主な内容
移動・交通手段	自動車を運転できなくなった場合の通院・買い物への不安、バス・タクシーの利便性向上、きらりんタクシーの利用範囲・予約方法、交通空白地域への対応
介護サービス・施設整備	介護施設の充実、特別養護老人ホーム等への入所待機、在宅介護サービス、ヘルパー不足、介護人材確保、要支援者が利用できるサービスへの要望
相談体制・情報提供	介護保険制度や高齢者福祉サービスの周知、相談窓口の分かりやすさ、地域包括支援センター、サービス利用手続きの案内
経済的負担	介護保険料や利用料の負担、年金生活における費用負担、低所得者への配慮、施設利用料への不安
介護予防・健康づくり	体操教室、運動施設、健康維持、認知症予防、介護予防事業の継続や参加しやすさ
地域活動・交流	通いの場、趣味・文化活動、発表の場、近隣交流、集いの場の不足、地域での支え合い
見守り・防災・生活環境	独居高齢者の見守り、災害時避難、街灯・道路・歩道整備、ごみ出し、生活環境への要望
医療・在宅医療	通院支援、入院・退院後の生活支援、在宅医療、認知症治療、長期入院できる医療機関への不安
行政運営・その他	市の財政、行政対応、アンケートへの感謝・意見、制度全般への要望、特になし・なし

※自由記述の内容をもとに、主な意見を分類・整理している。1つの回答に複数の内容が含まれる場合がある。

15. リスク分析

- 本項では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答結果をもとに、生活機能の低下リスクについて、圏域別及び年齢階層別に整理した。

リスク項目	主に用いる設問内容
運動器機能の低下	階段昇降、椅子からの立ち上がり、15分程度の歩行、転倒経験、転倒不安
転倒リスク	過去1年間の転倒経験
閉じこもり傾向	外出頻度
低栄養傾向	身長・体重、体重減少
口腔機能の低下	固いものの食べにくさ、お茶等でのむせ、口の渇き
認知機能の低下	物忘れが多いと感じるか
IADLの低下	外出、買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れ等
うつ傾向	気分の落ち込み、興味・楽しみの低下
知的能動性の低下	年金などの書類作成の可否、新聞・雑誌・本の購読状況

※各リスク項目は、該当設問の回答状況に基づき判定している。

※リスク該当率は、圏域または年齢階層が判別できる回答者を基数として算出している。

圏域別にリスク該当状況をみると、全体では「知的能動性の低下」が57.7%で最も高く、次いで「認知機能の低下」が43.9%、「うつ傾向」が41.5%、「転倒リスク」が35.8%となっている。

圏域別では、中央圏域で「転倒リスク」が37.5%と全体を上回っている。東部圏域では、「認知機能の低下」が45.5%、「うつ傾向」が44.9%、「口腔機能の低下」が28.6%、「閉じこもり傾向」が26.7%となっており、複数の項目で全体を上回っている。北部圏域では、「知的能動性の低下」が59.5%、「閉じこもり傾向」が28.4%、「認知機能の低下」が44.4%、「うつ傾向」が42.8%となっており、知的能動性や閉じこもり傾向等で全体を上回っている。

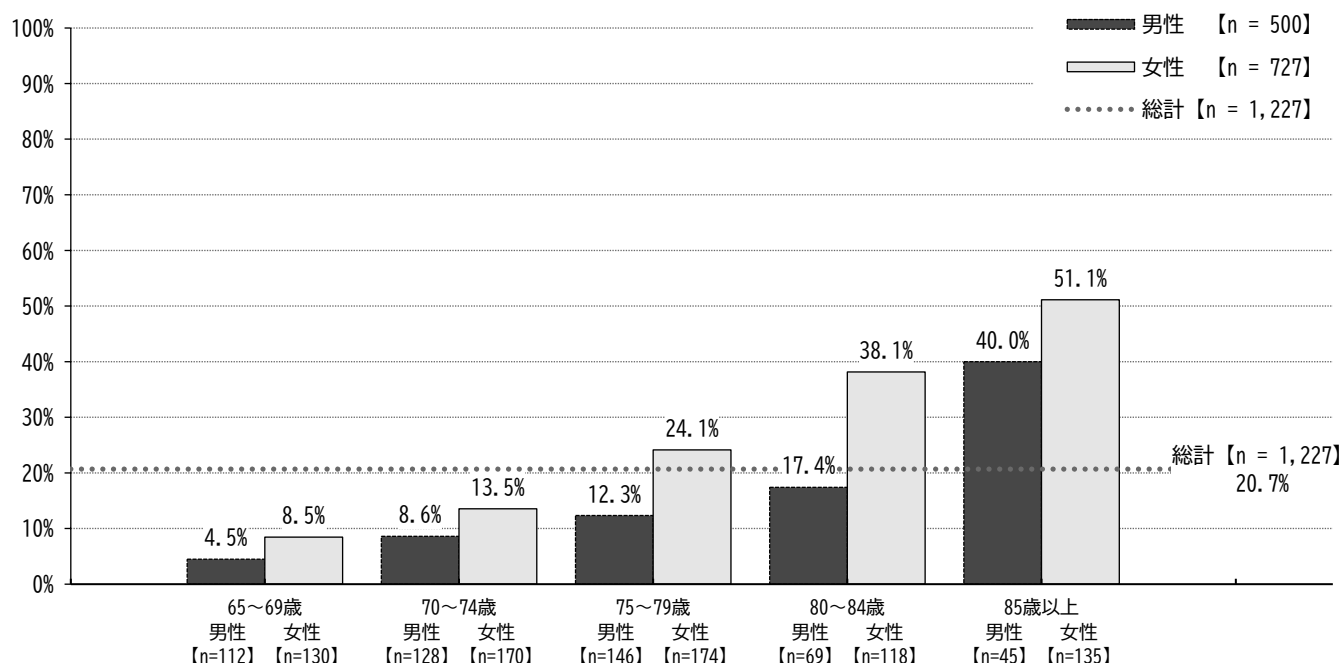
リスク項目	全体	中央圏域	東部圏域	北部圏域	無回答
運動器機能の低下	20.9%	20.3%	21.7%	20.9%	19.0%
転倒リスク	35.8%	37.5%	35.3%	35.4%	31.0%
閉じこもり傾向	25.4%	21.8%	26.7%	28.4%	19.0%
低栄養傾向	1.2%	1.0%	0.8%	1.4%	3.4%
口腔機能の低下	26.6%	25.4%	28.6%	26.8%	20.7%
認知機能の低下	43.9%	42.6%	45.5%	44.4%	39.7%
IADLの低下	13.3%	11.4%	14.4%	13.7%	15.5%
うつ傾向	41.5%	38.5%	44.9%	42.8%	31.0%
知的能動性の低下	57.7%	56.2%	56.4%	59.5%	63.8%

年齢別にリスク該当状況をみると、多くの項目で年齢が高くなるほど該当割合が高くなる傾向がみられる。特に85歳以上では、「知的能動性の低下」が74.0%、「認知機能の低下」が60.2%、「転倒リスク」が53.0%、「閉じこもり傾向」が49.7%、「運動器機能の低下」が48.1%となっており、他の年齢層と比べて複数のリスク項目で高くなっている。一方、「うつ傾向」は65～69歳でも43.8%と比較的高く、年齢が高い層に限らず一定程度の該当がみられる。

リスク項目	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
運動器機能の低下	20.9%	6.6%	11.4%	18.8%	30.5%	48.1%	24.6%
転倒リスク	35.8%	27.3%	31.2%	32.8%	41.7%	53.0%	39.3%
閉じこもり傾向	25.4%	11.6%	16.8%	26.9%	31.0%	49.7%	24.6%
低栄養傾向	1.2%	1.2%	0.0%	1.3%	0.5%	3.3%	1.6%
口腔機能の低下	26.6%	19.8%	27.9%	25.9%	25.1%	39.2%	18.0%
認知機能の低下	43.9%	37.2%	35.6%	47.5%	46.5%	60.2%	36.1%
IADLの低下	13.3%	5.4%	4.4%	10.6%	18.2%	34.3%	24.6%
うつ傾向	41.5%	43.8%	40.3%	39.7%	42.8%	47.5%	26.2%
知的能動性の低下	57.7%	55.8%	56.4%	51.6%	52.9%	74.0%	70.5%

(1) 運動器機能の低下（性別・年齢別）

運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が高くなるほど該当割合が高くなる傾向がみられる。男性では65～69歳が4.5%、70～74歳が8.6%、75～79歳が12.3%、80～84歳が17.4%、85歳以上が40.0%となっている。女性では65～69歳が8.5%、70～74歳が13.5%、75～79歳が24.1%、80～84歳が38.1%、85歳以上が51.1%となっており、特に75歳以上では女性の該当割合が総計を上回っている。



【リスク判定方法】

下記の設問5項目のうち、3項目以上でリスクに該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

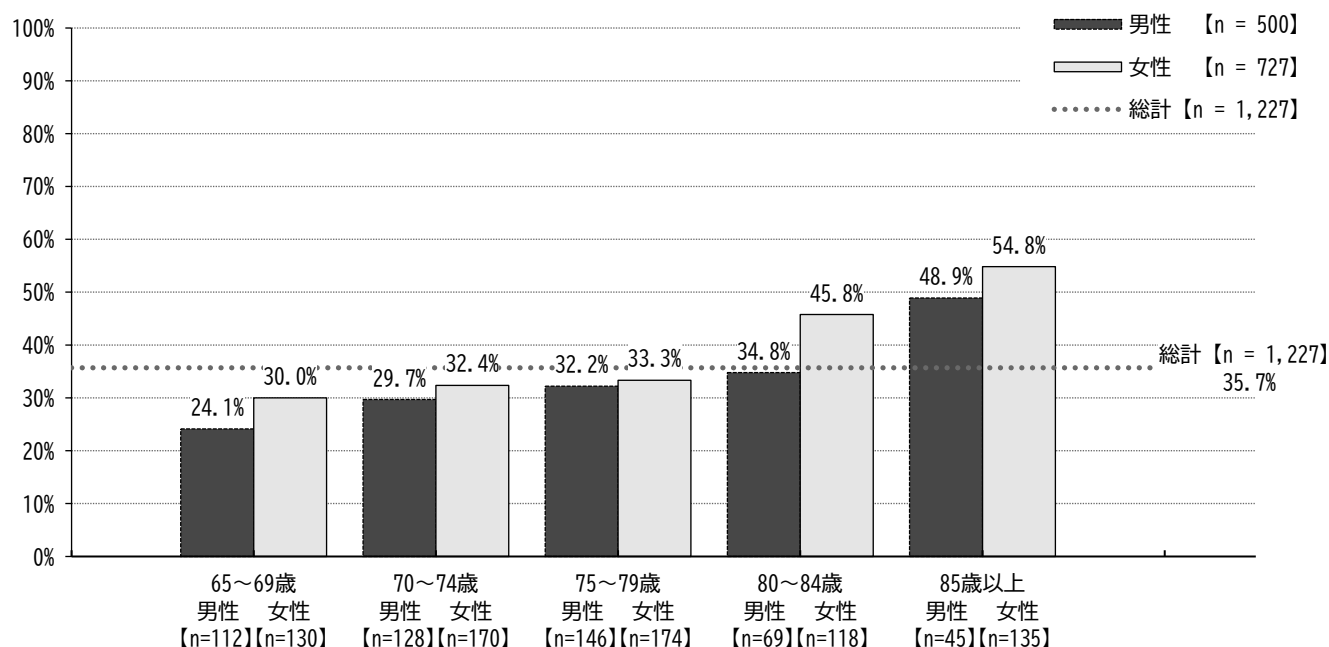
設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	7 ページ
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	7 ページ
15 分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	8 ページ
過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 一度ある 3. ない	8 ページ
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	9 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(2) 転倒リスク（性別・年齢別）

転倒リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が高くなるほど該当割合が高くなる傾向がみられる。男性では65～69歳が24.1%、70～74歳が29.7%、75～79歳が32.2%、80～84歳が34.8%、85歳以上が48.9%となっている。女性では65～69歳が30.0%、70～74歳が32.4%、75～79歳が33.3%、80～84歳が45.8%、85歳以上が54.8%となっている。80歳以上では女性の該当割合が総計を上回っており、高年齢層で転倒リスクが高まっている。



【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

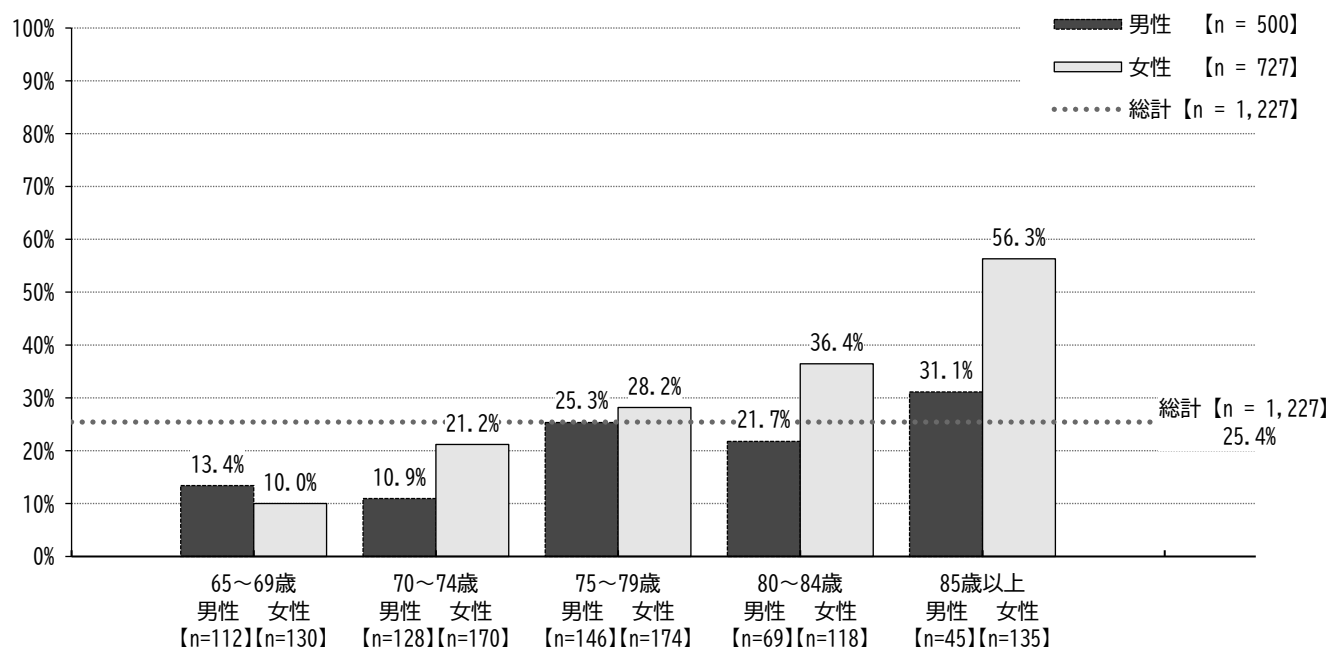
設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 一度ある 3. ない	8 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(3) 閉じこもり傾向（性別・年齢別）

閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに高年齢層で高くなる傾向がみられる。男性では 65～69 歳が 13.4%、70～74 歳が 10.9%、75～79 歳が 25.3%、80～84 歳が 21.7%、85 歳以上が 31.1%となっている。女性では 65～69 歳が 10.0%、70～74 歳が 21.2%、75～79 歳が 28.2%、80～84 歳が 36.4%、85 歳以上が 56.3%となっており、特に 85 歳以上の女性で高くなっている。



【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

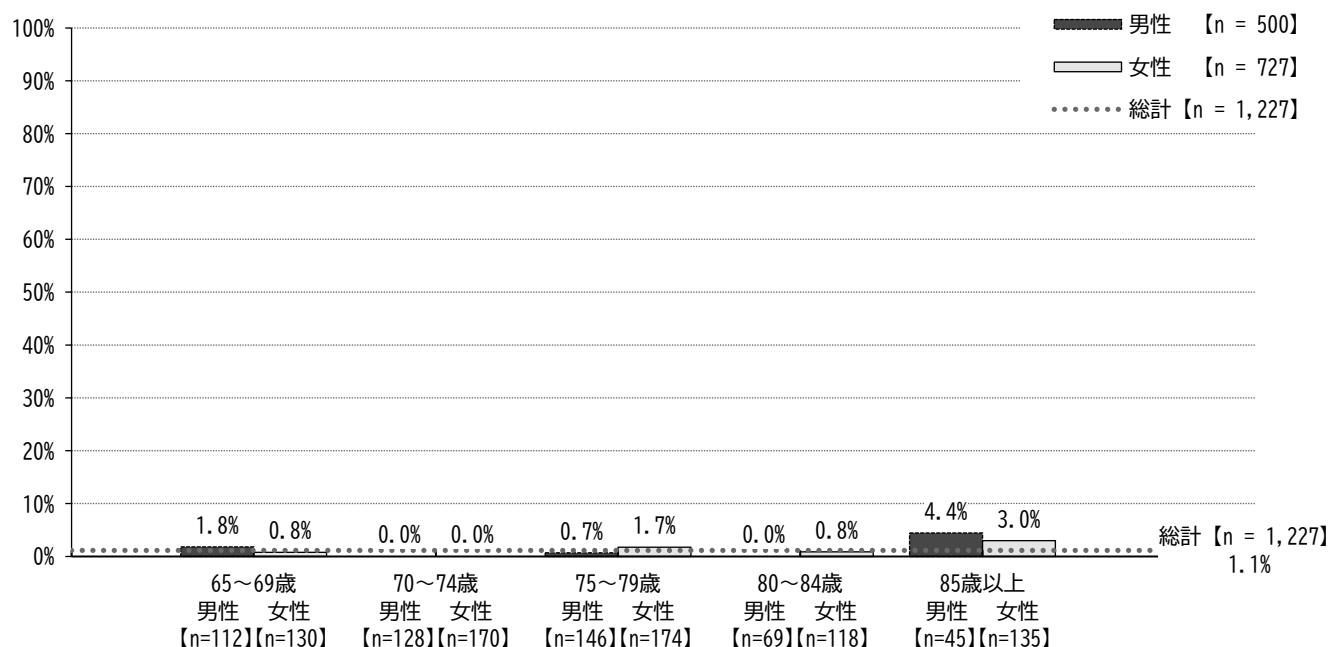
設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	9 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(4) 低栄養傾向（性別・年齢別）

低栄養傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、全体としては他のリスク項目と比べて低い割合となっている。男性では65～69歳が1.8%、70～74歳が0.0%、75～79歳が0.7%、80～84歳が0.0%、85歳以上が4.4%となっている。女性では65～69歳が0.8%、70～74歳が0.0%、75～79歳が1.7%、80～84歳が0.8%、85歳以上が3.0%となっている。該当割合は低いものの、85歳以上では男女ともに他の年齢層と比べてやや高くなっている。



【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下であり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

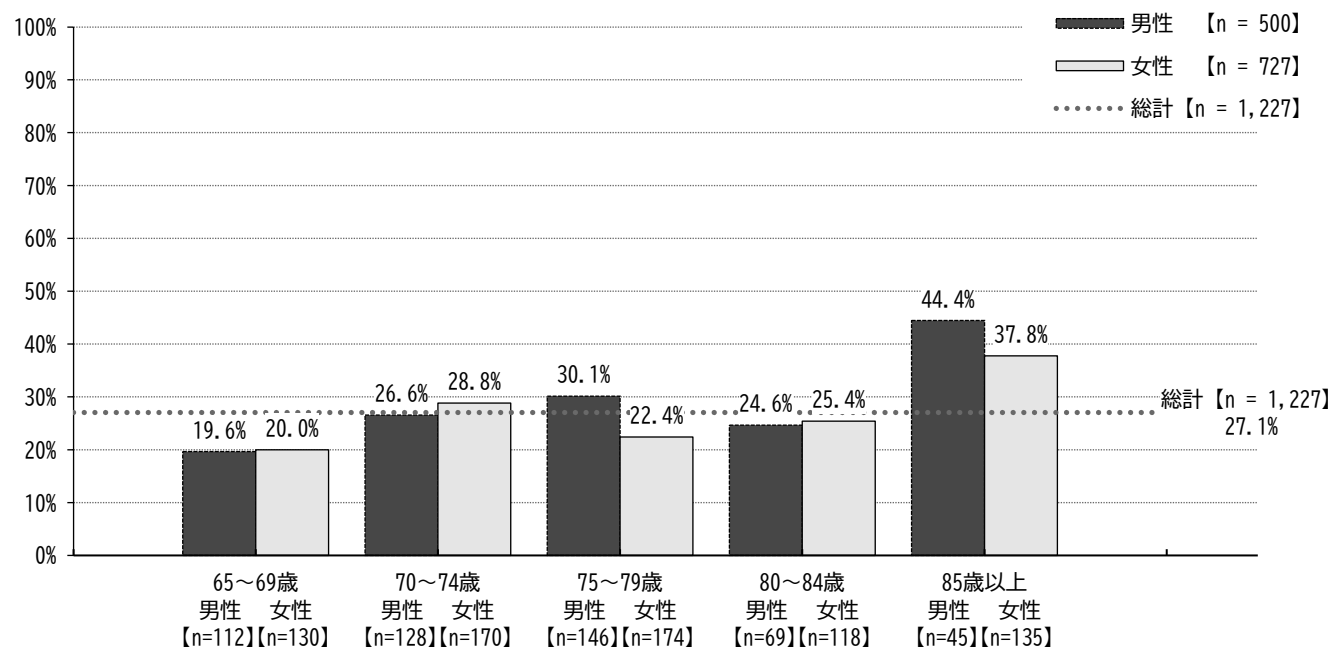
設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出されるBMI (体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}) が 18.5以下の場合、低栄養が疑われる	13、14 ページ
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	17 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(5) 口腔機能の低下（性別・年齢別）

口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳が19.6%、70～74歳が26.6%、75～79歳が30.1%、80～84歳が24.6%、85歳以上が44.4%となっている。女性では65～69歳が20.0%、70～74歳が28.8%、75～79歳が22.4%、80～84歳が25.4%、85歳以上が37.8%となっている。男女ともに85歳以上で該当割合が高くなっている。



【リスク判定方法】

下記の設問3項目のうち、2項目以上で該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

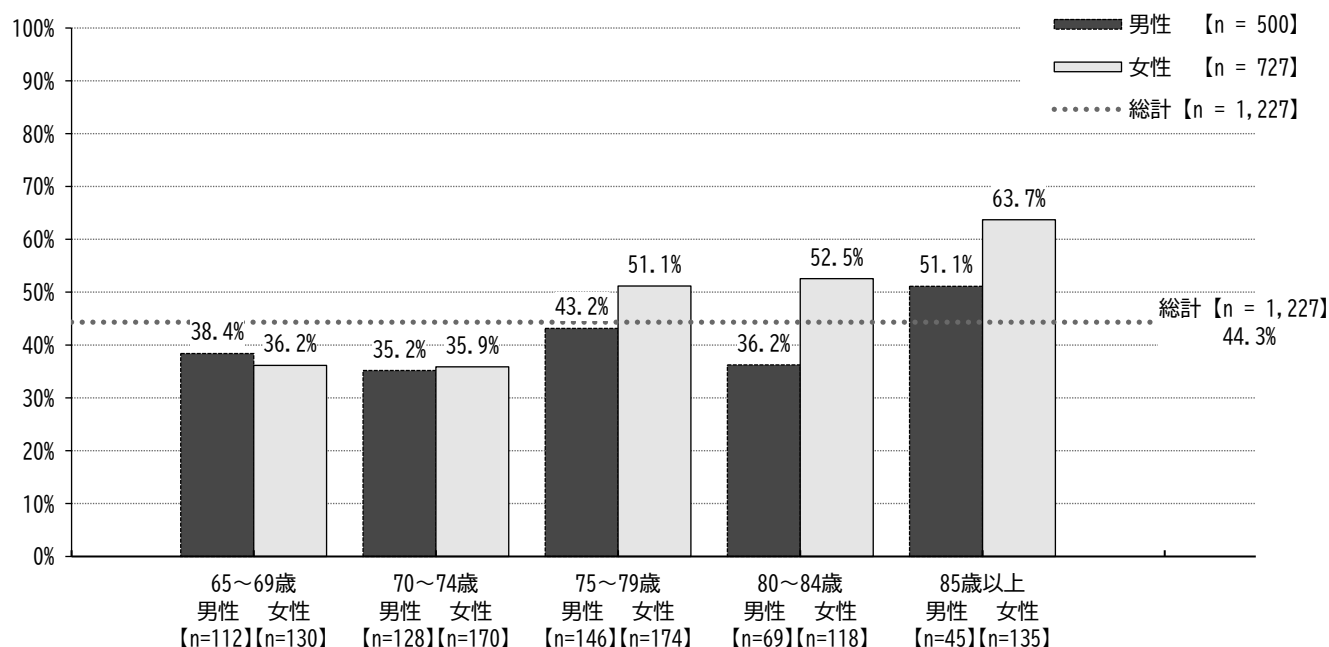
設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	15 ページ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	15 ページ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	16 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(6) 認知機能の低下（性別・年齢別）

認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳が38.4%、70～74歳が35.2%、75～79歳が43.2%、80～84歳が36.2%、85歳以上が51.1%となっている。女性では65～69歳が36.2%、70～74歳が35.9%、75～79歳が51.1%、80～84歳が52.5%、85歳以上が63.7%となっている。女性では75歳以上で5割を超えており、85歳以上では男女ともに他の年齢層と比べて高くなっている。



【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

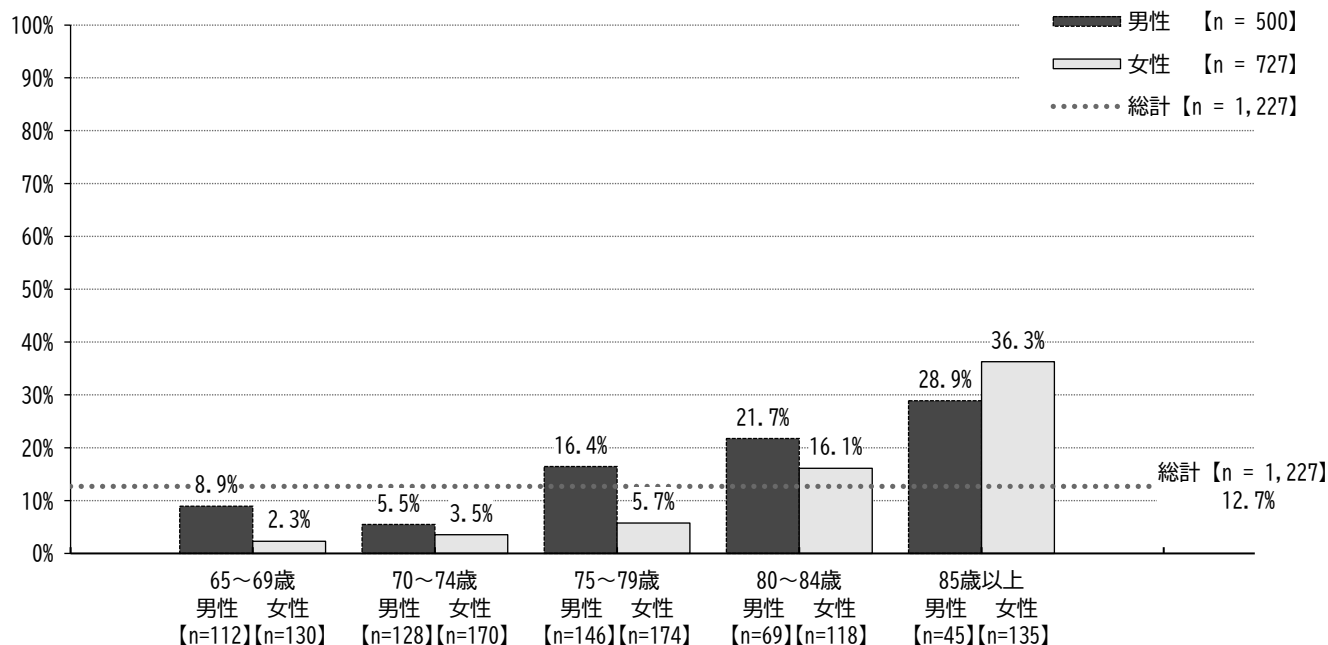
設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	19 ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(7) IADLの低下（性別・年齢別）

IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳が8.9%、70～74歳が5.5%、75～79歳が16.4%、80～84歳が21.7%、85歳以上が28.9%となっている。女性では65～69歳が2.3%、70～74歳が3.5%、75～79歳が5.7%、80～84歳が16.1%、85歳以上が36.3%となっている。男女ともに80歳以上で高くなる傾向がみられる。



【リスク判定方法】

下記の設問5項目を点数化し、5点満点中3点以下の場合を「低下」として評価した。

IADLは、外出や買い物、金銭管理など、自立した日常生活を送るために必要な手段的動作能力を示す指標である。

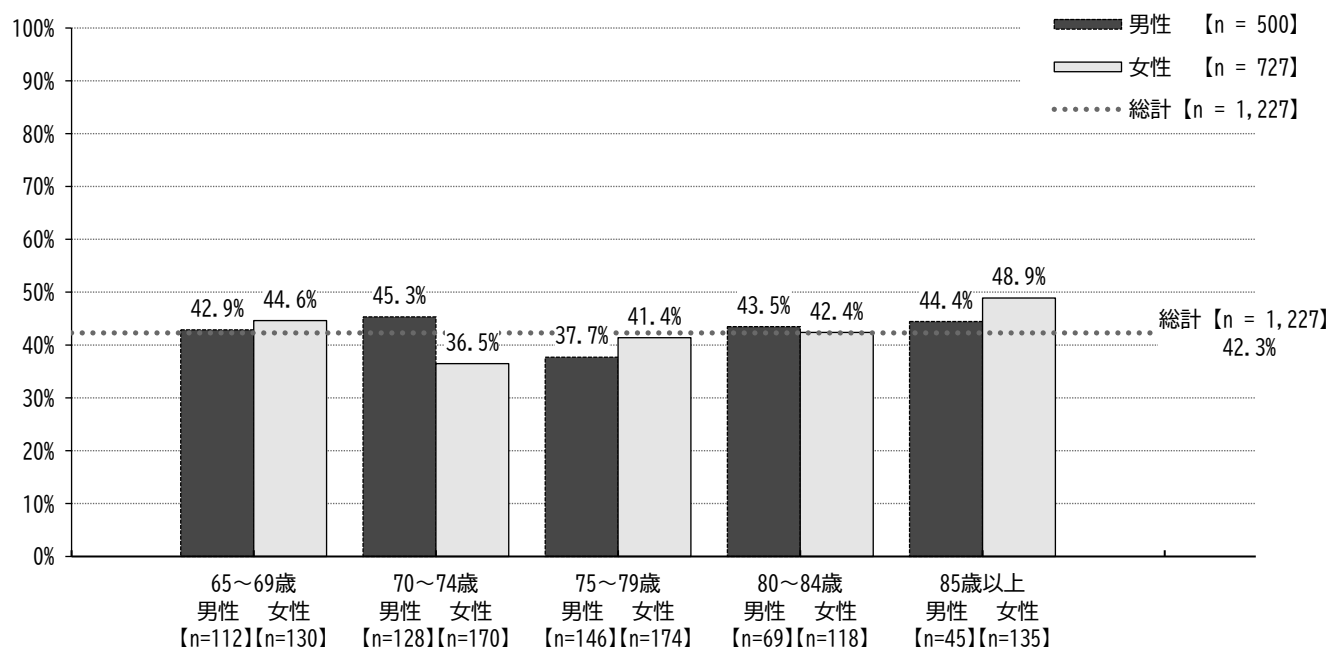
設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	20ページ
自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	21ページ
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	21ページ
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	22ページ
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	22ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(8) うつ傾向（性別・年齢別）

うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳が42.9%、70～74歳が45.3%、75～79歳が37.7%、80～84歳が43.5%、85歳以上が44.4%となっている。女性では65～69歳が44.6%、70～74歳が36.5%、75～79歳が41.4%、80～84歳が42.4%、85歳以上が48.9%となっている。他のリスク項目と比べると、年齢が高くなるほど一貫して上昇する傾向は限定的であり、65～69歳でも4割台となっている。



【リスク判定方法】

下記の設問2項目のうち、1項目以上でリスクに該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定した。

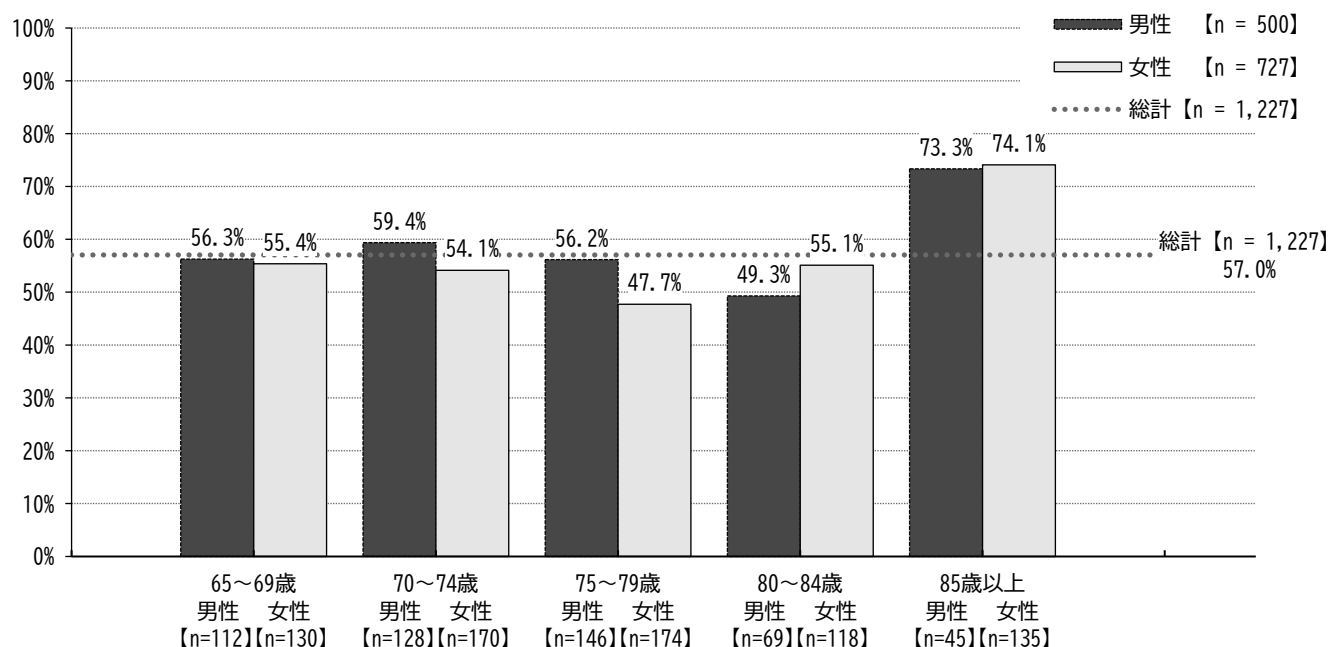
設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	39ページ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	39ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

(9) 知的能動性の低下(性別・年齢別)

知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳が56.3%、70～74歳が59.4%、75～79歳が56.2%、80～84歳が49.3%、85歳以上が73.3%となっている。女性では65～69歳が55.4%、70～74歳が54.1%、75～79歳が47.7%、80～84歳が55.1%、85歳以上が74.1%となっている。男女ともにいずれの年齢層でも比較的高い割合となっており、特に85歳以上では7割を超えている。



【リスク判定方法】

下記の設問3項目を点数化し、2点以下を「低下」として評価した。

知的能動性は、本や新聞を読む、書類を書く、趣味や余暇活動に取り組むなど、日常生活の中で自発的に知的な活動を行う能力を示す指標である。

設問内容	選択肢	参照
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	23ページ
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	23ページ
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	24ページ

※リスク該当者割合は、性別及び年齢階層が判別できる回答者を基数として、各リスク項目の判定基準に該当した回答者の割合を算出している。

※判定に必要な設問が未回答等でリスクありと判定できない場合は、リスク該当者数には含めていない。

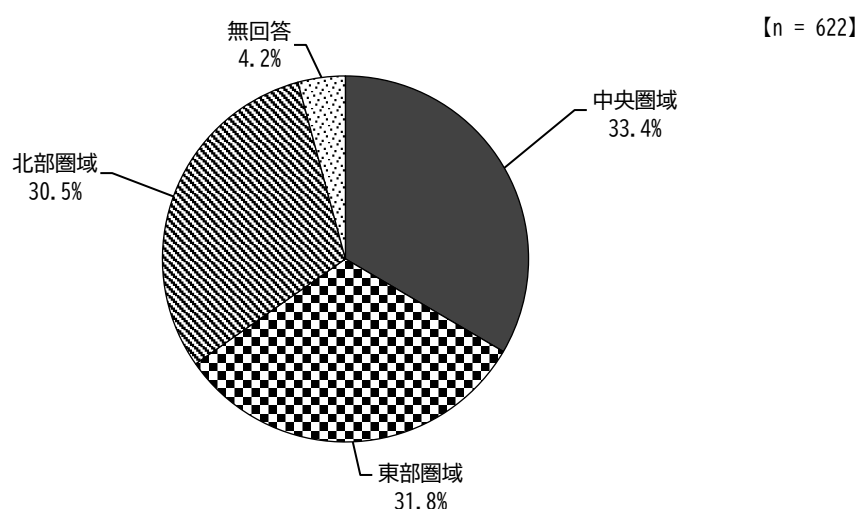
Ⅲ 調査結果② 在宅介護実態調査

1. 調査票の記入や居住地区について

居住地区に○を付けてください

居住地区（小学校区）については、「中央」が 20.7%で最も高く、次いで「三川」が 7.7%、「嚶鳴」が 7.4%となっている。

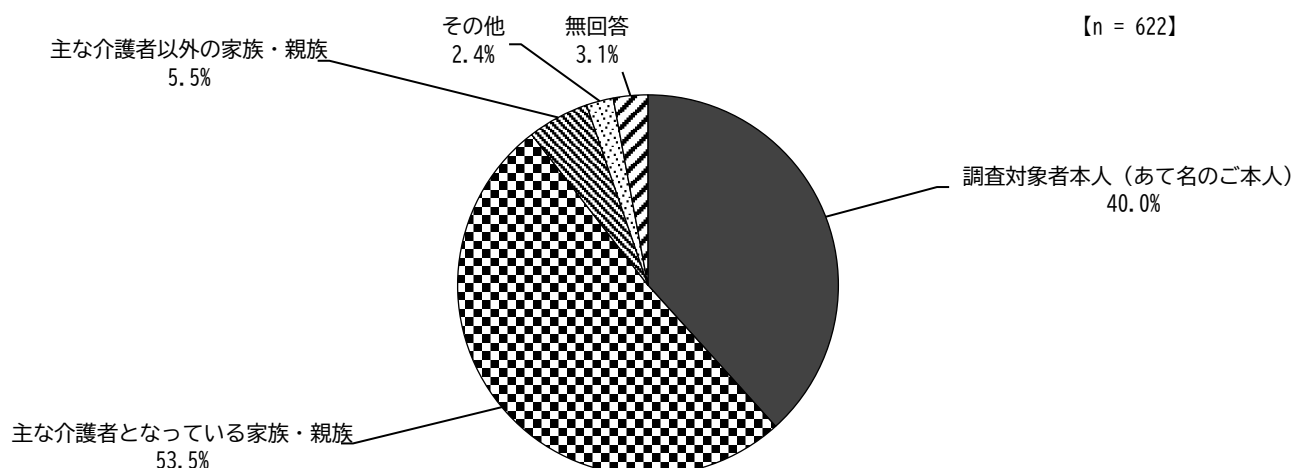
居住地区を圏域別にみると、「中央圏域」が 208 人（33.4%）で最も高く、次いで「東部圏域」が 198 人（31.8%）、「北部圏域」が 190 人（30.5%）となっている。3 圏域の構成比はいずれも 3 割前後であり、回答者は各圏域におおむね分散している。



圏域	居住地区（小学校区）
中央圏域	中央、豊浦、矢指
東部圏域	鶴巻、滝郷、嚶鳴、飯岡、三川
北部圏域	琴田、干潟、共和、豊畑、萬歳、中和、古城

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○はいくつでも）

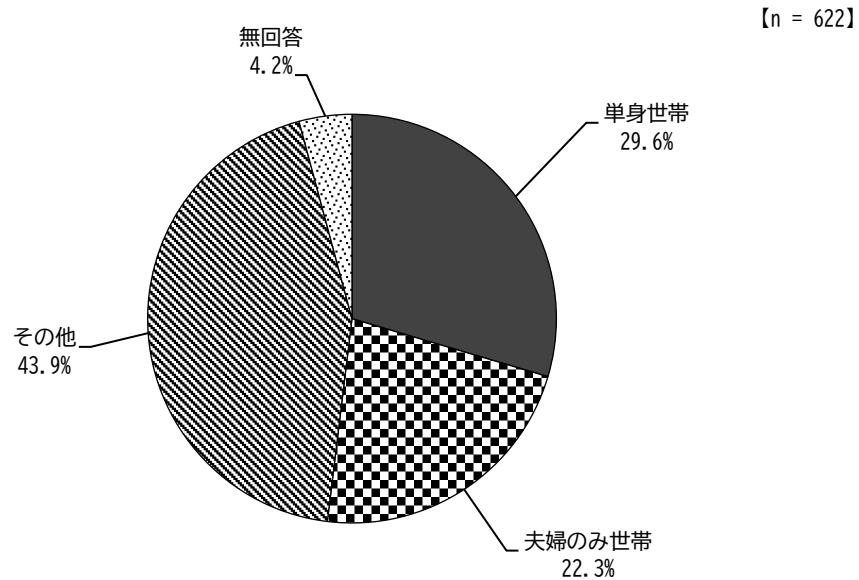
調査票回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が 53.5%で最も高く、次いで「調査対象者本人（あて名のご本人）」が 40.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 5.5%となっている。



2. 調査対象者本人について

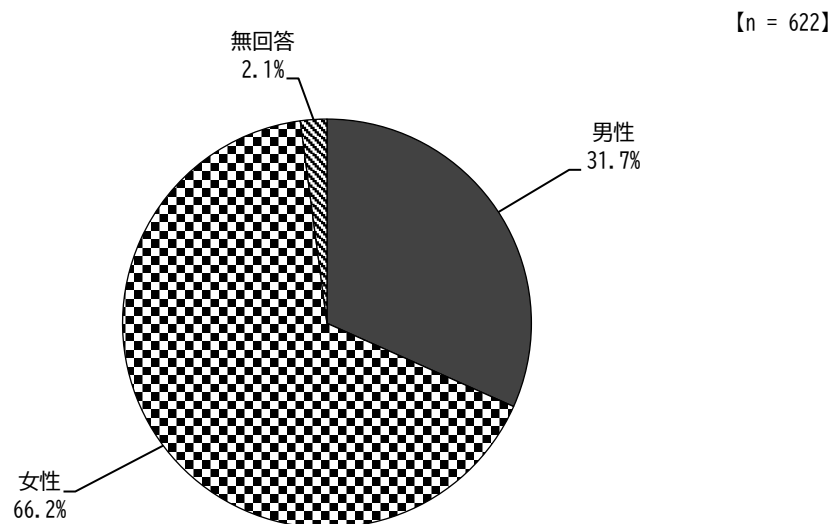
問2 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

世帯類型については、「その他」が43.9%で最も高く、次いで「単身世帯」が29.6%、「夫婦のみ世帯」が22.3%となっている。



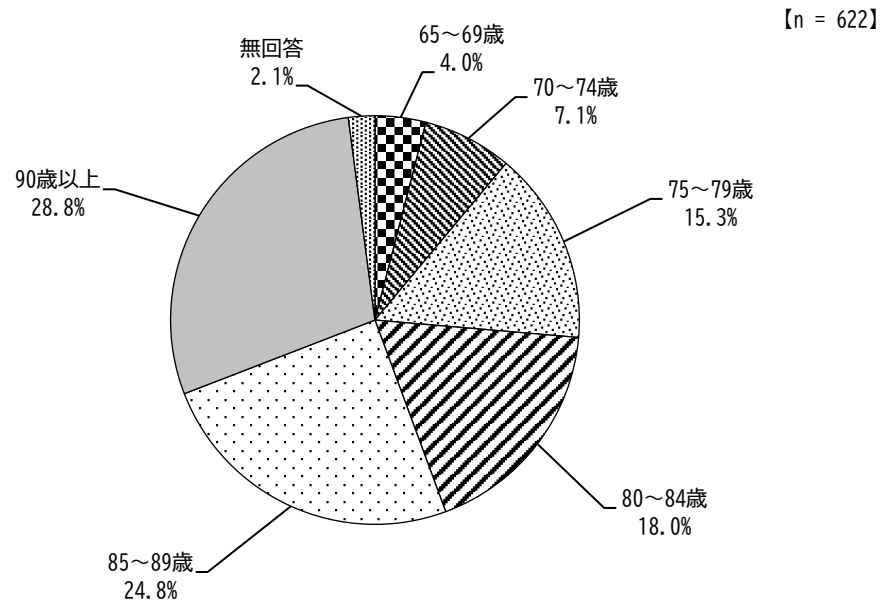
問3 あて名のご本人の性別について、ご回答ください（○は1つ）

性別については、「女性」が66.2%、「男性」が31.7%となっている。



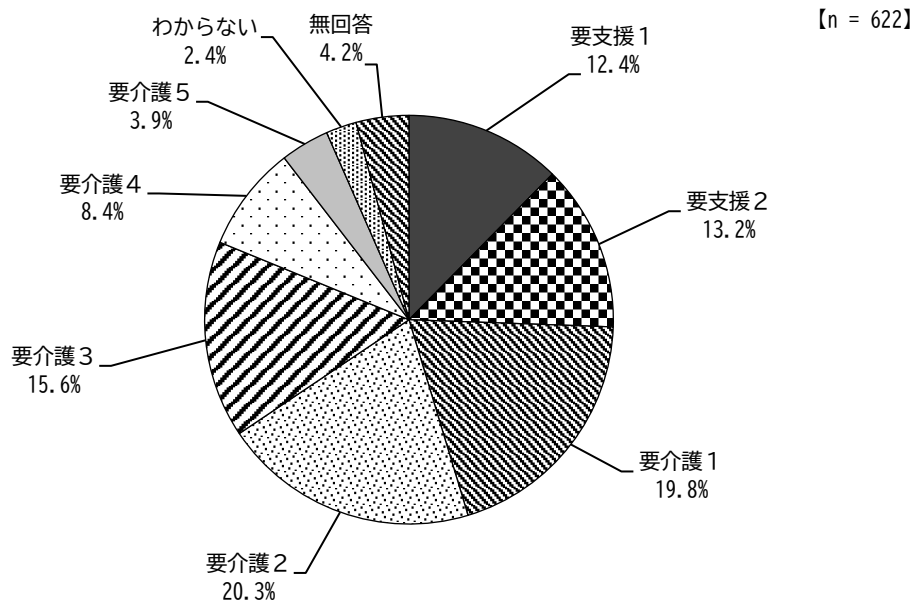
問4 あて名のご本人の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

年齢については、「90歳以上」が28.8%で最も高く、次いで「85～89歳」が24.8%、「80～84歳」が18.0%となっている。



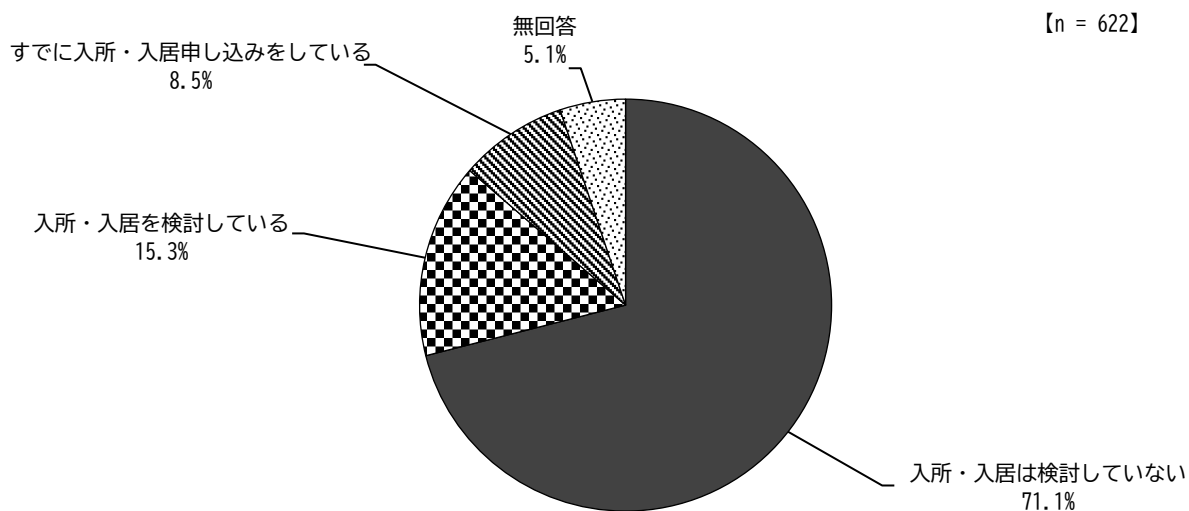
問5 あて名のご本人の要介護度について、ご回答ください（○は1つ）

要介護度については、「要介護2」が20.3%で最も高く、次いで「要介護1」が19.8%、「要介護3」が15.6%となっている。



問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

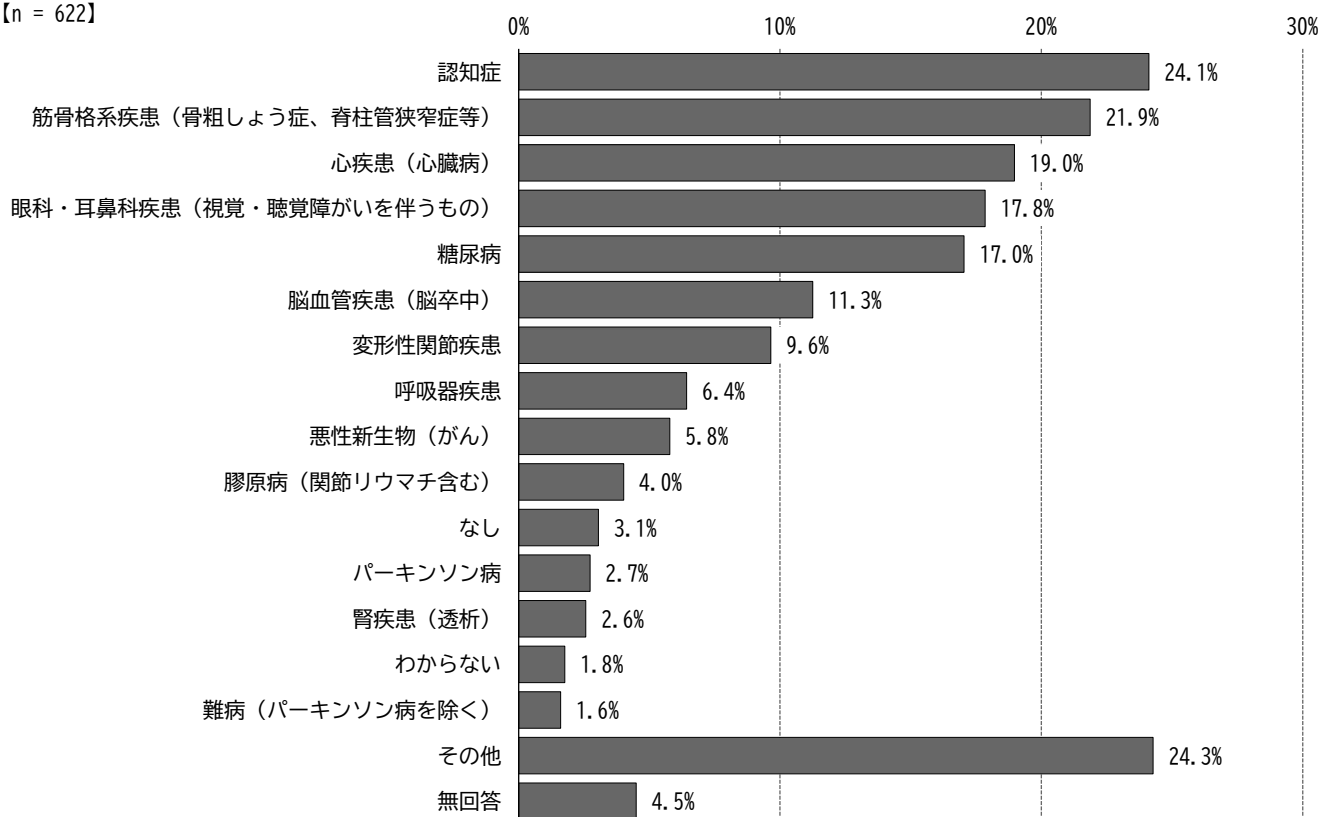
施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が71.1%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が15.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.5%となっている。



問7 あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

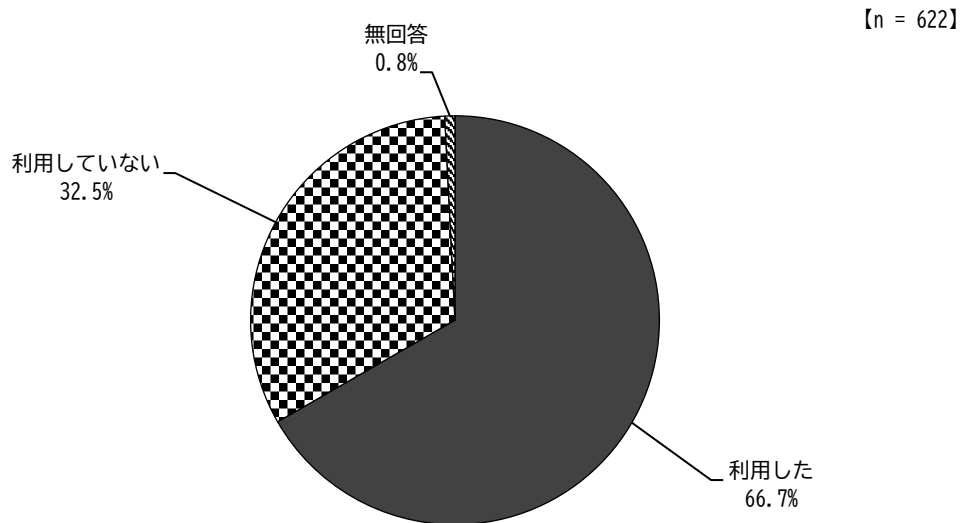
現在抱えている傷病については、「認知症」が24.1%で最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.9%、「心疾患（心臓病）」が19.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が17.8%、「糖尿病」が17.0%となっている。

【n = 622】



問8 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（○は1つ）

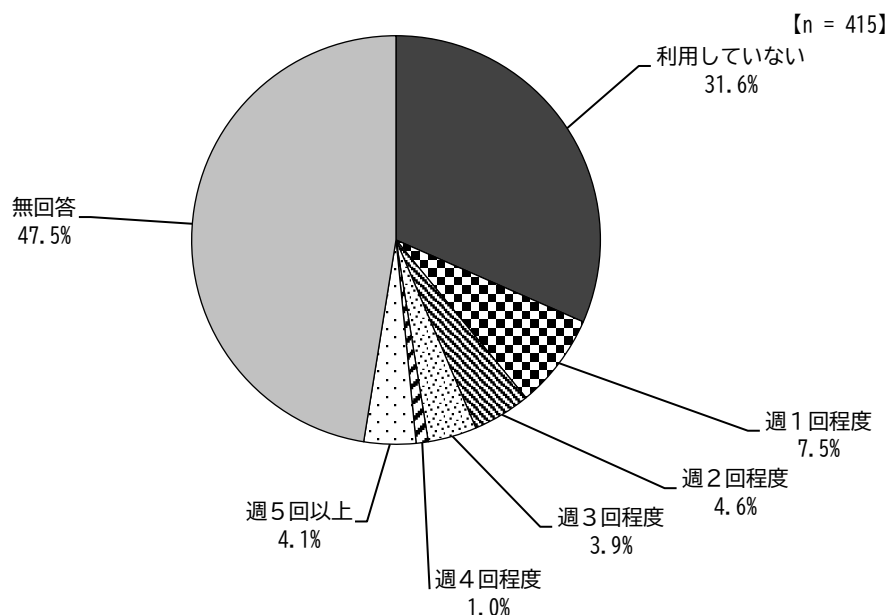
介護保険サービスの利用状況については、「利用した」が66.7%、「利用していない」が32.5%となっている。



**問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします
以下の介護保険サービス（介護予防サービス含む）について、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれ1つに○）**

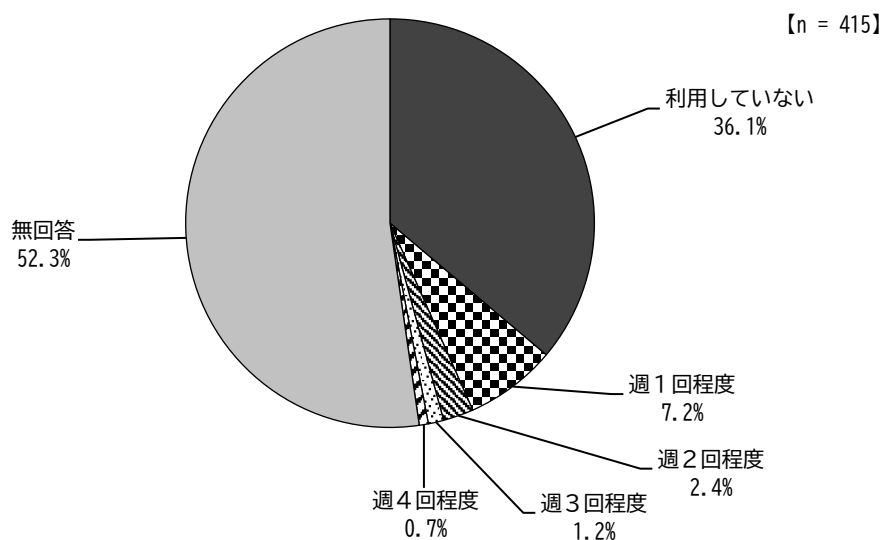
■ 訪問介護（ホームヘルプサービス）

訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用回数については、「利用していない」が31.6%で最も高くなっている。利用している人では、「週1回程度」が7.5%、「週2回程度」が4.6%、「週5回以上」が4.1%となっている。



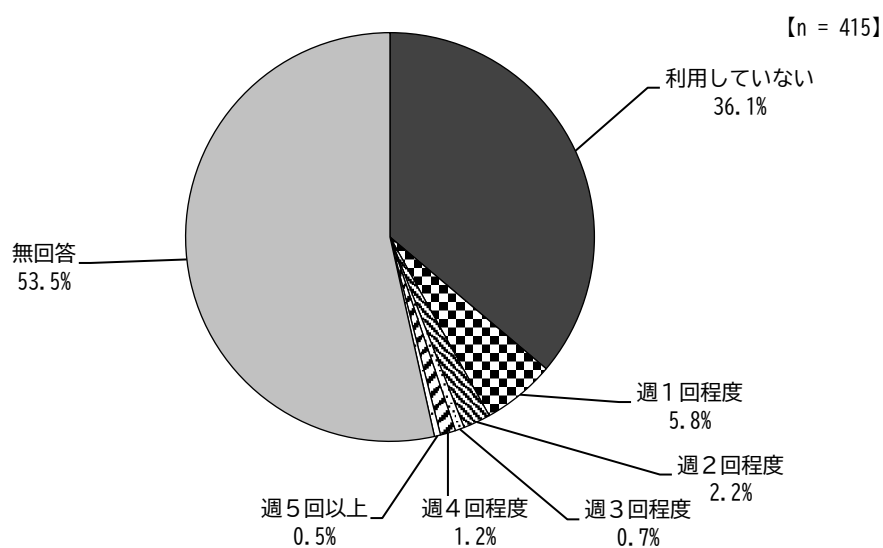
■ 訪問入浴介護

訪問入浴介護の利用回数については、「利用していない」が 36.1%で最も高くなっている。利用している人では、「週 1 回程度」が 7.2%、「週 2 回程度」が 2.4%、「週 3 回程度」が 1.2%となっている。



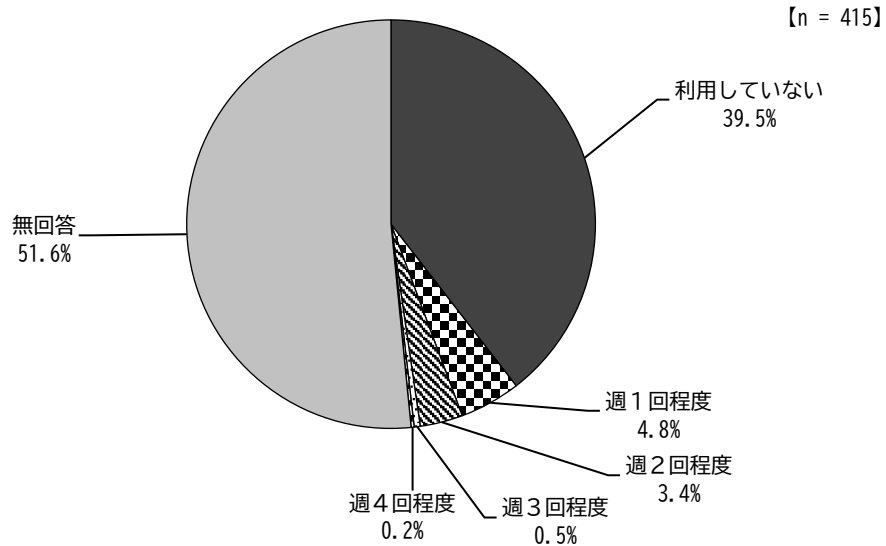
■ 訪問看護

訪問看護の利用回数については、「利用していない」が 36.1%で最も高くなっている。利用している人では、「週 1 回程度」が 5.8%、「週 2 回程度」が 2.2%、「週 4 回程度」が 1.2%となっている。



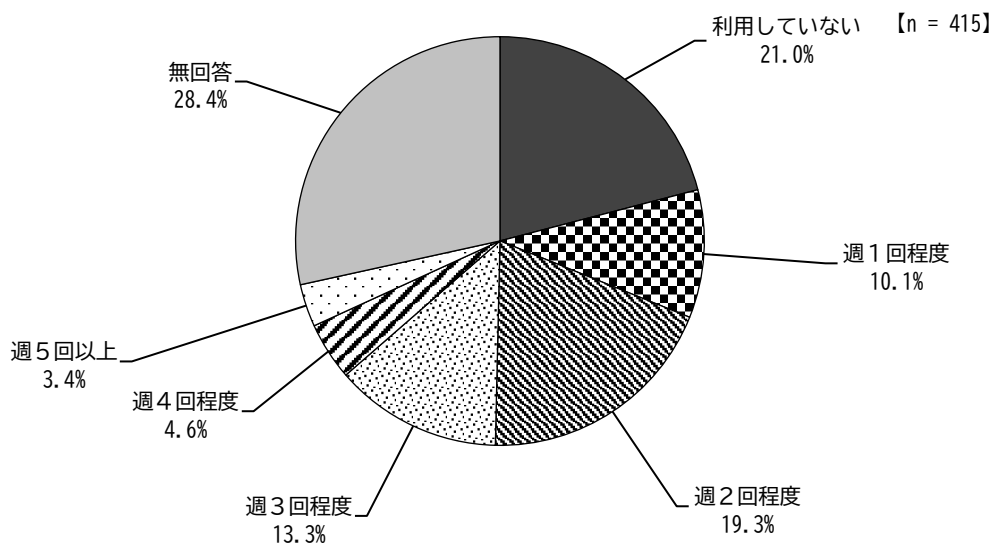
■ 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションの利用回数については、「利用していない」が39.5%で最も高くなっている。利用している人では、「週1回程度」が4.8%、「週2回程度」が3.4%、「週3回程度」が0.5%となっている。



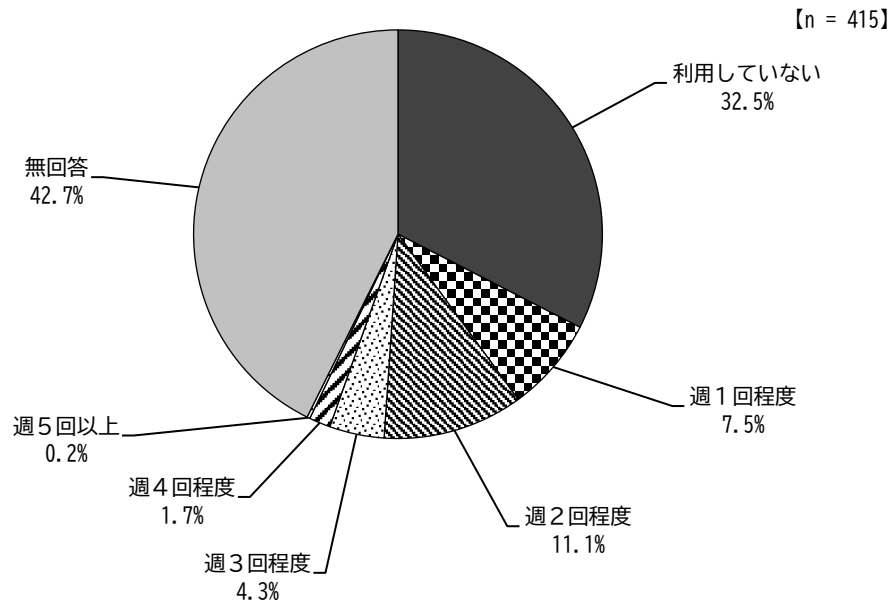
■ 通所介護（デイサービス）

通所介護（デイサービス）の利用回数については、「利用していない」が21.0%で最も高くなっている。利用している人では、「週2回程度」が19.3%、「週3回程度」が13.3%、「週1回程度」が10.1%となっている。



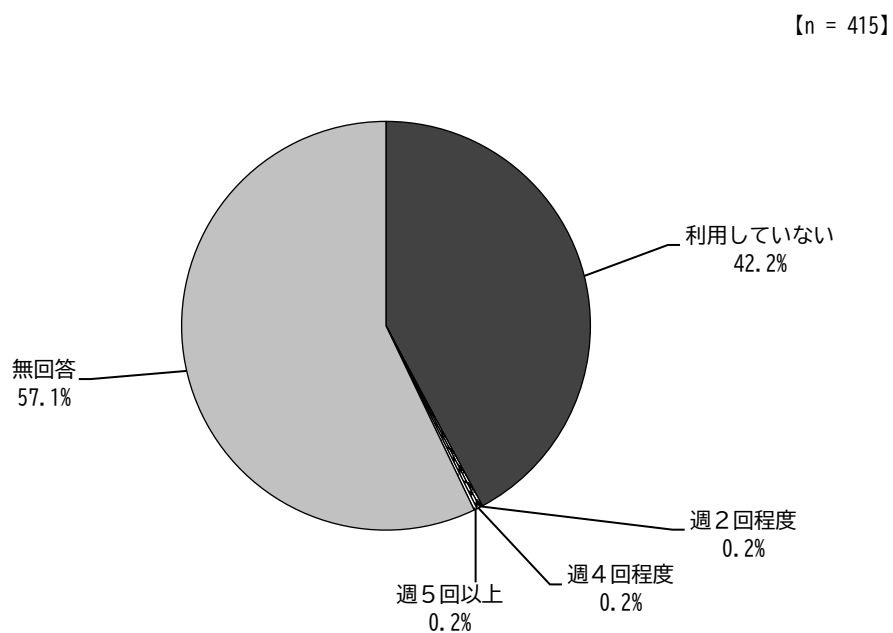
■ 通所リハビリテーション（デイケア）

通所リハビリテーション（デイケア）の利用回数については、「利用していない」が 32.5%で最も高くなっている。利用している人では、「週2回程度」が 11.1%、「週1回程度」が 7.5%、「週3回程度」が 4.3%となっている。



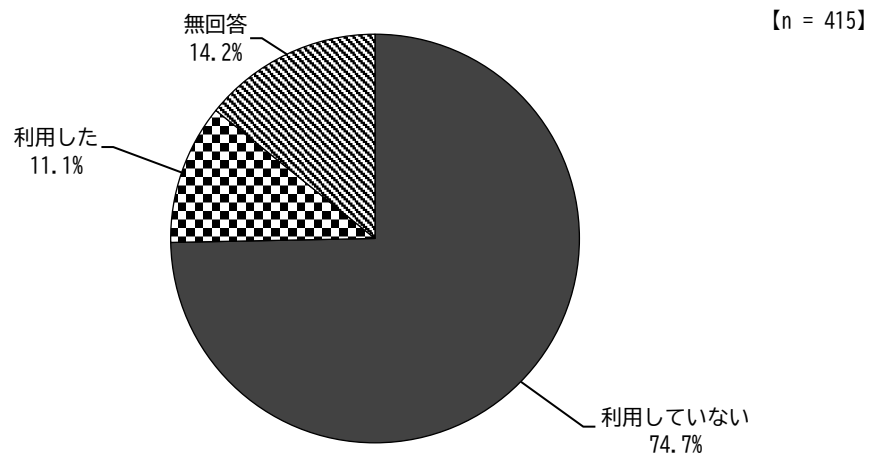
■ 夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護の利用回数については、「利用していない」が 42.2%で最も高くなっている。利用している人では、「週2回程度」「週4回程度」「週5回以上」が 0.2%となっている。



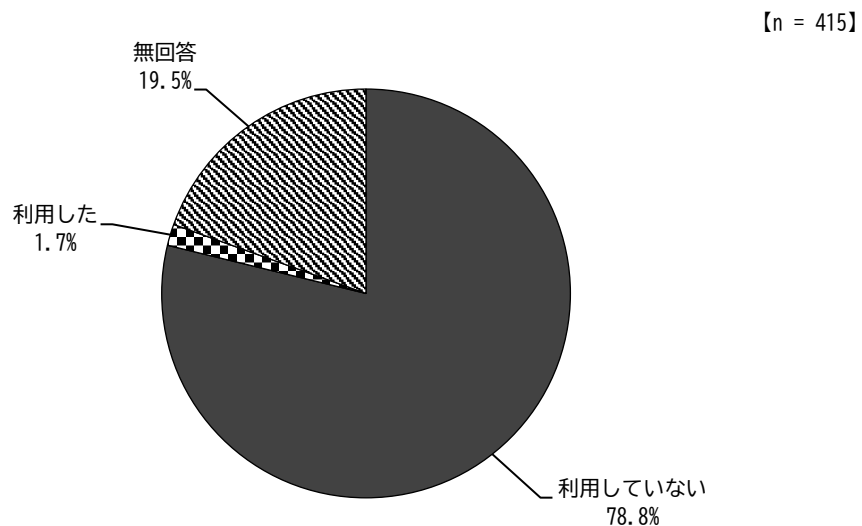
■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用有無については、「利用していない」が74.7%、「利用した」が11.1%となっている。



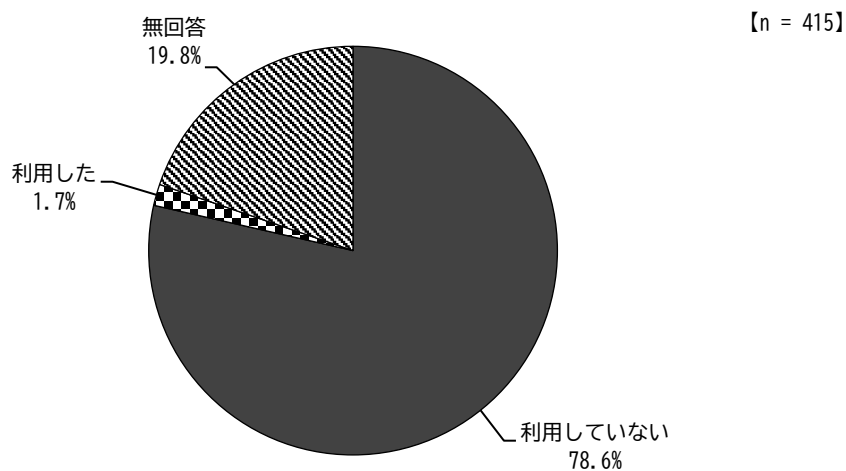
■ 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の利用有無については、「利用していない」が78.8%、「利用した」が1.7%となっている。



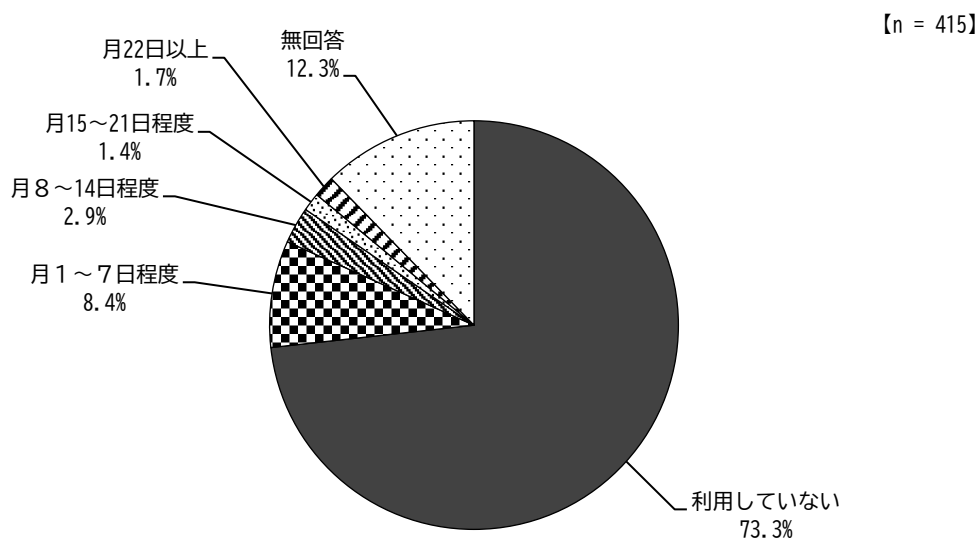
■ 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護の利用有無については、「利用していない」が78.6%、「利用した」が1.7%となっている。



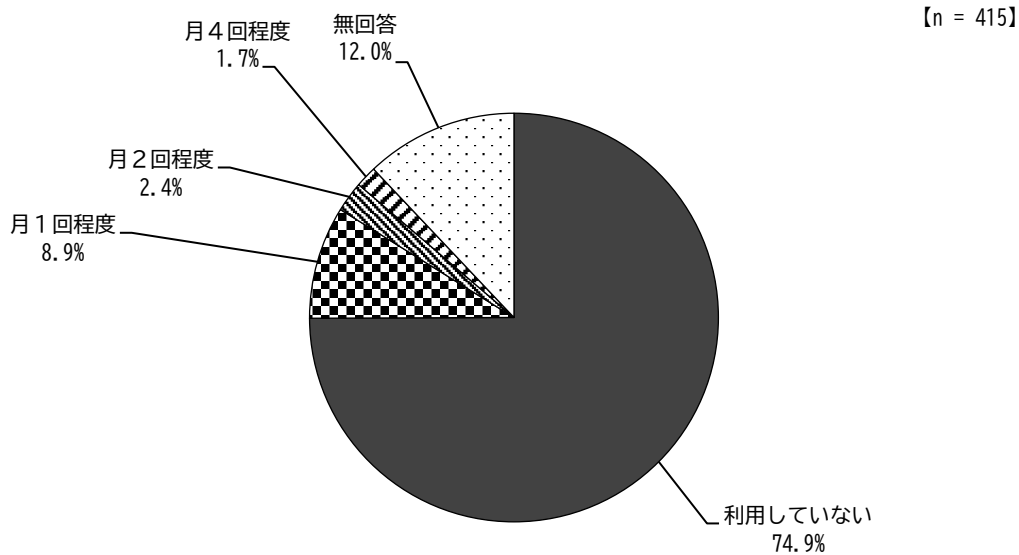
■ 短期入所（ショートステイ）

短期入所（ショートステイ）の利用日数については、「利用していない」が73.3%で最も高くなっている。利用している人では、「月1～7日程度」が8.4%、「月8～14日程度」が2.9%、「月22日以上」が1.7%となっている。



■ 居宅療養管理指導

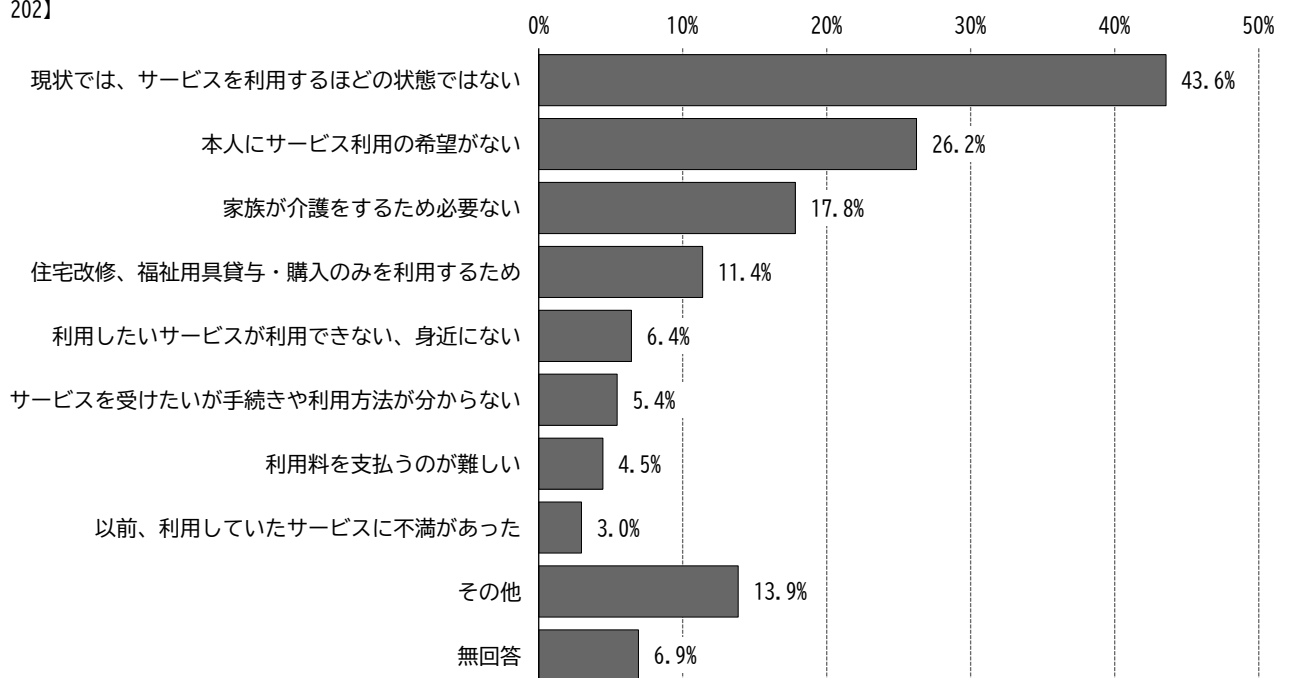
居宅療養管理指導の利用回数については、「利用していない」が74.9%で最も高くなっている。利用している人では、「月1回程度」が8.9%、「月2回程度」が2.4%、「月4回程度」が1.7%となっている。



問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

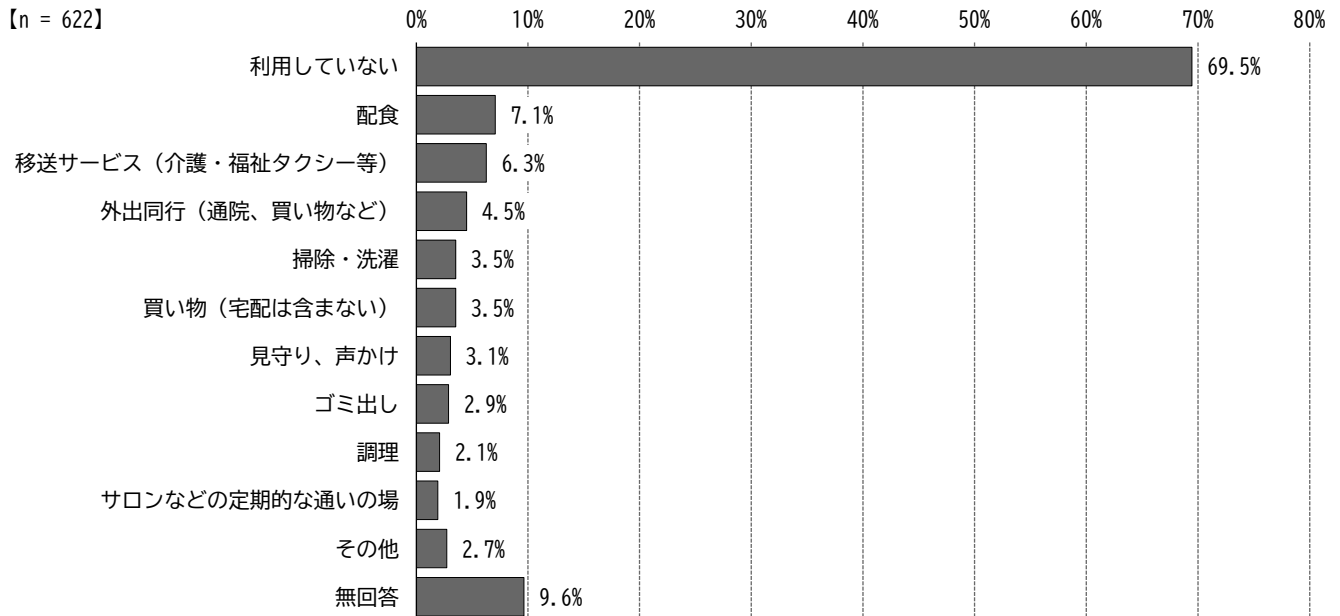
介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.6%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が26.2%、「家族が介護をするため必要ない」が17.8%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が11.4%、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が6.4%となっている。

【n = 202】



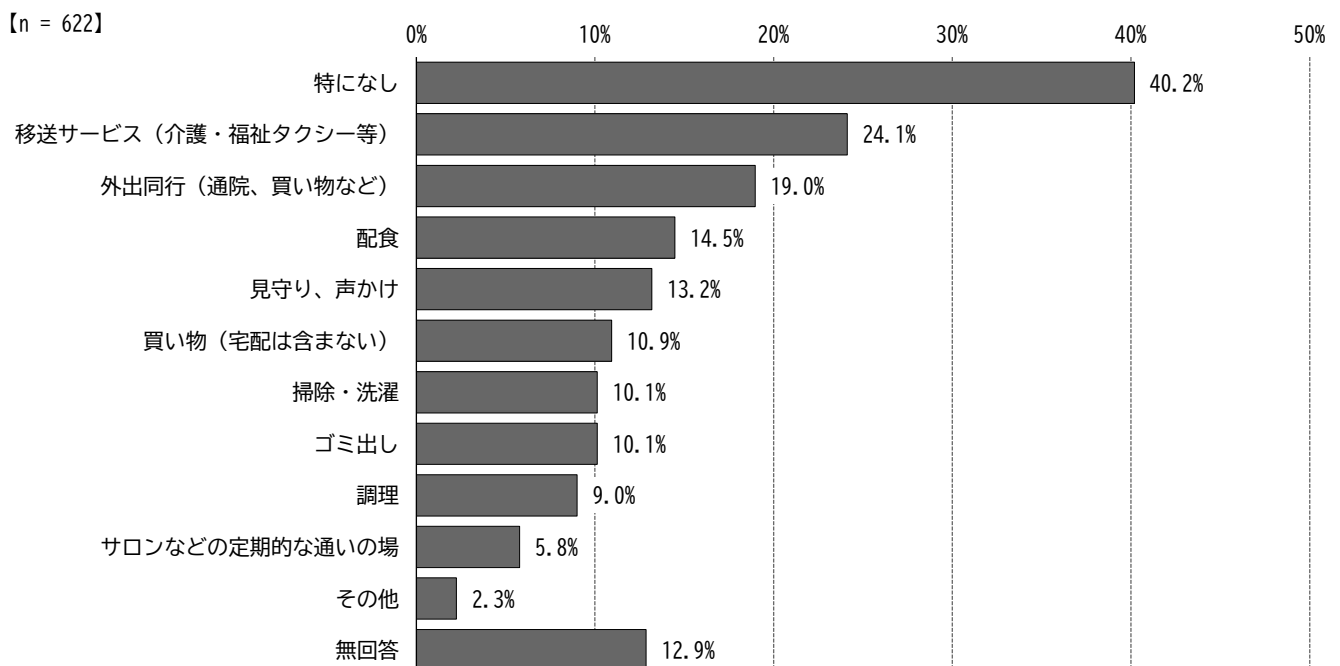
問11-1 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が 69.5%で最も高くなっている。利用している支援・サービスでは、「配食」が 7.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 6.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が 4.5%となっている。



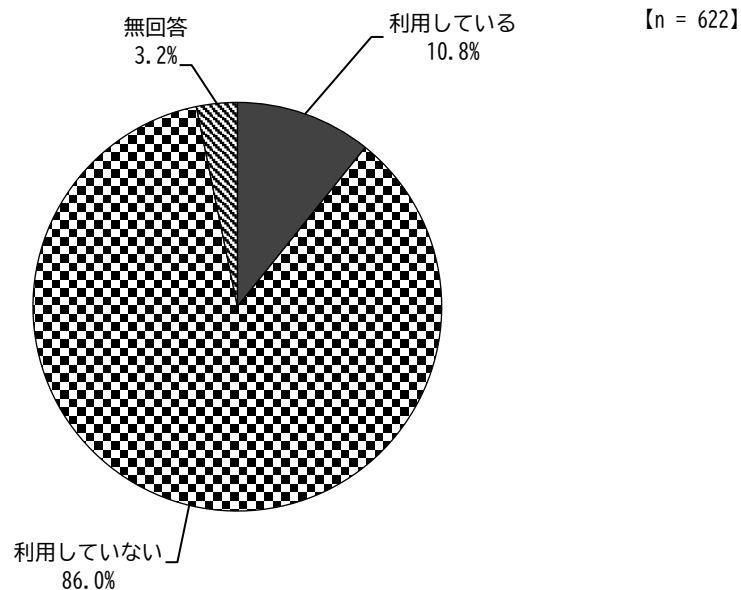
問11-2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が 40.2%で最も高くなっている。一方、具体的な支援・サービスでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 24.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.0%、「配食」が 14.5%、「見守り、声かけ」が 13.2%となっている。



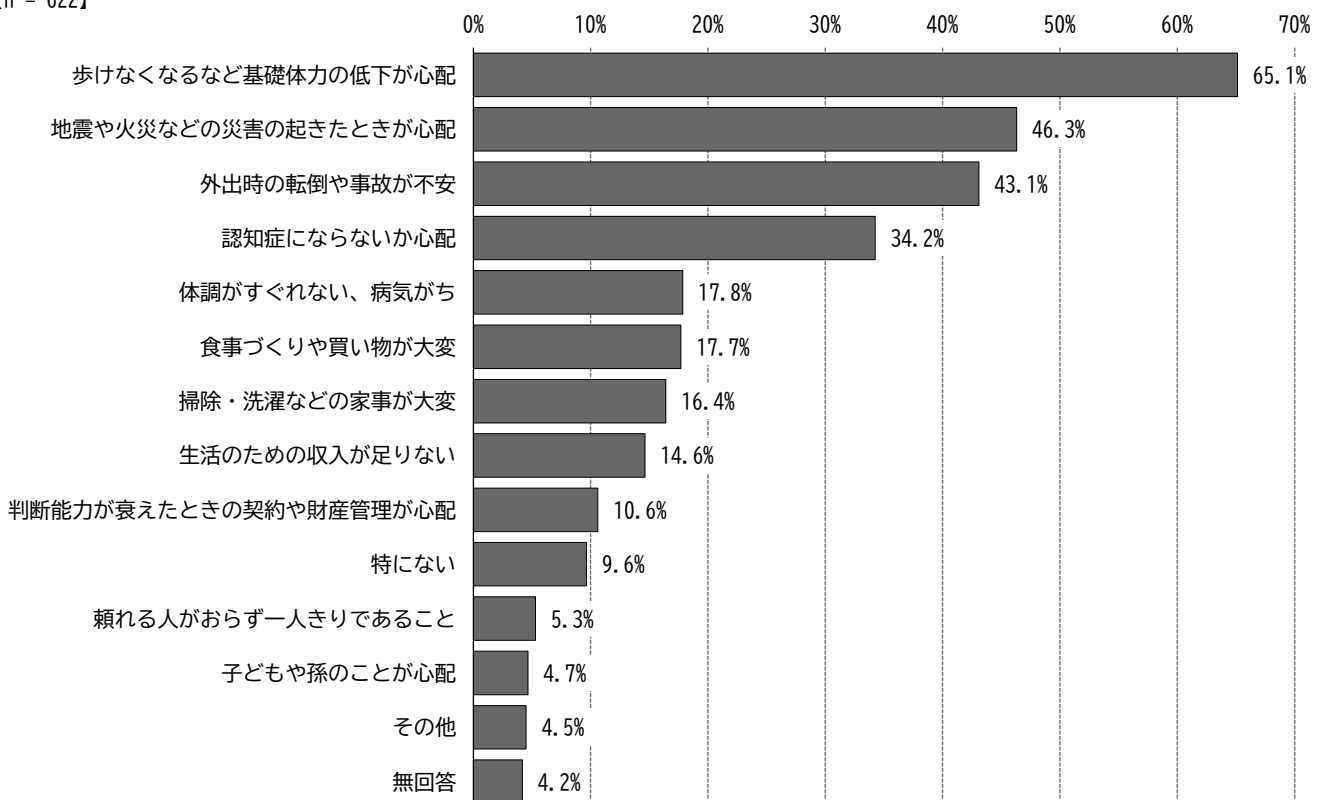
問12 あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が86.0%、「利用している」が10.8%となっている。

**問13 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありませんか（○はいくつでも）**

日常生活における不安・悩み・心配ごとについては、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」が65.1%で最も高く、次いで「地震や火災などの災害の起きたときが心配」が46.3%、「外出時の転倒や事故が不安」が43.1%、「認知症にならないか心配」が34.2%、「体調がすぐれない、病気がち」が17.8%となっている。

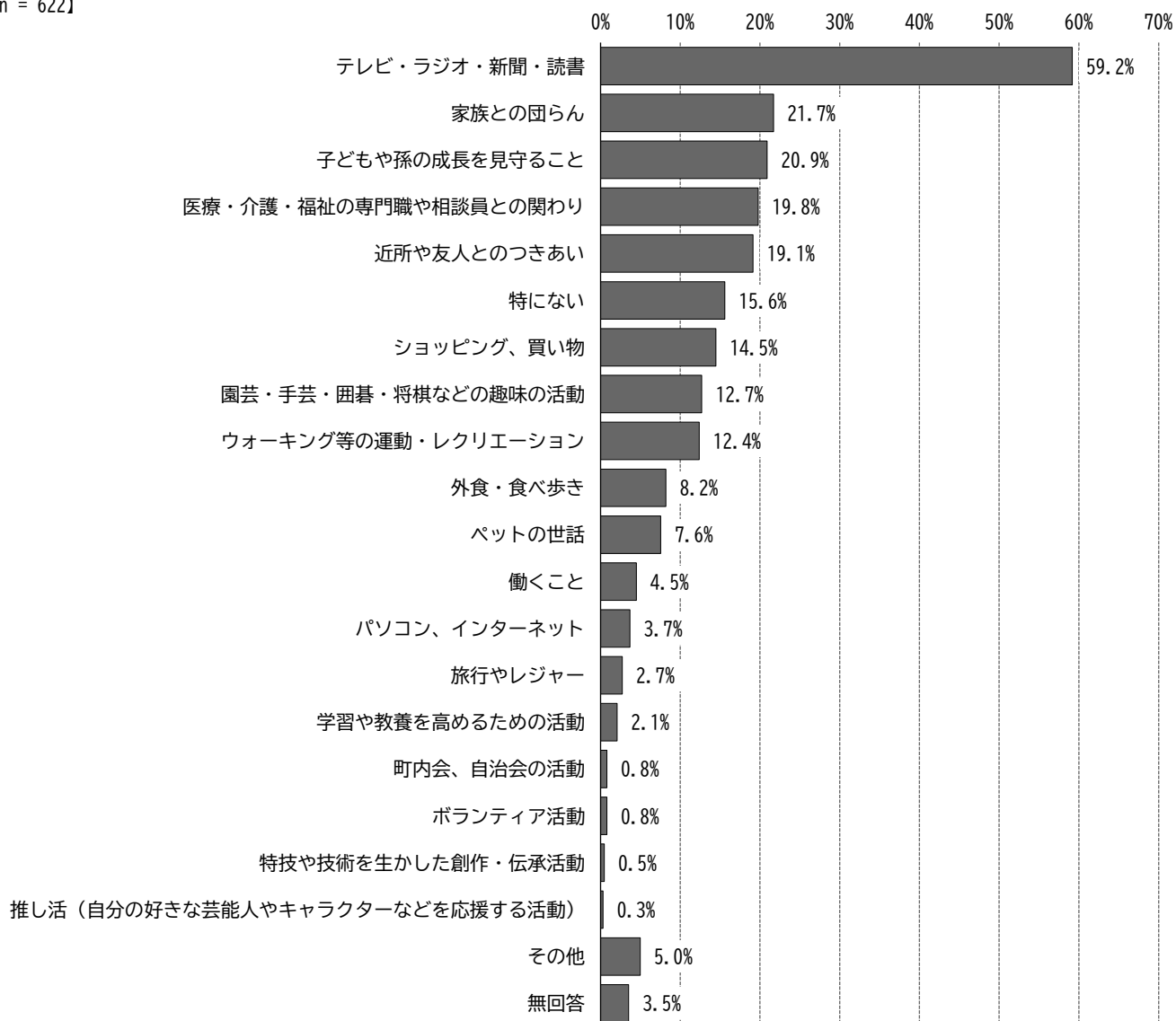
【n = 622】



問14 あなたは、元気でいるために取り組んでいることはありますか（〇はいくつでも）

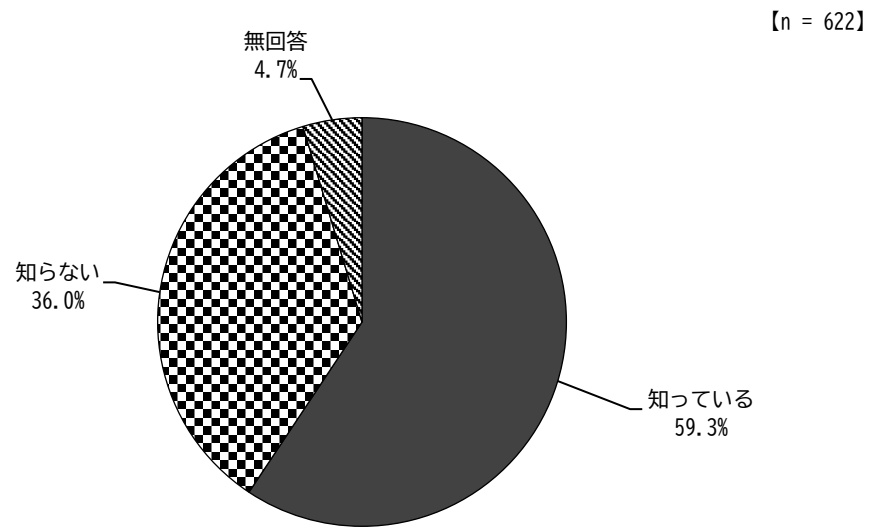
元気でいるために取り組んでいることについては、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が 59.2%で最も高く、次いで「家族との団らん」が 21.7%、「子どもや孫の成長を見守ること」が 20.9%、「医療・介護・福祉の専門職や相談員との関わり」が 19.8%、「近所や友人とのつきあい」が 19.1%となっている。

【n = 622】



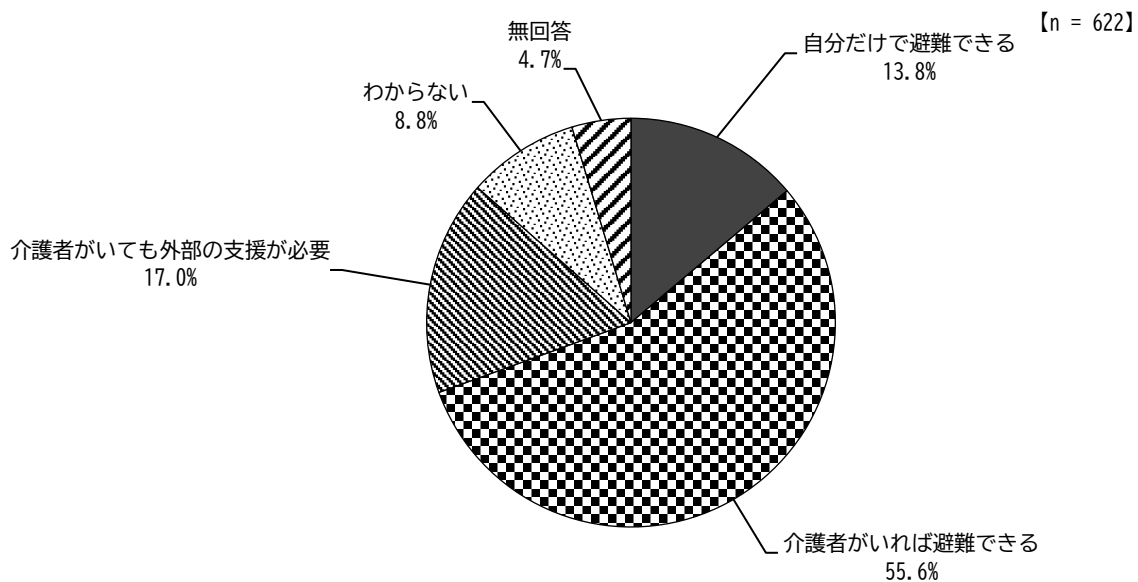
問15-1 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか（○は1つ）

お住まいの地域の避難所を知っていますかについては、「知っている」が59.3%、「知らない」が36.0%となっている。



問15-2 あなたは、災害や火災などの緊急時に1人で避難することができますか（○は1つ）

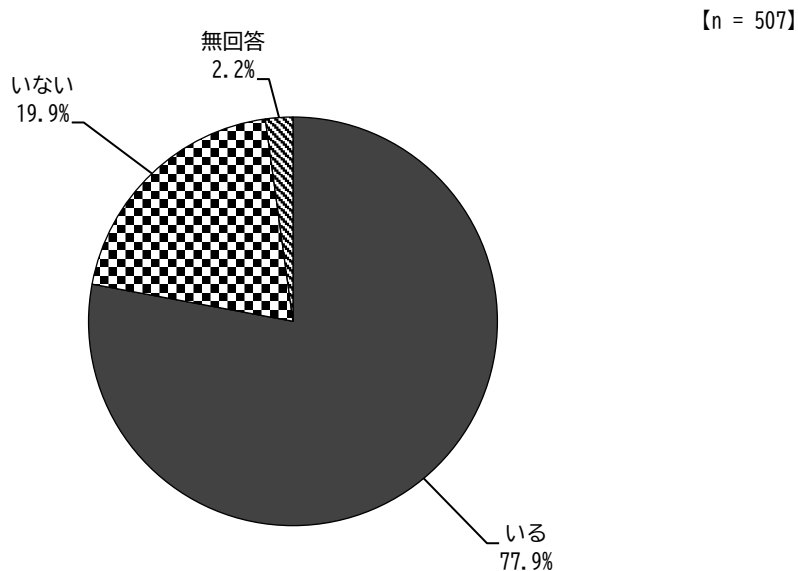
災害や火災などの緊急時に1人で避難することができますかについては、「介護者がいれば避難できる」が55.6%で最も高く、次いで「介護者がいても外部の支援が必要」が17.0%、「自分だけで避難できる」が13.8%となっている。



【問15－2において「2. 介護者がいれば避難できる」「3. 介護者がいても外部の支援が必要」「4. わからない」の方のみ】

① あなたが避難する時、一緒に避難してくれる人がいますか（○は1つ）

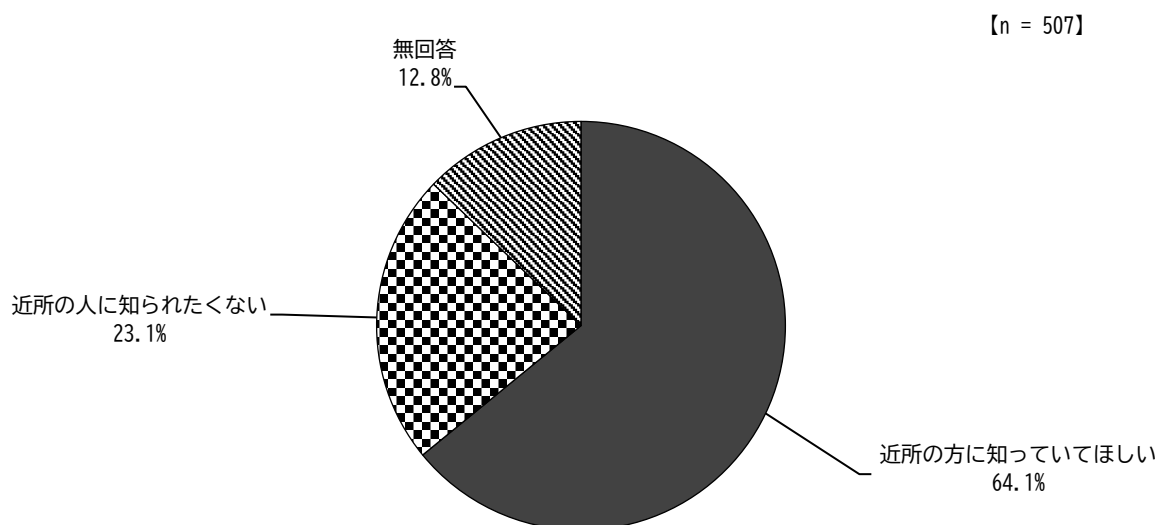
避難する時、一緒に避難してくれる人がいますかについては、「いる」が 77.9%、「いない」が 19.9%となっている。



【問15－2において「2. 介護者がいれば避難できる」「3. 介護者がいても外部の支援が必要」「4. わからない」の方のみ】

② あなたが緊急時に1人で避難できないこと、あなたの住所・氏名・連絡先などの情報を近所の人に事前に知らせておきたいと思いますか（○は1つ）

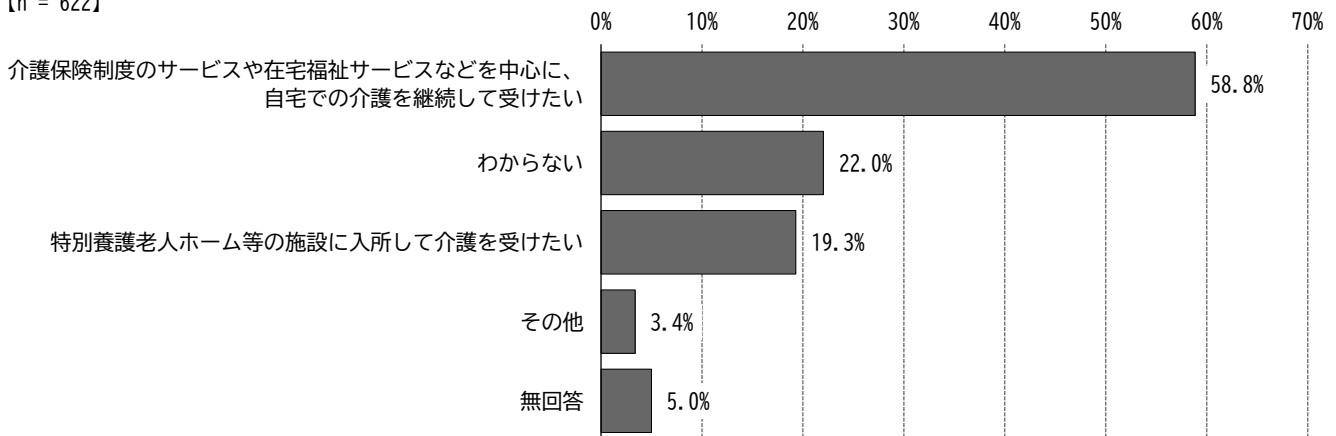
緊急時に1人で避難できないこと、連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思いますがについては、「近所の方に知っていてほしい」が 64.1%、「近所の人に知られたくない」が 23.1%となっている。



問16 あなたは、今後、どのような介護を希望しますか（〇はいくつでも）

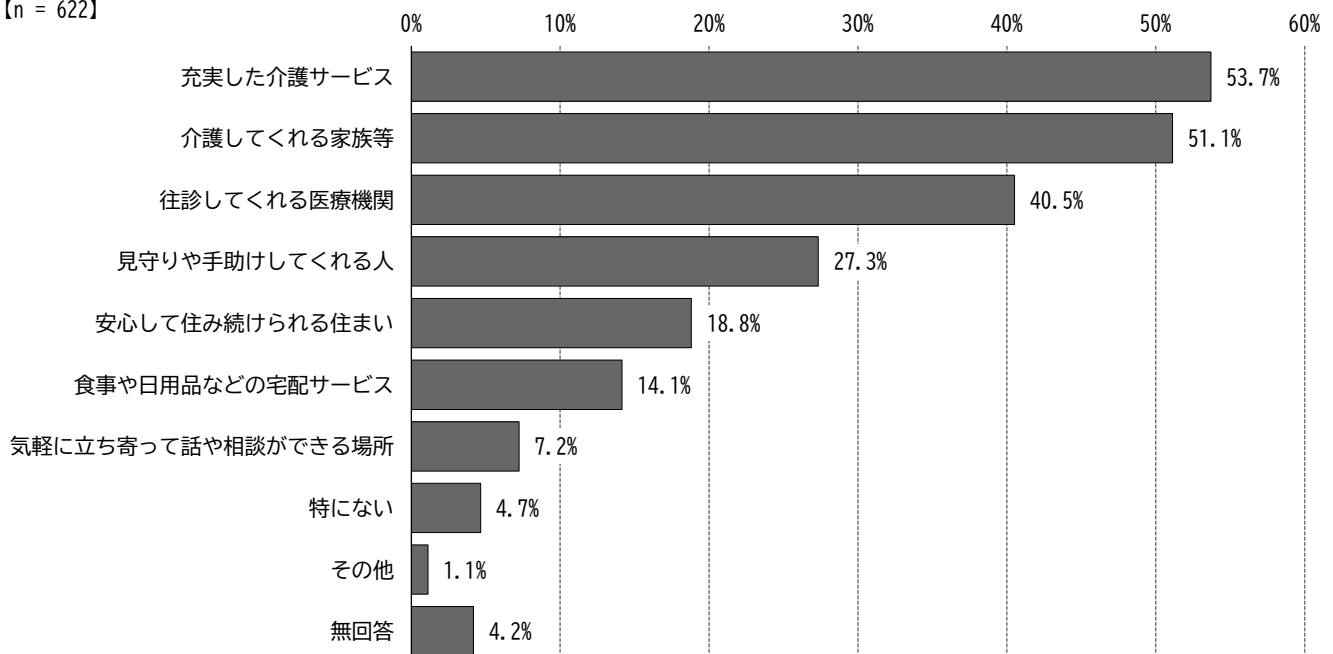
今後、どのような介護を希望しますかについては、「介護保険制度のサービスや在宅福祉サービスなどを中心に、自宅での介護を継続して受けたい」が58.8%で最も高く、次いで「わからない」が22.0%、「特別養護老人ホーム等の施設に入所して介護を受けたい」が19.3%となっている。

【n = 622】

**問17 これからも在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか（〇は3つまで）**

これからも在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですかについては、「充実した介護サービス」が53.7%で最も高く、次いで「介護してくれる家族等」が51.1%、「往診してくれる医療機関」が40.5%、「見守りや手助けしてくれる人」が27.3%、「安心して住み続けられる住まい」が18.8%となっている。

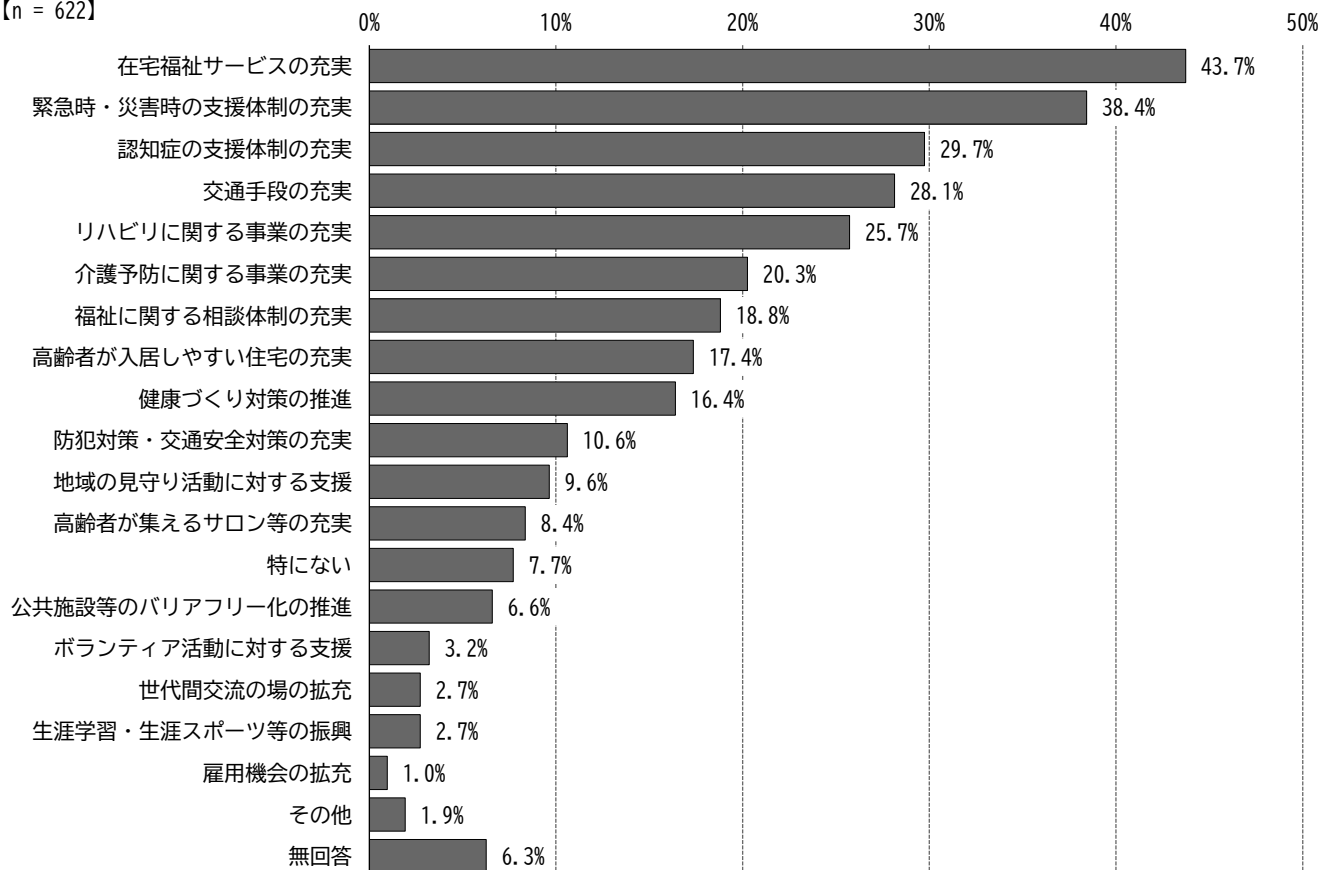
【n = 622】



問18 旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことは何ですか（〇は5つまで）

旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことについては、「在宅福祉サービスの充実」が43.7%で最も高く、次いで「緊急時・災害時の支援体制の充実」が38.4%、「認知症の支援体制の充実」が29.7%、「交通手段の充実」が28.1%、「リハビリに関する事業の充実」が25.7%となっている。

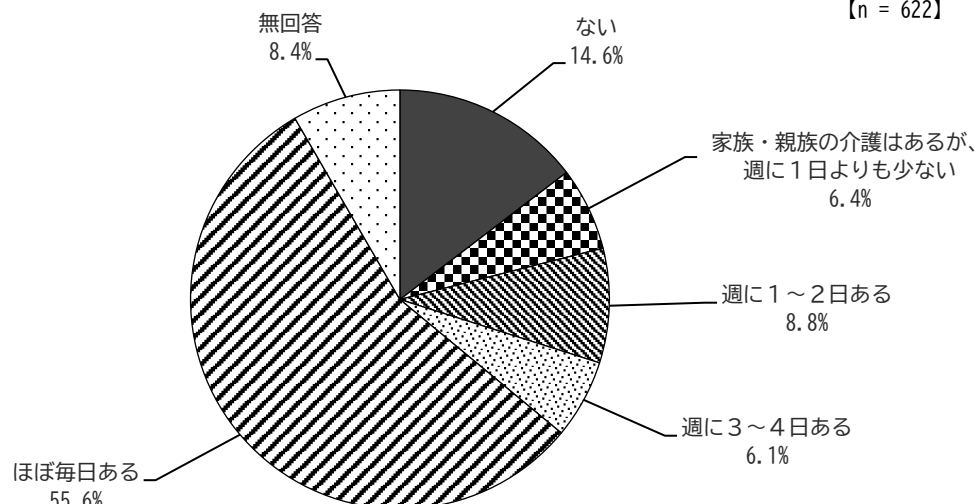
【n = 622】



問19 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（〇は1つ）

家族や親族による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が55.6%で最も高く、次いで「ない」が14.6%、「週に1～2日ある」が8.8%となっている。

【n = 622】



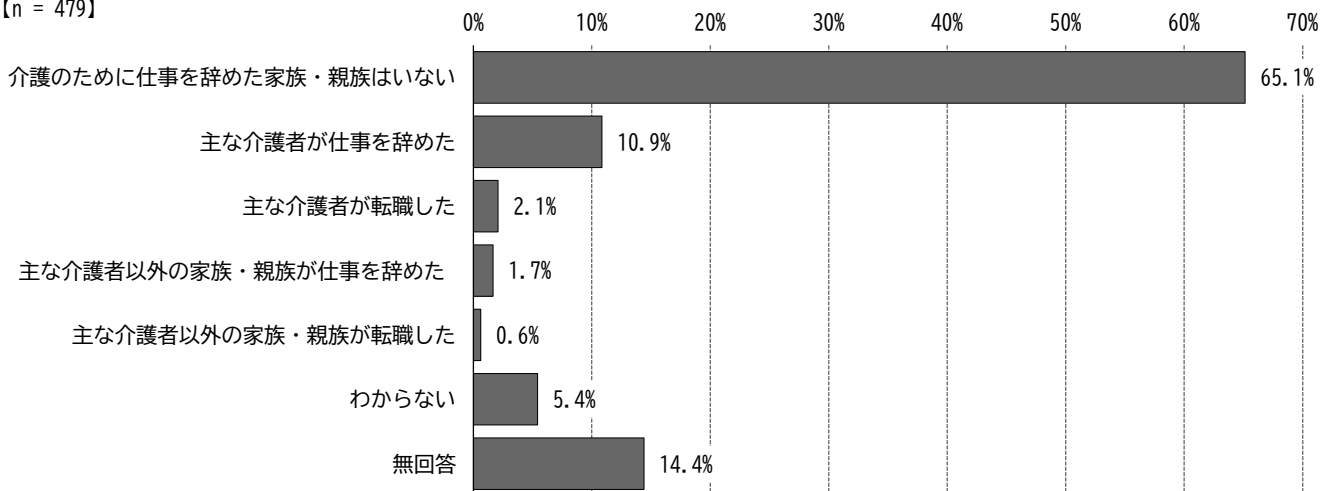
3. 主な介護者の方について

・問19で「2.」～「5.」（ご家族やご親族の方からの介護がある）を選択された場合は、「主な介護者」の方が、問20からの設問にお答えください。

問20 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（〇はいくつでも）

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.1%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.9%、「わからない」が5.4%、「主な介護者が転職した」が2.1%となっている。

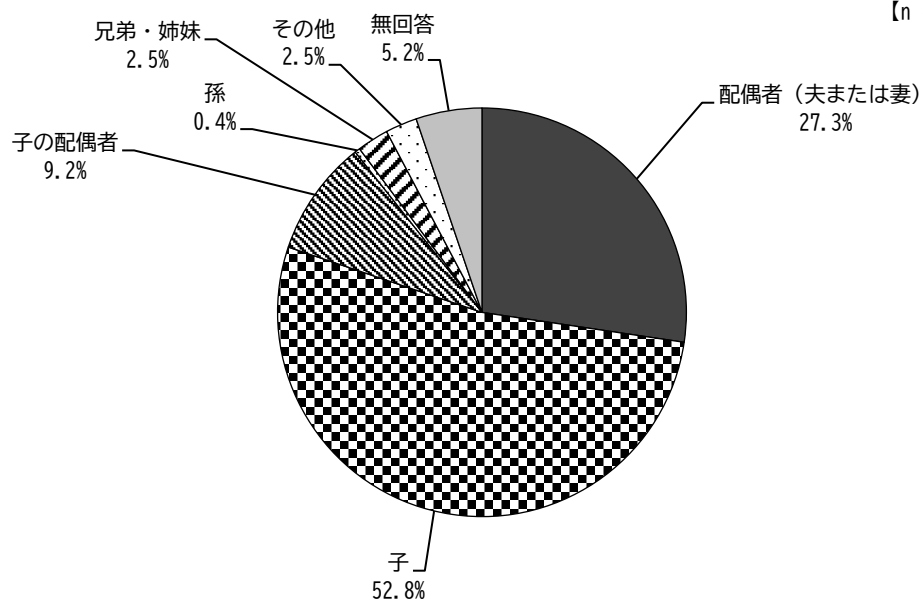
【n = 479】



問21 主な介護者の方は、どなたですか（〇は1つ）

主な介護者については、「子」が52.8%で最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が27.3%、「子の配偶者」が9.2%となっている。

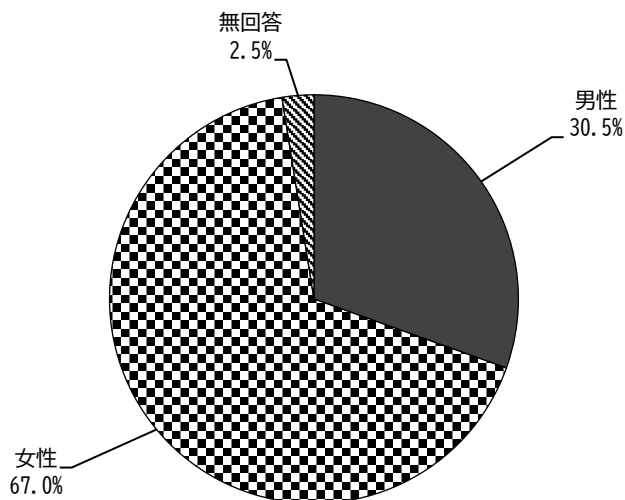
【n = 479】



問22 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の方の性別については、「女性」が67.0%、「男性」が30.5%となっている。

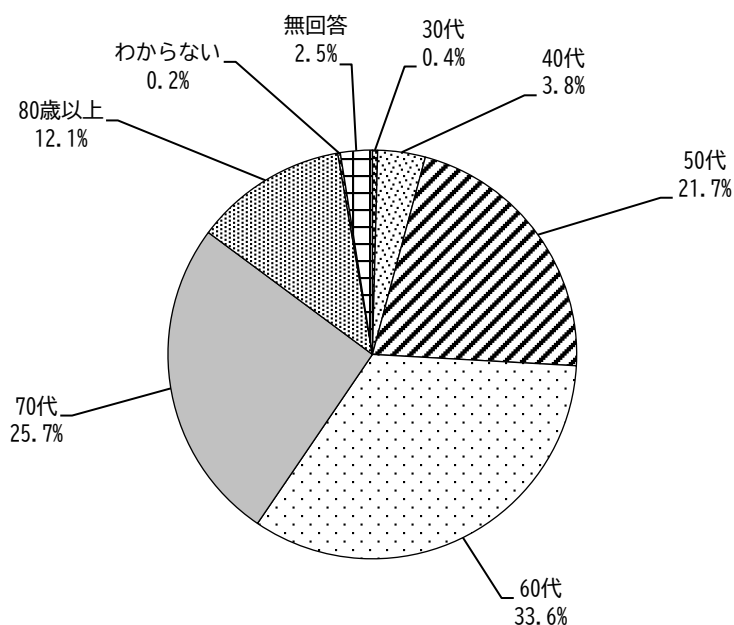
【n = 479】



問23 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の方の年齢については、「60代」が33.6%で最も高く、次いで「70代」が25.7%、「50代」が21.7%となっている。

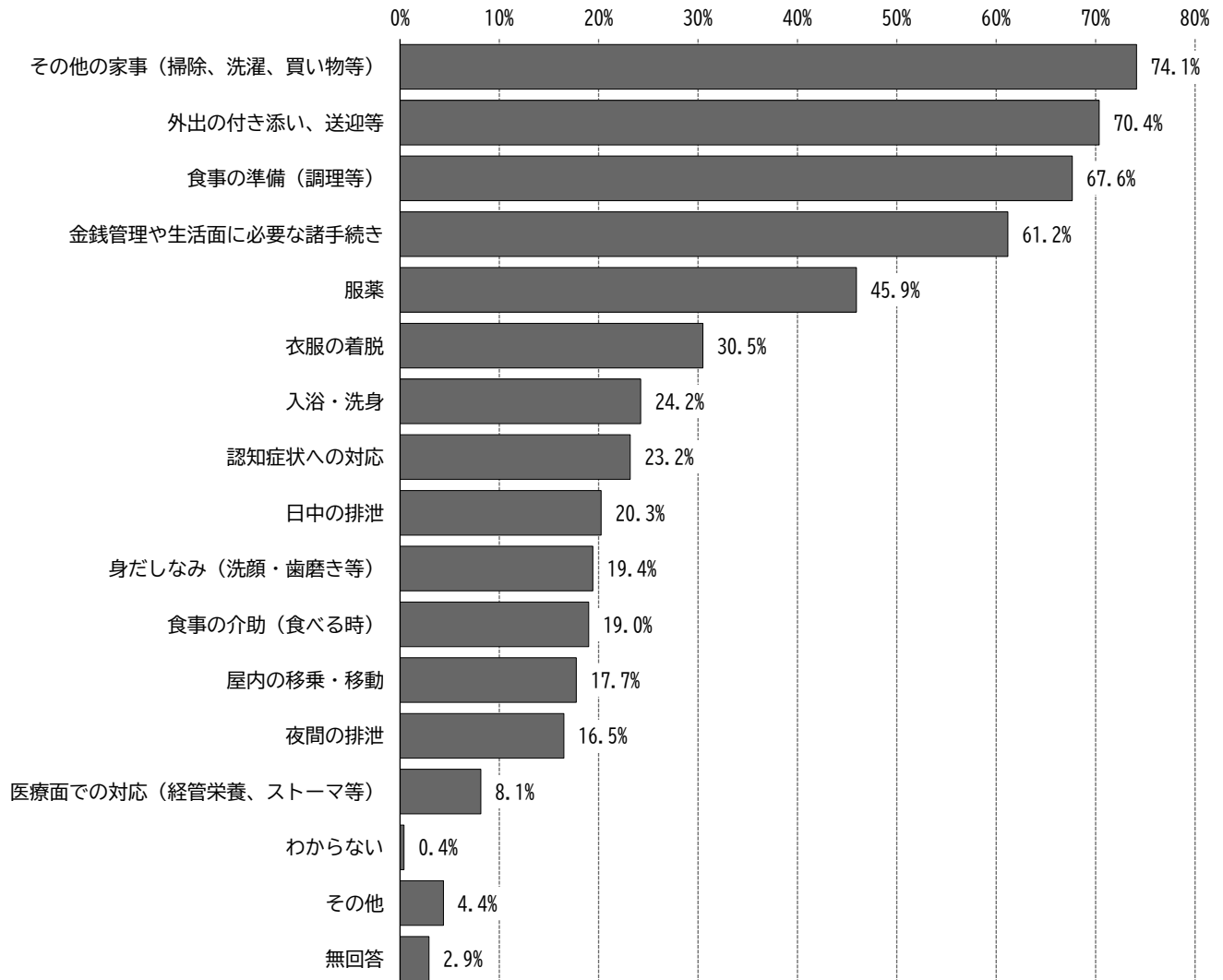
【n = 479】



問24 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が74.1%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.4%、「食事の準備（調理等）」が67.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が61.2%、「服薬」が45.9%となっている。

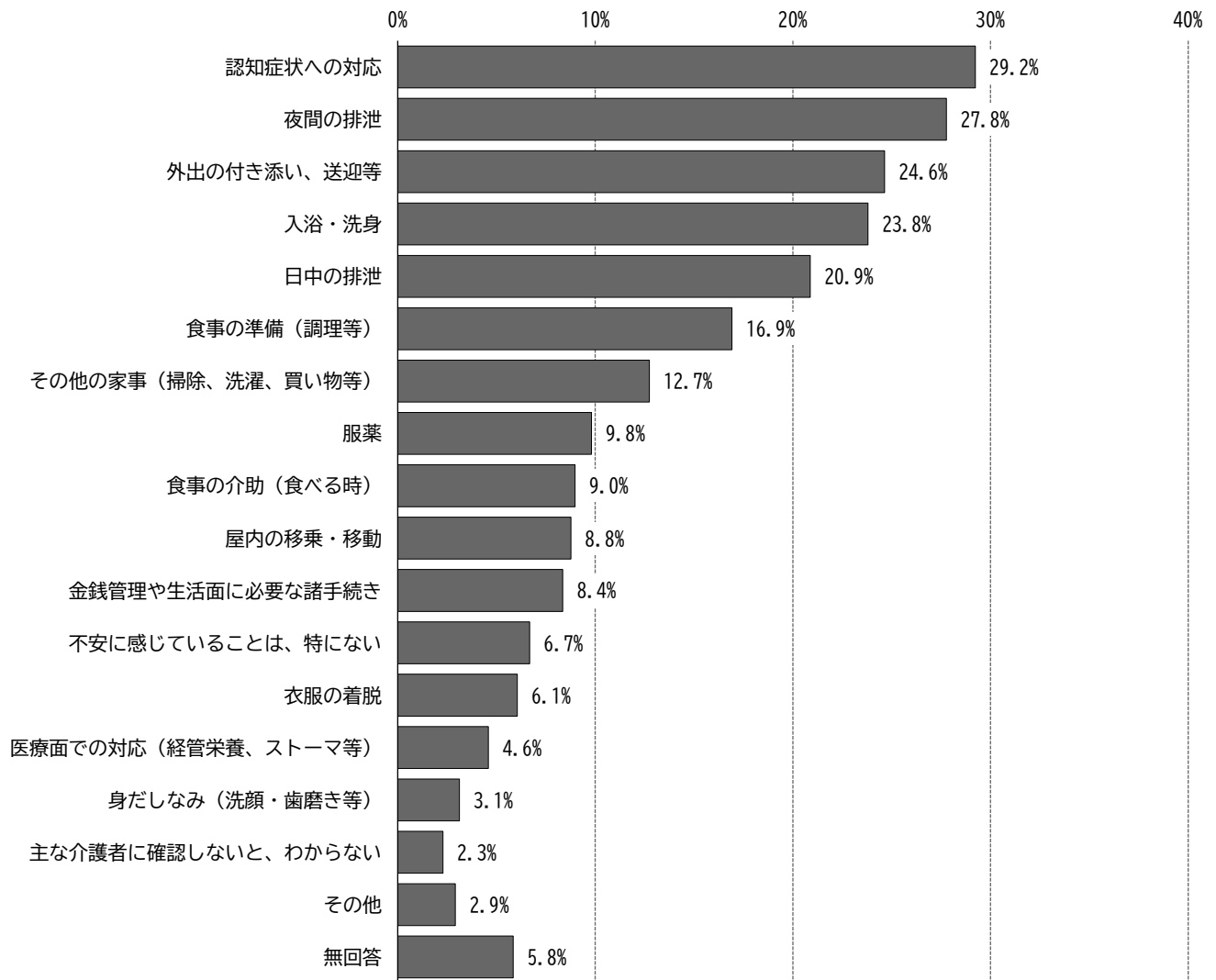
【n = 479】



**問25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が、不安に感じる介護等について、
ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）**

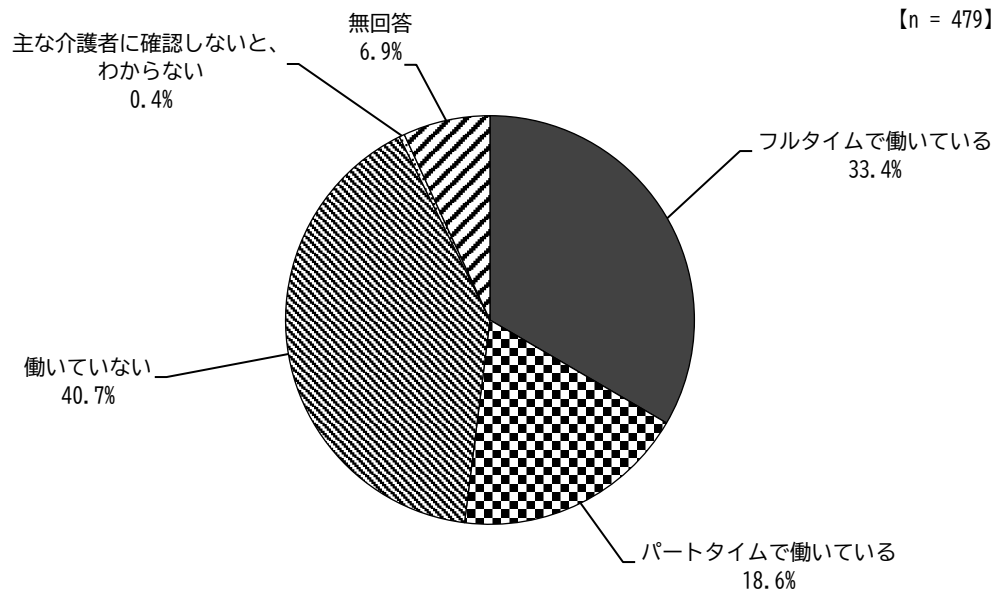
主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が 29.2%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 27.8%、「外出の付き添い、送迎等」が 24.6%、「入浴・洗身」が 23.8%、「日中の排泄」が 20.9%となっている。

【n = 479】



問26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（〇は1つ）

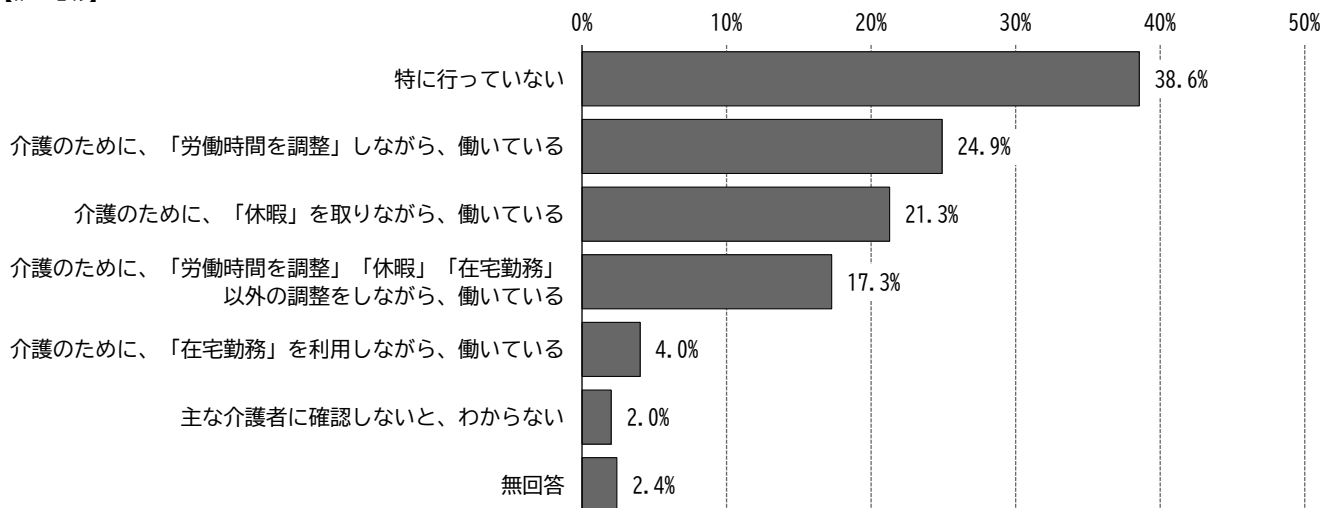
主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が40.7%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が33.4%、「パートタイムで働いている」が18.6%となっている。



問27 問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（〇はいくつでも）

介護にあたっての働き方の調整状況については、「特に行っていない」が38.6%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が24.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が21.3%、「介護のために、「労働時間を調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」が17.3%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が4.0%となっている。

【n = 249】

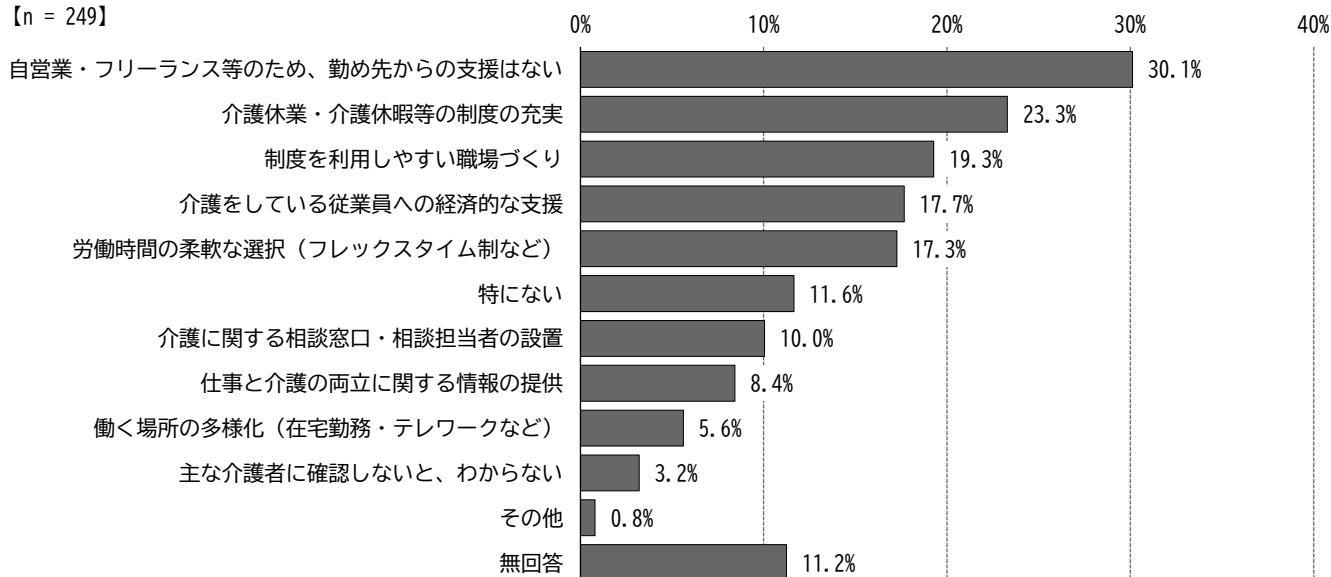


問28 問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は3つまで）

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援はない」が30.1%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が23.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が19.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が17.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が17.3%となっている。

【n = 249】



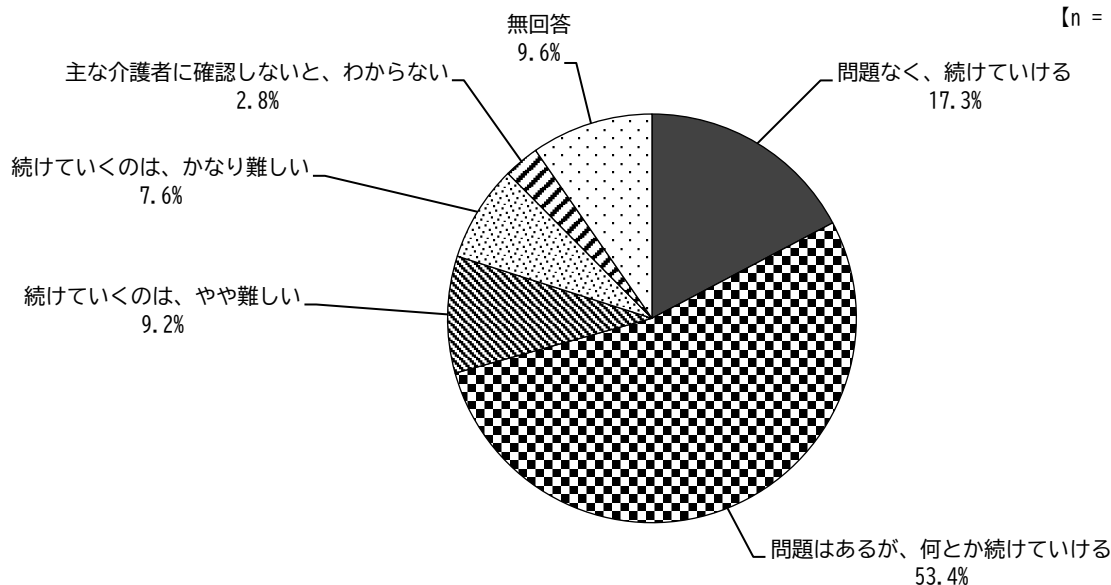
問29 問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（〇は1つ）

今後も働きながら介護を続けられる見込みについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.3%となっている。

一方で「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」をあわせた「続けていくのは難しい」は16.9%となっている。

【n = 249】



○介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください

自由記述欄には、「なし」「特になし」等を含め、148件の記載があった。

記載内容をみると、介護者の負担・不安、介護サービスの利用・充実、施設入所、移動・外出支援、見守り・緊急時対応、相談体制・情報提供、経済的負担、医療・在宅医療等に関する意見がみられた。

特に、介護者自身の高齢化や体調不安、今後も在宅で介護を続けられるかという不安、介護者が急病・入院等となった場合の対応、ショートステイや施設入所に関する意見が挙げられている。また、通院・買い物等の移動手段、タクシー券や介護タクシー、配食・買い物支援、見守りサービスなど、在宅生活を支える日常生活支援に関する意見もみられた。

そのほか、介護保険制度や利用できるサービスの情報が分かりにくいこと、手続きの簡素化、介護保険料や利用料、施設利用料等の費用負担、医療機関との連携や在宅医療への不安など、在宅介護を継続するうえでの幅広い意見が寄せられている。

分類	主な内容
介護者の負担・不安	介護者自身の高齢化や体調不安、今後も介護を続けられるかという不安、仕事と介護の両立、介護者が急病・入院等となった場合の対応、介護者の精神的負担
介護サービスの利用・充実	デイサービス、ショートステイ、訪問介護、訪問看護、リハビリ、入浴支援、配食サービス、要支援者でも利用しやすいサービス、サービス利用条件の柔軟化
施設入所・住まい	特別養護老人ホーム等への入所、施設の空き状況、要介護度による入所条件、施設利用料、本人が施設入所を希望しない場合の対応、住み慣れた地域での生活継続
移動・外出支援	通院・買い物時の送迎、介護タクシー、タクシー券、きらりんタクシー、公共交通の利便性、車いす利用時の移動、免許返納後の移動手段
見守り・緊急時対応	日中独居時の見守り、緊急時の連絡・駆けつけ、見守りカメラ、近隣による見守り、災害時や急病時の対応、家族だけでは対応が難しい場合の支援
相談体制・情報提供	介護保険制度や高齢者福祉サービスの周知、利用できるサービスの案内、相談窓口、地域包括支援センター、ケアマネジャーとの相談、手続きの簡素化
経済的負担	介護保険料や利用料、施設利用料、デイサービス利用料、介護用品・紙おむつ等の費用、年金生活における負担、低所得者への配慮
医療・在宅医療	通院支援、救急時対応、在宅医療、医療機関との連携、退院後の生活支援、医療的ケアが必要な人のサービス利用、地域医療体制への不安
福祉用具・住宅環境	車いす、ベッド、歩行器等の福祉用具、バリアフリー、段差、駐車スペース、住宅内での転倒不安、介護用品の支給
地域資源・交流・介護予防	高齢者が集える場、介護予防事業、家族向け介護講座、認知症の家族向け学習機会、地域での支え合い、ボランティア・共助
感謝・現状維持・その他	現在利用しているサービスへの感謝、制度継続への要望、特になし、現状では困っていないという回答、その他個別事情に関する記述

※自由記述の内容をもとに、主な意見を分類・整理している。1つの回答に複数の内容が含まれる場合がある。

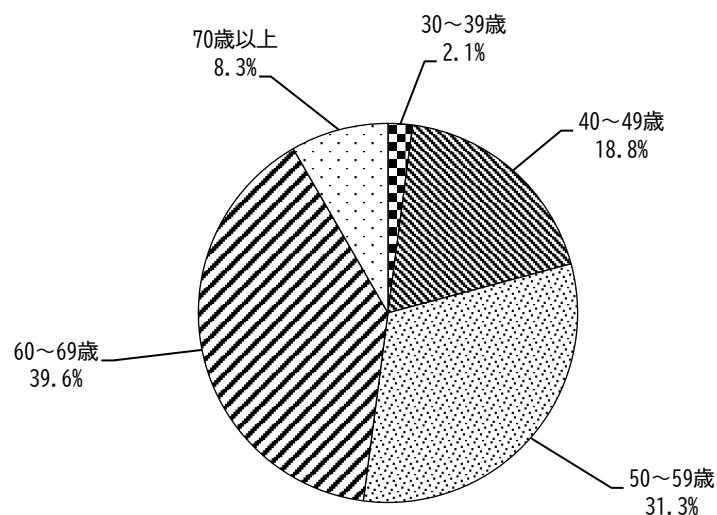
IV 調査結果③ 介護支援専門員調査

1. あなたのことについて

Q1. 令和7年12月1日現在のあなたの年齢（満何歳）を教えてください

年齢については、「60～69 歳」が 19 人（39.6%）で最も高く、次いで「50～59 歳」が 15 人（31.3%）、「40～49 歳」が 9 人（18.8%）、「70 歳以上」が 4 人（8.3%）となっている。

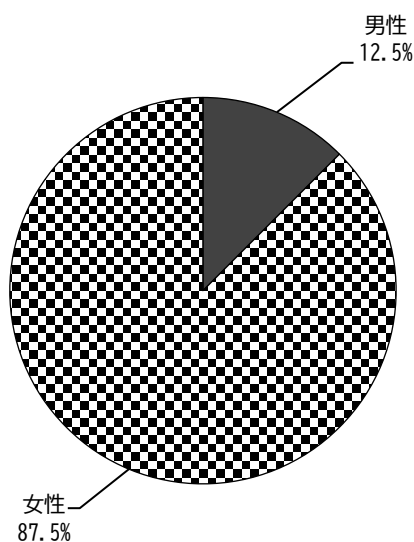
【n = 48】



Q2. あなたの性別を教えてください

性別については、「女性」が 42 人（87.5%）で最も高く、次いで「男性」が 6 人（12.5%）となっている。

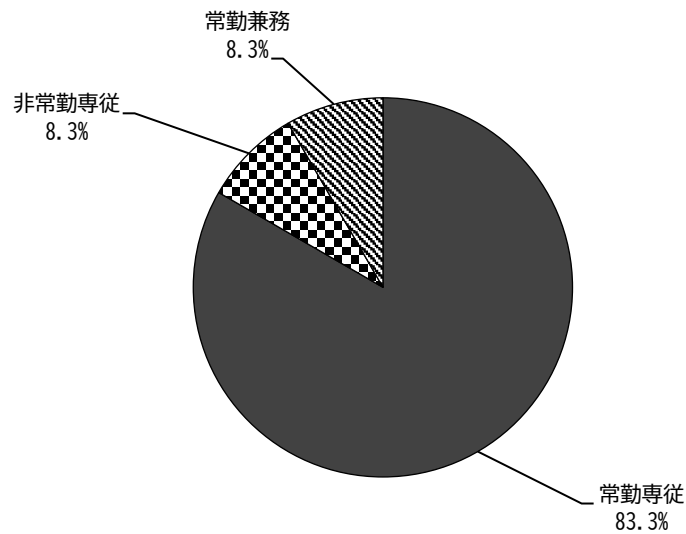
【n = 48】



Q3. あなたの勤務形態を教えてください

勤務形態については、「常勤専従」が40人（83.3%）で最も高く、次いで「常勤兼務」「非常勤専従」が4人（8.3%）となっている。

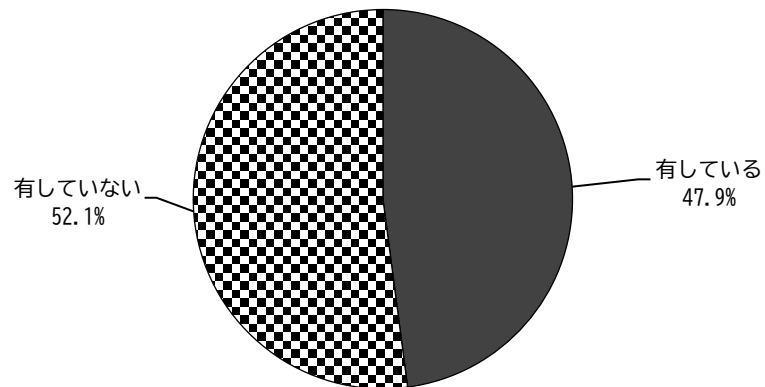
【n = 48】



Q4. あなたは主任介護支援専門員の資格を有していますか

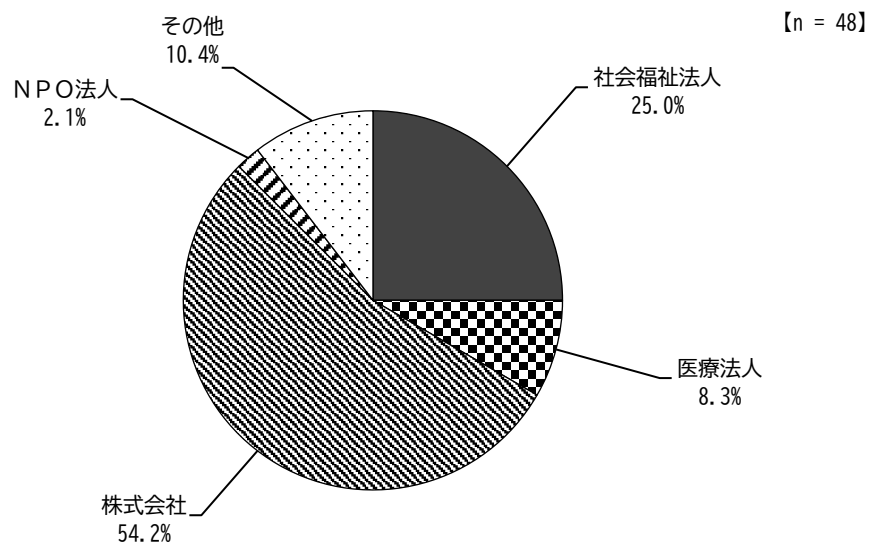
主任介護支援専門員資格の有無については、「有していない」が25人（52.1%）で最も高く、次いで「有している」が23人（47.9%）となっている。

【n = 48】



Q5. あなたが勤務する事業所の種類を教えてください

勤務先事業所の種類については、「株式会社」が26人（54.2%）で最も高く、次いで「社会福祉法人」が12人（25.0%）、「医療法人」が4人（8.3%）となっている。



2. 業務について

Q6. あなたがケアプランをたてている利用者数を教えてください（令和7年12月現在の市内・市外を含む人数を入力してください）

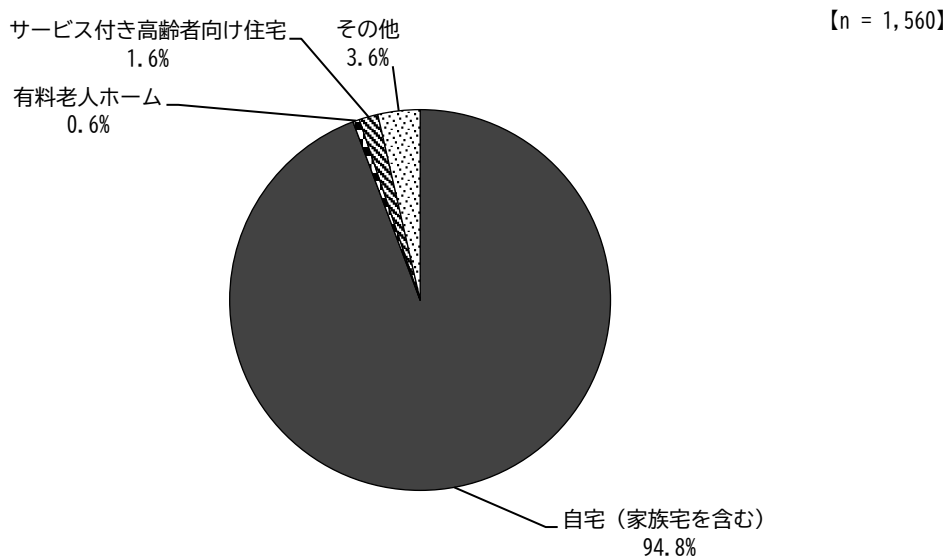
担当利用者数については、合計1,589人で、1人当たり平均33.1人となっている。内訳では、「要介護1」が440人で最も多く、次いで「要介護2」が421人、「要介護3」が260人、「要介護4」が206人となっている。

※項目実数の合計（1,589人）を使用。平均は1,589人÷48人で算出。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	担当利用者数 (合計)
利用者数	66人	100人	440人	421人	260人	206人	79人	17人	1,589人

Q7. あなたがケアプランをたてている利用者の居所を教えてください（令和7年12月現在の市内・市外を含む人数を入力してください）

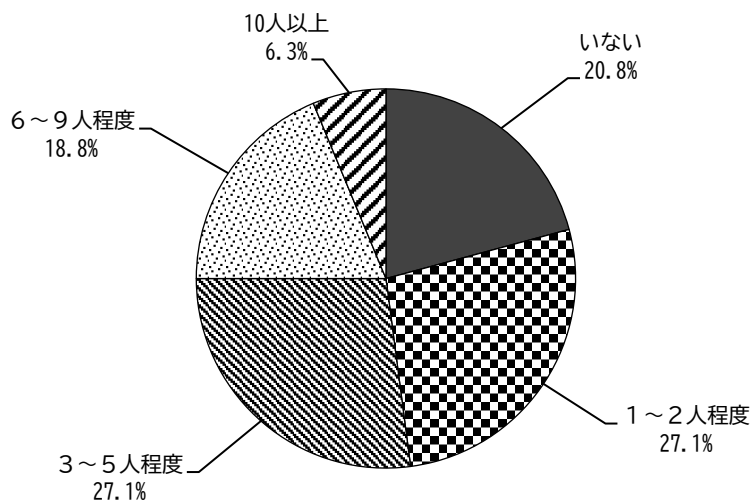
担当利用者の居所については、「自宅（家族宅を含む）」が1,479人（94.8%）で最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が25人（1.6%）、「有料老人ホーム」が9人（0.6%）となっている。



Q 8. あなたが令和 6 年度中に担当した利用者のうち、自宅から施設・病院等へ居所変更した方はどの程度いますか。

令和 6 年度中の居所変更者数については、「1～2 人程度」「3～5 人程度」が 13 人（27.1％）で最も高く、「いない」が 10 人（20.8％）、「6～9 人程度」が 9 人（18.8％）となっている。

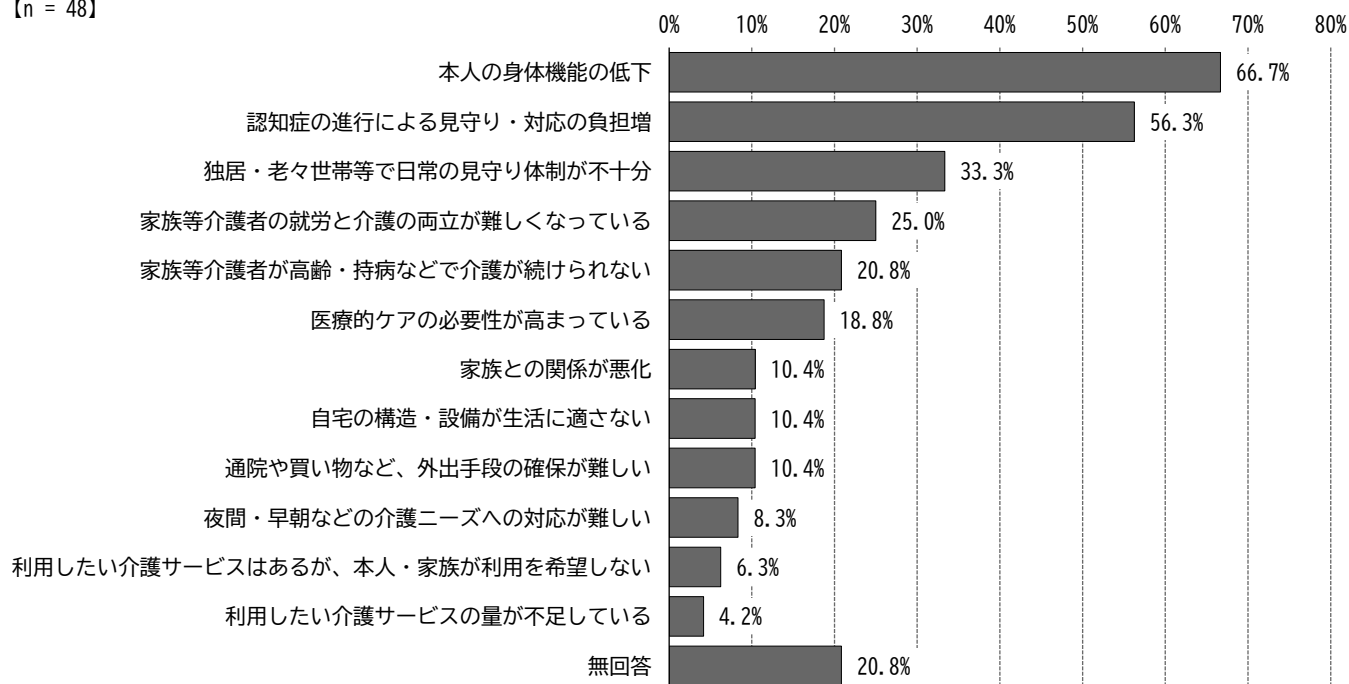
【n = 48】



Q 9. Q 8 のような居所変更が必要となった主な要因は何でしたか（あてはまるものをすべてを選択）

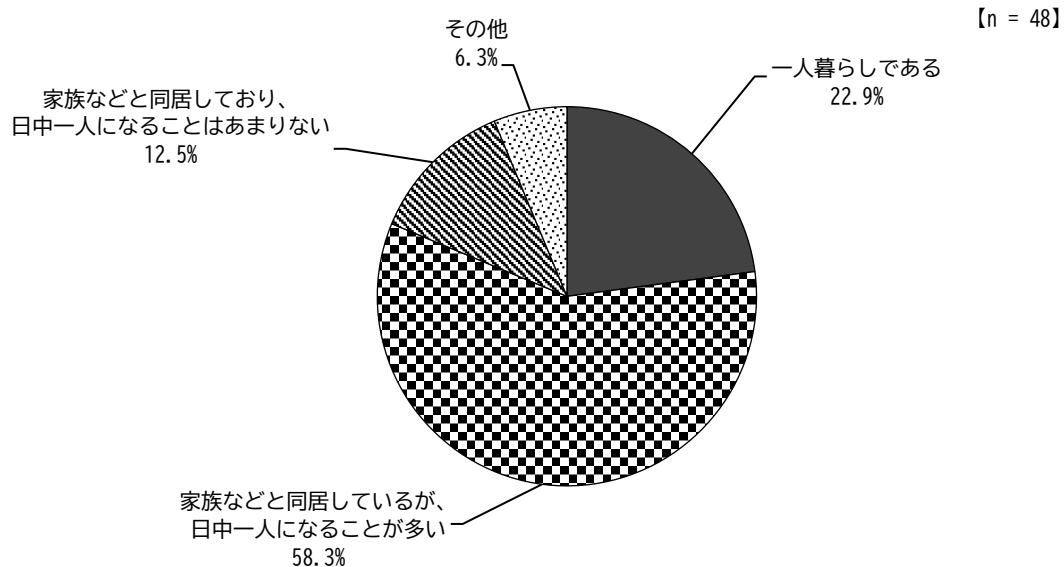
居所変更が必要となった主な要因については、「本人の身体機能の低下（移動・排泄・入浴等が困難になっている）」が 32 人（66.7％）で最も高く、次いで「認知症の進行による見守り・対応の負担増（徘徊・暴言等）」が 27 人（56.3％）、「独居・老々世帯等で日常の見守り体制が不十分」が 16 人（33.3％）、「家族等介護者の就労と介護の両立が難しくなっている」が 12 人（25.0％）、「家族等介護者が高齢・持病などで介護が続けられない」が 10 人（20.8％）となっている。

【n = 48】

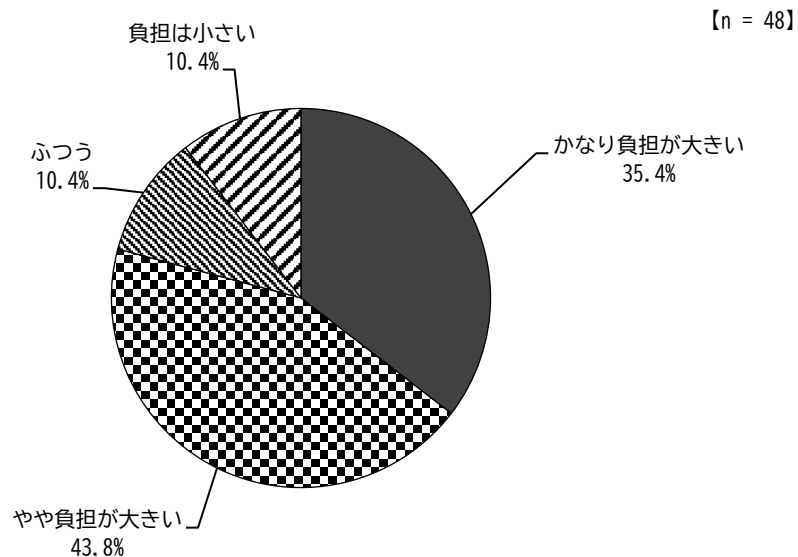


Q10. 利用者のうち、事業対象者、要支援1～要介護2の方の、最も多い日中の状況を教えてください

軽中度者等の日中の状況については、「家族などと同居しているが、日中一人になることが多い」が28人（58.3%）で最も高く、次いで「一人暮らしである」が11人（22.9%）、「家族などと同居しており、日中一人になることはあまりない」が6人（12.5%）となっている

**Q11. 現在の業務量について、どのように思いますか**

現在の業務量については、「やや負担が大きい」が21人（43.8%）で最も高く、次いで「かなり負担が大きい」が17人（35.4%）となっている。両者を合わせると38人（79.2%）が負担感を抱えている。

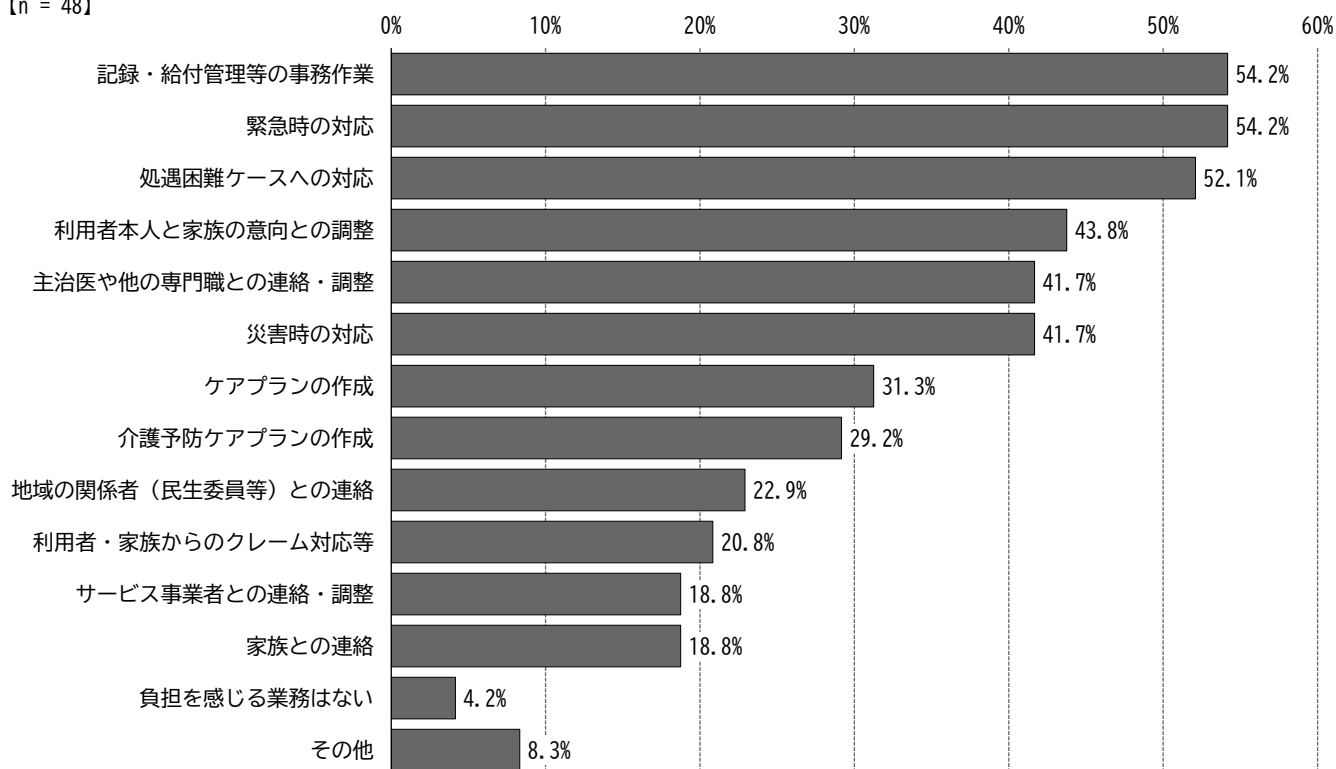


**Q12. 現在、あなたが業務に対して負担や課題を感じていることを教えてください
(あてはまるものをすべてを選択)**

■ 負担

負担を感じる業務については、「記録・給付管理等の事務作業」「緊急時の対応」が26人(54.2%)で最も高く、次いで「処遇困難ケースへの対応」が25人(52.1%)、「本人・家族の意向調整」が21人(43.8%)、「主治医等専門職との連絡・調整」「災害時の対応」が20人(41.7%)となっている。

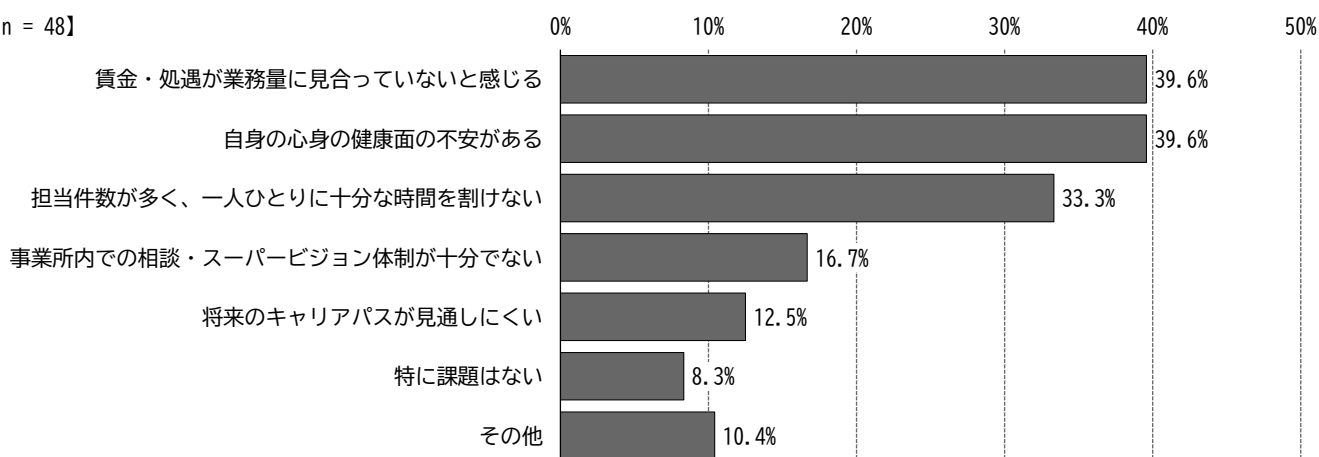
【n = 48】



■ 課題

業務に対する課題については、「賃金・処遇が業務量に見合っていないと感じる」「自身の心身の健康面の不安がある」が19人(39.6%)で最も高く、次いで「担当件数が多く、一人ひとりに十分な時間を割けない」が16人(33.3%)となっている。

【n = 48】

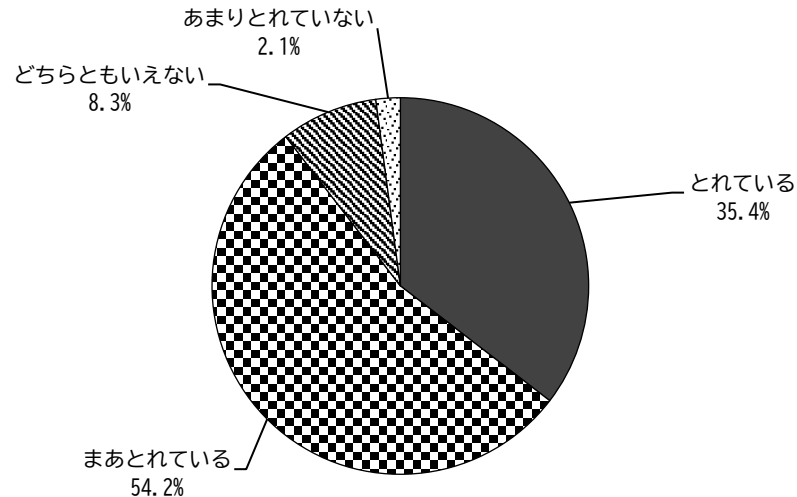


Q13. 介護支援専門員と、以下の関係者・関係機関との連携状況について伺います

■ 介護サービス事業者との連携状況

介護サービス事業者との連携状況については、「まあとれている」が26人（54.2%）で最も高く、次いで「とれている」が17人（35.4%）、「どちらともいえない」が4人（8.3%）となっている。

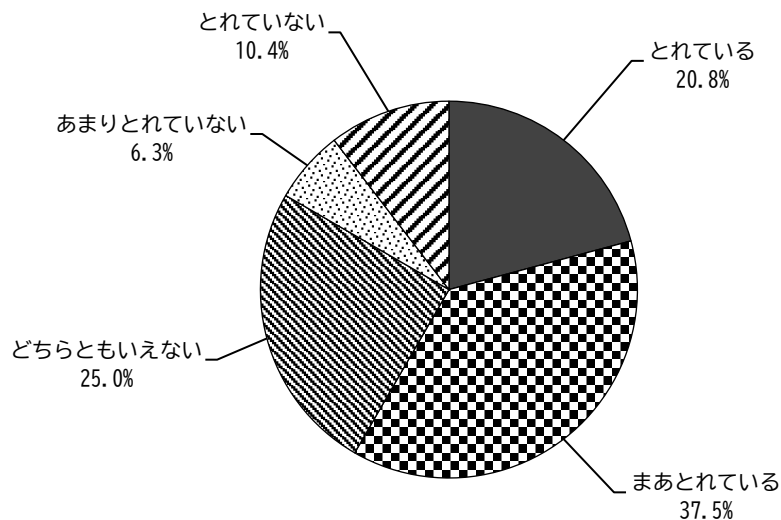
【n = 48】



■ 他の介護支援専門員との連携状況

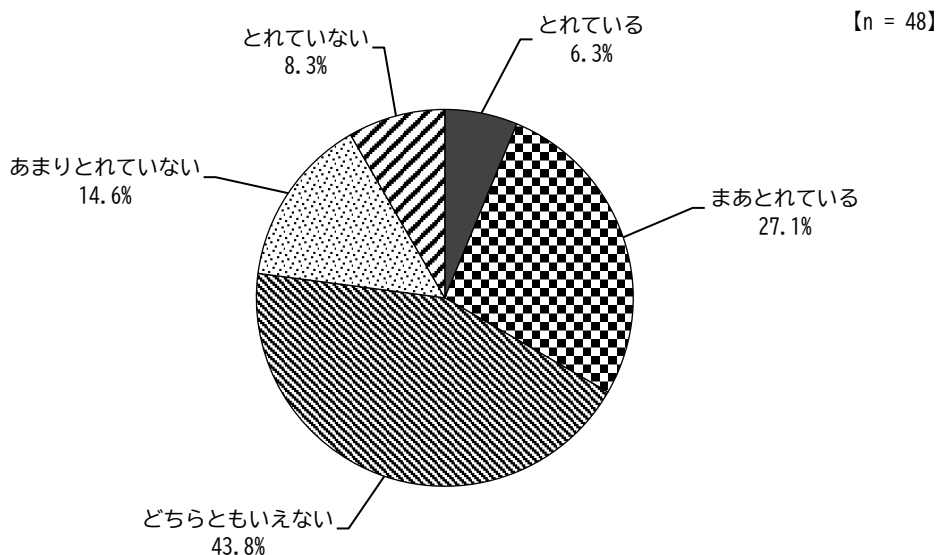
他の介護支援専門員との連携状況については、「まあとれている」が18人（37.5%）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が12人（25.0%）、「とれている」が10人（20.8%）、「とれていない」が5人（10.4%）となっている。

【n = 48】



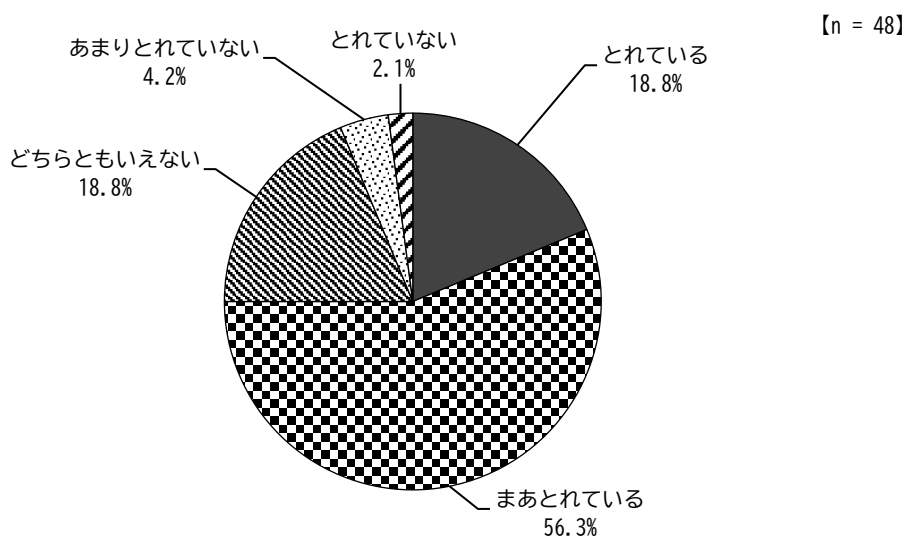
■ 医療機関との連携状況

医療機関との連携状況については、「どちらともいえない」が21人（43.8%）で最も高く、次いで「まあとれている」が13人（27.1%）、「あまりとれていない」が7人（14.6%）、「とれていない」が4人（8.3%）となっている。



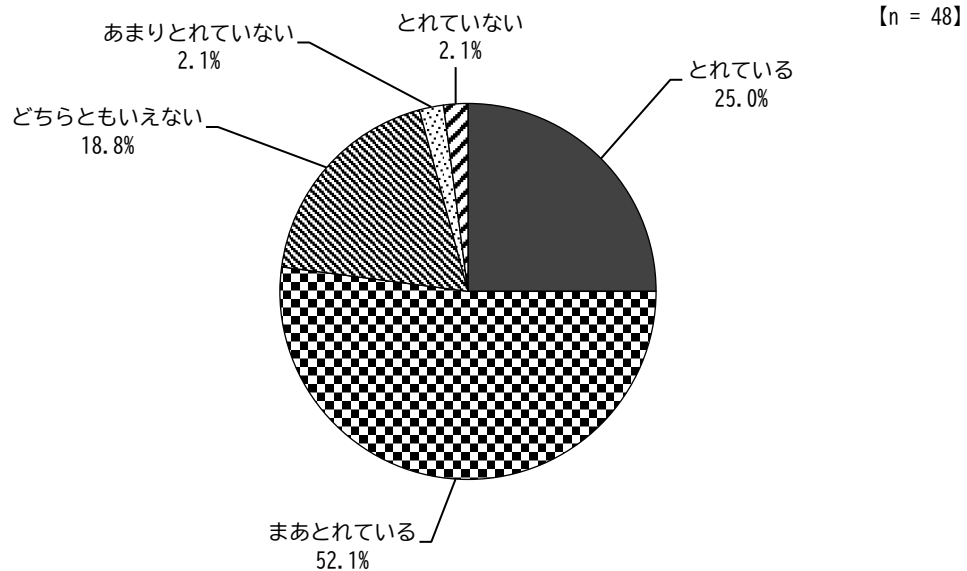
■ 行政との連携状況

行政との連携状況については、「まあとれている」が27人（56.3%）で最も高く、次いで「とれている」「どちらともいえない」が9人（18.8%）、「あまりとれていない」が2人（4.2%）となっている。



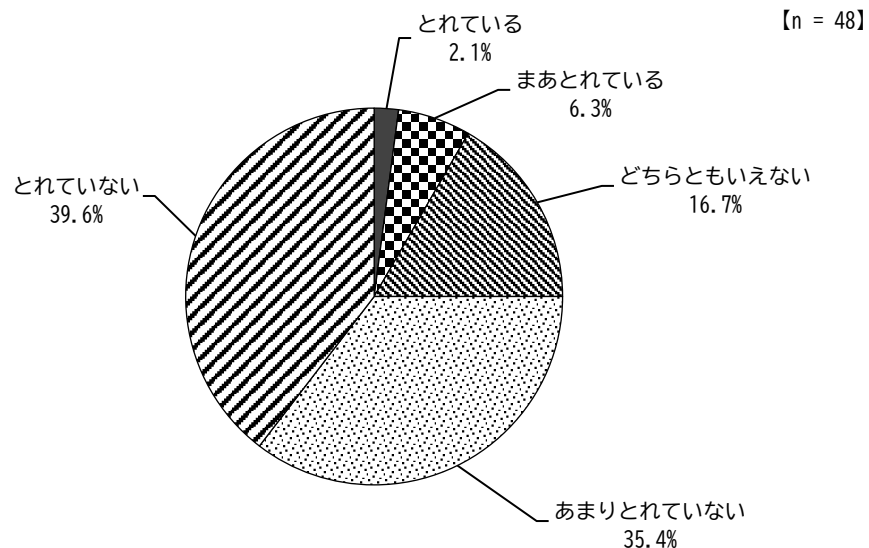
地域包括支援センターとの連携状況

地域包括支援センターとの連携状況については、「まあとれている」が25人(52.1%)で最も高く、次いで「とれている」が12人(25.0%)、「どちらともいえない」が9人(18.8%)となっている。



民生委員との連携状況

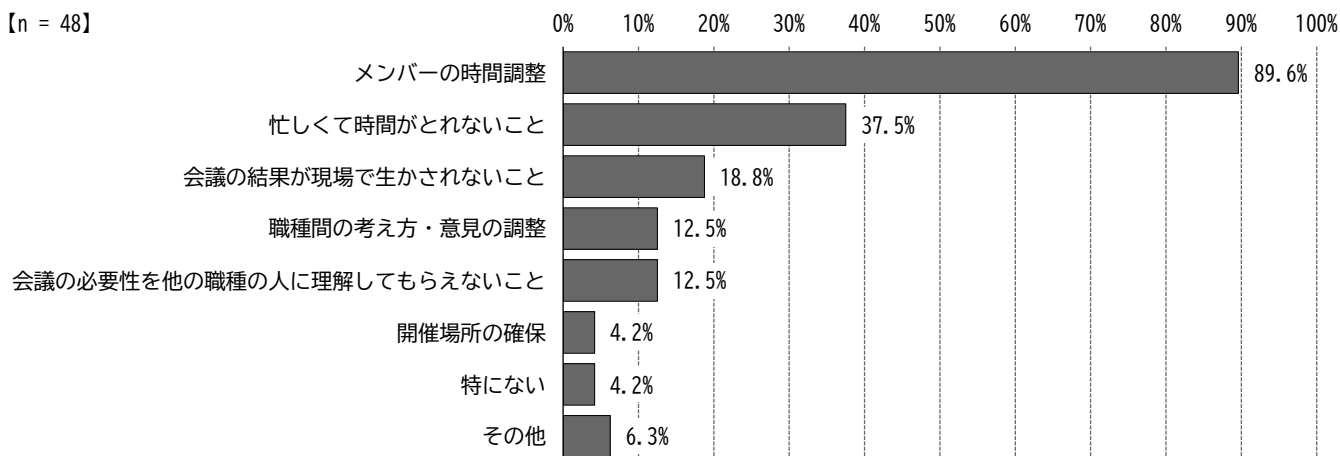
民生委員との連携状況については、「とれていない」が19人(39.6%)で最も高く、次いで「あまりとれていない」が17人(35.4%)、「どちらともいえない」が8人(16.7%)、「まあとれている」が3人(6.3%)となっている。



**Q14. サービス担当者会議を開催する上で、問題となっていることは何ですか
(あてはまるものをすべてを選択)**

サービス担当者会議を開催する上での問題については、「メンバーの時間調整」が43人（89.6%）で最も高く、次いで「忙しくて時間がとれないこと」が18人（37.5%）、「会議の結果が現場で生かされないこと」が9人（18.8%）となっている。

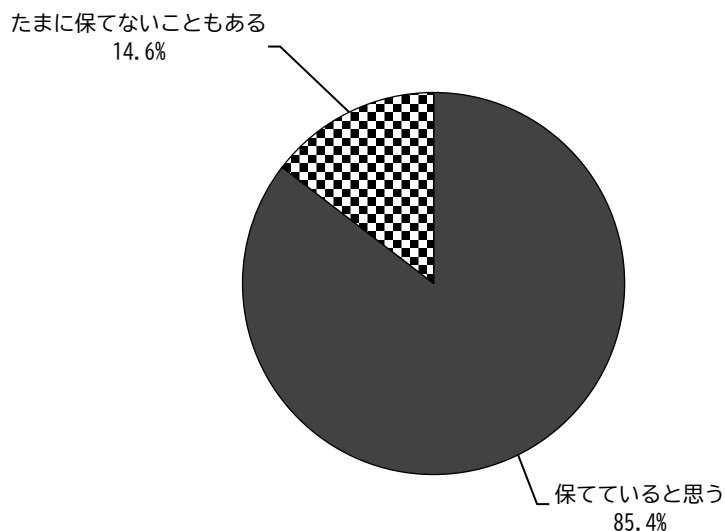
【n = 48】



Q15. ケアプランを作成する際に、所属している事業所のサービスと他事業所のサービスの選択において、公平性・中立性の原則を保っていると思いますか

公平性・中立性の確保については、「保っていると思う」が41人（85.4%）、「たまに保てないこともある」が7人（14.6%）となっている。

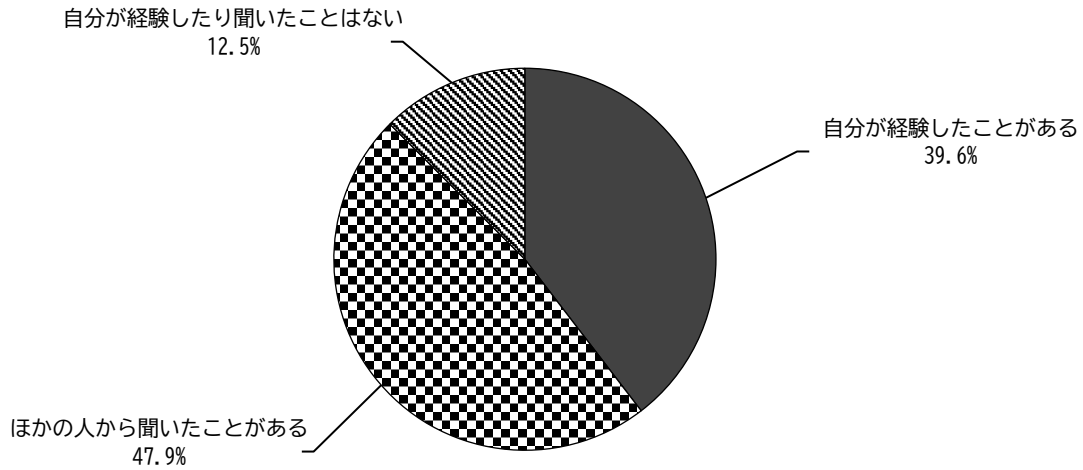
【n = 48】



Q16. これまで、高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか

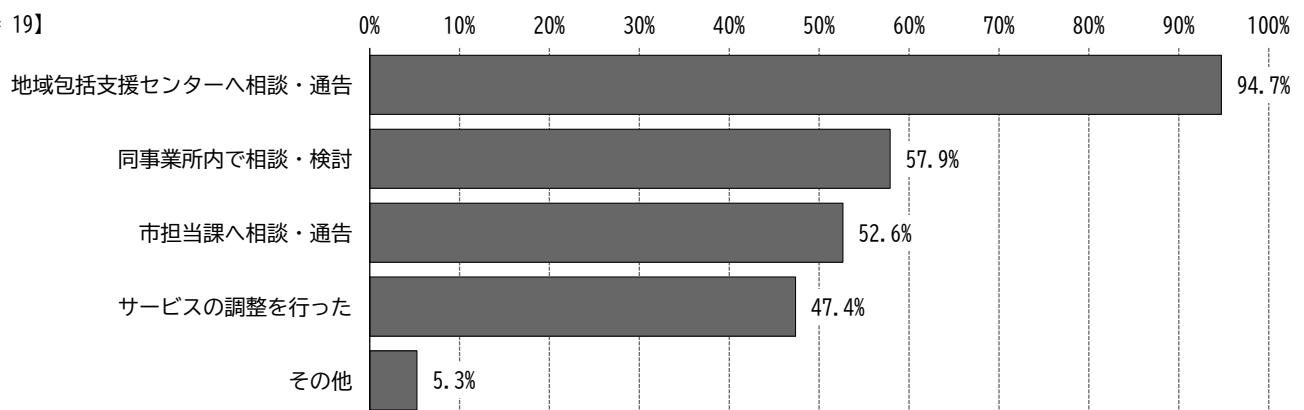
高齢者虐待が疑われる事例の経験については、「ほかの人から聞いたことがある」が23人（47.9%）で最も高く、次いで「自分が経験したことがある」が19人（39.6%）となっている。一方、「自分が経験したり聞いたことはない」は6人（12.5%）となっている。

【n = 48】

**Q17. 【Q16で「自分が経験したことがある」と回答した方に伺います】
どのように対応しましたか（あてはまるものをすべてを選択）**

高齢者虐待が疑われる事例への対応については、「地域包括支援センターへ相談・通告」が18人（94.7%）で最も高く、次いで「同事業所内で相談・検討」が11人（57.9%）、「市担当課へ相談・通告」が10人（52.6%）となっている。

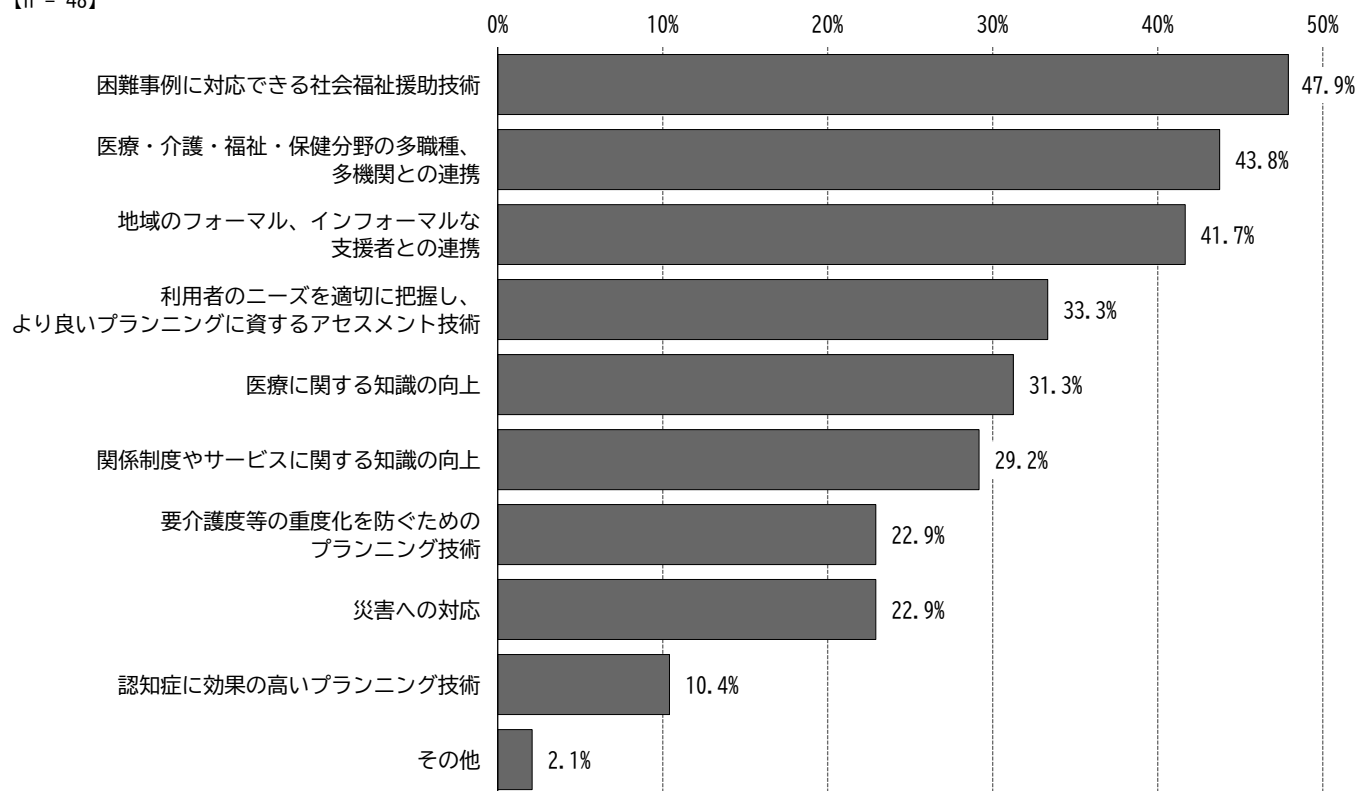
【n = 19】



**Q18. あなたが、日ごろの業務の中で向上しなければならないと感じていることは何ですか
(3つまで選択可)**

業務の中で向上しなければならないと感じていることについては、「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が23人(47.9%)で最も高く、次いで「医療・介護・福祉・保健分野の多職種、多機関との連携」が21人(43.8%)、「地域のフォーマル、インフォーマルな支援者との連携」が20人(41.7%)となっている。

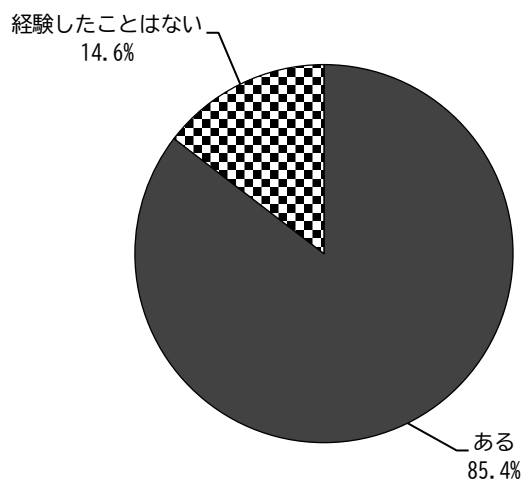
【n = 48】



Q19. これまでに在宅での看取りをした事例を担当した経験はありますか

在宅での看取り事例の担当経験については、「ある」が41人(85.4%)、「経験したことはない」が7人(14.6%)となっている。

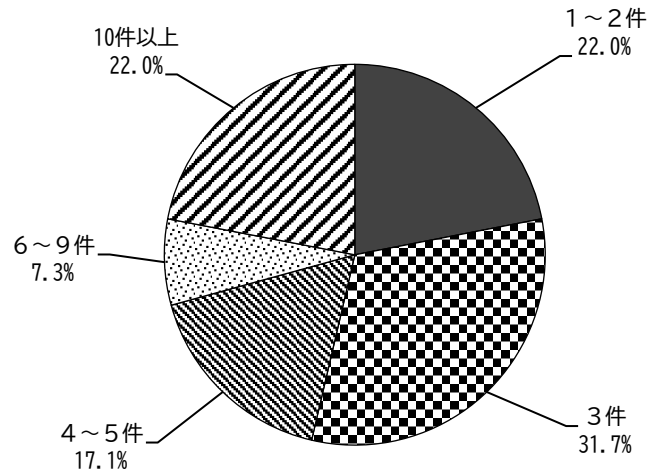
【n = 48】



**Q20. 【Q19で「ある」と回答した方に伺います】
事例数を入力してください。（数字のみ入力）**

在宅での看取りをした事例を担当した経験について「ある」と回答した人の担当事例数は、合計243件で、1人当たり平均5.9件となっている。事例数別では、3件が最も多く、1～5件の回答が中心となっている一方で、10件以上の事例を担当している人もみられる。

【n = 41】

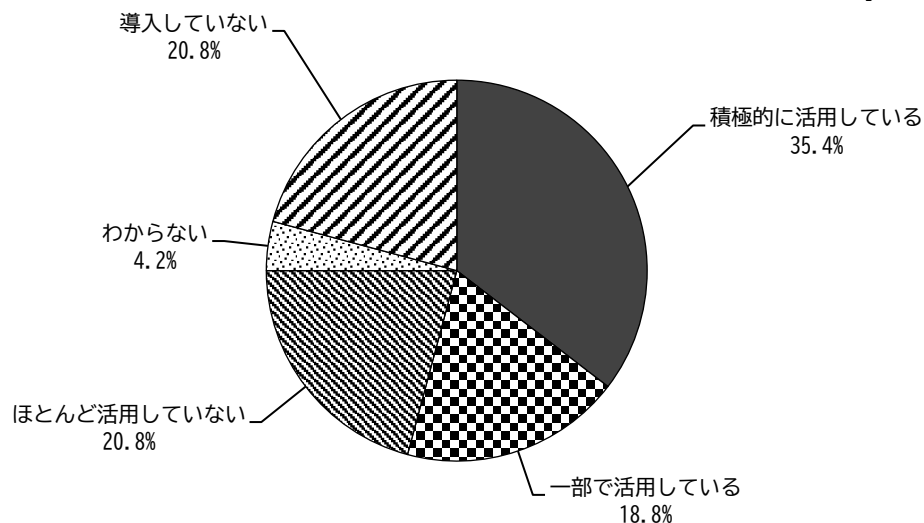


Q21. あなたの勤務先では、次のようなICTの活用状況はいかがですか

■ ケアプラン作成・給付管理に係る介護記録ソフトの利用

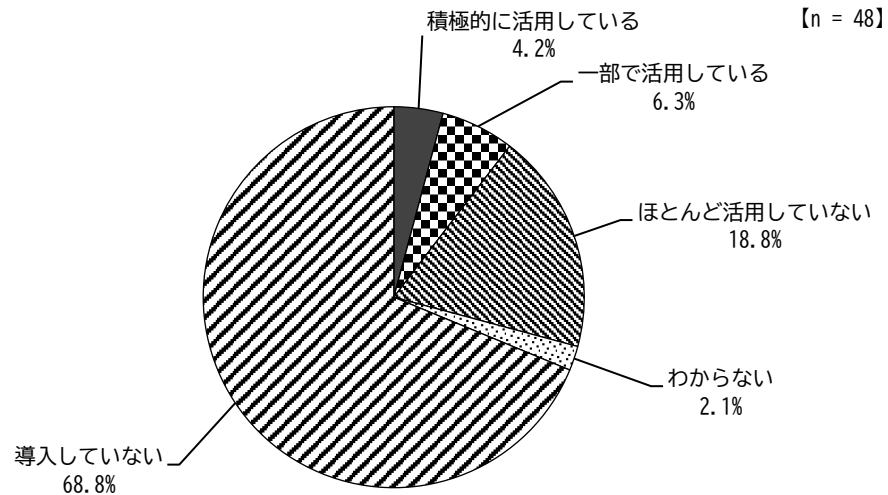
介護記録ソフトの活用状況については、「積極的に活用している」が17人（35.4%）で最も高く、次いで「ほとんど活用していない」「導入していない」が10人（20.8%）、「一部で活用している」が9人（18.8%）となっている。

【n = 48】



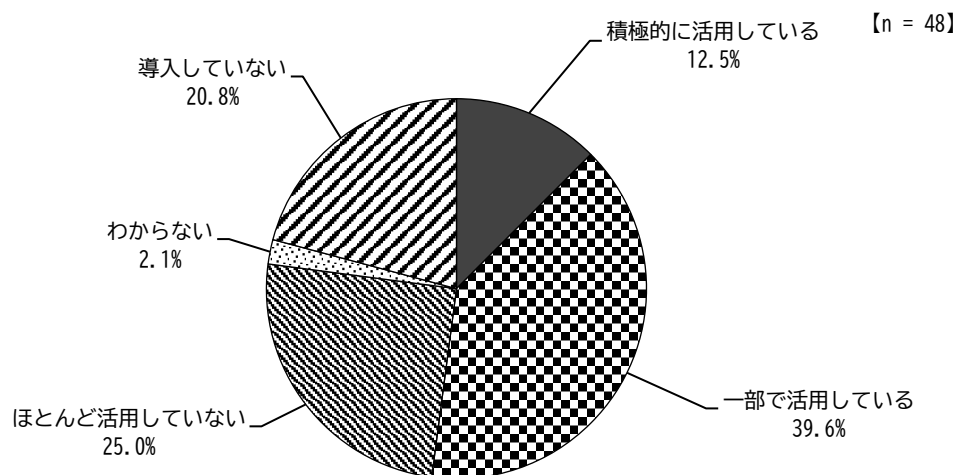
■ ケアプランデータ連携システムの利用

ケアプランデータ連携システムの活用状況については、「導入していない」が33人（68.8%）で最も高く、次いで「ほとんど活用していない」が9人（18.8%）、「一部で活用している」が3人（6.3%）、「積極的に活用している」が2人（4.2%）となっている。



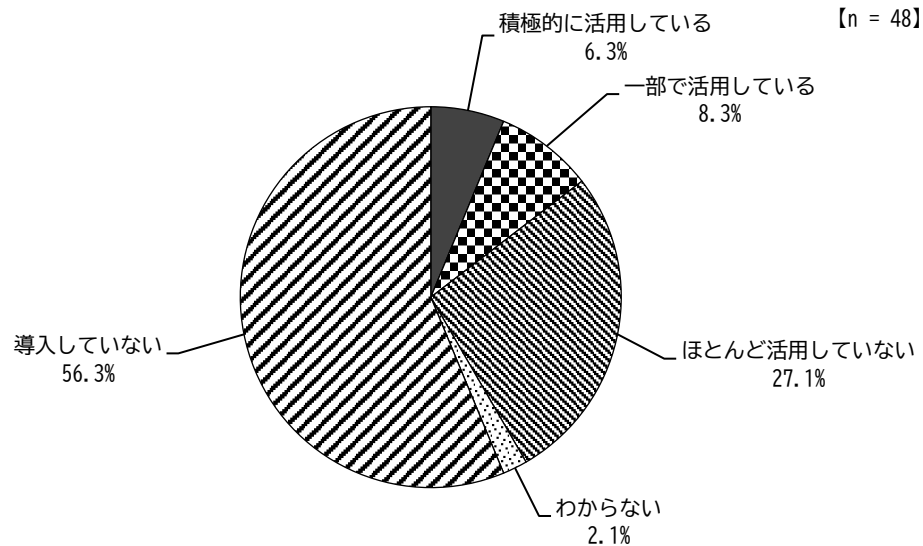
■ オンライン会議（WEB会議）による多職種・関係機関との打合せ

オンライン会議ツールの活用状況については、「一部で活用している」が19人（39.6%）で最も高く、次いで「ほとんど活用していない」が12人（25.0%）、「導入していない」が10人（20.8%）、「積極的に活用している」が6人（12.5%）となっている。



■ タブレット端末等を活用した訪問記録・情報共有

タブレット端末等の活用状況については、「導入していない」が27人（56.3%）で最も高く、次いで「ほとんど活用していない」が13人（27.1%）、「一部で活用している」が4人（8.3%）、「積極的に活用している」が3人（6.3%）となっている。



Q22. あなたが活用したいICT・介護テクノロジーがあれば教えてください（自由記載）

活用したいICT・介護テクノロジーについては、「特になし」を含め13件の記載があった。

主な内容としては、訪問時に活用できるタブレット端末、音声入力や生成AIを活用した記録作成、ケアプラン作成やモニタリング記録、サービス担当者会議録、給付管理等の事務負担軽減に関する意見が挙げられている。

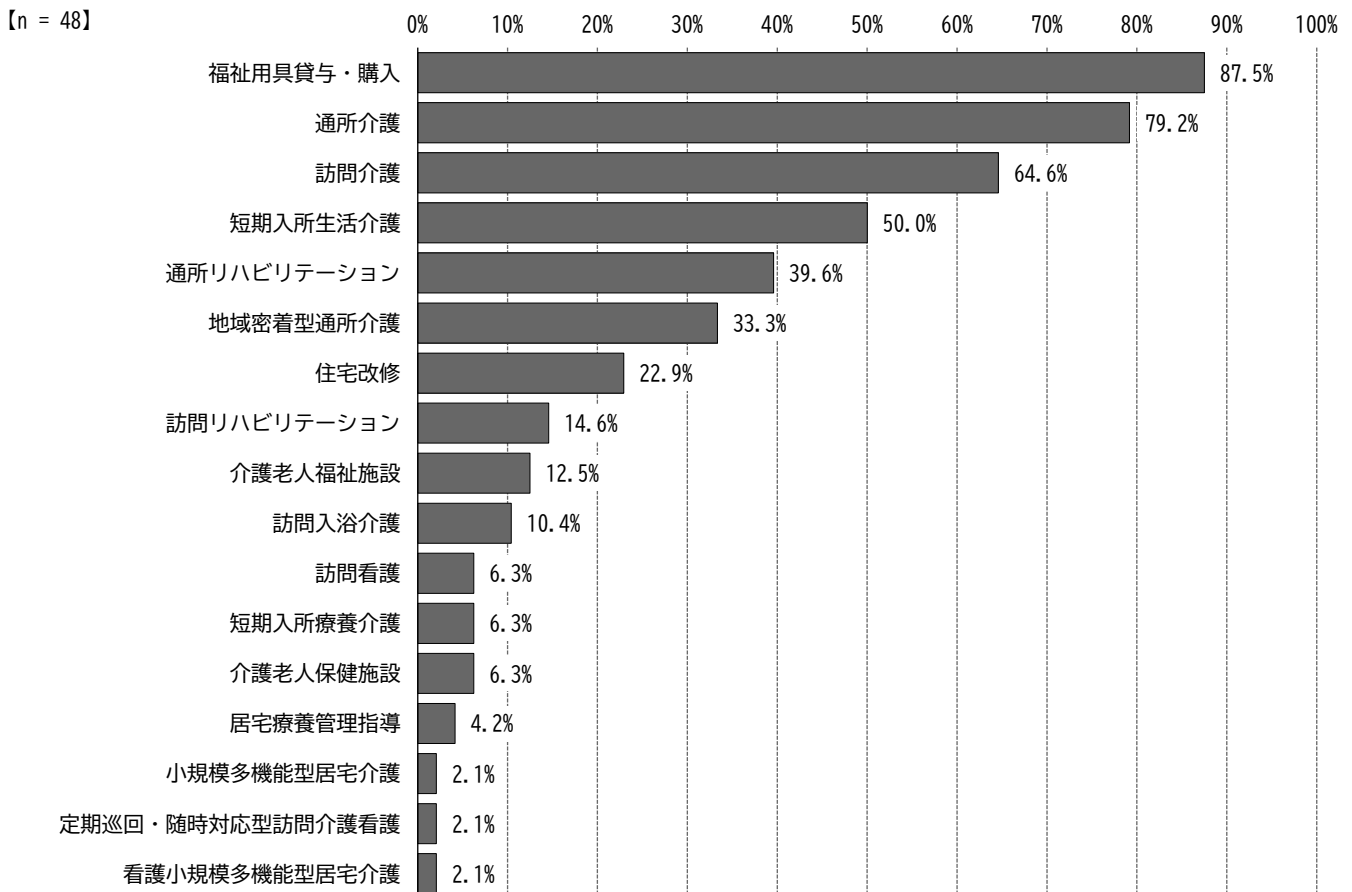
また、医療機関からの退院時情報など、担当利用者に関する情報をデータで確認・記録できる仕組みを求める意見もみられた。

3. 利用サービスについて

Q23. 居宅介護サービス計画書（介護予防ケアマネジメント計画書）の作成または見直し時に、被保険者（家族含む）から利用希望が多いサービスは何ですか（あてはまるものすべてを選択）

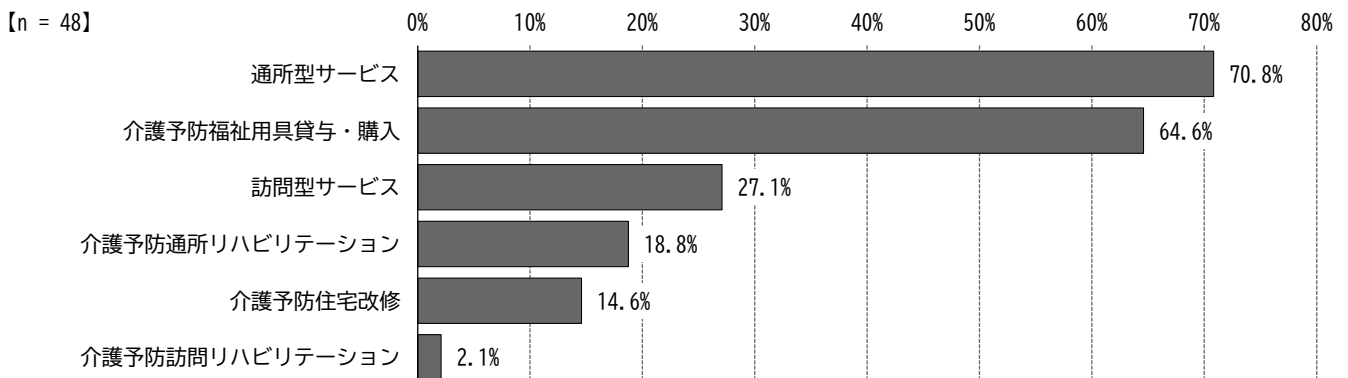
■ 要介護者サービス

利用希望が多い要介護者サービスについては、「福祉用具貸与・購入」が42人（87.5%）で最も高く、次いで「通所介護」が38人（79.2%）、「訪問介護」が31人（64.6%）、「短期入所生活介護」が24人（50.0%）、「通所リハビリテーション」が19人（39.6%）となっている。



■ 要支援者サービス

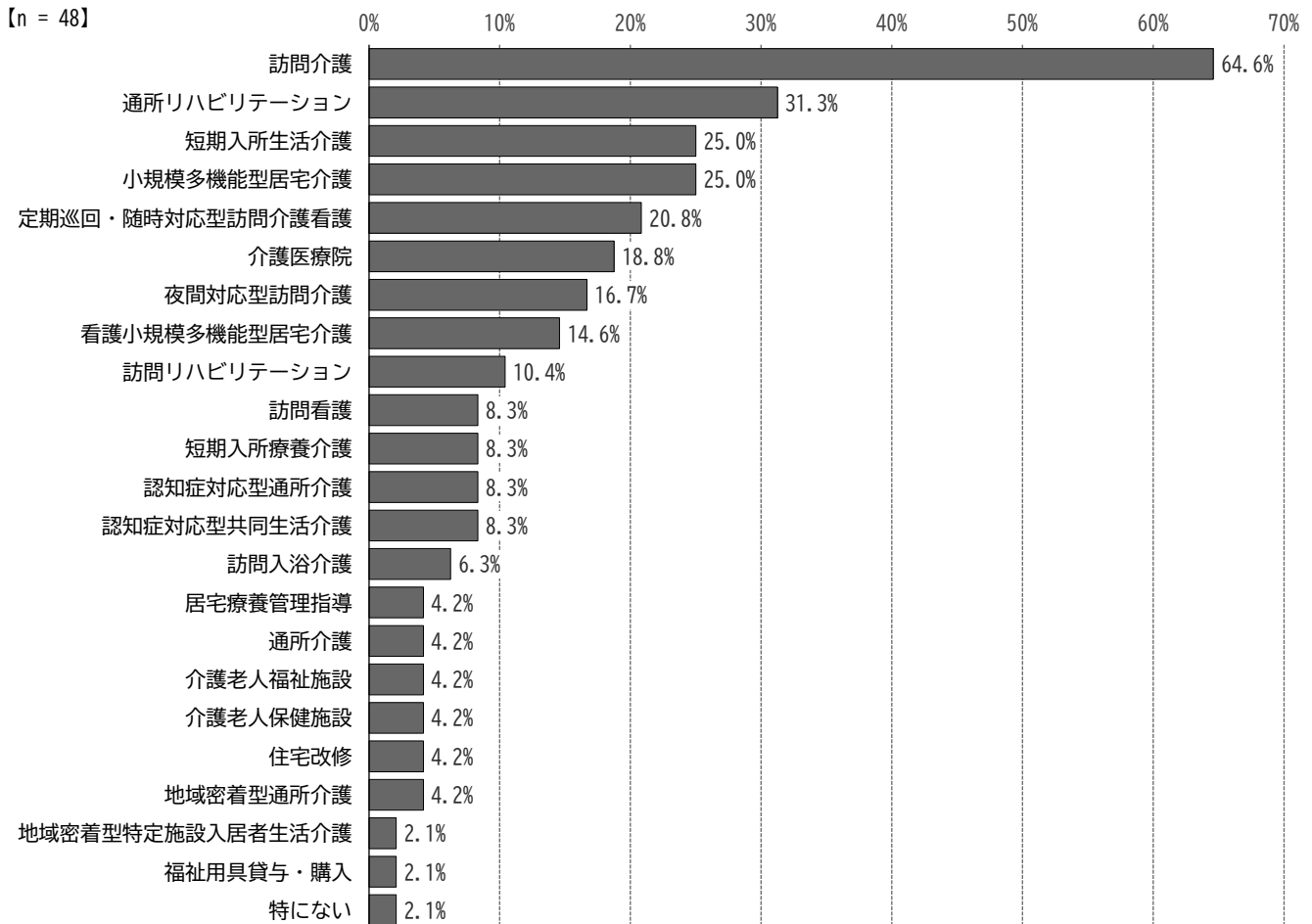
利用希望が多い要支援者サービスについては、「通所型サービス」が34人（70.8%）で最も高く、次いで「介護予防福祉用具貸与・購入」が31人（64.6%）、「訪問型サービス」が13人（27.1%）、「介護予防通所リハビリテーション」が9人（18.8%）、「介護予防住宅改修」が7人（14.6%）となっている。



Q24. 旭市で不足していると思う介護サービス、もっと充実させるべきサービスは何だと思いますか (複数選択可)

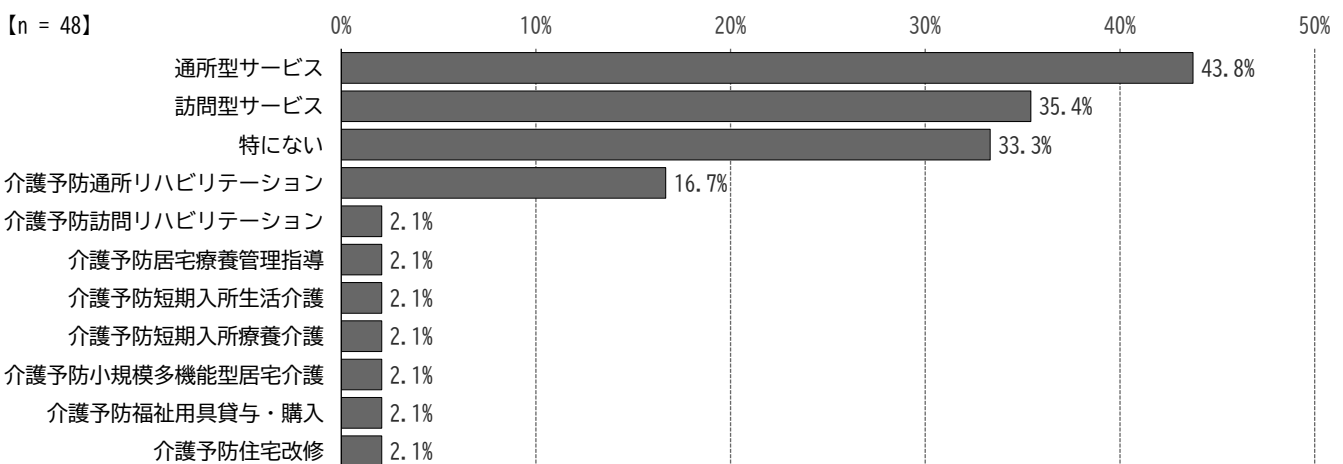
■ 要介護者サービス

不足・充実すべき要介護者サービスについては、「訪問介護」が31人(64.6%)で最も高く、次いで「通所リハビリテーション」が15人(31.3%)、「短期入所生活介護」「小規模多機能型居宅介護」が12人(25.0%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が10人(20.8%)となっている。



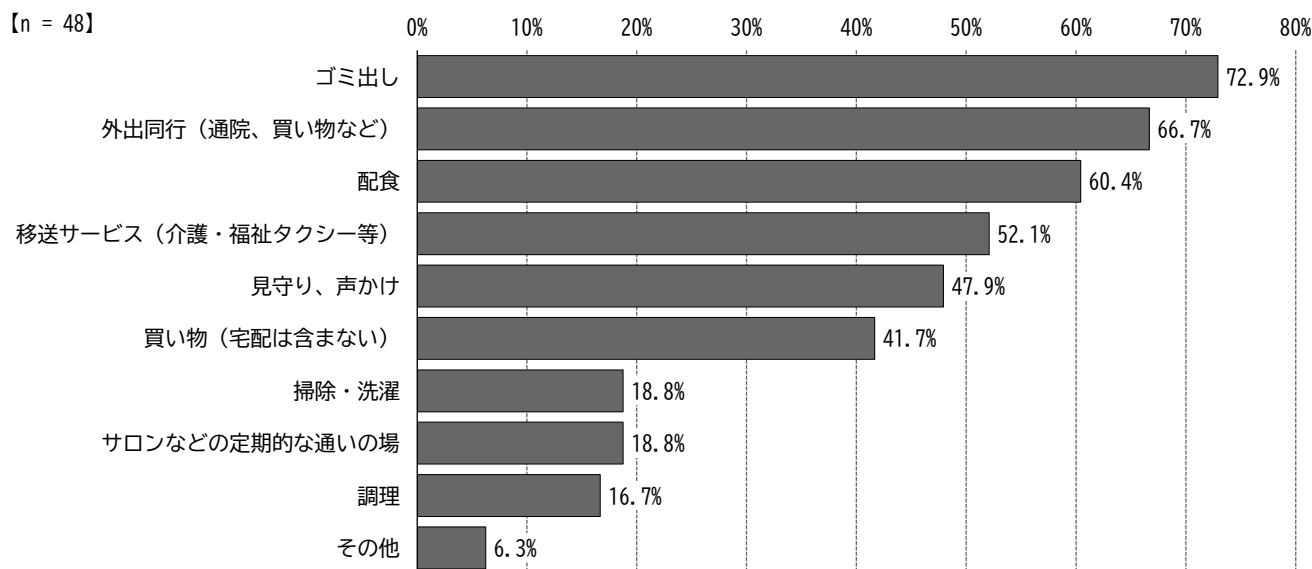
■ 要支援者サービス

不足・充実すべき要支援者サービスについては、「通所型サービス」が21人(43.8%)で最も高く、次いで「訪問型サービス」が17人(35.4%)、「特にない」が16人(33.3%)、「介護予防通所リハビリテーション」が8人(16.7%)となっている。



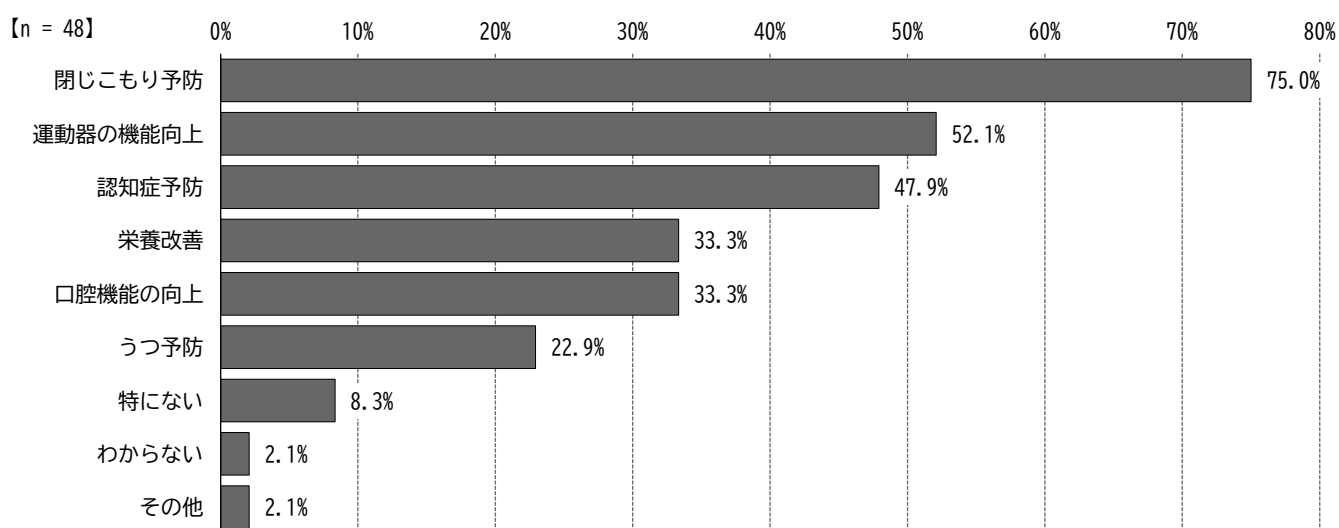
Q25. 旭市に住む高齢者にとって、今後の在宅生活の継続に必要な支援サービスは何だと思いますか（複数選択可）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます

在宅生活の継続に必要な支援サービスについては、「ゴミ出し」が35人（72.9%）で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が32人（66.7%）、「配食」が29人（60.4%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25人（52.1%）、「見守り、声かけ」が23人（47.9%）となっている。



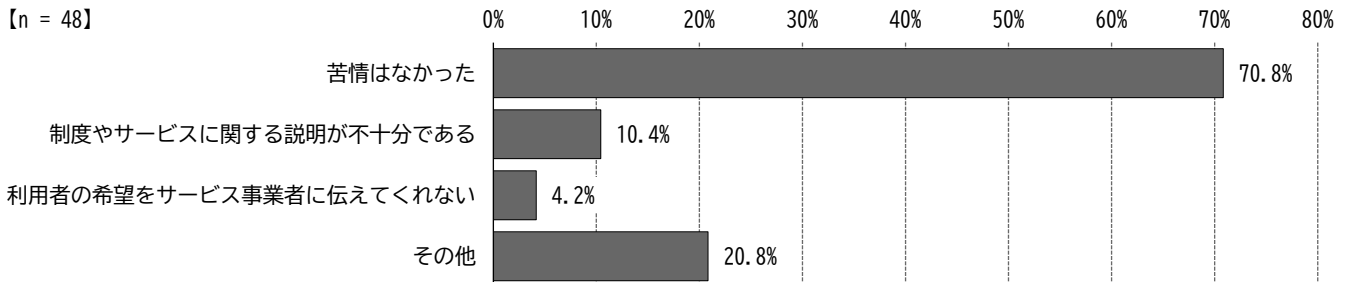
Q26. 今後、充実させるべきだと思う介護予防事業は何ですか（複数選択可）

充実させるべき介護予防事業については、「閉じこもり予防」が36人（75.0%）で最も高く、次いで「運動器の機能向上（地域で行う介護予防体操など）」が25人（52.1%）、「認知症予防」が23人（47.9%）、「栄養改善」「口腔機能の向上」が16人（33.3%）となっている。

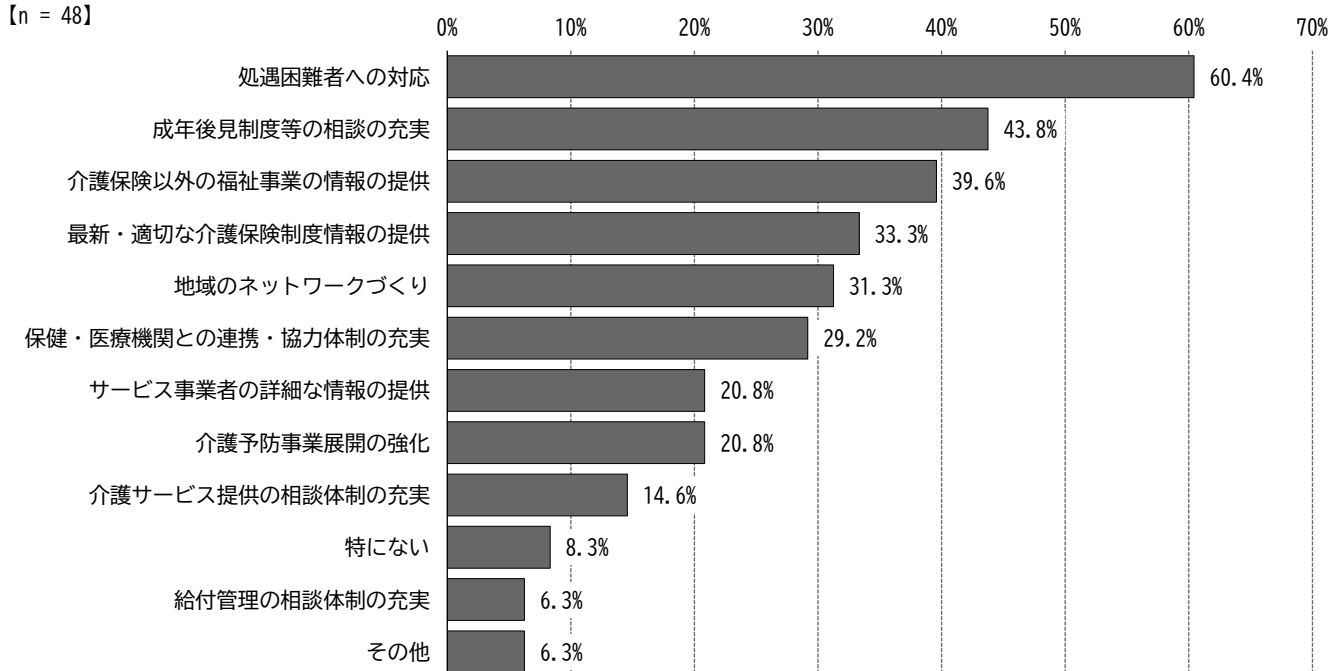


Q27. この1年間に、利用者からどのような苦情がありましたか（あてはまるものすべてを選択）

この1年間に利用者からあった苦情については、「苦情はなかった」が34人（70.8%）で最も高くなっている。一方、具体的な苦情では、「制度やサービスに関する説明が不十分である」が5人（10.4%）、「利用者の希望をサービス事業者伝えてくれない」が2人（4.2%）となっている。

**4. 保険者に対する要望について****Q28. ケアマネジャーの立場で、保険者である行政に望むことはありますか（複数選択可）**

行政に望むことについては、「処遇困難者への対応」が29人（60.4%）で最も高く、次いで「成年後見制度等の相談の充実」が21人（43.8%）、「介護保険以外の福祉事業の情報の提供」が19人（39.6%）、「最新・適切な介護保険制度情報の提供」が16人（33.3%）、「地域のネットワークづくり」が15人（31.3%）となっている。



Q29. 介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください

自由記述欄には、「特になし」等を含め、10件の記載があった。

記載内容をみると、市の介護保険業務への感謝や連携継続に関する意見がある一方で、介護支援専門員の人材確保、困難事例や独居高齢者への支援体制、要支援・軽度者が利用しやすいサービス、介護支援専門員の業務負担、公平・中立な支援環境、地域活動参加時の移動支援等に関する意見がみられた。

特に、身寄りのない高齢者や独居高齢者への支援、介護サービスの手続きや通院支援など、介護支援専門員だけでは担いきれない支援への対応を求める意見が挙げられている。また、要支援・軽度の要介護者が利用しやすい機能訓練や通所系サービスの必要性、通常業務以外の対応が増えていることによる業務負担への意見もみられた。

分類	主な内容
市への感謝・連携	市の介護保険業務への感謝、今後の情報共有・指導等への要望
介護支援専門員の人材確保	介護事業の持続に向けた介護支援専門員の人材確保
困難事例・独居高齢者支援	身寄りのない高齢者、独居高齢者、困難事例への相談体制・支援体制
現場理解・信頼関係	介護支援専門員の判断や必要性の説明に対する理解、現場状況の把握
要支援・軽度者向けサービス	要支援・軽度の要介護者が利用しやすい機能訓練、通所系サービス等への要望
業務負担・制度対応	通常業務以外の対応、いわゆるシャドーワーク、制度的な支援体制への要望
公平・中立な支援環境	中立的な立場で公平に支援できる環境の維持
移動・地域参加支援	地域活動への参加における移動手段、独居高齢者の地域参加支援
その他	特になし、その他個別意見

※自由記述の内容をもとに、主な意見を分類・整理している。1つの回答に複数の内容が含まれる場合がある。

V 調査結果④ 介護サービス事業者調査（介護人材関係）

1. 回答事業者の概要及び介護職員数・採用者数・離職者数

Q1. 貴法人の名称を入力してください

回答事業者については、市内の介護サービス事業者 37 事業所を対象に調査を実施し、32 事業所から回答を得た。有効回収率は 86.5%である。法人名については、回答管理のために把握したものであり、本報告書では個別法人名の掲載は行わない。

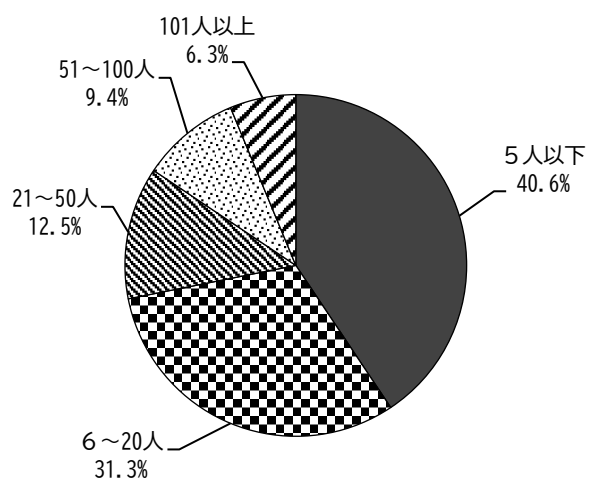
Q2. 貴法人所属の介護職員の総数を入力してください

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります（ボランティアの方は含みません）

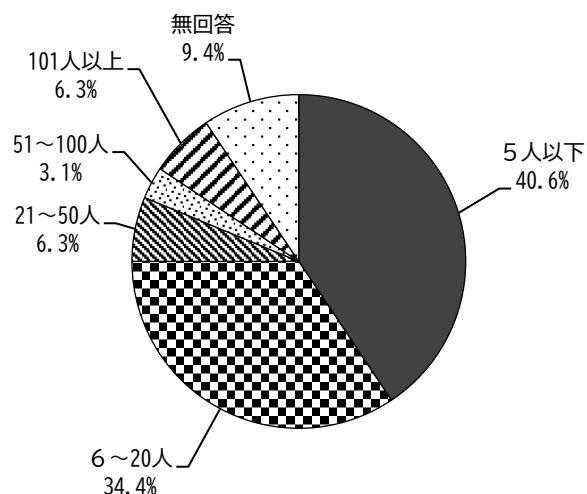
※「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します

介護職員の総数について、正規職員では「5人以下」が 13 事業所（40.6%）で最も高く、次いで「6～20人」が 10 事業所（31.3%）、「21～50人」が4事業所（12.5%）、「51～100人」が3事業所（9.4%）となっている。非正規職員でも同様に「5人以下」が 13 事業所（40.6%）で最も高く、次いで「6～20人」が11事業所（34.4%）となっている。

■介護職員の総数（正規職員）【n = 32】



■介護職員の総数（非正規職員）【n = 32】

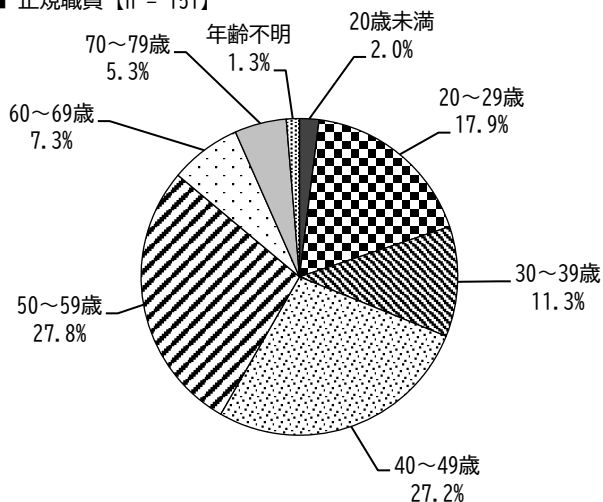


Q3. 過去1年間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の介護職員の採用者数を入力してください
※令和7年4月1日時点で、開設から1年未満の事業所は除く

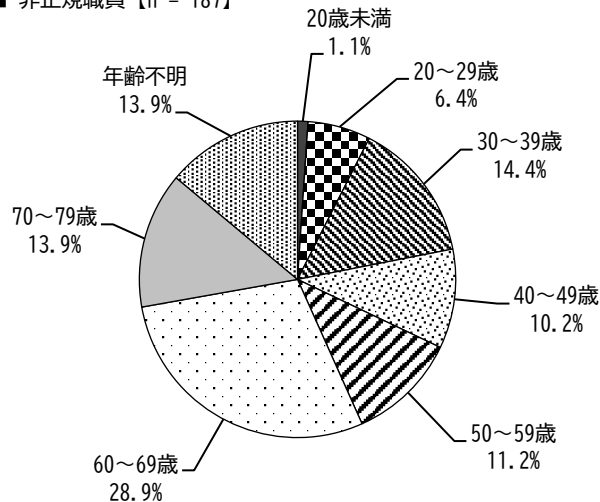
過去1年間の介護職員の採用者数については、正規職員が151人、非正規職員が187人、合計338人となっている。

年齢別にみると、正規職員では「50～59歳」が42人（27.8%）で最も多く、次いで「40～49歳」が41人（27.2%）、「20～29歳」が27人（17.9%）となっている。非正規職員では「60～69歳」が54人（28.9%）で最も多く、次いで「30～39歳」が27人（14.4%）となっており、年齢不明を除くと「70～79歳」が26人（13.9%）となっている。

■ 正規職員【n = 151】



■ 非正規職員【n = 187】

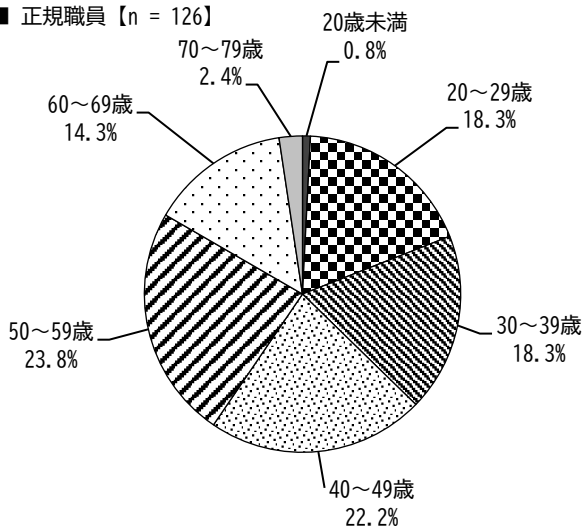


Q4. 過去1年間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の介護職員の離職者数を入力してください
※令和7年4月1日時点で、開設から1年未満の事業所は除く

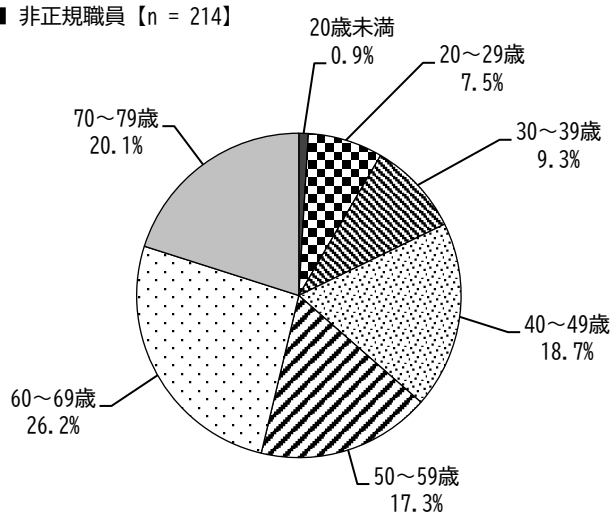
過去1年間の介護職員の離職者数については、正規職員が126人、非正規職員が214人、合計340人となっている。

年齢別にみると、正規職員では「50～59歳」が30人（23.8%）で最も多く、次いで「40～49歳」が28人（22.2%）、「20～29歳」「30～39歳」が23人（18.3%）となっている。非正規職員では「60～69歳」が56人（26.2%）で最も多く、次いで「70～79歳」が43人（20.1%）、「40～49歳」が40人（18.7%）となっている。

■ 正規職員【n = 126】



■ 非正規職員【n = 214】

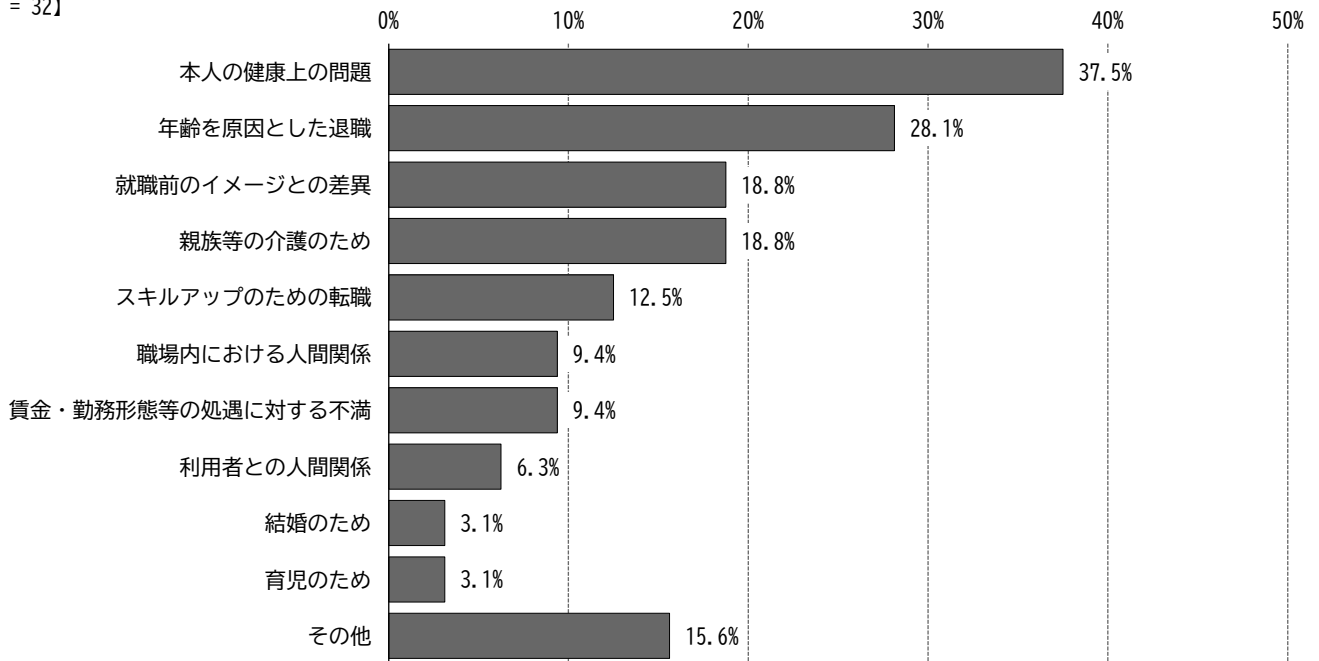


2. 介護人材不足の状況

Q5. 貴法人において、令和6年度に離職した職員の離職理由は主に何でしたか (あてはまるものすべてを選択)

令和6年度に離職した職員の離職理由については、「本人の健康上の問題」が12事業所（37.5%）で最も高く、次いで「年齢を原因とした退職」が9事業所（28.1%）、「就職前のイメージとの差異」「親族等の介護のため」がともに6事業所（18.8%）、「スキルアップのための転職」が4事業所（12.5%）となっている。

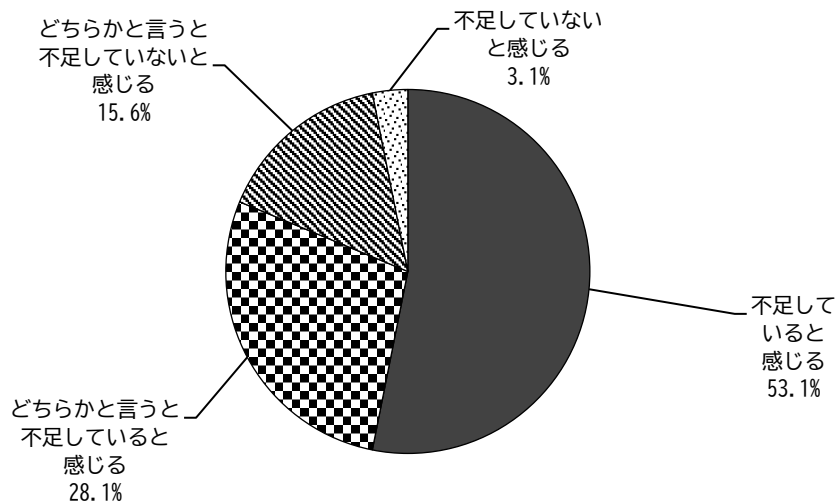
【n = 32】



Q6. 貴法人では、介護人材が不足していると感じますか

介護人材の不足感については、「不足していると感じる」が17事業所（53.1%）で最も高く、次いで「どちらかと言うと不足していると感じる」が9事業所（28.1%）となっている。これらを合わせた「不足を感じている」は26事業所（81.3%）となっている。

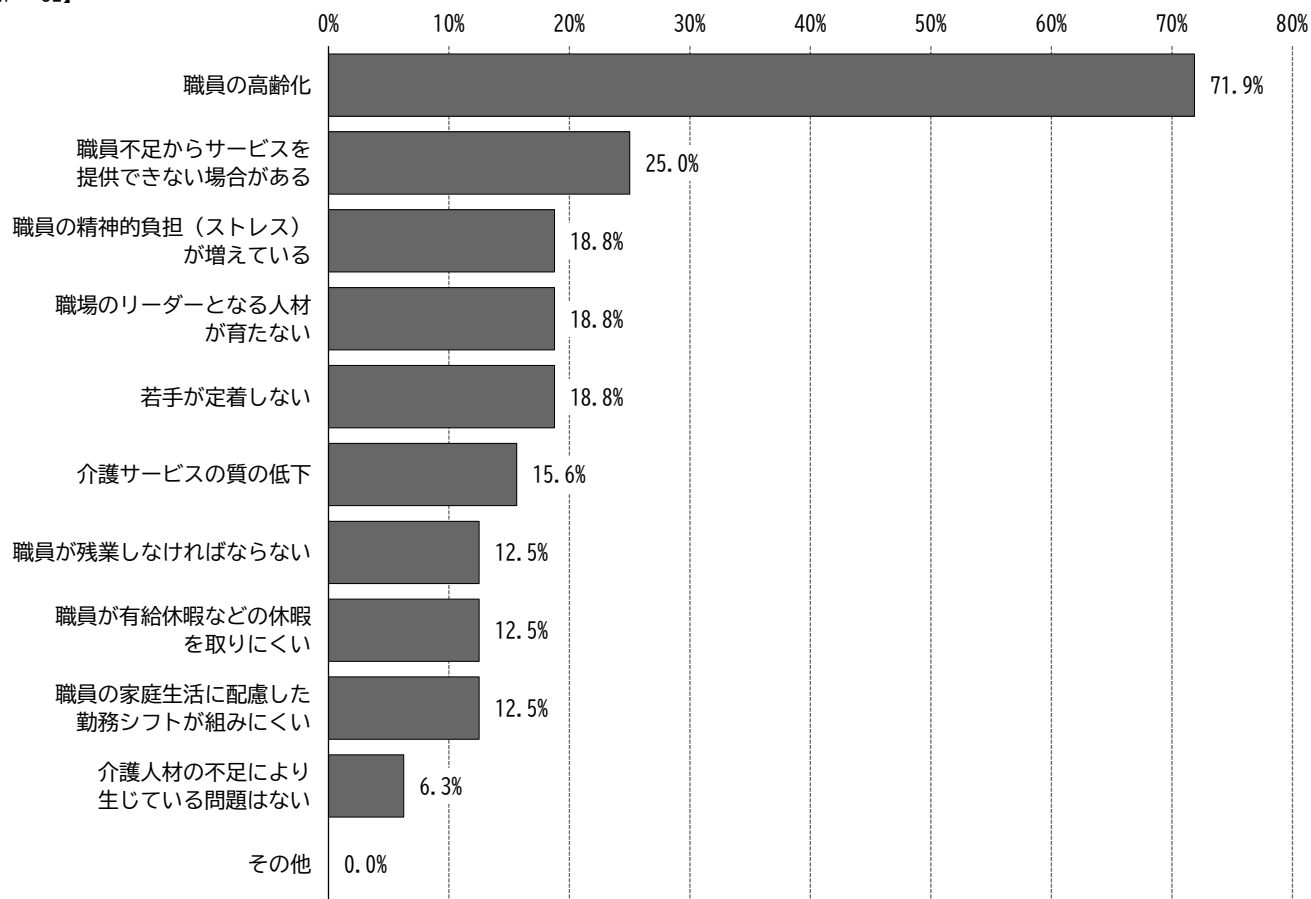
【n = 32】



Q 7. 貴法人で、介護人材不足により生じている問題がありますか（3つまで選択可）

介護人材不足により生じている問題については、「職員の高齢化」が23事業所（71.9%）で最も高く、次いで「職員不足からサービスを提供できない場合がある」が8事業所（25.0%）、「職員の精神的負担（ストレス）が増えている」「職場のリーダーとなる人材が育たない」「若手が定着しない」がいずれも6事業所（18.8%）となっている。

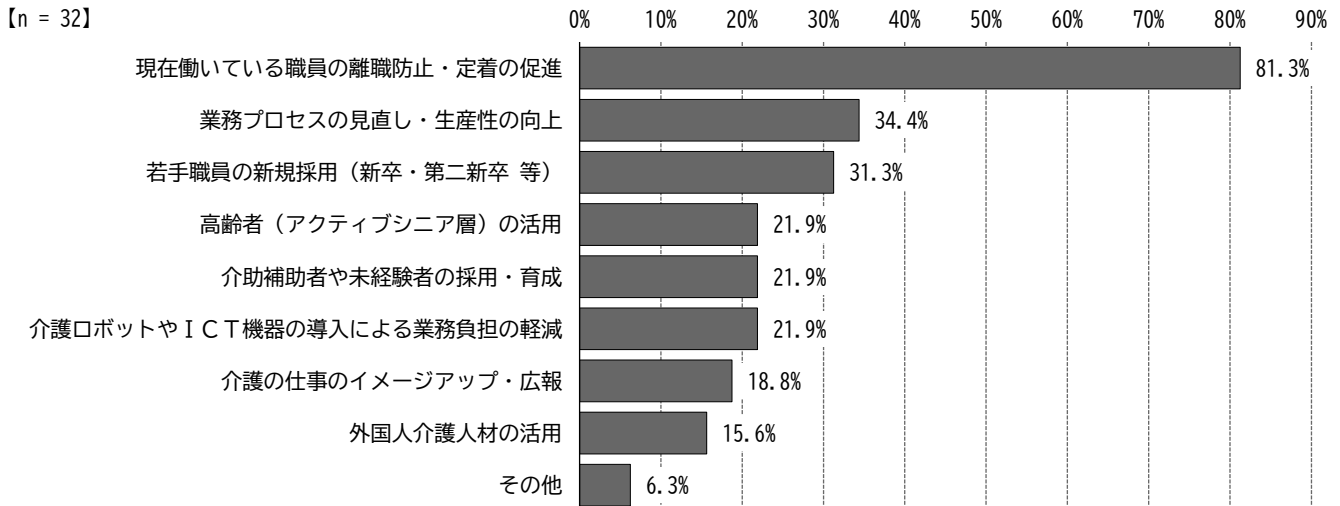
【n = 32】



3. 人材確保・定着に向けた取組

Q8. 今後、介護人材の不足が見込まれる中で、貴事業所として優先的に取り組みたいとお考えの方策について、あてはまるものを教えてください（3つまで選択可）

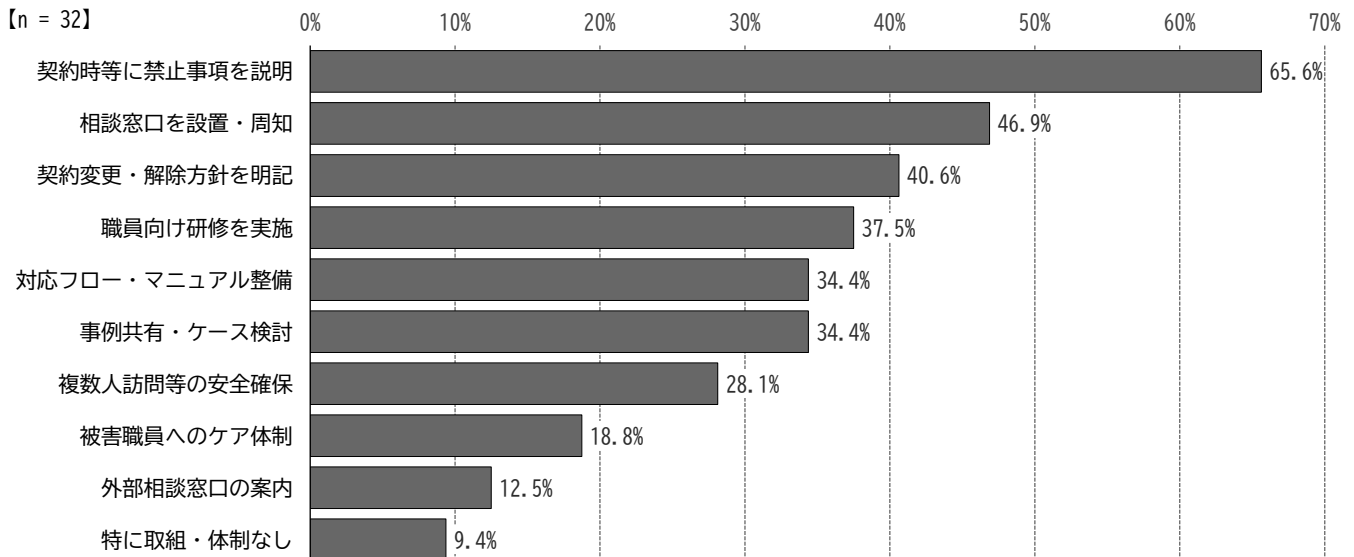
介護人材不足が見込まれる中で優先的に取り組みたい方策については、「現在働いている職員の離職防止・定着の促進」が26事業所（81.3%）で最も高く、次いで「業務プロセスの見直し・生産性の向上」が11事業所（34.4%）、「若手職員の新規採用（新卒・第二新卒等）」が10事業所（31.3%）となっている。また、「高齢者（アクティブシニア層）の活用」「介助補助者や未経験者の採用・育成」「介護ロボットやICT機器の導入による業務負担の軽減」は、いずれも7事業所（21.9%）となっている。



4. カスタマーハラスメント対策

Q9. 利用者やその家族等からのカスタマーハラスメントの発生を防止し、発生した場合に対応するための取組・体制について、現在実施しているものはありますか（あてはまるものすべてを選択）

カスタマーハラスメント対策の取組・体制については、「契約時等に禁止事項を説明」が21事業所（65.6%）で最も高く、次いで「相談窓口を設置・周知」が15事業所（46.9%）、「契約変更・解除方針を明記」が13事業所（40.6%）、「職員向け研修を実施」が12事業所（37.5%）となっている。



5. サービス種別ごとの需給状況

Q10. 貴法人の運営する旭市内の介護サービス事業所が、受け入れ可能な利用者数（定員・ベッド数・人員体制等）に対して、利用を希望する人の数は、現在どのような状況だと感じますか（おおよその感覚で結構です）

訪問介護では、運営している 15 事業所のうち 11 事業所（73.3%）が需要超過と回答しており、他のサービス種別と比べて需要が供給を上回っているとする回答が多くなっている。

一方、通所介護では、運営している 11 事業所のうち 6 事業所（54.5%）が「需要と供給が概ね均衡している」と回答しており、地域密着型通所介護でも、運営している 10 事業所のうち 6 事業所（60.0%）が「需要と供給が概ね均衡している」と回答している。

また、訪問看護では、運営している 7 事業所のうち 3 事業所（42.9%）が供給超過、介護老人福祉施設でも、運営している 7 事業所のうち 3 事業所（42.9%）が供給超過と回答しており、サービス種別によって需給の受け止め方が異なっている。

項目	運営 事業所数	需要超過	概ね均衡	供給超過
訪問介護	15	11（73.3%）	4（26.7%）	0（0.0%）
訪問入浴介護	3	1（33.3%）	2（66.7%）	0（0.0%）
訪問看護	7	1（14.3%）	3（42.9%）	3（42.9%）
訪問リハビリテーション	4	0（0.0%）	4（100.0%）	0（0.0%）
居宅療養管理指導	5	0（0.0%）	3（60.0%）	2（40.0%）
通所介護	11	1（9.1%）	6（54.5%）	4（36.4%）
通所リハビリテーション	4	1（25.0%）	3（75.0%）	0（0.0%）
短期入所生活介護	6	2（33.3%）	2（33.3%）	2（33.3%）
短期入所療養介護	4	2（50.0%）	2（50.0%）	0（0.0%）
介護老人福祉施設	7	2（28.6%）	2（28.6%）	3（42.9%）
介護老人保健施設	4	1（25.0%）	3（75.0%）	0（0.0%）
認知症対応型共同生活介護	6	0（0.0%）	5（83.3%）	1（16.7%）
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	4	0（0.0%）	3（75.0%）	1（25.0%）
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	1（33.3%）	2（66.7%）	0（0.0%）
地域密着型通所介護	10	0（0.0%）	6（60.0%）	4（40.0%）

※各サービスを運営している事業所を対象に集計しているため、サービス種別ごとに回答事業所数が異なる。

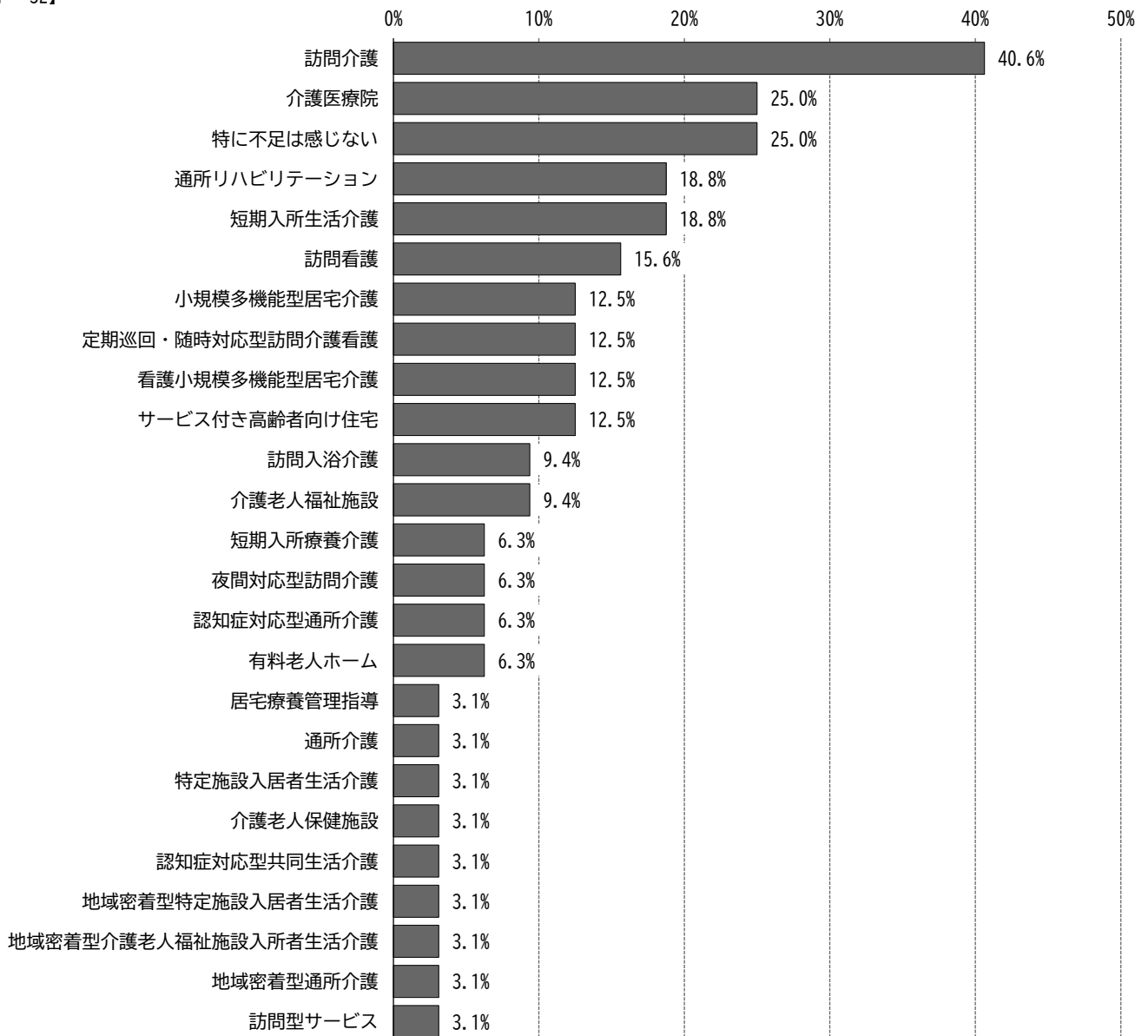
※「需要超過」は、「需要が供給を大きく上回っている」と「需要が供給をやや上回っている」を合算したもの、「供給超過」は、「需要が供給をやや下回っている」と「需要が供給を大きく下回っている」を合算したものである。

6. 行政に望むこと

Q11. 旭市で不足していると思う介護サービス、もっと充実させるべきサービスは何だと思いますか (複数選択可)

旭市で不足していると思う介護サービス、もっと充実させるべきサービスについては、「訪問介護」が13事業所(40.6%)で最も高く、次いで「介護医療院」「特に不足は感じない」がいずれも8事業所(25.0%)、「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」がいずれも6事業所(18.8%)となっている。

[n = 32]

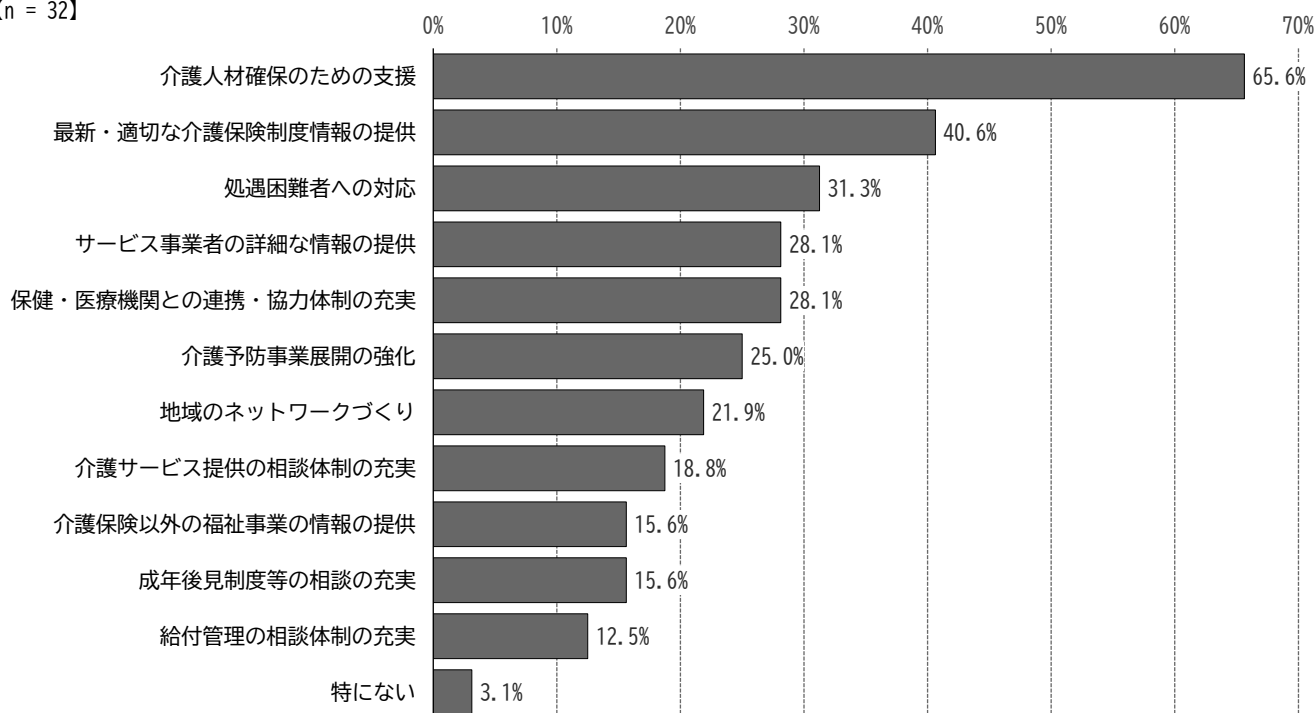


Q12. 事業者の立場で、保険者である行政に望むことはありますか（複数選択可）

事業者の立場で行政に望むことについては、「介護人材確保のための支援」が21事業所（65.6%）で最も高く、次いで「最新・適切な介護保険制度情報の提供」が13事業所（40.6%）、「処遇困難者への対応」が10事業所（31.3%）となっている。

また、「サービス事業者の詳細な情報の提供」「保健・医療機関との連携・協力体制の充実」がいずれも9事業所（28.1%）、「介護予防事業展開の強化」が8事業所（25.0%）となっている。

【n = 32】



Q13. 介護保険制度や高齢者福祉サービス、地域包括ケアシステム、介護人材確保対策などについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご入力ください

自由記述欄には、「特になし」等を含め、5件の記載があった。

記載内容をみると、独居高齢者や高齢者世帯への見守り・ごみ出し等を支える地域ボランティアの充実、介護の仕事に対するイメージアップに向けた広報の継続、介護度によるサービス利用制限の見直し、本人の身体状況や生活実態に応じた柔軟なサービス提供、社会福祉法人やNPO等による地域支援の充実などに関する意見がみられた。

分類	主な内容
地域での見守り・生活支援	独居高齢者や高齢者世帯に対するごみ出し、見守り等のボランティアの充実
介護人材・広報	介護の仕事のイメージアップに向けた広報の継続
サービス利用条件・柔軟な対応	介護度によるサービス利用制限の見直し、身体状況や生活実態に応じたサービス時間・回数の柔軟な対応
地域福祉・法人等の役割	社会福祉法人やNPOによる地域づくり、困窮者や身寄りのない人への支援
その他	特になし

※自由記述の内容をもとに、主な意見を分類・整理している。1つの回答に複数の内容が含まれる場合がある。

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

旭市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

(高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート)

ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。この調査は、皆さまの生活状況等をお伺いすることにより、高齢者福祉施策の課題やニーズ等を的確に把握し、改善や充実を図るために、旭市にお住まいの65歳以上の方を対象に無作為抽出で実施するものです。調査結果は、令和8年度に策定いたします「旭市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」(計画期間：令和9年度～令和11年度)の基礎資料とさせていただきます。調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

旭市長 米本 弥一郎

●記入について

- ・封筒のあて名のご本人が記入してください。
- ・ご本人が記入することが難しいときは、ご家族などが、ご本人の立場で記入してください。
- ・調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○を付けてください。
- ・回答数は設問によって異なるため、()内のことわり書きに従ってください。
- ・「その他」と回答した場合には、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入後は、調査票を3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、1月23日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手は不要)

●個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

- ・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。この調査で得られた情報は、旭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は旭市が適切に管理いたします。
- ・ただし、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省が高齢者政策の地域分析に用いるデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

〈問い合わせ先〉 旭市 高齢者福祉課 介護保険班 TEL：0479-62-5308

右にある番号は、市役所の中でのみ、介護保険の認定・利用状況とデータを連結させるためのものです。

調査票の記入者やあて名のご本人情報

記 入 日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○を付けてください	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 → （あて名のご本人からみた続柄 _____） 3. その他（ _____ ）	

以下はあて名のご本人の情報を記入し、該当項目に○を付けてください

年齢・性別	（ ）歳 男 ・ 女
居 住 地 区 (小学校区)	1. 中央 2. 琴田 3. 干潟 4. 富浦 5. 矢指 6. 共和 7. 豊畑 8. 鶴巻 9. 滝郷 10. 嚶鳴 11. 飯岡 12. 三川 13. 萬歳 14. 中和 15. 古城
要 介 護 度 (記入日時点)	1. 介護認定を受けていない 2. 介護認定を受けていないが 総合事業対象者※である 3. 要支援1 4. 要支援2

※総合事業対象者：基本チェックリストによってお体の機能を判定した結果、デイサービス等の「介護予防・日常生活支援総合事業」を利用できる対象となった方です。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください (〇は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 () | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 持家 (一戸建て) | 2. 持家 (集合住宅) |
| 3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small>
公営賃貸住宅 | 4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについて

(1)～(3) 日常の歩行状況などについてお答えください(それぞれ1つに○)

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	2	3
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	2	3
(3) 15分位続けて歩いていますか	1	2	3

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(○は1つ)

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

(5) 転倒に対する不安は大きいですか(○は1つ)

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか(○は1つ)

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2～4回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(○は1つ)

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→ ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

1. 病気	2. 障害 (脳 ^{しょうがい} 卒 ^{もうそっちゅう} 中 ^{こういしょう} の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車
3. バイク	4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス
9. 車いす	10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 (きらりんタクシーはこちらを選択)	()

(10) 運転免許証の返納について考えていますか (○は1つ)

- 1. 返納を考えている
- 2. 既に返納している
- 3. 返納するつもりはない
- 4. 運転免許証をもっていない
- 5. その他 ()

→ ① 返納前と比べて外出の機会が減っていますか (○は1つ)

- 1. とても減っている
- 2. 減っている
- 3. あまり減っていない
- 4. 減っていない

問3 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください (それぞれ数字を記入)

身長 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> cm				体重 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> kg			

(2) ~ (5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください (それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
(4) 口の渇きが気になりますか	1	2
(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか	1	2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

毎日の生活の状況についてお答えください(それぞれ1つに○)

■物忘れについて

	はい	いいえ
(1) 物忘れが多いと感じますか	1	2
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

■外出・買物・食事・金銭管理について	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1	2	3
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
(6) 自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

■書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について	はい	いいえ
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1	2
(10) 新聞を読んでいますか	1	2
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1	2

■他者との関わりについて	はい	いいえ
(12) 友人の家を訪ねていますか	1	2
(13) 家族や友人の相談にのっていますか	1	2

(14) 趣味はありますか（「1. 趣味あり」の方は（ ）内に趣味を記入ください）

1. 趣味あり（ 2. 思いつかない

(15) パソコンやスマートフォンで利用している機能・アプリは何ですか（〇はいくつでも）

1. 通話	2. メール
3. インターネット検索	4. LINE（ライン）
5. Facebook（フェイスブック）	6. X（エックス）※旧ツイッター
7. 動画視聴	8. ゲーム・脳トレ
9. その他（	）
10. パソコンやスマートフォンを使っていない（持っていない）	

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 通いの場 (あさピー☆きらり体操)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(○は1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(○は1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (〇はいくつでも)

1. 職に就いたことがない	2. 引退した
3. 常勤 (フルタイム)	4. 非常勤 (パート・アルバイト等)
5. 自営業	6. 求職中
7. その他 ()	

【(1) において「2. 引退した」の方のみ】

① あなたはいつ引退しましたか

1. 昭和 年	2. 平成 年	3. 令和 年
---	---	---

問7 たすけあいについて

～ あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします ～

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

1. 配偶者 (夫または妻)	2. 同居の子ども (子どもの配偶者を含む)
3. 別居の子ども (子どもの配偶者を含む)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

1. 配偶者 (夫または妻)	2. 同居の子ども (子どもの配偶者を含む)
3. 別居の子ども (子どもの配偶者を含む)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)

1. 配偶者(夫または妻)	2. 同居の子ども(子どもの配偶者を含む)
3. 別居の子ども(子どもの配偶者を含む)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしあげる人(○はいくつでも)

1. 配偶者(夫または妻)	2. 同居の子ども(子どもの配偶者を含む)
3. 別居の子ども(子どもの配偶者を含む)	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他()
7. そのような人はいない	

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか(○は1つ) 同じ人には何度あっても1人と数えることとします

1. 0人(いない)	2. 1~2人
3. 3~5人	4. 6~9人
5. 10人以上	

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない

(9) あなたが入院や施設入所などの際、緊急連絡先など頼れる人を教えてください (〇はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども (子どもの配偶者を含む)
3. 他の親族	4. 友人
5. その他 ()	6. そのような人はいない

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

1. とてもよい	2. まあよい
3. あまりよくない	4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に〇をつけてください)

とても不幸 ←————→ とても幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧	3. のうそっちゅう のうしゅけつ のうこうそくなど 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. とうにようびょう 糖尿病	6. こうしけっしょう しじつじょう 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. じんぞう ぜんりつせん 腎臓・前立腺の病気	10. きんこつかく 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. がいしょう てんとう こっせつなど 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. めんえき 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. にんちしょう 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 成年後見制度※を知っていますか (〇は1つ)

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 言葉は聞いたことはあった	4. 全く知らなかった

※成年後見制度：認知症などで判断能力が不十分になった人に対し、家庭裁判所で選ばれた成年後見人等が、本人の代わりに財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。

(4) 2040年には高齢者の約3.3人に1人が認知症（軽度認知障害含む）になると見込まれていますが、今後、増加する認知症への取組として、市が力を入れるべき施策は何だと思われますか (〇は3つまで)

1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み
5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み
6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実
7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
8. 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み
9. 認知症の人が利用できる介護サービスの充実
10. 認知症の人の意見が活かせるサービスの充実
11. その他 ()
12. わからない

(5) 旭市の認知症施策について知っているものはどれですか (〇はいくつでも)

1. 認知症出前講座 (認知症の正しい知識や予防についての講座)
2. 地域包括支援センター総合相談窓口の設置 (認知症のことを相談できる窓口)
3. 認知症サポーター養成講座 (認知症の人への接し方や地域で見守る体制)
4. 介護予防サポーター養成講座 (認知症への理解を深め対応できる)
5. 「通いの場」の創設 (運動や交流を行うことで認知症を予防)
6. 認知症ケアパス (認知症の早い段階から医療・介護などのサポート体制)
7. 認知症家族交流会 (家族の精神的負担を減らす取り組み)
8. 本人ミーティング (認知症本人の気持ちを実現する取り組み)
9. あさひキッチンガーデン (認知症の人を含む多世代参加型農園作業)
10. 認知症高齢者等 SOS ネットワーク (行方不明になる可能性のある認知症の人の、警察などの関係機関との連携による見守り)
11. 認知症高齢者等見守りシール交付事業 (行方不明になる可能性のある認知症の人の登録による見守り)
12. 映画上映会やアルツハイマー月間 (9月) の展示 (認知症への理解を深めるための周知活動)

問 10 権利擁護について

(1) 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. クーリングオフ制度 | 2. 成年後見制度 |
| 3. 法テラス | 4. 日常生活自立支援事業
(地域福祉権利擁護事業) |
| 5. 市民後見人の活動 | 6. 高齢者虐待の通報・相談窓口 |
| 7. その他 (|) |

(2) 高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか (〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問11 生きがいづくり・介護予防について

(1) 体力や生活機能の維持・向上のため、あなたが今後、参加したい(続けたい)活動メニューはどれですか(〇はいくつでも)

1. からだを動かす体操や運動の教室
2. 食事の栄養バランスに関する教室
3. 認知症を予防する脳トレの教室
4. 歯や入れ歯のお手入れ、お口の健康の教室
5. 介護予防全般についての講義
6. 近所や地域の人と交流できる場での活動
7. その他 ()
8. 参加したい活動はない

(2) 前問(1)の活動に、より多くの人が参加するために、重要だと思うことは何ですか(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 活動の広報・宣伝 | 2. 会場が近いこと |
| 3. 送迎があること | 4. 高齢者自身の健康意識 |
| 5. 活動仲間がいること | 6. 活動メニューの多様化 |
| 7. その他 () | |

(3) 旭市では、高齢者が地域で声をかけ合い、集会所等で、趣味や運動、「あさピー☆きらり体操」を、自主的に継続して行うことができる「通いの場」を推進していますが、あなたは「通いの場」のことを知っていましたか（○はいくつでも）

- 1. 知っており参加したことがある（または参加している）
- 2. 知っているが参加したことはない
- 3. 知らない

① 今後、通いの場に参加したいですか（○は1つ）

- 1. 参加したい（引き続き参加する）
- 2. 参加するつもりはない（やめる）
- 3. わからない

→② 参加しない理由は何ですか（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 開催場所が遠い | 2. 交通手段がない |
| 3. 興味がない | 4. つまらなそう |
| 5. 自分には必要がない | 6. 時間がない・忙しい |
| 7. 知り合いがいない | 8. 人づきあいが面倒そう |
| 9. なんとなく | 10. 集団が苦手 |
| 11. 自分で他にやっている | 12. その他（ ） |

(4) あなたは元気であるために取り組んでいることはありますか (〇はいくつでも)

1. テレビ・ラジオ・新聞・読書
2. 子どもや孫の成長を見守ること
3. ショッピング、買い物
4. 近所や友人とのつきあい
5. 働くこと
6. 旅行やレジャー
7. 園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動
8. 家族との団らん
9. ウォーキング等の運動・レクリエーション
10. ペットの世話
11. 学習や教養を高めるための活動
12. パソコン、インターネット
13. 外食・食べ歩き
14. 町内会、自治会の活動
15. 特技や技術を生かした創作・伝承活動
16. ボランティア活動 ()
17. 推し活 (自分の好きな芸能人やキャラクターなどを応援する活動)
18. その他 ()
19. 特にない

問 12 日常生活の心配ごとや必要な支援について

(1) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか (○はいくつでも)

- | |
|---------------------------|
| 1. 体調がすぐれない、病気がち |
| 2. 頼れる人がおらず一人きりであること |
| 3. 認知症にならないか心配 |
| 4. 生活のための収入が足りない |
| 5. 食事づくりや買い物が大変 |
| 6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配 |
| 7. 掃除・洗濯などの家事が大変 |
| 8. 地震や火災などの災害の起きたときが心配 |
| 9. 外出時の転倒や事故が不安 |
| 10. 判断能力が衰えたときの契約や財産管理が心配 |
| 11. 子どもや孫のことが心配 |
| 12. その他 () |
| 13. 特にない |

(2) あなたは、お住まいの近くの「地域包括支援センター」※を知っていますか (○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※地域包括支援センター：高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関で、現在、市内3か所に設置しています。

(3) あなたがお住まいの地域は、近隣のつながりがあると感じますか (○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. とても感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |

(4) 住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を継続していくうえで、必要になると思う支援やサービスは何ですか(○はいくつでも)

1. 弁当の配達
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. 雨戸の開け閉め
11. その他（ ）
12. 特にない
13. わからない

(5) あなたが今後、手助けしてあげたいことは何ですか (○はいくつでも)

1. 安否確認の声かけ
2. ちょっとした買い物
3. ゴミ出し
4. 家事の手伝い
5. 通院や外出の手助け
6. 話し相手や相談相手
7. 災害時の避難の手助け
8. 緊急時の家族への連絡
9. その他（ ）
10. 手助けしてあげたいとは思わない

(6) 【(5)で「1.」～「9.」に○をした方】実際に何か実行していますか (○は1つ)

1. やっている
2. やりたい気持ちはあるが今はできない
3. やりたい気持ちはあるが関わり方(やり方)がわからない
4. その他 ()

(7) あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか (○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

(8) 災害に備えて準備をしていることはありますか (○はいくつでも)

1. 非常時持ち出し品 (現金や通帳、薬、食料など)
2. 家に備蓄品がある (食料や飲料水、簡易トイレなど)
3. 家族や知り合いとの連絡方法
4. 普段から近所や民生委員との関係づくり
5. 緊急連絡カードやキットの作成
6. 市役所の災害時要援護者台帳への登録
7. 市の防災メールや防災アプリの登録
8. 避難所や避難ルートの確認
9. その他 ()

問 13 今後の暮らしや将来の介護について

(1) あなたが介護を受けることになった場合、どのような介護を希望しますか (○はいくつでも)

1. 介護保険制度のサービスや在宅福祉サービスなどを中心に、自宅での介護を受けたい
2. 特別養護老人ホーム等の施設に入所して介護を受けたい
3. わからない
4. その他 ()

(2) あなたは、在宅での医療、終活 (人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備)、自宅での看取りのことなどに関心がありますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 大いに関心がある | 2. 少し関心がある |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり関心はない |
| 5. 全く関心はない | |

(3) あなたは、終活について家族などと話し合ったり、ご自身で準備したことがありますか
(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(4) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか (○は1つ)

1. 自宅	2. 子どもなど親族の家
3. 病院	4. 施設
5. その他 (	)

(5) 「私の希望ノート(旭市版)」を知っていますか (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(6) 旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことは何ですか (○は5つまで)

1. 健康づくり対策の推進	2. 介護予防に関する事業の充実
3. 緊急時・災害時の支援体制の充実	4. 在宅福祉サービスの充実
5. 認知症の支援体制の充実	6. 公共施設等のバリアフリー化の推進
7. 福祉に関する相談体制の充実	8. 雇用機会の拡充
9. リハビリに関する事業の充実	10. 世代間交流の場の拡充
11. 生涯学習・生涯スポーツ等の振興	12. 地域の見守り活動に対する支援
13. 防犯対策・交通安全対策の充実	14. 交通手段の充実
15. 高齢者が集えるサロン等の充実	16. 高齢者が入居しやすい住宅の充実
17. ボランティア活動に対する支援	18. その他 (
19. 特にない	)

[illegible]

ご協力ありがとうございました

2. 在宅介護実態調査 調査票

旭市 在宅介護実態調査 調査票

(高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート)

ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。この調査は、皆さまの生活状況等をお伺いすることにより、高齢者福祉施策の課題やニーズ等を的確に把握し、改善や充実を図るために、旭市にお住まいで要支援・要介護認定を受け、在宅で生活している方を対象に実施するものです。調査結果は、令和8年度に策定いたします「旭市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」(計画期間：令和9年度～令和11年度)の基礎資料とさせていただきます。調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

旭市長 米本 弥一郎

●記入について

- ・ 封筒のあて名のご本人が記入してください。
ご本人が記入することが難しいときは、ご家族などが、ご本人の立場で記入してください。
- ・ 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○を付けてください。
- ・ 回答数は設問によって異なるため、()内のことわり書きに従ってください。
- ・ 「その他」と回答した場合には、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・ 記入後は、調査票を3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、1月23日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手は不要)

●個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

- ・ この調査は、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に行うものです。本調査で得られた情報は要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)と関連付け客観的に分析を行います。旭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は旭市が適切に管理いたします。
- ・ ただし、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省が高齢者政策の地域分析に用いるデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

〈問い合わせ先〉 旭市 高齢者福祉課 介護保険班 TEL：0479-62-5308

右にある番号は、市役所の中でのみ、介護保険の認定・利用状況とデータを連結させるためのものです。

調査票の記入日を記入し、居住地区に○を付けてください

記 入 日	令和	年	月	日
居 住 地 区 (小学校区)	1. 中央	2. 琴田	3. 干潟	4. 富浦
	5. 矢指	6. 共和	7. 豊畑	8. 鶴巻
	9. 滝郷	10. 嚶鳴	11. 飯岡	12. 三川
	13. 萬歳	14. 中和	15. 古城	

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○はいくつでも）

1. 調査対象者本人（あて名のご本人）	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他（ ）

問2 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他（ ）
---------	-----------	-----------

問3 あて名のご本人の性別について、ご回答ください（○は1つ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 あて名のご本人の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

1. 65歳未満	2. 65～69歳	3. 70～74歳
4. 75～79歳	5. 80～84歳	6. 85～89歳
7. 90歳以上		

問5 あて名のご本人の要介護度について、ご回答ください（○は1つ）

1. 要支援1	2. 要支援2	
3. 要介護1	4. 要介護2	5. 要介護3
6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（〇は1つ）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1. 脳血管疾患（ <small>のうけっかんしっかん</small> 脳卒中） | 2. 心疾患（ <small>しんしっかん</small> 心臓病） |
| 3. 悪性新生物（ <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（ <small>じんしっかん</small> 透析） | |
| 6. 筋骨格系疾患（ <small>きんこつかくけいしっかん</small> 骨粗しょう症、 <small>こつそ</small> 脊柱管狭窄症等） | |
| 7. 膠原病（ <small>こうげんびょう</small> 関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患（ <small>へんけいせいかんせつしっかん</small> ） |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病（ <small>とうようびょう</small> ） |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの） | |
| 14. その他（ ） | |
| 15. なし | 16. わからない |

問8 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（〇は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 利用した ⇒ 問9へ | 2. 利用していない ⇒ 問10へ |
|---------------|-------------------|

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします

以下の介護保険サービス（介護予防サービス含む）について、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください

対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれ1つに○）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
（※回答例）●●●サービス	9	1	2	3	4	5
A. 訪問介護 （ホームヘルプサービス）	9	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	9	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	9	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	9	1	2	3	4	5
E. 通所介護 （デイサービス）	9	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリテーション （デイケア）	9	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型訪問介護 （※訪問のあった回数を回答）	9	1	2	3	4	5

	利用の有無（それぞれ1つに○）	
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1 か月あたりの利用回数（○は1つ）				
	利用して いない	月1～ 7日程度	月8～ 14日程度	月15～ 21日程度	月22日 以上
K. 短期入所 （ショートステイ）	9	1	2	3	4

	1 か月あたりの利用回数（○は1つ）				
	利用して いない	月1 回程度	月2 回程度	月3 回程度	月4 回程度
L. 居宅療養管理指導 （医師、看護師、薬剤師などが家庭を訪問し療養上の管理や指導、助言等を行う）	9	1	2	3	4

問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ ）

※ ここから再び、全員の方にお伺いします ※

問11-1 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいいくつでも）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他（ ）
11. 利用していない	

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問11-2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいいくつでも）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他（ ）
11. 特になし	

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問12 あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか（〇はいいくつでも）

1. 体調がすぐれない、病気がち
2. 頼れる人がおらず一人きりであること
3. 認知症にならないか心配
4. 生活のための収入が足りない
5. 食事づくりや買い物が大変
6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配
7. 掃除・洗濯などの家事が大変
8. 地震や火災などの災害が起きたときが心配
9. 外出時の転倒や事故が不安
10. 判断能力が衰えたときの契約や財産管理が心配
11. 子どもや孫のことが心配
12. その他（
13. 特にない

問14 あなたは、元気であるために取り組んでいることはありますか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. テレビ・ラジオ・新聞・読書 | |
| 2. 子どもや孫の成長を見守ること | |
| 3. ショッピング、買い物 | |
| 4. 近所や友人とのつきあい | |
| 5. 働くこと | |
| 6. 旅行やレジャー | |
| 7. 園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動 | |
| 8. 家族との団らん | |
| 9. ウォーキング等の運動・レクリエーション | |
| 10. ペットの世話 | |
| 11. 学習や教養を高めるための活動 | |
| 12. パソコン、インターネット | |
| 13. 外食・食べ歩き | |
| 14. 町内会、自治会の活動 | |
| 15. 特技や技術を生かした創作・伝承活動 | |
| 16. ボランティア活動（ | ） |
| 17. 推し活（自分の好きな芸能人やキャラクターなどを応援する活動） | |
| 18. 医療・介護・福祉の専門職や相談員との関わり | |
| 19. その他（ | ） |
| 20. 特にない | |

問15-1 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか（○は1つ）

1. 知っている 2. 知らない

問15-2 あなたは、災害や火災などの緊急時に1人で避難することができますか（○は1つ）

1. 自分だけで避難できる
-
2. 介護者がいれば避難できる
3. 介護者がいても外部の支援が必要
4. わからない

→・【問15-2において「2. 介護者がいれば避難できる」「3. 介護者がいても外部の支援が必要」「4. わからない」の方のみ】

① あなたが避難する時、一緒に避難してくれる人がありますか (○は1つ)

1. いる 2. いない

② あなたが緊急時に1人で避難できないこと、あなたの住所・氏名・連絡先などの情報を近所の人に事前に知らせておきたいと思いますか（○は1つ）

1. 近所の人に知っていてほしい 2. 近所の人に知られたくない

問16 あなたは、今後、どのような介護を希望しますか（〇はいくつでも）

1. 介護保険制度のサービスや在宅福祉サービスなどを中心に、自宅での介護を継続して受けたい
2. 特別養護老人ホーム等の施設に入所して介護を受けたい
3. わからない
4. その他（ ）

問17 これからも在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか（〇は3つまで）

1. 充実した介護サービス
2. 往診してくれる医療機関
3. 介護してくれる家族等
4. 安心して住み続けられる住まい
5. 気軽に立ち寄って話や相談ができる場所
6. 見守りや手助けしてくれる人
7. 食事や日用品などの宅配サービス
8. その他（ ）
9. 特にない

問18 旭市の高齢者施策として、特に力を入れて欲しいことは何ですか（○は5つまで）

1. 健康づくり対策の推進
2. 介護予防に関する事業の充実
3. 緊急時・災害時の支援体制の充実
4. 在宅福祉サービスの充実
5. 認知症の支援体制の充実
6. 公共施設等のバリアフリー化の推進
7. 福祉に関する相談体制の充実
8. 雇用機会の拡充
9. リハビリに関する事業の充実
10. 世代間交流の場の拡充
11. 生涯学習・生涯スポーツ等の振興
12. 地域の見守り活動に対する支援
13. 防犯対策・交通安全対策の充実
14. 交通手段の充実
15. 高齢者が集えるサロン等の充実
16. 高齢者が入居しやすい住宅の充実
17. ボランティア活動に対する支援
18. その他（ ）
19. 特になし

問19 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

1. ない

最終ページの自由記述に進んでください

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない

3. 週に1~2日ある

4. 週に3~4日ある

5. ほぼ毎日ある

問 20 へ進んでください

- ・問19で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方が、問20からの設問にお答えください。
- ・「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、あて名のご本人様がお答えください。
- ・あて名のご本人様のご回答が難しい場合は、無記入で結構です。

主な介護者の方についてお伺いします

問20 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問21 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

- | | | |
|---------------|----------|-----------|
| 1. 配偶者（夫または妻） | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（ ） |

問22 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問23 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問24 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

〔身体介護〕	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
〔生活援助〕	
12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	
15. その他（	） 16. わからない

問25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が、不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

〔身体介護〕	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
〔生活援助〕	
12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	
15. その他（ ）	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（〇は1つ）

1. フルタイムで働いている	}	問 27～問 29 へ
2. パートタイムで働いている		
3. 働いていない	}	最終ページの自由記述へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない		

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問27 問26で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（〇はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問28 問26で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問29 問26で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

○介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください

以上でアンケートは終了です

ご記入いただいたアンケート用紙は1月23日（金）までに同封の返信用封筒に入れて
お近くの郵便ポストに投函してください（切手は不要）

ご協力ありがとうございました

3. 介護支援専門員調査 調査票

旭市 介護支援専門員調査

入力フォーム

1

2

3

下記のフォームにご入力をお願いします。

旭市 介護支援専門員調査

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

この調査は、令和8年度に策定いたします「旭市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」（計画期間：令和9年度～令和11年度）の基礎資料とするため、第一線で活躍されている旭市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の方を対象に実施させていただくものです。調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月 旭市長 米本 弥一郎

回答期限

令和8年1月23日（金）

留意事項

- ・「事業所」としてではなく、「介護支援専門員個人」として回答してください。
- ・令和7年12月1日現在の状況を記入してください。
- ・人数を入力する設問で、該当する人数が0人の場合は、「0」を入力してください。（未入力エラーとなります）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査への回答をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

この調査は、介護支援専門員のご意見をお伺いし、今後のケアマネジメントや介護サービスを検討するために行うものです。本調査で得られた情報は、旭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は旭市が適切に管理いたします。

問い合わせ先

旭市 高齢者福祉課 介護保険班

TEL:0479-62-5308

あなたのことについてお伺いします

Q1. 令和7年12月1日現在のあなたの年齢（満何歳）を教えてください 必須

- ☐ 20～29歳
- ☐ 30～39歳
- ☐ 40～49歳
- ☐ 50～59歳
- ☐ 60～69歳
- ☐ 70歳以上

Q2. あなたの性別を教えてください 必須

- ☐ 男性
- ☐ 女性

Q3. あなたの勤務形態を教えてください 必須

- ☐ 常勤専従
- ☐ 非常勤専従
- ☐ 常勤兼務
- ☐ 非常勤兼務
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q4. あなたは主任介護支援専門員の資格を有していますか 必須

- ☐ 有している
- ☐ 有していない

Q5. あなたが勤務する事業所の種類を教えてください 必須

- ☐ 社会福祉法人
- ☐ 医療法人
- ☐ 株式会社
- ☐ 有限会社
- ☐ NPO法人
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

業務についてお伺いします**Q6. あなたがケアプランをたてている利用者数を教えてください
(令和7年12月現在の市内・市外を含む人数を入力してください)****要支援1**

人数(数字のみ入力) 必須

要支援2

人数(数字のみ入力) 必須

要介護1

人数(数字のみ入力) 必須

要介護 2

人数（数字のみ入力） 必須

要介護 3

人数（数字のみ入力） 必須

要介護 4

人数（数字のみ入力） 必須

要介護 5

人数（数字のみ入力） 必須

事業対象者

人数（数字のみ入力） 必須

合計

人数（数字のみ入力） 必須

Q7. あなたがケアプランをたてている利用者の居所を教えてください
(令和7年12月現在の市内・市外を含む人数を入力してください)

自宅（家族宅を含む）

人数（数字のみ入力） 必須

有料老人ホーム

人数（数字のみ入力） 必須

サービス付き高齢者向け住宅

人数（数字のみ入力） 必須

その他

人数（数字のみ入力） 必須

合計

人数（数字のみ入力） 必須

Q8. あなたが令和6年度中に担当した利用者のうち、自宅から施設・病院等へ居所変更した方はどの程度いますか。 必須

- ☐ いない
- ☐ 1～2人程度
- ☐ 3～5人程度
- ☐ 6～9人程度
- ☐ 10人以上

Q9. Q8のような居所変更が必要となった主な要因は何でしたか（あてはまるものをすべてを選択） 必須

- ☐ 本人の身体機能の低下（移動・排泄・入浴等が困難になっている）
- ☐ 認知症の進行による見守り・対応の負担増（徘徊・暴言等）
- ☐ 夜間・早朝などの介護ニーズへの対応が難しい
- ☐ 医療的ケア（吸引、経管栄養等）の必要性が高まっている
- ☐ 家族等介護者が高齢・持病などで介護が続けられない
- ☐ 家族等介護者の就労と介護の両立が難しくなっている
- ☐ 家族との関係が悪化
- ☐ 独居・老々世帯等で日常の見守り体制が不十分
- ☐ 自宅の構造・設備（段差、狭さ、エレベーターなし等）が生活に適さない
- ☐ 通院や買い物など、外出手段の確保が難しい
- ☐ 利用したい介護サービスの量が不足している
- ☐ 利用したい介護サービスはあるが、本人・家族が利用を希望しない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q10. 利用者のうち、事業対象者、要支援1～要介護2の方の、最も多い日中の状況を教えてください **必須**

- ☐ 一人暮らしである
- ☐ 家族などと同居しているが、日中一人になることが多い
- ☐ 家族などと同居しており、日中一人になることはあまりない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 **必須**

具体的な内容

0 / 500

Q11. 現在の業務量について、どのように思いますか **必須**

- ☐ かなり負担が大きい
- ☐ やや負担が大きい
- ☐ ふつう
- ☐ 負担はあまり大きくない
- ☐ 負担は小さい

Q12. 現在、あなたが業務に対して負担や課題を感じていることを教えてください（あてはまるものをすべてを選択） **必須**

負担 **必須**

- ☐ 利用者本人と家族の意向との調整
- ☐ サービス事業者との連絡・調整
- ☐ 主治医や他の専門職との連絡・調整
- ☐ 家族との連絡
- ☐ 地域の関係者（民生委員等）との連絡
- ☐ ケアプランの作成
- ☐ 介護予防ケアプランの作成
- ☐ 記録・給付管理等の事務作業
- ☐ 利用者・家族からのクレーム・ハラスメント対応
- ☐ 処遇困難ケースへの対応

- ☐ 緊急時の対応
- ☐ 災害時の対応
- ☐ 負担を感じる業務はない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

課題 必須

- ☐ 担当件数が多く、一人ひとりに十分な時間を割けない
- ☐ 事業所内での相談・スーパービジョン体制が十分でない
- ☐ 賃金・処遇が業務量に見合っていないと感じる
- ☐ 自身の心身の健康面の不安がある
- ☐ 将来のキャリアパスが見通しにくい
- ☐ 特に課題はない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q13. 介護支援専門員と、以下の関係者・関係機関との連携状況について伺います 必須

介護サービス事業者との連携 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

他の介護支援専門員との連携 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

医療機関（主治医）との連携 ※病歴や治療方針等の問い合わせなど 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

行政との連携 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

地域包括支援センターとの連携 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

民生委員との連携 必須

- ☐ とれている
- ☐ まあとれている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない

**Q14. サービス担当者会議を開催する上で、問題となっていることは何ですか
(あてはまるものをすべてを選択) 必須**

- ☐ 開催場所の確保
- ☐ 忙しくて時間がとれないこと
- ☐ メンバーの時間調整
- ☐ 職種間の考え方・意見の調整
- ☐ 会議の結果が現場で生かされないこと
- ☐ 会議の必要性を他の職種の人に理解してもらえないこと
- ☐ 特にない

☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q15. ケアプランを作成する際に、所属している事業所のサービスと他事業所のサービスの選択において、公平性・中立性の原則を保っていると思いますか

必須

- ☐ 保っていると思う
- ☐ たまに保てないこともある
- ☐ (あまり) 保てていないと思う

Q16. これまで、高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか

必須

- ☒ 自分が経験したことがある
- ☐ ほかに人から聞いたことがある
- ☐ 自分が経験したり聞いたことはない

Q17. 【Q16で「自分が経験したことがある」と回答した方に伺います】どのように対応しましたか（あてはまるものをすべてを選択） 必須

- ☐ 市担当課へ相談・通告
- ☐ 地域包括支援センターへ相談・通告
- ☐ 警察へ相談・通告
- ☐ 同事業所内で相談・検討
- ☐ サービスの調整を行った

☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q18. あなたが、日ごろの業務の中で向上しなければならないと感じていることは何ですか（3つまで選択可） 必須

- ☐ 要介護度等の重度化を防ぐためのプランニング技術
- ☐ 困難事例に対応できる社会福祉援助技術
- ☐ 認知症に効果の高いプランニング技術
- ☐ 利用者のニーズを適切に把握し、より良いプランニングに資するアセスメント技術
- ☐ 医療に関する知識の向上
- ☐ 関係制度やサービスに関する知識の向上
- ☐ 医療・介護・福祉・保健分野の多職種、多機関との連携
- ☐ 地域のフォーマル、インフォーマルな支援者との連携
- ☐ 災害への対応
- ☐ 特にない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q19. これまでに在宅での看取りをした事例を担当した経験はありますか 必須

- ☒ ある
- ☐ 経験したことはない

Q20. 【Q19で「ある」と回答した方に伺います】

事例数を入力してください。（数字のみ入力） 必須

Q21. あなたの勤務先では、次のようなICTの活用状況はいかがですか 必須

ケアプラン作成・給付管理に係る介護記録ソフトの利用 必須

- ☐ 積極的に活用している
- ☐ 一部で活用している
- ☐ ほとんど活用していない
- ☐ わからない
- ☐ 導入していない

ケアプランデータ連携システムの利用 必須

- ☐ 積極的に活用している
- ☐ 一部で活用している
- ☐ ほとんど活用していない
- ☐ わからない
- ☐ 導入していない

オンライン会議ツール（WEB会議）による多職種・関係機関との打合せ 必須

- ☐ 積極的に活用している
- ☐ 一部で活用している
- ☐ ほとんど活用していない
- ☐ わからない
- ☐ 導入していない

タブレット端末等を活用した訪問記録・情報共有 必須

- ☐ 積極的に活用している
- ☐ 一部で活用している
- ☐ ほとんど活用していない
- ☐ わからない
- ☐ 導入していない

Q22. あなたが活用したいＩＣＴ・介護テクノロジーがあれば教えてください
(自由記載)

0 / 60000

利用サービスについてお伺いします

Q23. 居宅介護サービス計画書（介護予防ケアマネジメント計画書）の作成または見直し時に、被保険者（家族含む）から利用希望が多いサービスは何ですか
(あてはまるものすべてを選択) 必須

【要介護者サービス】 必須

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問看護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 居宅療養管理指導
- ☐ 通所介護

- ☐ 通所リハビリテーション
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 短期入所療養介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 福祉用具貸与・購入
- ☐ 住宅改修
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 地域密着型通所介護
- 【要支援者サービス】 必須**
- ☐ 訪問型サービス
- ☐ 通所型サービス
- ☐ 介護予防訪問入浴介護
- ☐ 介護予防訪問看護
- ☐ 介護予防訪問リハビリテーション
- ☐ 介護予防居宅療養管理指導
- ☐ 介護予防通所リハビリテーション
- ☐ 介護予防短期入所生活介護

- ☐ 介護予防短期入所療養介護
- ☐ 介護予防特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護予防認知症対応型共同生活介護
- ☐ 介護予防小規模多機能型居宅介護
- ☐ 介護予防認知症対応型通所介護
- ☐ 介護予防福祉用具貸与・購入
- ☐ 介護予防住宅改修

Q24. 旭市で不足していると思う介護サービス、もっと充実させるべきサービスは何だと思いますか（複数選択可） **必須**

【要介護者サービス】 **必須**

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問看護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 居宅療養管理指導
- ☐ 通所介護
- ☐ 通所リハビリテーション
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 短期入所療養介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 認知症対応型通所介護

- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 福祉用具貸与・購入
- ☐ 住宅改修
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 地域密着型通所介護
- ☐ 特にない

【要支援者サービス】 必須

- ☐ 訪問型サービス
- ☐ 通所型サービス
- ☐ 介護予防訪問入浴介護
- ☐ 介護予防訪問看護
- ☐ 介護予防訪問リハビリテーション
- ☐ 介護予防居宅療養管理指導
- ☐ 介護予防通所リハビリテーション
- ☐ 介護予防短期入所生活介護
- ☐ 介護予防短期入所療養介護
- ☐ 介護予防特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護予防認知症対応型共同生活介護
- ☐ 介護予防小規模多機能型居宅介護
- ☐ 介護予防認知症対応型通所介護
- ☐ 介護予防福祉用具貸与・購入
- ☐ 介護予防住宅改修
- ☐ 特にない

Q25. 旭市に住む高齢者にとって、今後の在宅生活の継続に必要な支援サービスは何だと思いますか（複数選択可）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます 必須

- ☐ 配食
- ☐ 調理
- ☐ 掃除・洗濯
- ☐ 買い物（宅配は含まない）
- ☐ ゴミ出し
- ☐ 外出同行（通院、買い物など）
- ☐ 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
- ☐ 見守り、声かけ
- ☐ サロンなどの定期的な通いの場
- ☐ 特にない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q26. 今後、充実させるべきだと思う介護予防事業は何ですか（複数選択可）

必須

- ☐ 運動器の機能向上（地域で行う介護予防体操など）
- ☐ 栄養改善
- ☐ 口腔機能の向上
- ☐ 認知症予防
- ☐ 閉じこもり予防
- ☐ うつ予防
- ☐ 特にない
- ☐ わからない

☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q27. この1年間に、利用者からどのような苦情がありましたか（あてはまるものすべてを選択） 必須

- ☐ 制度やサービスに関する説明が不十分である
- ☐ 希望するサービスに変更してくれない
- ☐ サービス提供時間の希望を聞いてくれない
- ☐ 利用者の望むサービス事業者を選んできてくれない
- ☐ 利用者の希望をサービス事業者に伝えてくれない
- ☐ 希望するときに来てくれない
- ☐ 苦情はなかった

☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

保険者に対する要望についてお伺いします

Q28. ケアマネジャーの立場で、保険者である行政に望むことはありますか（複数選択可） 必須

- ☐ 最新・適切な介護保険制度情報の提供
- ☐ サービス事業者の詳細な情報の提供
- ☐ 介護保険以外の福祉事業の情報の提供
- ☐ 給付管理の相談体制の充実
- ☐ 介護サービス提供の相談体制の充実
- ☐ 処遇困難者への対応
- ☐ 地域のネットワークづくり

- ☐ 介護予防事業展開の強化
- ☐ 保健・医療機関との連携・協力体制の充実
- ☐ 成年後見制度等の相談の充実
- ☐ 特にない
- ☒ その他

その他を選択した方は具体的な内容をご入力ください。 必須

具体的な内容

0 / 500

Q29. 介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください

0 / 60000

→ 確認画面へ進む

入力内容を一時保存する

4. 介護サービス事業者調査（介護人材関係） 調査票

旭市 介護サービス事業者調査（介護人材関係）

入力フォーム

1

2

3

下記のフォームにご入力をお願いします。

旭市 介護サービス事業者調査（介護人材関係）

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

この調査は、令和8年度に策定いたします「旭市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」（計画期間：令和9年度～令和11年度）の基礎資料とするため、介護人材の雇用状況などをお伺いするものです。調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月 旭市長 米本 弥一郎

回答期限

令和8年1月23日（金）

留意事項

- ・ 法人（事業者）の運営方針や実情を把握している方（代表者、事務長、管理者等）が回答してください。
- ・ ことわり書きのない限り、令和7年12月1日現在の状況を入力してください。
- ・ 介護職員数を入力する設問で、該当する介護職員が0人の場合は、「0」を入力してください。（未入力エラーとなります）
- ・ 回答いただいた内容を、法人（事業者）が特定される形で公表することはありません。

問い合わせ先

旭市 高齢者福祉課 介護保険班
TEL:0479-62-5308

Q1. 貴法人の名称を入力してください 必須

0 / 60000

Q2. 貴法人所属の介護職員の総数を入力してください

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります（ボランティアの方は含みません）

※「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します

正規職員

人数（数値のみ）

非正規職員

人数（数値のみ）

Q3. 過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の介護職員の採用者数を入力してください

※令和7年4月1日時点で、開設から1年未満の事業所は除く

正規職員

20 歳未満

人数（数値のみ）

20～29 歳

人数（数値のみ）

30～39 歳

人数（数値のみ）

40～49 歳

人数（数値のみ）

50～59 歳

人数（数値のみ）

60～69 歳

人数（数値のみ）

70～79 歳

人数（数値のみ）

年齢不明

人数（数値のみ）

非正規職員

20 歳未満

人数（数値のみ）

20～29 歳

人数（数値のみ）

30～39 歳

人数（数値のみ）

40～49 歳

人数（数値のみ）

50～59 歳

人数（数値のみ）

60～69 歳

人数（数値のみ）

70～79 歳

人数（数値のみ）

年齢不明

人数（数値のみ）

Q4. 過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の介護職員の離職者数を入力してください

※令和7年4月1日時点で、開設から1年未満の事業所は除く

正規職員

20 歳未満

人数（数値のみ）

20～29 歳

人数（数値のみ）

30～39 歳

人数（数値のみ）

40～49 歳

人数（数値のみ）

50～59 歳

人数（数値のみ）

60～69 歳

人数（数値のみ）

70～79 歳

人数（数値のみ）

年齢不明

人数（数値のみ）

非正規職員

20 歳未満

人数（数値のみ）

20～29 歳

人数（数値のみ）

30～39 歳

人数（数値のみ）

40～49 歳

人数（数値のみ）

50～59 歳

人数（数値のみ）

60～69 歳

人数（数値のみ）

70～79 歳

人数（数値のみ）

年齢不明

人数（数値のみ）

Q5. 貴法人において、令和6年度に離職した職員の離職理由は主に何でしたか （あてはまるものすべてを選択） 必須

- ☐ 本人の健康上の問題
- ☐ 職場内における人間関係
- ☐ スキルアップのための転職
- ☐ 就職前のイメージとの差異（思った仕事と違っていた等）
- ☐ 親族等の介護のため
- ☐ 年齢を原因とした退職（定年退職を含む）
- ☐ 賃金・勤務形態等の処遇に対する不満
- ☐ 利用者との人間関係（カスタマーハラスメント含む）
- ☐ 結婚のため
- ☐ 妊娠・出産のため
- ☐ 育児のため
- ☐ 離職者はいなかった
- ☐ その他

Q6. 貴法人では、介護人材が不足していると感じますか 必須

- ☐ 不足していると感じる
- ☐ どちらかと言うと不足していると感じる
- ☐ どちらかと言うと不足していないと感じる
- ☐ 不足していないと感じる

Q7. 貴法人で、介護人材不足により生じている問題がありますか（3つまで選択可） 必須

- ☐ 職員の高齢化
- ☐ 職員の精神的負担（ストレス）が増えている
- ☐ 職員が残業しなければならない
- ☐ 職場のリーダーとなる人材が育たない
- ☐ 若手が定着しない
- ☐ 職員が有給休暇などの休暇を取りにくい
- ☐ 職員の家庭生活に配慮した勤務シフトが組みにくい
- ☐ 職員不足からサービスを提供できない場合がある
- ☐ 介護サービスの質の低下
- ☐ 介護人材の不足により生じている問題はない
- ☐ その他

Q8. 今後、介護人材の不足が見込まれる中で、貴事業所として優先的に取り組みたいとお考えの方策について、あてはまるものを教えてください（3つまで選択可） 必須

- ☐ 現在働いている職員の離職防止・定着の促進
- ☐ 若手職員の新規採用（新卒・第二新卒等）
- ☐ 高齢者（アクティブシニア層）の活用
- ☐ 介助補助者や未経験者の採用・育成

- ☐ 外国人介護人材の活用
- ☐ 介護ロボットやICT機器の導入による業務負担の軽減
- ☐ 業務プロセスの見直し・生産性の向上
- ☐ 介護の仕事のイメージアップ・広報
- ☐ その他

Q9. 利用者やその家族等からのカスタマーハラスメントの発生を防止し、発生した場合に対応するための取組・体制について、現在実施しているものはありますか（あてはまるものすべてを選択） 必須

- ☐ カスタマーハラスメントの禁止や、著しい迷惑行為の例（暴言・大声・理不尽な要求等）を、契約時や重要事項説明の際に利用者・家族へ説明している
- ☐ カスタマーハラスメントが続く場合の契約変更・解除等に関する方針を定め、契約書（重要事項説明書）に明記している
- ☐ カスタマーハラスメントが発生した場合の対応フローやマニュアル（記録様式を含む）を整備している
- ☐ 法人内に、カスタマーハラスメントに関する相談窓口を設置しており、職員に周知している
- ☐ 自治体・業界団体・弁護士等の外部の相談窓口を案内している
- ☐ カスタマーハラスメントに関する職員向け研修を定期的実施している
- ☐ カスタマーハラスメントの事例や対応策について、事業所内での情報共有・ケース検討を行っている
- ☐ 被害を受けた職員に対し、医療・休養・カウンセリング等のケアを提供できる体制（産業医やカウンセラーとの連携など）を整えている
- ☐ 複数人での訪問や同性介助など、職員の安全確保のための体制・工夫を行っている
- ☐ 特に決まった取組や体制はない
- ☐ その他

Q10. 貴法人の運営する旭市内の介護サービス事業所が、受け入れ可能な利用者数（定員・ベッド数・人員体制等）に対して、利用を希望する人の数は、現在どのような状況だと感じますか（おおよその感覚で結構です）

訪問介護

- ☐ 運営していない

- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

訪問入浴介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

訪問看護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）

- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

訪問リハビリテーション

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

居宅療養管理指導

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

通所介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）

- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

通所リハビリテーション

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

短期入所生活介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

短期入所療養介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

介護老人福祉施設

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

介護老人保健施設

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している

- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

認知症対応型共同生活介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

- ☐ 運営していない

- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

地域密着型通所介護

- ☐ 運営していない
- ☐ 需要が供給を大きく上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がかなり多い）
- ☐ 需要が供給をやや上回っている（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる）
- ☐ 需要と供給がおおむね均衡している
- ☐ 需要が供給をやや下回っている（受け入れ可能人数より利用者がやや少ない）
- ☐ 需要が供給を大きく下回っている（受け入れ可能人数より利用者がかなり少ない）

Q11. 旭市で不足していると思う介護サービス、もっと充実させるべきサービスは何だと思われますか（複数選択可） 必須

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問看護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 居宅療養管理指導
- ☐ 通所介護

- ☐ 通所リハビリテーション
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 短期入所療養介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 地域密着型通所介護
- ☐ 訪問型サービス
- ☐ 通所型サービス
- ☐ 有料老人ホーム
- ☐ サービス付き高齢者向け住宅
- ☐ 特に不足は感じない
- ☐ その他

Q12. 事業者の立場で、保険者である行政に望むことはありますか（複数選択可） 必須

- ☐ 最新・適切な介護保険制度情報の提供
- ☐ サービス事業者の詳細な情報の提供

- ☐ 給付管理の相談体制の充実
- ☐ 介護保険以外の福祉事業の情報の提供
- ☐ 介護サービス提供の相談体制の充実
- ☐ 処遇困難者への対応
- ☐ 地域のネットワークづくり
- ☐ 介護予防事業展開の強化
- ☐ 成年後見制度等の相談の充実
- ☐ 保健・医療機関との連携・協力体制の充実
- ☐ 介護人材確保のための支援
- ☐ 特にない
- ☐ その他

Q13. 介護保険制度や高齢者福祉サービス、地域包括ケアシステム、介護人材確保対策などについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご入力ください

0 / 60000

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

